

YAESU

The radio

**144/430 MHz
DUAL BAND FM TRANSCEIVER
WITH GPS**

STANDARD

VX-8G

取扱説明書



かんたん操作

お使いになる前に

各部の名称と操作

レピーター運用/WIRES運用

メモリーを使う

スキャンを使う

GPS機能を使う

APRS®機能を使う

各種の便利な機能

特定の相手局との交信

必要に応じて使う機能

付 録

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。

お読みになった後は、大切に保管してください。

この取扱説明書に記載の社名・商品などは、各社の商標または登録商標です。

本機を使用するためには、総務省のアマチュア無線局の免許が必要です。

また、アマチュア無線以外の通信には使用できません。

目次

かんたん操作.....	4
準備しよう.....	4
アンテナを取り付ける.....	4
ベルトクリップまたは保護板を取り付ける.....	4
ハンドストラップを取り付ける.....	5
電池パックを取り付ける/取り外す.....	5
電池パックを充電する.....	6
乾電池ケース「FBA-39」の使いかた - オプション.....	7
使用時間の目安と残量表示 (電池/パック, 乾電池).....	7
車載用外部電源「E-DC-88」を接続する - オプション.....	8
電源ケーブル「E-DC-6」で外部電源に接続する - オプション.....	9
交信してみよう.....	10
1. 電源を入れる.....	10
2. 音量を調節する.....	10
3. 操作/バンドを選択する.....	11
4. 周波数帯(BAND)を選ぶ.....	12
5. 周波数をあわせる.....	13
6. 送信する.....	14
オールリセットをする.....	15
セットモードとは.....	16
時計をセットしよう.....	17
お使いになる前に.....	18
安全上のご注意.....	18
IPX5防滴・防塵・防振・防水性能相当について.....	20
電波を発射する前に.....	21
特長.....	22
同梱品を確認する.....	23
各部の名称と操作.....	24
各部の名前と働き.....	24
テンキーの説明.....	25
ディスプレイの説明.....	26
音声をミュートする.....	27
送信出力を切り替える.....	27
スクロールのレベルを調節する.....	28
マニュアルでステップを切り替える.....	28
マニュアルでモードを切り替える.....	29
サブバンドを操作/バンドとして使用する (サブバンドオペレーション機能).....	29
状態が変わらないようにロックする.....	29
レピータ運用/WIRES運用.....	30
レピータで交信する.....	30
WIREで交信する.....	31
メモリーを使う.....	38
多彩なメモリー機能.....	38
メモリーに書き込む.....	39
スプリットメモリー.....	39
メモリーを呼び出す.....	40
ホームチャンネルを呼び出す.....	40
ホームチャンネルの周波数を変更する.....	40
メモリーチャンネルの内容を一時的に変える (メモリーチューン機能).....	41
メモリーを消す.....	41
消したメモリーを復活する.....	41
メモリータグを使う.....	42
メモリーに名前をつける.....	42
メモリータグを表示する.....	43
メモリーバンクを使う.....	44

メモリーバンクに登録する.....	44
メモリーバンクを呼び出す.....	45
メモリーバンクへの登録を解除する.....	46
メモリーバンクに名前をつける.....	46
便利なスペシャルバンク.....	48
スペシャルバンクを呼び出してR鉄道無線を聴く.....	49
スペシャルバンクを呼び出して国際HF (マリン) 無線を聴く.....	51
スペシャルバンクを呼び出して特定小電力無線を聴く.....	52
スペシャルバンクを呼び出してワイヤレスマイクを聴く.....	53
スペシャルバンクを呼び出して救急無線/消防無線を聴く.....	54
スキャンを使う.....	56
VFOスキャン.....	56
スキャンしたくない周波数をスキップする (スキップサーチメモリー).....	57
スキャンストップ時の受信方法を設定する.....	57
メモリースキャン.....	58
スキップメモリー/指定メモリーを設定する.....	59
指定メモリーを設定したメモリーチャンネルのみをスキャンをする.....	59
メモリーバンクスキャン.....	60
メモリーバンクリンクスキャン.....	61
プログラマブルメモリースキャン (PMS).....	62
プログラマブルメモリーに書き込む.....	62
プログラマブルメモリースキャンをする.....	62
GPS機能を使う.....	63
GPS機能を使う.....	63
GPSとは?.....	63
GPS機能を動作させる.....	63
GPSの測位方法.....	64
GPS画面の説明と操作.....	65
APRS®機能を使う.....	66
APRS®の初期設定.....	66
APRS®運用の初期設定の流れ.....	66
GPSアンテナユニットを接続してAPRS®を運用する場合.....	67
GPSアンテナユニットを接続せずAPRS®を運用する場合.....	68
時刻の設定.....	68
位置情報の設定.....	69
自局のコールサインを設定する.....	70
APRS®ボーレートの設定.....	71
自局のシンボルを設定する.....	72
シンボル文字の直接入力 (USERモード).....	73
APRS®ビーコンを受信する.....	74
APRS®の運用周波数を設定する.....	74
ビーコンを受信する.....	74
APRS®ビーコン画面とキー操作の説明.....	74
ビーコン局をリストから削除する.....	85
RAW/パケットデータの表示.....	86
APRS®ビーコンを送信する.....	88
ビーコンを手動で送信する.....	88
ビーコンの手動送信/自動送信の切り替え.....	88
ビーコンの自動送信間隔を設定.....	89
Smar tBeaconing™を設定する.....	90
ステータステキストの入力.....	91
ポジションコメントの選択.....	92
デジピータールートの設定.....	93
APRS®メッセージを受信する.....	94
“APRS MESSAGE”画面とキー説明.....	94

目次

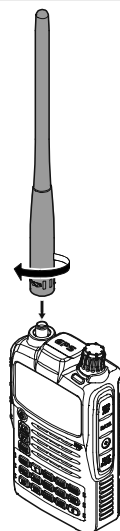
“受信/送信”詳細画面とキー説明	94	ベル音の回数を変更する	140
“編集”画面とキー説明	95	好みのベル音をつくる	141
メッセージを受信する	96	特定の局だけを呼び出しすることができる(新ページャー機能)	142
受信メッセージのフィルター設定	97	ページャー機能の操作の流れ	142
メッセージをリストから削除する	98	自局のコードを設定する	142
APRSメッセージを送信する	99	新ページャー機能を動作させる	143
メッセージの作成と送信	99	特定の局を呼び出す	143
1文字づつ入力して送信する	99	相手から呼ばれる(待ち受け時の動作)	144
定型文から作成して送信する	100	必要に応じて使う機能	145
返信機能	100	パスワード機能	145
定型メッセージの登録	101	照明の点灯条件を変更する	146
メッセージの受信確認データ(ACK)	102	ストロボをライトとして使用する	146
APRS/GPSセットモード番号順一覧表	103	BUSYインジケータをOFFにする	146
APRS/GPSセットモード動作一覧表	105	操作者の音量を設定する	147
APRSベル音リスト	114	操作者がならないようにする	147
各種の便利な機能	115	音量の設定方法を変更する	147
緊急を知らせる(エマージェンシー機能)	115	電池の電圧を測定する(電源電圧測定機能)	148
自分の行方を仲間を探してもらう(EAI機能)	116	温度を測定する(温度測定機能)	148
EAI機能の設定の流れ	117	指定した時間に電源をオンにする(オンタイマー機能)	149
個別コードを設定する	117	指定した時間に電源をオフにする(オフタイマー機能)	149
EAI用周波数を変更したい場合	117	自動的に電源をオフする(APO機能)	150
EAI機能を動作させる	118	連続送信時間を制限する(TOT機能)	150
呼び出したい相手のEAIコードを設定する	119	何も受信していないときに受信セーブをする(受信セーブ機能)	151
受信信号の周波数を一時的に記憶する(スマートサーチ)	120	相手局の信号強度がフルスケールの場合は送信出力を下げる (送信セーブ機能)	151
指定した周波数の範囲をスマートサーチする	121	受信中に誤って送信しないようにする(BOL機能)	152
盗聴器を探し出す(盗聴器発見機能サーチ)	122	マイク感度を調節する(マイクゲイン)	152
信号強度のグラフで信号を探す(スペクトラムスコープ機能)	123	VX-8Gの電源電圧を表示する(電源電圧表示機能)	153
仲間にメッセージを送る(メッセージ機能)	124	VX-8G内蔵の温度を表示する(温度表示機能)	153
メッセージ機能の設定の流れ	124	受信感度を下げる(ATT)	154
メンバーIDの登録	124	電源を入れたときの表示を変える(オープニングメッセージ)	154
MY IDの設定	125	S/P0メーターの表示を変更する	155
メッセージ登録	126	メモリーした周波数だけで運用する(メモリーオンリーモード機能)	155
メッセージの送信	127	自分がよく使用するバンドだけを表示する(マイバンド機能)	156
メッセージの受信	127	インターネットキーの動作をマイキーに変更する	157
デュアルレシーブ(DW)機能	128	マイキーの登録を変更する	157
デュアルレシーブ	128	CW学習機能	158
メモリーデュアルレシーブ	128	CWトレーニング機能	160
HOMEチャンネルデュアルレシーブ	129	セットモード番号順一覧表	162
プライオリティリポート	129	セットモード項目別一覧表	166
DTMF機能	130	セットモードの動作一覧表	168
DTMFコードを登録する	130	セットモードリセット	168
入力したDTMFコードを音で確認する	131	セットモードの非表示を設定	168
登録したDTMFコードを送信する	132	パケット通信に使う	183
マニュアルでDTMFコードを送信する	132	クローン操作	184
自分のコールサインを自動に送出する(CW ID機能)	133	外部機器との接続	185
相手局と交信可能かチェックする(ARTS機能)	134	付 録	186
設定以上の信号を受信したときのみ音声を出させる (Sメータースケルチ機能)	135	文字コード一覧表	186
特定の相手局との交信	136	周波数の使用区分	191
トーンスケルチ機能(DCS機能)	136	アマチュア無線局免許申請書類の書きかた	192
トーンの周波数を設定する	137	オプション	194
相手局が使用しているトーンスケルチの周波数がわからないとき	137	故障かな?と思ったら	195
DCSコードを設定する	138	索引	196
相手局が使用しているDCSコードがわからないとき	138	定 格	199
相手からの呼び出しをバイプレーター知らせる(バイプレーター機能)	139	キー操作早見表	203
相手からの呼び出しをベルで知らせる(ベル機能)	140		

準備しよう

アンテナを取り付ける

アンテナのコネクターに近い太い部分を持って、時計方向に回しながら取り付けます。

- アンテナの取り付け/取り外し時には、アンテナの上部を持って回さないでください。アンテナの内部で断線する場合があります。
- アンテナを取り付けない状態で送信しないでください。送信回路が損傷する場合があります。
- 付属以外のアンテナを使用する場合や、外部のアンテナを接続する場合には、SWRが1.5以下に調整されたものを使用してください。



かんたん
操作

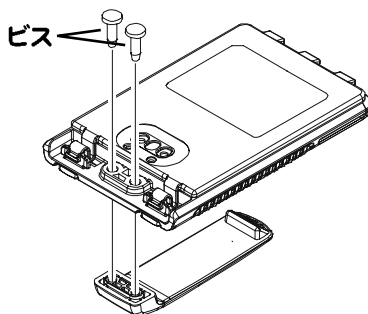
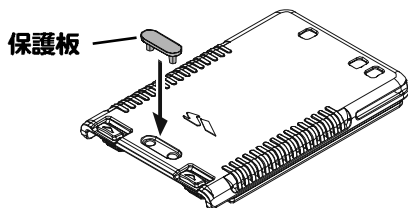
ベルトクリップまたは保護板を取り付ける (付属品)

◎保護板の取り付け

付属品の保護板を電池パックのベルトクリップ取り付け穴へ(丸穴2箇所)押し込んで取り付けます。

◎ベルトクリップの取り付け

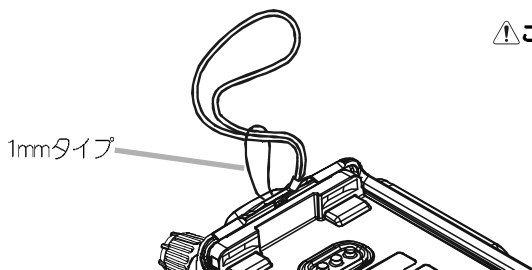
電池パックを裏面にし、付属のビス2本でベルトクリップを取り付けます。



- ベルトクリップの固定には、必ず付属のビスを使用してください。他のビスを使用すると、しっかり固定できなかったり、本機の内部に損傷を与える場合があります。
- ベルトクリップを使用しないときは、電池パックに保護板を取り付けてください。

ハンドストラップを取り付ける (付属されていません)

電池パックを外した状態でハンドストラップを取り付けてください。
また、取り付けひもが1mmタイプのハンドストラップを使用してください。



⚠️ **ご注意:** VX-8Gの重量に十分耐えられる丈夫なハンドストラップを取り付けてください。
落下によるケガや破損・故障などの原因になります。

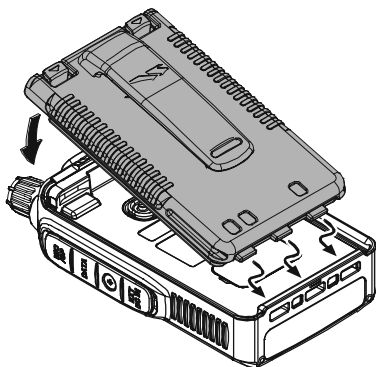
電池パックを取り付ける/取り外す

お買い上げ直後または長期間使用していない電池/パックは、充電してからお使いください。

⚠️ **ご注意:** ロックを外すときには、指や爪などを傷めないよう、十分注意してください。

◎ 取り付ける

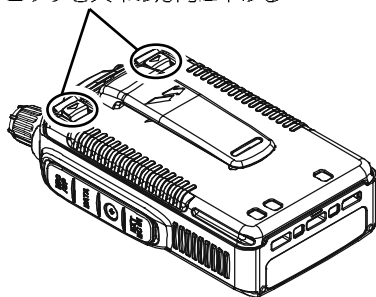
1. 本機の背面下部にある凹み部分に電池パックの突起部分を差し込みます。
2. 電池パックの上面にある左右のロックを「カチッ」と音がするまで押しこみます。



◎ 取り外す

電池パックの上部左右にあるロックを矢印の方向に下げながら、電池パックを外します。


ロックを矢印の方向に下げる





電池パックを充電する

電池パック (リチウムイオン電池)について

- 電池パックは、繰り返し使用できる充電可能なリチウムイオン電池を使用しております。
- 電池パックには、付属のFNB-101LI (7.4V, 1100mAh)とオプションのFNB-102LI (7.4V, 1800mAh)の2種類の電池パックがあります。
- 電池パックを充電すると規定値 (7.4V) より高い電圧 (約8V) になりますが、故障ではありません。
- 電池パックは、約300回の充放電が可能ですが、過充電や過放電などの無理な条件が重なると寿命が短くなります。
- 電池パックは消耗品です。充放電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。
- VX-8Gに電池パックを取り付けた状態で長期間放置すると電池パックの劣化を早める原因になります。
- 長期間放置/保管するときは、必ずVX-8Gから電池パックを外してください。また、過放電を防止するために、半年に1回程度の充電 (50%程度) を行ってください。
- 高温の場所で保管すると、劣化の進行を早めることがあります。なるべく低温状態で保管してください。
- 電池パックを落としたり衝撃を与えると、破損の原因になります。

1. VX-8Gに電池パックを取り付けます。
2. VX-8Gの  を1秒以上押して電源を“オフ”にします。
3. 付属のバッテリーチャージャー (PA-48A) を、VX-8GのEXT DC IN端子に接続して充電します。

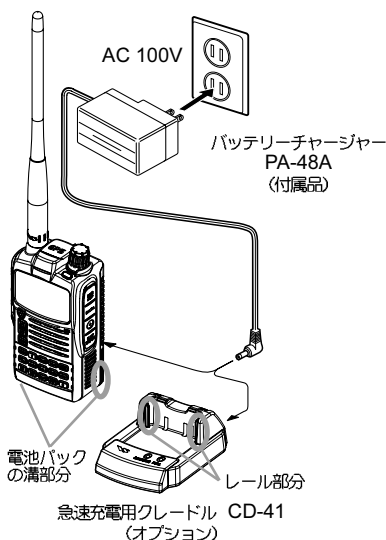
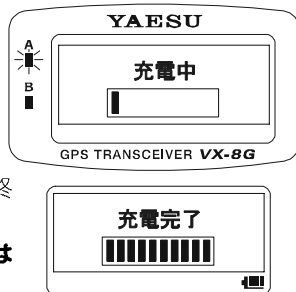
充電中は  が赤色に点灯し、ディスプレイに「充電中」の文字が表示され棒グラフでチャージ量が表示されます。充電が終わると表示が「充電完了」に変わり、 が緑色に点灯します。


4. 約5時間 (オプションのFNB-102LIは約8時間) で充電は完了します。

オプションの急速充電器 (CD-41) を使うと、約2時間半 (オプションのFNB-102LIは約4時間) で充電できます。電池パックの溝をCD-41のレールに合わせてVX-8Gを差し込みます。

このときには「充電中」や「充電完了」、棒グラフでのチャージ量は表示されませんが、CD-41のランプで充電状態を知ることができます (充電中: 赤色に点灯→速い点滅→速い点滅 → 充電完了: 緑色に点灯)。

5. 充電が終了したらVX-8Gからバッテリーチャージャーを外してください。




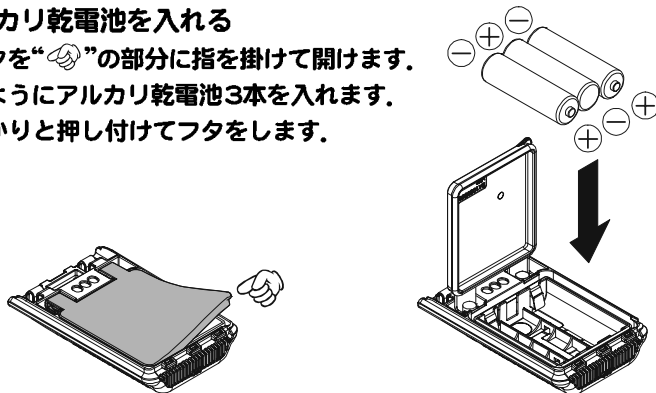
- 使用中にバッテリーチャージャーが発熱する場合がありますが故障ではありません。
- 充電は、周囲の温度が+5℃～+35℃の場所で行ってください。
- 電池パックが消耗すると“ ”が点滅します。すみやかに充電してください。
- 付属のバッテリーチャージャーは、充電専用です。受信や送信をすることはできません。
- 充電中にテレビやラジオにノイズが入ることがありますので、できるだけ離して充電してください。
- 「バッテリー未装着」が表示され、11時間経過しても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。再度、電池パックを充電しても警告が出るようでしたら、電池パックの寿命または不良かもしれません。新しい電池パックに交換してください。
- EXT DC IN端子を使用しているときは防水効果はありません。
- ときどき端子や電極を乾いた布や綿棒で拭いてください。端子や電極が汚れていると、接触不良になって正しく使用できないばかりではなく、発熱・破裂などの原因になります。

乾電池ケース“FBA-39”の使いかた - オプション -


オプションの乾電池ケース“FBA-39”を用意しておくと、単三形アルカリ乾電池3本で運用することができます。なお、アルカリ乾電池を使用した場合の送信出力は、ローパワー (L2): 1W, ローパワー (L1): 0.05Wが選択することができます。ハイパワーとローパワー (L3)に切り替えることはできません。

乾電池ケースにアルカリ乾電池を入れる

1. 乾電池ケースのフタを“”の部分に指を掛けて開けます。
2. 極性を間違えないようにアルカリ乾電池3本を入れます。
3. フタの四隅をしっかりと押し付けてフタをします。



かんたん操作

- 乾電池が消耗すると、ディスプレイの“”が点灯し、さらに消耗すると点滅します。
- 使用できる乾電池はアルカリ乾電池だけです。マンガン乾電池は使用できません。また、単三形の二次電池 (充電電池) も使用できません。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使用すると、乾電池の寿命を短くすることがあります。
- 長時間使用しない場合は、乾電池ケース“FBA-39”から乾電池を取り外しておいてください。
- とくどき乾電池ケース“FBA-39”の端子や電極を乾いた布や綿棒で拭いてください。端子や電極が汚れていると、接触不良になって正しく使用できないばかりではなく、発熱・破裂などの原因になります。

使用時間の目安と残量表示

満充電した電池/パックおよび、単三形アルカリ乾電池で使用できる時間の目安は次のとおりです。

使用バンド		電池/パック FNB-101LI	電池/パック FNB-102LI	乾電池 FBA-39	アイコン表示
アマチュアバンド	144MHz帯	約5.0時間	約8.5時間	約17時間	 : 十分使えます。  : まだ使えます。  : 残りわずかです。  : 空になりました。 充電してください  : すぐに充電してください (点滅)
	430MHz帯	約5.0時間	約8.0時間	約16時間	

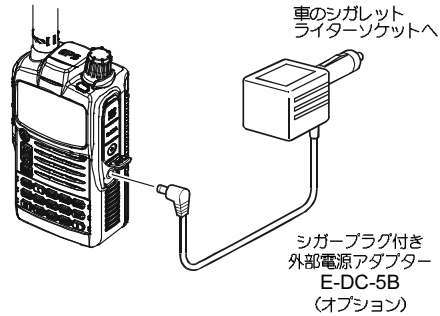
上記の目安は次の使いかたの場合です。

- GPS機能がOFFの状態
- アマチュアバンド: ハイパワーで送信6秒, 受信6秒, 待ち受け48秒の繰り返し
- 上記の使用時間は目安です。実際に使用できる時間は、使いかたや温度などによって異なります。

車載用外部電源“E-DC-5B”を接続する - オプション -

オプションのシガープラグ付き外部電源アダプター (E-DC-5B) を使用すると、車から運用することができます。

1. VX-8Gの⑤を1秒以上押して電源を“オフ”にします。
2. オプションのシガープラグ付き外部電源アダプター (E-DC-5B) の無線機側のプラグを、VX-8GのEXT DC IN端子に接続します。
3. シガープラグ付き外部電源アダプターのシガープラグを、車のシガレットライターソケットに接続します。



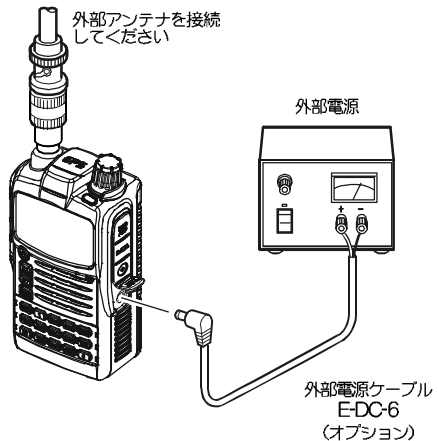
- 電池パックを取り付けて外部電源を使用すると、電池パックを充電することができます。充電時間は約5時間(オプションのFNB-102Lは約8時間)です。なおVX-8Gの電源をオンにして充電すると、充電時間は多少長くなります。
- 電池パックが満充電になると、過充電保護回路が働き充電は終了します。
- 乾電池ケースを装着した場合でも、外部電源を使用することができます。
- E-DC-5BはDC12Vのシガレットライターソケットに対応していますので、DC24Vのシガレットライターソケットには接続しないでください。
- 必要最小限の送信出力で運用してください。最小限の使用で本体の発熱をおさえることができます。
- 長時間の連続送信はしないでください。本体の温度が上昇し、発熱などの原因で故障ややけどの原因になることがあります。
- 長時間(7時間以上)使用するときは電池パックを外し、オプションの乾電池ケース“FBA-39”を装着して、運用することをお勧めします。
- VX-8Gの電源をオフの状態 で外部電源を接続すると、ディスプレイに「外部電源接続」と表示され、約20秒後「バッテリー未装着」と表示されます。
- 満充電の状態 で繰り返し充電を行うと、電池パックの寿命を短くすることがありますので、外部電源で運用するときは、十分ご注意ください。
- 周囲の温度が+5℃～+35℃の場所で充電を行なってください。
- EXT DC IN端子を使用しているときは防水効果はありません。
- とくどき端子や電極を乾いた布や綿棒で拭いてください。端子や電極が汚れていると、接触不良になって正しく充電できないばかりではなく、発熱・破裂などの原因になります。

電源ケーブル“E-DC-6”で外部電源に接続する - オプション -

外部電源を接続して、運用することができます。

⚠ **ご注意:** 電池パックが満充電になっても充電を続けると、過充電になりますので、電池/パックを外してオプションの乾電池ケース“FBA-39”を装着して、運用することをお勧めします。

1. VX-8Gの④を1秒以上押して電源を“オフ”にします。
2. オプションの外部電源ケーブル (E-DC-6) の赤黒線または白黒線を外部電源のプラス (+) 端子、黒線を (-) 端子に接続します。
外部電源の電圧は12~14V以内に設定し、運用してください。
3. 外部電源ケーブルのプラグを、VX-8GのEXT DC IN端子に接続します。



かんたん操作

- 電池/パックを取り付けて外部電源を使用すると、電池/パックを充電することができます。電源電圧が12Vの時、充電時間は約5時間(オプションのFNB-102Lは約8時間)です。なおVX-8Gの電源をオンにして充電すると、充電時間は多少長くなります。
- 乾電池ケースを装着した場合でも、外部電源を使用することができます。
この場合「バッテリー未装着」とVX-8GのLCDに表示されますが、電池/パックが未装着であることをメッセージとして表示していますので、乾電池ケースを装着した状態で問題なく使用することができます。
- **外部電源に外部電源ケーブル(E-DC-6)を接続して使用する場合は、次の点にご注意ください。**
 - ・ 電源電圧が12V~14Vの範囲であること(14Vを超えると高電圧プロテクトが動作し、ハイパワーで送信できなくなります。自動的にL3(2.5W)になり、パワーが下がります)。また電源電圧が16Vを超えるとVX-8Gの電源回路が破損し、故障の原因になりますのでご注意ください。
 - ・ 外部電源ケーブル(E-DC-6)の赤黒線または白黒線をプラス(+)、黒線を(-)に接続すること。
 - ・ 電流容量に十分余裕のあるもの(3A以上)をご使用ください。
 - ・ 付属のアンテナを接続して使用すると、外部電源が誤動作を起こし故障の原因になります。外部アンテナを接続して、VX-8Gを安定化電源から十分な距離をおいてください。
- 必要最小限の送信出力で運用してください。最小限の使用で本体の発熱をおさえることができます。
- 長時間の連続送信はしないでください。本体の温度が上昇し、発熱などの原因で故障ややけどの原因になることがあります。
- 満充電の状態から長時間(7時間以上)使用するときには電池/パックを外し、オプションの乾電池ケース“FBA-39”を装着して、運用することをお勧めします。
- VX-8Gの電源をオフの状態外部電源を接続すると、ディスプレイに「外部電源接続」と表示され、約20秒後「バッテリー未装着」と表示されます。
- 満充電の状態でも繰り返し充電を行うと、電池/パックの寿命を短くすることがありますので、外部電源で運用するときは、十分ご注意ください。
- 周囲の温度が+5℃~+35℃の場所で充電を行なってください。
- EXT DC IN端子を使用しているときは防水効果はありません。
- ときどき端子や電極を乾いた布や綿棒で拭いてください。端子や電極が汚れていると、接触不良になって正しく充電できないばかりではなく、発熱・破裂などの原因になります。

交信してみよう

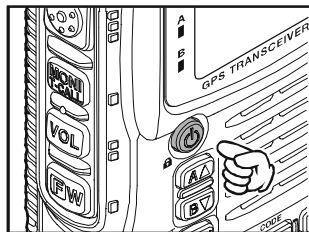
1. 電源を入れる

Ⓢ を1秒以上押すと電源がオンになります。

電源をオンにするとオープニング画面が表示され、2つの周波数を同時に表示して受信します。

工場出荷時には、上段側(A/バンド)に145.000MHz、下段側(B/バンド)に433.000MHzの周波数が設定されています。

もう一度、Ⓢ を1秒以上押すと電源がオフになります。



セットモードの『60 OPENING MESSAGE』により、電源を入れたときに表示する電源電圧やコールサインなどを変更することができます。また、オープニングメッセージを表示せずに、すぐに受信周波数を表示することもできます(※p. 154)。

かんたん操作

2. 音量を調節する(Aバンド,Bバンド個別に音量調節ができます)

1. 音量を調節したいバンドを操作バンドに設定します。

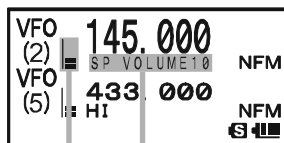
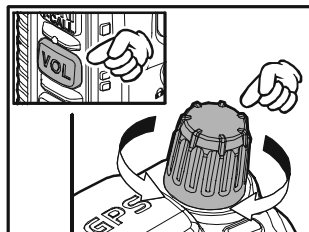
Aバンドの音量を調節する場合は(A▲)を押します。

Bバンドの音量を調節する場合は(B▼)を押します。

2. [VOL] を押しながらDIALツマミをまわして、受信音を調節します。

音量によってディスプレイの音量ボリューム棒グラフが点滅しながら振れ、さらに“SP VOLUME *”(※:0~32までの数字)が表示されます。

3. [VOL] を離すと音量調節は解除されます。



音量ボリューム棒グラフが点滅

SP VOLUME 0 ~ SP VOLUME32が表示

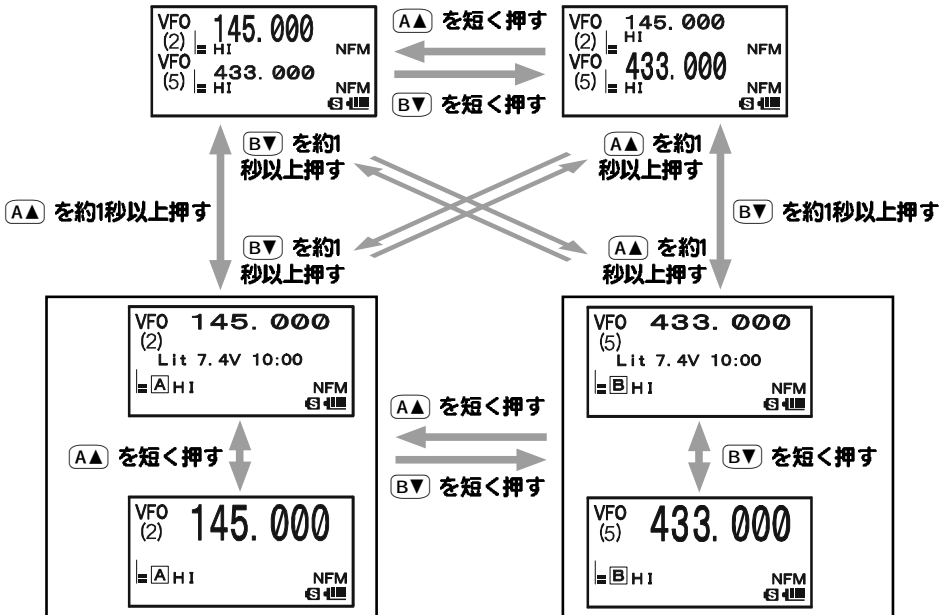
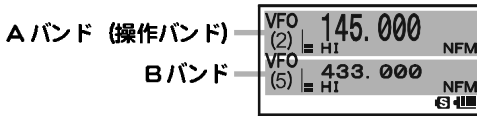
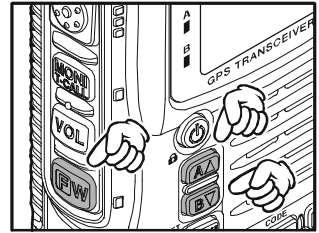
○ DIALツマミを音量ツマミ専用として使用することができます。

[PW]を押してから[VOL]を押し(A/バンドB/バンド両方の音量ボリューム棒グラフが点滅)DIALツマミをまわすと、受信音を調節することもできます。もう一度[PW]を押してから[VOL]を押すと音量調節は解除されます。

○ 音量を調節するときにスピーカーから何も聞こえていない場合は、[MONI]を押して「ザー」という雑音を聞きながら音量を調節してください。

3. 操作バンドを選択する

大きな文字で表示している周波数を“操作/バンド”といい、“周波数の変更操作”や“送信操作”などが行えます。上段側(A/バンド)または下段側(B/バンド)キーを押して操作/バンドを選びます。



かんたん操作

- A/バンドは144MHz帯、430MHz帯のアマチュア無線 (HAM BAND) の周波数帯が送受信することができます。送受信が行なえる他に航空無線帯、情報無線 (1)、情報無線 (2) などの受信機としても使える機能が搭載されています。
- B/バンドはA/バンドと同様144MHz帯、430MHz帯のアマチュア無線 (HAM BAND) の周波数帯の送受信をすることができます。送受信が行なえる他に、航空無線帯、情報無線 (1) の受信機能が搭載されています。
- 現在、どの周波数帯を選択しているかディスプレイの左側に [1] ~ [7] の番号が表示されます (各周波数帯の番号は右記参照)。
- A/バンドとB/バンドを同時受信できますので、航空無線を聞きながらアマチュア無線を受信したり、同じ周波数帯のアマチュア無線を2波同時に受信することができます (V+V/U/U: 2波同一バンド受信)。
- アマチュアバンドの送信範囲や使用区分は191ページを参照してください。
- デュアル受信時に、**[F.W]**を押しながら^{SUB OP}**[0]**を押すとサブバンドをダイヤル操作やキー操作ができる操作/バンド (サブバンドオペレーション機能) に変更することができます (p.29)。

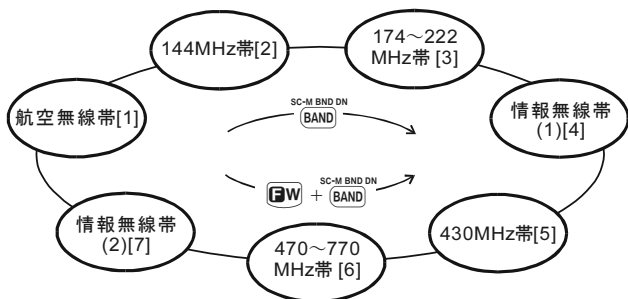
A/バンド, B/バンド受信周波数帯表

周波数帯番号	A/バンド	B/バンド
[1]	108~137MHz 航空無線帯	108~137MHz 航空無線帯
[2]	137~174MHz 144MHz帯HAM	137~174MHz 144MHz帯HAM
[3]	174~222MHz	174~222MHz
[4]	222~420MHz 情報無線帯 (1)	222~420MHz 情報無線帯 (1)
[5]	420~470MHz 430MHz帯HAM	420~470MHz 430MHz帯HAM
[6]	470~770MHz	470~580MHz
[7]	770~999MHz 情報無線帯 (2)	--

4. 周波数帯 (BAND) を選ぶ

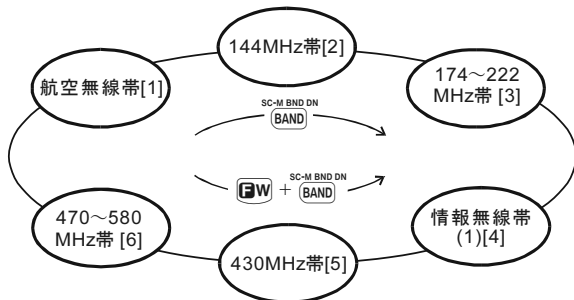
◎ Aバンドを選択した場合

- [A▲]**を押してから SC-M BND DN **(BAND)**を押して、周波数帯を選択します。
[W]を押した後 SC-M BND DN **(BAND)**を押すと、反対方向に切り替わります。



◎ Bバンドを選択した場合

- [B▼]**を押してから SC-M BND DN **(BAND)**を押して、周波数帯を選択します。
[W]を押した後 SC-M BND DN **(BAND)**を押すと、反対方向に切り替わります。



- 現在、どの周波数帯を選択しているかディスプレイの左側に [1]～[7]の番号が表示されます (各周波数帯の番号は上記参照)。
- 工場出荷時のA/バンドは145.000MHzの周波数、B/バンドは433.000MHzの周波数を表示します。
- 周波数帯と受信周波数の関係表は11ページを参照してください。
- BND DN **(HW)**を押すと、周波数帯のホームチャンネルが呼び出されます (※p.40)。
- 自動的に周波数帯に適したモードに切り替わる“**AUTO** (オートモード)”に設定されていますが、SPS SQ TYP **(MODE)**を押すたびにマニュアルで**AUTO**、**NFM**、**AM**に設定することができます (※p.29)。

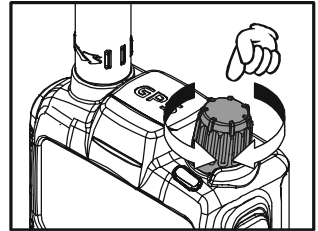
5. 周波数をあわせる

「DIALツマミで周波数あわせる」、「テンキーで直接周波数を入力する」2種類の方法があります。

1) DIALツマミで周波数をあわせる

DIALツマミを右にまわすと周波数は高くなり、左にまわすと低くなります。

また、**[GW]**を押した後DIALツマミをまわすと、1MHz単位で変化します。



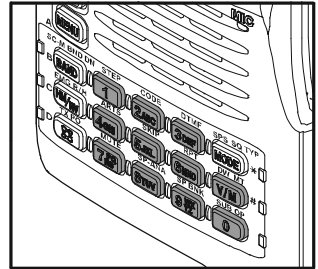
2) テンキーで直接周波数を入力する

[DW MT V/M]を押してVFOモードにします。

入力方法は例として下記のように行います。

145.520 MHz の場合は **[STEP 1]** → **[ARTS 4GHI]** → **[SKIP 5JKL]** → **[SKIP 5JKL]** → **[CODE 2ABC]**

430.000MHz の場合は **[ARTS 4GHI]** → **[DTMF 3DEF]** → **[DW MT V/M]**



かんたん操作

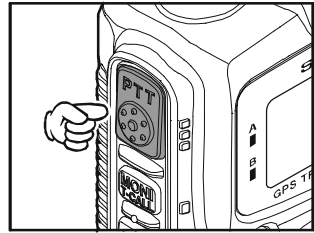
- DIALツマミで周波数を直接選択できる状態をVFOモードといいます。
- 自動的に受信周波数に応じた最適なステップに切り替わる“AUTO(オートステップ)”に設定されていますが、**[GW]**を押した後に**[STEP 1]**を押すと、DIALツマミをまわして周波数ステップを切り替えることができます (p. 28)。
- テンキーで周波数を入力中、入力をキャンセルしたいときはPTTスイッチを押してください。
- セットモードの『95 VFO MODE』でALLをBANDに変更することにより、周波数帯のエッジに達してさらにDIALツマミをまわすと、現在の周波数帯の他端になるように設定することもできます。
- **[GW]**を押した後DIALツマミをまわすとMHzのUP、**[GW]**を押した後DIALツマミをまわすとMHzのDWNをすることができます。





6. 送信する

1. PTTスイッチを押しながら、マイクに向かって話します。

マイクと口元の間隔は5cm位が適当で、普通の声で話します。

2. PTTスイッチを離すと受信に戻ります。



- 144MHz帯、430MHz帯のアマチュア無線バンドで送信することができます。
144MHz帯、430MHz帯のアマチュア無線バンドで送信できるモードはNFMモードのみです。AMモードで受信していても、PTTを押すとNFMモードで送信します。
- 送信出力を変更する場合は、**[]**を押してから**[]**を押します。
ディスプレイに“**[]**”が点灯中**[]**を押すたびに、送信出力が切り替わり、送信出力に応じたアイコンとPOメーターがディスプレイに表示され、さらに周波数が表示されている部分に約2秒間現在のパワー（表示例 HIGH POWER）を表示します。電池/バックや乾電池ケースでの使用では送信出力が異なります。詳細は27ページの「送信出力を切り替える」を参照してください。
- アマチュア無線バンド以外でPTTを押したときは、ディスプレイに“ERROR”が表示され「ピピッ」と警告音が鳴り送信できません。
- セットモードの『74 SAVE TX』により、相手局の信号強度に合わせて送信出力が自動的に下がりバッテリーをセーブすることができます。
- セットモードの『7 BQLQ』により、信号を受信中に送信しようすると送信を禁止することができます。
- 必要最小限の送信出力で運用してください。最小限の使用で本体の発熱をおさえるだけでなく、電池の消耗をおさえ使用時間が長くなります。
- 長時間の連続送信はできるだけ避けてください。本体の温度が上昇して、発熱などの原因で故障ややけどの原因になります。
- 長時間送信し続けると本体が高温になり過熱防止保護機能が働いて、送信出力が自動的にローパワーになります。また、過熱防止保護機能が働いているときにさらに送信を続けると、強制的に受信状態に戻ります。過熱防止保護機能が働いた直後に本機を触れるとやけどの原因になることがありますので、セット内部の温度を十分下げてから送信してください。
- アンテナを取り付けない状態で送信しないでください。送信回路が損傷する場合があります。

オールリセットをする

すべての設定やメモリーをクリアしてお買い上げ時の状態に戻すことができます(オールリセット)。

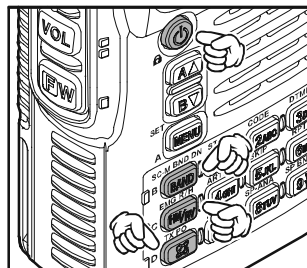
1. SC-M BND DN EMG R/H TX PO
BAND , **HM/RV** , **⊗** の3つのキーを押しながら **⏻** を押して電源をオンにします。

「ピッポッパッ」とビープ音が鳴ると同時に、キーから指を放してください。

2. “ALL RESET PUSH F KEY!”の表示が出ましたら、**⏻** を押します。

「ピッポッパッ」とビープ音が鳴ります。

⏻ 以外のキーまたはスイッチを押すと、リセットを中止することができます。



オールリセットを行うと、メモリーした内容は全て消去されます。
メモリー内容は必ず紙などに控えておくようにしてください。

セットモードの設定値だけを一度に工場出荷時の値に戻すことができます(☞ p.168)。

セットモードとは

セットモードとは、一度設定してしまえばその後変更する機会の少ない機能や動作などの設定を行なう状態をいい、99種類の設定を行なうことができます。

なお、セットモードの詳細は168ページを参照してください。

1. [MENU] を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして設定したいセットモードを選択します。

3. [MENU] を短く押します。

4. DIALツマミをまわして設定する項目を選択します。

5. [MENU] を短く押します。

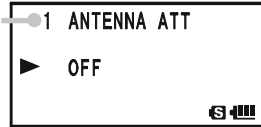
6. [MENU] を1秒以上押してセットモードを終了します。

セットモード番号

セットモード項目

設定したいセット
モードを選択項目

設定項目



時計をセットしよう

VX-8Gは時計を内蔵しております。“時計表示”以外に、指定時刻に電源をオン/オフする“タイマー機能”も搭載しておりますので、VX-8Gの機能を100%活用していただくためにも、お早めに現在の時刻にセットすることをお勧めします。

1. **MENU** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『90 TIME SET』を選択します。

3. **MENU** を短く押します。

4. DIALツマミをまわして「年」を設定します。

5. **SPS SQ TYP MODE** を押して「月」にカーソルを移動します。

6. DIALツマミをまわして「月」を設定します。

7. **SPS SQ TYP MODE** を押して「日」にカーソルを移動します。

8. DIALツマミをまわして「日」を設定します。

9. **SPS SQ TYP MODE** を押して「曜日」にカーソルを移動します。

10. DIALツマミをまわして「曜日」を設定します。

11. **SPS SQ TYP MODE** を押して「時」にカーソルを移動します。

12. DIALツマミをまわして「時」を設定します。

24時間表示で設定します。

13. **SPS SQ TYP MODE** を押して「分」にカーソルを移動します。

14. DIALツマミをまわして「分」を設定します。

15. **SPS SQ TYP MODE** を押して「—」にカーソルを移動します。

16. DIALツマミをまわして、毎時00分に鳴る時報を設定します。時報が必要な場合は、「時報」を選択します。

“時報”を選択すると、毎時00分に「ピーッ」と時報が鳴ります。

時報が必要な場合は、「—」のままにします。

17. **SPS SQ TYP MODE** を押して「設定」にカーソルを移動します。

18. **DW MT V/M** を短く押して確定します。

19. **MENU** を1秒以上押してセットモードを終了します。

バンドをモノバンド受信に切り替えているときに、ディスプレイへ現在の時刻を表示します。

90	TIME SET
91	TONE FREQUENCY
92	TONE-SRCH MUTE
93	TONE-SRCH SPEED

2000. 00. 00 ±

2010. 00. 00 ±

2010. 03. 01 ±

2010. 03. 01 月

01:00 — 設定

01:30 — 設定

01:30 — 設定

01:30 時報 設定

01:30 時報 設定

かんたん操作

- 時計の精度は常温で月差30秒です。温度変化などの使用条件により精度が異なる場合があります。
- 時計専用の充電可能なリチウム電池を内蔵しております。普段は付属の電池パックから電源を供給しますが、電池パックを外す(容量がなくなる)とリチウム電池に切り換わり、約2ヶ月間動作します。
- はじめてお使いになるときや、長期間電池パックを外しておいたVX-8Gを使用した場合、まれに時計の進み方に異常を生じることがあります。このような場合には、一度電池パックを取り外し、再度電池パックを取り付けた後に時刻を合わせ直してください。
- バンドをモノバンド受信に切り替えると、ディスプレイに時刻を表示することができます。
- モノバンドの倍角表示とデュアル表示の場合は、ディスプレイに時刻は表示されません。
- カレンダーは、西暦2000年1月1日～西暦2099年12月31日に対応しています。
- APRSセットモード『19 GPS TIME SET』をAUTOに設定すると、自動的に正確な時刻に設定されます。その際、曜日だけは自動設定されませんので、手動でセットしてください。
- 指定した時刻に電源をオフにすることができます(▶ p.149)。
- 指定した時刻に電源をオンにすることができます(▶ p.149)。

お使いになる前に

安全上のご注意 (必ずお読みください)

本機を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください。

お客様または第三者の方が、この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合あるいはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

マークの種類と意味



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の種類と意味



本機を安全にお使いになるために、行ってはならない禁止事項です。

たとえば、① は分解禁止を示しています。



本機を安全にお使いになるために、必ず守っていただきたい注意事項です。

たとえば、㊦ は電源プラグを外すを示しています。

危険



病院内や航空機内などの“使用を禁止された区域または機内や車両内”では使用しないでください。

電子機器や医療機器に影響を与える場合があります。



自動車やバイク等を運転しながら使用しないでください。事故の原因になります。

運転者が使用するときは、必ず安全な場所に車を止めてから使用してください。



心臓ペースメーカー等の医療機器を装着されている方は、携行した状態では送信しないでください。送信する場合は、外部アンテナを使用し、できるだけアンテナから離れて送信してください。

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になることがあります。



引火性ガスの発生する場所での運用やバッテリーチャージャーを使用しないでください。

火災、爆発の原因になります。



心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方に配慮し、混雑した場所では送信しないでください。

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になることがあります。



電池パックから漏れている液などに素手で触れないでください。

皮膚に付着したり、目に入ると化学火傷を起こすおそれがあります。この場合、直ちに医師の診断を受けてください。



電池パックの端子をハンダ付けしたり、ショートさせたりしないでください。

火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。また、ネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運ばないでください。ショートするおそれがあります。



外部アンテナを接続しているときに雷が鳴り出したら、速やかに本機の電源を切り、外部アンテナを本機から外してください。

火災・感電・故障などの原因になります。

安全上のご注意(必ずお読みください)

警告



指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



電池/バックを指定機器以外の用途に使用しないでください。
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。



本機は“IPX5”相当の防水構造になっておりますが、もし濡れた場合は、そのまま放置せず乾いた布などで拭いてください。
濡れたまま放置すると、性能や寿命を低下させたり、故障や感電などの原因になります。



長時間の連続送信はしないでください。
本体の温度が上昇し、発熱などの原因で故障ややけどの原因になることがあります。



無線機、電池バックおよびバッテリーチャージャーから煙が出ていたり、変な臭いがするときは、電源をオフにして、電池バックを取り外し、電源コードをコンセントから抜いてください。

火災・漏液・発熱・破損・発火・故障の原因になります。お買い上げの販売店または当社営業所/サービス窓口にご連絡ください。



分解や改造をしないでください。
ケガ・漏液・感電・火災・故障の原因になります。



濡れた手で電池バックや充電機器の取り扱いをしないでください。また、電源プラグの抜き差しも行わないでください。
ケガ・感電・故障の原因になります。



外傷、変形の著しい電池バックを使用しないでください。

火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。



当社指定以外のバッテリーチャージャーを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。



電池バックの端子はいつもきれいにしておいてください。
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。



電池バックの充電が所定の時間を超えても完了しない場合には、直ちにバッテリーチャージャーをコンセントから抜いてください。
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。

注意



アンテナを持って、本体を振り回したり投げたりしないでください。

本人や他人に当たり、ケガの原因になります。また、本体の故障や破損の原因にもなります。



人の多い場所では使用しないでください。
アンテナが他人に当たり、ケガの原因になります。



本機や電池バックを直射日光の当たる場所や熱器具の付近に置かないでください。
変形・変色などの原因になります。



本機や電池バックを湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
火災や故障の原因になります。



送信中は、できるだけ身体からアンテナを離してください。
長時間身体に電磁波を受けると、身体に悪影響を及ぼす場合があります。



シンナーやベンジンなどでケースを拭かないでください。
ケースの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。



長期間ご使用にならない場合には、安全のため電源をオフにし、電池バックを抜いてください。



強い衝撃を加えたり、投げつけたりしないでください。
故障の原因になります。



磁気カードやビデオテープなどは本機に近づけないでください。
キャッシュカードやビデオテープなどの内容が、消去される場合があります。



イヤピースマイクロホン、イヤホン、ヘッドホンなどを使用するときは、音量を大きくしないでください。
聴力障害の原因になります。



小さなお子さまの手の届かない場所に保管してください。
ケガなどの原因になります。



ハンドストラップやベルトクリップの取り付けは確実に行ってください。
間違った取り付けかたは、落下によるケガや本体の破損などの原因になります。

安全上のご注意 (必ずお読みください)

⚠ 注意



電池/パックは5℃～35℃の温度範囲内で充電してください。

この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池の性能や寿命を低下させる原因になります。



付属のバッテリーチャージャーで当社指定の電池/パック以外は充電しないでください。

火災や故障の原因になります。



使用済みの電池/パックは、端子にテープなどを貼って絶縁してから破棄してください。



テレビやラジオの近くでは送信しないでください。

電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。



当社指定のオプション以外の製品は使用しないでください。

故障の原因になることがあります。



バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから抜いてください。



バッテリーチャージャーの電源コードの上に重い物を載せないでください。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



バッテリーチャージャーをコンセントから外すときは、必ずバッテリーチャージャー本体を持ってください。

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因になります。



ハイブリッドカーや省燃費タイプの自動車で使用する場合は、必ず自動車メーカー等に確認のうえ運用してください。

車に搭載されている電装機器（インバーター等）からノイズの影響を受けて正常に受信できないことがあります。

お使いになる前に

IPX5噴流保護等級防水性能相当について

本機の防水性能は、付属のアンテナと電池/パックを取り付け、さらにMIC/SP端子、DATA端子、EXT DC IN端子のラバーキャップをしっかりと取り付けた状態で、あらゆる方向から噴流水に与えることができます。

この防水性能を末永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

◎キズ、劣化、汚れなどの確認

キーやスイッチのラバー、MIC/SP端子、DATA端子、EXT DC IN端子のラバーキャップ、電池/パック接合部分。

◎お手入れのしかた

海水・砂・泥などがついたときは真水でやや弱めの水流で洗い流し、すぐに乾いた布で拭き取ってください。

◎オーバーホールのお奨め

お買い上げから1年経過した後、オーバーホールを行って1年経過した後、またはキズ、劣化等が確認されたときはオーバーホールをお奨めします。なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご承知ください。

◎下記の中に浸さないでください

海水・プール・温泉の中・石けんや洗剤、入浴剤の入った水・アルコールや薬品

◎下記の場所での長時間放置はさけてください

お風呂・台所・湿気の多い場所

◎その他の注意

完全防水ではありませんので、水中での使用はできません。

電波を発射する前に

アマチュア局は、自局の発射する電波が、テレビやラジオの受信に障害を与えたり、障害を受けているとの連絡を受けた場合は、ただちに電波の発射を中止して障害の有無や程度を確認してください。

《参考》無線局運用規則 第9章 アマチュア局の運用

第258条 アマチュア局は、自局の発射する電波が他の無線局の運用又は放送の受信に支障を与え、若くは、与える虞があるときは、すみやかに当該周波数による電波の発射を中止しなければならない。(以下省略)

障害が自局の電波によるものと確認された場合、無線機、アンテナ系を点検し障害に応じてお買い上げの販売店または、当社アマチュアカスタマーサポート（電話：03-6711-4045）などに相談するなどして、適切な処置を行ってください。

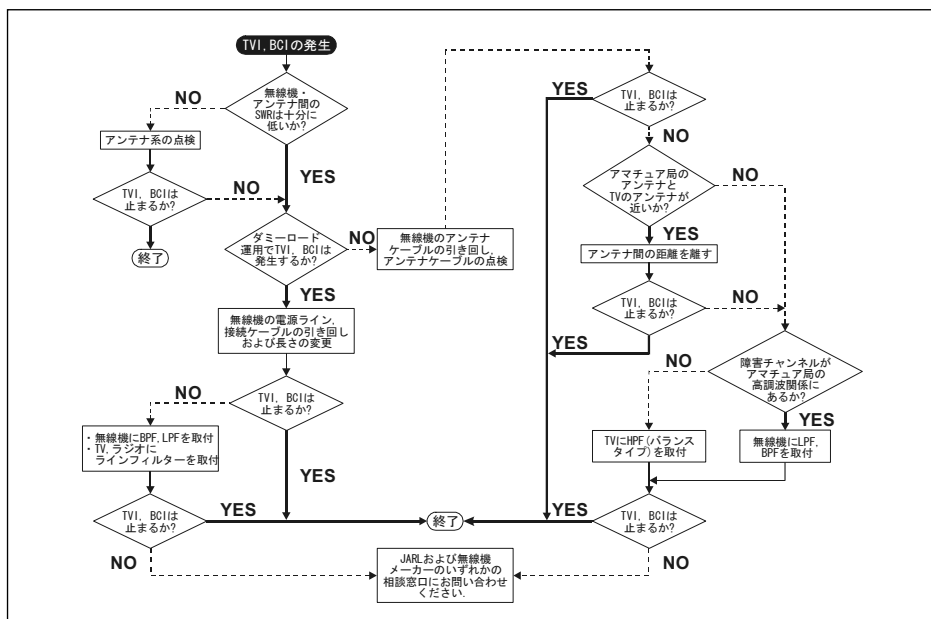
受信側に原因がある場合、障害対策は単に技術的な問題に止まらず、ご近所付き合いなどで、おむかしい場合もあります。

(社)日本アマチュア無線連盟(JARL)では、電波障害の対策と防止についての相談窓口を開設しておりますので、対策にお困りの場合はご相談ください。

社団法人日本アマチュア無線連盟 (JARL)

〒170-8073 東京都豊島区巣鴨 1-14-5

TEL 03-5395-3111

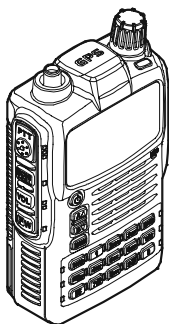


特 長

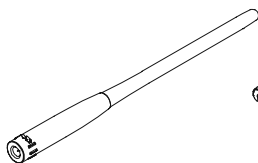
◎ 外部電源端子を内蔵	8, 9
◎ 異なる2バンド+同一バンド2波同時受信対応 (V+V/U+U)	11
◎ Aバンド・Bバンドで独立した切り替えキーとTX/BUSY表示	11, 24
◎ 108MHz~999.900MHzまでの広帯域受信機能搭載	12
◎ 雨や水しぶきなどにも十分耐えるIPX5相当の防水設計	20
◎ 独立したサイドキー, 入力の便利なフルキーボード, 傾斜を付けたメインダイヤル	24
◎ 見やすいドットマトリックス表示	26
◎ WiRES-II接続対応 (64チャンネルのWiRES-IIアクセスメモリーを搭載)	31
◎ 大容量1327chメモリーと24×100chメモリーバンク	38
◎ 最大16文字 (全角表示は最大8文字) 漢字対応のメモリータグ表示	42
◎ スペシャルバンクで簡単受信	48
<p>あらかじめ周波数をプリセットしており, 鉄道無線, 特定小電力無線, 国際VHF (マリン) 無線, 救急/消防無線, ワイヤレスマイク (Cチャンネルのみ) などを簡単に受信することができます。</p>	
◎ 多彩なスキャン機能	56
◎ 内蔵GPSユニットより自局の位置や移動情報を表示可能	64
◎ 世界標準1200/9600bps AX25モデムによるAPRS®通信に対応 (Bバンドのみ) 66, 74	
◎ 白色LEDの点滅とビーブ音で緊急を知らせるエマージェンシー機能	115
◎ 盗聴器発見機能サーチを搭載	122
◎ ±50チャンネルの高解像度スペクトラムスコープ機能搭載	123
◎ 相手局が交信範囲にいるかどうか自動的に確認するARTS機能	134
◎ トーンスケルチ (CTCSS)、DCS機能など多彩な個別呼出機能	136
◎ メッセージ受信やベル新着時にバイブレーターで知ることが可能	139
◎ 新ページャー機能で特定の局だけ呼び出すことが可能	142
◎ フィールドで便利な白色LEDによる照明機能	146
◎ 温度センサー内蔵	148, 153
◎ CW学習機能, CWトレーニング機能を搭載	158, 160
◎ 電池の消耗を抑えることができるバッテリーセーブ機能	178
◎ データ端子を装備し, 外部接続機器とのデータ通信に対応	185

同梱品を確認する

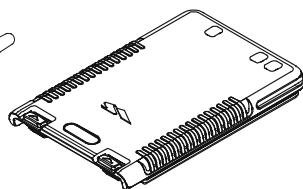
本体



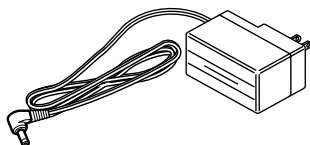
アンテナ



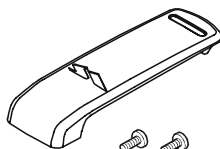
電池パック (FNB-10 1Li)



バッテリーチャージャー
(PA-48A)



ベルトクリップ



防水シート (1枚)



ファームウェアをアップデートしたときに貼리카える防水シートです。アップデートの仕方はWDXCのホームページを参照してください。

電池パック用保護板



- 取扱説明書 (本書)
- 保証書

お
使
い
に
な
る
前
に

- 保証書に、お買い上げの販売店名とお買い上げ日が記入されていることをご確認ください。
- 不足品がある場合には、お買い上げの販売店にお申し出ください。

各部の名称と操作

各部の名前と働き

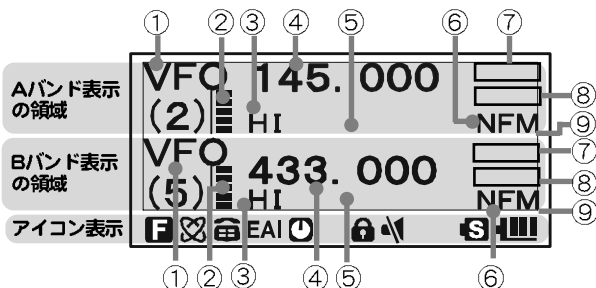
各部の名称と操作



テンキーの説明

キー	短く押したとき		約1秒長く押したとき	[W]を押した後キーを押したとき
	周波数入力時	タグ入力時		
SC-M BND ON (BAND)	周波数帯をUP方向に切り替えます(※p.12, 24)	カーソルが左に移動します	スキャンモードを選択します(※p.56, 58)	周波数帯をDWN方向に切り替えます(※p.12, 24)
EMG R/H (HM/RV)	ホームチャンネルに移行します(※p.40)	—	2秒以上押してエマージェンシー機能を選択します(※p.115)	シフト設定されている周波数でリバース動作になります(※p.30)
TX PO (88)	WIRES運用時に使用するインターネットキーとして動作します。(※p.31) セットモードの切り替えで、よく使うセットモードを呼び出すマイキーが動作します(工場出荷時:P20 DC VOLTAGE)(※p.157)	—	—	送信出力を切り替えます(※p.27)
STEP 1	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「1」を入力します	数字の「1」、かなの「あ行」を入力します	—	ステップ(STEP)を切り替えます(※p.28)
CODE (2ABC)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「2」を入力します	数字の「2」、欧文「A」「B」「C」の大文字小文字、かなの「か行」を入力します	—	トーン周波数、DCSコード、ベージャークード、メッセージを切り替えます
DTMF (3DEF)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「3」を入力します	数字の「3」、欧文「D」「E」「F」の大文字小文字、かなの「さ行」を入力します	—	DTMFメモリーを選択します(※p.130)
ARTS (4GHI)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「4」を入力します	数字の「4」、欧文「G」「H」「I」の大文字小文字、かなの「た行」を入力します	—	アーツ(ARTS)機能を選択します(※p.134)
SKIP (5JKL)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「5」を入力します	数字の「5」、欧文「J」「K」「L」の大文字小文字、かなの「な行」を入力します	—	スキップオンリー(SKIP)機能を選択します(※p.59)
RPT (6MNO)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「6」を入力します	数字の「6」、欧文「M」「N」「O」の大文字小文字、かなの「は行」を入力します	—	レピーターシフト(RPT)機能を選択します(※p.30)
MUTE (7PQ)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「7」を入力します	数字の「7」、欧文「P」「Q」「R」「S」の大文字小文字、かなの「ま行」を入力します	—	ミュート(MUTE)機能を選択します(※p.27)
SP-ANA (8TUV)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「8」を入力します	数字の「8」、欧文「T」「U」「V」の大文字小文字、かなの「や行」を入力します	—	スペクトラムスコープ(SP-ANA)機能を選択します(※p.123)
SP-BNK (9XYZ)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「9」を入力します	数字の「9」、欧文「W」「X」「Y」「Z」の大文字小文字、かなの「ら行」を入力します	—	スペシャルバンク(SP-BNK)機能を選択します(※p.48)
SUB OP (0)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「0」を入力します	数字の「0」、かなの「わ、を、ん」を入力します	—	サブバンドオペレーション機能(SUB OP)を選択します(※p.29)
SPS SQ TYP (MODE)	電波型式を切り替えます AUTO/NFM/AM (工場出荷時:AUTO)	カーソルが右に移動します	スペシャルサーチ機能を選択します(※p.120, 122)	スケルチタイプを切り替えます(※p.136)
DW MT (V/M)	VFOモードとメモリーモードを切り替えます(※p.40) (VFOモードとは、DIALツマミで周波数を直接選択できる状態をいいます)	—	デュアルレシーブ機能を選択します(※p.128)	メモリー運用時に一時的に周波数を変更するメモリーチューンとして動作します(※p.41)

ディスプレイの説明



- ① VFOモード/MR(メモリー)モード等を表示します。
- ② 音量ボリューム棒グラフを表示します。
- ③ 送信出力のアイコンを表示します。
- ④ 周波数を表示します。
- ⑤ S/POメーターを表示します。

- ・ Sメーター: 電波の強さを9段階で表示します。
- ・ POメーター: 送信出力を4段階で表示します。

HI: ハイパワー (5W)

L3: LOW3 (2.5W)

L2: LOW2 (1W)

L1: LOW1 (0.05W)

- ⑥ 運用モード(電波型式)を表示します。

- ⑦ ・ スケルチタイプを表示します (p.136)。

TN: トーンエンコーダーがオンの時に点灯

TSQ: トーンスケルチがオンの時に点灯

DCS: DCSがオンの時に点灯

RTN: リバーストーンの時に点灯

JR: JR空線スケルチがオンの時に点灯

PR: 空線スケルチがオンの時に点灯

PAG: ページャーがオンの時に点灯

MSG: メッセージ機能がオンの時に点灯

- ・ APRSボーレートを表示します (p.71)。

- ⑧ ・ レピーター運用時にシフト方向を表示します (p.30)。

: マイナスシフト

: プラスシフト

: スプリット運用

- ・ ベル機能がオンのときに を表示します (p.140)。

- ・ ATT機能がオンのときに を表示します (p.154)。

- ⑨ バイプレーター機能が動作中に実線(—)または破線(---)が表示されます。

実線(—): BUSY/バイプレーター機能 (p.139)

破線(---): SIGNALING/バイプレーター機能 (p.139)

短破線(---): APRS MSG/バイプレーター機能 (p.96)

アイコンの説明

アイコン	動作説明	アイコン	動作説明
	ファンクションキーを押したときに点灯します。	HI	送信出力を表示します (p.27)。 HI: HIGH POWER (5W) L3: LOW3 POWER (2.5W) L2: LOW2 POWER (1W) L1: LOW1 POWER (0.05W)
	Wi-Fiなどのインターネット通信時に点灯します (p.31)。		
	DTMF機能がオンのときに点灯します (p.36, 130)。		
EAI	EAI機能がオンのときに点灯します (p.116)。		
	APC機能が動作しているときに点灯します (p.150)。		バッテリーの状態を表示します。 : 十分使えます。 : まだ使えます。 : 残りわずかです。 : 空になりました。充電してください。 : すぐに充電してください。(点滅)
	LOCK機能が動作しているときに点灯します (p.29)。		
	ミュートがオンのときに点灯します (p.27)。		
	バッテリーセーブ機能が動作中(セーブ中)に点滅します (p.178)。		

音声をミュートする

デュアル受信の時に、AバンドとBバンドの音声重複して聞きづらいときは、操作バンド以外のバンドの音声をミュートすることができます。

1. を押してから を押します。

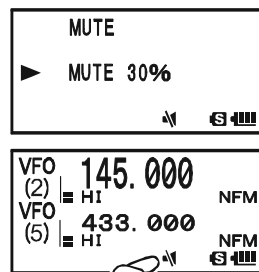
セットモード『57 MUTE』のショートカットになります。


2. DIALツマミをまわしてミュートを選択します。

MUTE 30%, MUTE 50%, MUTE 100%, OFFを選択することができます。操作バンド以外のバンドの音声を数字が大きくなるほどミュートします。

3. を短く押してセットモードを終了します。

ミュートを解除するには、手順5.の項目を「OFF」にします。



- ミュート機能がオンでも操作バンドに信号がないときには、ミュートしません。
- ミュート機能がオンのときには“”が表示されます。



送信出力を切り替える

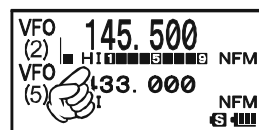
VX-8Gの送信出力は最大5Wですが、距離の近い相手と交信するときや、バッテリーの消耗を抑えるときには、送信出力を下げるすることができます。


電源の種類ごとの送信出力は右のとおりです。

電池の種類	HI (ハイパワー)	L3	L2	L1
電池パック	5W	2.5W	1W	0.05W
外部電源 (DC13.8V)				
乾電池ケース (アルカリ乾電池)			1W	0.05W

を押してから を押します。

ディスプレイに“”が点灯中 を押すたびに、送信出力が切り替わり、送信出力に応じたアイコンとPOメーターがディスプレイに表示され、さらに周波数が表示されている部分に約2秒間現在のパワー（表示例、HIGH POWER）を表示します。



- [A]バンドと[B]バンドを個別に送信出力を設定することができます。
- バッテリーの消耗を抑えるためにも、必要最低限の送信出力で使用してください。
- 送信出力を下げていても、を押した後、PTTスイッチを押すとハイパワーで送信できます（一時ハイパワー送信）。
- お買い上げ時の状態では「ハイパワー」に設定されています。

スケルチのレベルを調節する

信号が入感していないときに出る、耳障りなノイズを消すことができます。

AバンドまたはBバンド独立してスケルチを調節することができます。

受信しているモード(NFM/AM)のスケルチを調節することができます。

スケルチレベルを上げるとノイズは消えやすくなりますが、弱い電波が入感しなくなることがありますので、必要に応じて調節してください。

1. スケルチレベルを調節したいバンドを操作バンドに設定します。

Aバンドのスケルチを調節する場合は **[A▲]** を押します。

Bバンドのスケルチを調節する場合は **[B▼]** を押します。

2. **[BW]** を押した後に **[MONI/TCALL]** を押します。

スケルチのレベルを表示します。

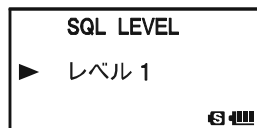
3. DIALツマミをまわしてレベルを調節します。

“レベル 0”～“レベル 15”まで調節できます(工場出荷時:レベル 1)。

4. **[MONI/TCALL]** を押して完了します。

○ **[MONI/TCALL]** を押している間、Aバンド、Bバンド両方のスケルチをオフの状態にすることができます。

○ AバンドとBバンドを個別に設定することができます。



マニュアルでステップを切り替える

自動的に受信周波数に応じた最適なステップに切り替わる“AUTO(ステップ)”に設定されていますが、マニュアルで周波数ステップを切り替えることができます。

1. **[BW]** を押した後に **[STEP 1]** を押します。

2. DIALツマミをまわして希望のステップを選択します。

AUTO/5/6.25/(8.33)/10/12.5/15/20/25/50/100 kHz

のステップから選択できます。

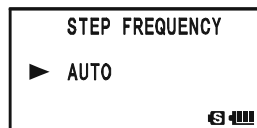
通常は、AUTOに設定しておくことをおすすめします。

3. **[STEP 1]** を押して完了します。

○ セットモードの『89 STEP FREQUENCY』により、ステップを切り替えることもできます。

○ 108MHz～136.991MHzのAirバンド周波数は、8.33kHzステップも選択できます。

○ 250MHz～300MHzと580MHz以上の周波数は、5kHz、6.25kHzと15kHzのステップ設定をすることはできません。



マニュアルでモードを切り替える

自動的にバンド(周波数帯)に適したモードに切り替わる“**AUTO**”(オートモード)に設定されていますが、マニュアルでモード(電波型式)を切り替えることができます。

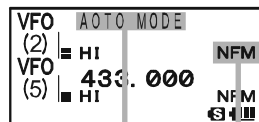
SPS SQ TYP

MODE

を短く押すたびにモードが切り替わります。

AUTOのときは周波数表示部分に“**AUTO MODE**”を約1秒表示します。

通常は、AUTOに設定しておくことをおすすめします。



約1秒間表示します

モードを表示します

表示	動作状態
AUTO	自動的に周波数帯に適したモードに切り替えます
NFM	現在選択しているバンドのみ、NFM(FMモード)に切り替えます
AM	現在選択しているバンドのみ、AMモードに切り替えます

○ セットモードの『72 RX MODE』により、モードを切り替えることもできます。

○ 144MHz帯、430MHz帯のアマチュアバンドでAMのモードに選択してあっても、FMモードで送信されます。

サブバンドを操作バンドとして使用する

デュアル受信時に、サブバンドをダイヤル操作やキー操作ができる操作バンド(サブバンドオペレーション機能)に変更することができます。

[W]

を押してから

SUB OP

0

を押します。

サブバンドの“VFO”, “MR”等が点滅します。

サブバンドオペレーション機能を解除するには、

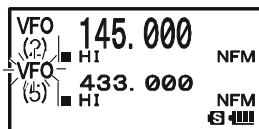
[W]

を押してから

SUB OP

0

を押します。



○ サブバンドオペレーション機能は、PTTスイッチの操作はできません。

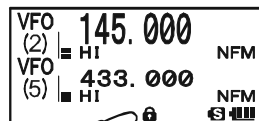
状態が変わらないようにロックする

誤って周波数などが変わってしまったりしないように、PTTスイッチ以外のキーまたはスイッチとDIALをロックします。

。⑤を短く押します。

ロックを解除するときはもう一度、⑤を短く押します。

ロックされているときには、“**🔒**”がディスプレイに表示されます。



○ セットモードの『46 LOCK』により、DIALやPTTスイッチをロックするように設定することができます。

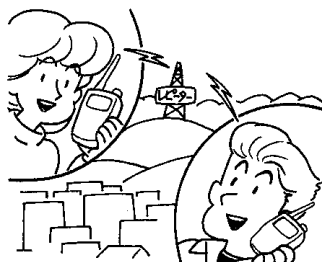
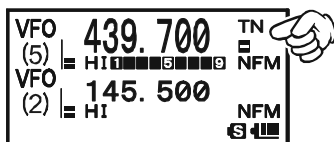
レピータ運用 / WiRES 運用

レピータで交信する

ARS (Automatic Repeater Shift) 機能により、受信周波数をレピータの周波数 (439.000~440.000MHz) に合わせるだけで、自動的にレピータを使った交信ができます。

1. 受信周波数をレピータの周波数に合わせます。

ディスプレイの右下部に“TN ■”の表示が点灯します。



2. PTTスイッチを押しながら送信します。

送信時は88.5Hzのトーン信号を伴いながら受信周波数より5MHz低い周波数で電波が発射されます。

88.5Hz以外のトーン信号を使用しているレピータで交信する

1. 受信周波数をレピータの周波数に合わせます。

2. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして『91 TONE FREQUENCY』を選択します。

4. **[MENU]** を短く押します。

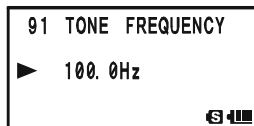
5. DIALツマミをまわして希望のトーン周波数を選択します。

6. **[MENU]** を1秒以上押します。

トーン周波数が設定され、もとの表示に戻ります。

7. PTTスイッチを押しながら送信します。

送信時は設定したトーン信号を伴いながら受信周波数より5MHz低い周波数で電波が発射されます。



- 手順2. ~ 4. の代わりに、**[BW]** を押した後 ^{CODE} **[2ABC]** を押すことでも、トーン周波数を呼び出すことができます (『91 TONE FREQUENCY』のショートカットになります)。
- メモリーに登録することができます (メモリーに書き込む: ^{EMO} p.39)。

- **[BW]** を押した後 ^{EMO R/H} **[HM/RV]** を押すと“リバーズ”になり、送信と受信の周波数を一時的に反転し (■ が点滅する)、相手局と直接交信できるかを確認することができます。
リバーズを解除するには、**[BW]** を押した後 ^{EMO R/H} **[HM/RV]** を押します。

- セットモードの『69 RPT ARS』により、ARS機能の動作をオフにすることができます。
- セットモードの『70 RPT SH-F』により、レピータのシフト方向を設定することができます。
セットモードの『70 RPT SH-F』は、**[BW]** を押した後 ^{RPT} **[6MM]** を押すことでも呼び出すことができます。
- セットモードの『71 RPT SH-FREQ』により、レピータのシフト幅を変更することができます。

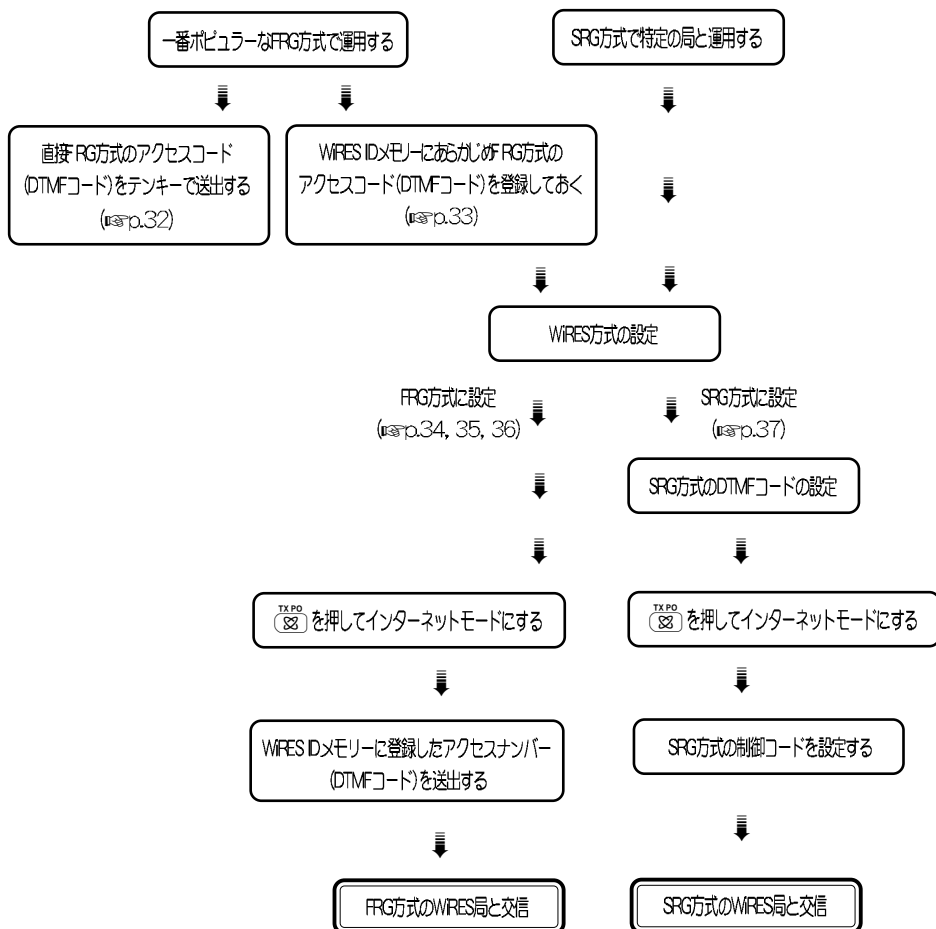
WiRESで交信する

以下の操作方法で、簡単にWiRES局を利用したインターネット通信を行なうことができます。ローカルQSOと同じようにVX-8Gを使用して、北海道から沖縄、そして海外にいるアマチュア無線の仲間と、インターネットを通じて通信することができます。

あらかじめ、お近くのWiRES局のアクセスコードや周波数を、八重洲無線のホームページ(<http://www.yaesu.com/jp/>)などでご確認ください。

なおWiRESには、不特定多数の相手と交信を行う“FRG方式”と、特定の相手局と通信を行う“SRG方式”があります。

■WiRESでの交信操作の流れ



WiRESで交信する(つづき)

VX-8Gは以下の操作方法で、簡単にWiRES局を利用したインターネット通信を行なうことができます。あらかじめお近くのWiRES局のアクセスコードや周波数を八重洲無線のホームページ(<http://www.yaesu.com/jp/>)等でご確認ください。

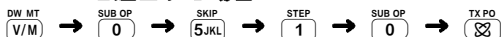
■FRG方式のWiRES局を手動でアクセス

FRG方式のWiRES局をアクセスするには、ローカルのWiRES局に対して、インターネットを介して接続したいWiRES局のアクセスコード(6桁のDTMF信号)を送出することでアクセスすることができます。アクセスコードは八重洲無線のホームページ(<http://www.yaesu.com/jp/>)等で一般利用者向けに「WiRES ID リスト」として公開されております。

WiRESを運用する前に、周波数とアクセスコードを確認してください。

1. アクセスコードを確認後、よく使用するアクセスコードをPTTスイッチを押しながらテンキーで直接DTMFコードを送出してWiRESをアクセスします。

例) #05100を送出する場合



2. WiRESが接続されたら、PTTスイッチを押したままマイクに向かって話します。
3. 交信を終了するときは、PTTスイッチを押しながらテンキーで切断コード(#99999または#99990)を送出します。

送出する前に下記の設定を確認してください。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『35 INT MANUAL/AUTO』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. DIALツマミをまわして、「手動」に設定します。
工場出荷時:手動
5. **[MENU]** を1秒以上押します。



■FRG方式のWiRES局を自動でアクセス

よく使用するアクセスコードを登録しておくと、自動でアクセスコードを送出することができます。アクセスコード以外にWiRES局のコールサインやコード名を入力することができますので、スムーズに運用することができます。
登録しておくことをおすすめします。

FRG方式にはWiRES局をアクセスする方法として、3種類の方法があります。

- ① **[TX PO]** を押しながらDIALツマミをまわしてアクセスコードを選択する方法 (p.34)
- ② **[TX PO]** を押した後DIALツマミをまわしてアクセスコードを選択する方法 (p.35)
- ③ 直接テンキー (**[STEP 1]** (1) ~ **[SUB OP 0]** (10)) を押してアクセスコード (WiRES IDメモリー1 ~ WiRES IDメモリー10) を選択する方法 (p.36)

WiRESで交信する(つづき)

WiRESのFRG方式で使用するアクセスコードの登録

あらかじめアクセスコードと切断コード(#9999Dまたは#99999)をWiRES IDメモリーに登録しておきます。WiRES IDメモリーは64メモリー(1~64)登録することができ、メモリーできるDTMFコードは数字、英文字(A, B, C, D)、記号(*, #)です。

- アクセスコードのDTMFコードは最大8文字、アクセスコードの名前は最大8文字登録することができます。
- DTMFコードに“—”を入れると一文字分のスペースを入れることができます。
- アクセスコードと名前はテンキーでも入力可能です。
- アクセスコードの名前に登録できる文字は126ページの“文字一覧表”を参照してください。
- アクセスコードは A, B, C, D, *, #, —, 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 の文字が入力可能です。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL**ツマミをまわして『40 INTERNET SELECT』を選択します。

3. **[MENU]**を短く押します。

4. **DIAL**ツマミをまわして、WiRES IDメモリー番号を選択します。

WiRES IDメモリー番号(1~64)の上に“▼”のカーソルが点灯します。

5. **[MODE]**を短く押します。

“▼”のカーソルが右へ移動します。

アクセスコードに名前を付けない場合は^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を短く押します。

6. **DIAL**ツマミをまわしてアクセスコードの名前を入力します。

7. ^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を短く押して次の桁へ“▼”のカーソルを移動します。

^{SC-M BND DN}**[BAND]**を押すとカーソルの位置を一桁前に戻すことができます

8. 手順6~7を繰り返して、名前を入力します(最大8文字)。

9. ^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を短く押します。

“▼”のカーソルが右へ移動します。

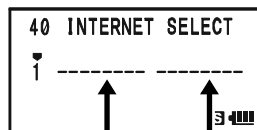
10. **DIAL**ツマミをまわして(テンキーでも入力可能)DTMFのアクセスコードを入力します。

11. ^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を短く押して次の桁へカーソルを移動します。

^{SC-M BND DN}**[BAND]**を押すとカーソルの位置を一桁前に戻すことができます。

12. 手順10.~11.を繰り返して、アクセスコードを入力します(最大8文字)。

13. **[MENU]**を1秒以上押すとアクセスコードの名前とアクセスコードが登録されセットモードを終了します。




アクセスコードの名前を入力
DTMF アクセスコードを入力



- アクセスコードを登録後、上記の手順1~手順4の操作を行い^{ENG R/N}**[HW]**短く押すとDTMF音で確認することができます。
- アクセスコードや名前を入力中に^{ENG R/N}**[HW]**を1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。

WiRESで交信する(つづき)

① ローカルのWiRES局をアクセスする (FRG方式)

セットモードの『40 INTERNET SELECT』で登録したWiRES IDメモリーを送出する方法を設定します。を押しながらDIALツマミをまわしてアクセスコードを選択します。

1. あらかじめアクセスコードと切断コードをWiRES IDメモリーに登録しておきます。

WiRES IDメモリーの登録方法は、33ページの「WiRESのFRG方式で使用するアクセスコードの登録」を参照してください。

2. を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして『39 INTERNET MODE』を選択します。

4. を短く押します。

5. DIALツマミをまわして「FRG」を選択します。

(工場出荷時:FRG)

6. を短く押します。

7. DIALツマミをまわして『38 INTERNET KEY』を選択します。

8. を短く押します。

9. DIALツマミをまわして「インターネット」を選択します。

(工場出荷時:インターネット)。


10. を短く押します。

11. DIALツマミをまわして『36 INTERNET』を選択します。

12. を短く押します。

13. DIALツマミをまわして「ON」を選択します。

(工場出荷時:OFF)


ディスプレイの左下に“”が表示します。

14. を1秒以上押してセットモードを終了します。

15. ローカルのWiRES Node局の周波数に合わせます。

16. を押したままでDIALツマミをまわして、送りたいアクセスコードを選択します。

○ 希望のWiRES IDメモリー番号(1~64)を選択してください。

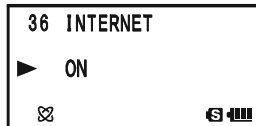
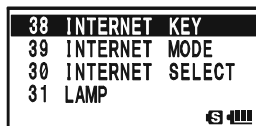
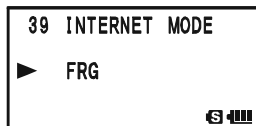
○ を押すと、周波数表示に戻ります。

17. PTTスイッチを短く押すと選択したアクセスコードが送出されます。

18. WiRESが接続されたら、PTTスイッチを押したままマイクに向かって話します。



インターネットを介してWiRES局をアクセスすることができますので、あとは、一般の交信と同様に行ないます。





19. 交信を終了するときは、を押したままDIALツマミをまわし、切断コード(#99999または#99990)を選択した後、PTTスイッチを押して切断コードを送出します。



WiRESで交信する(つづき)

② ローカルのWiRES局をアクセスする (FRG方式)

「インターネット」と「インターネットCH」の大きな違いは、「インターネット」は^{TX PO}()を押しながらDIALツマミをまわしてアクセスコードを選択しますが、「インターネットCH」は^{TX PO}()を押した後にDIALツマミをまわしてアクセスコードを選択します。

- あらかじめアクセスコードと切断コードをWiRES IDメモリーに登録しておきます。
WiRES IDメモリーの登録方法は、33ページの「WiRESのFRG方式で使用するアクセスコードの登録」を参照してください。
- MENU** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
- DIALツマミをまわして『39 INTERNET MODE』を選択します。
- MENU** を短く押します。
- DIALツマミをまわして「FRG」を選択します。
(工場出荷時:FRG)
- MENU** を短く押します。
- DIALツマミをまわして『38 INTERNET KEY』を選択します。
- MENU** を短く押します。
- DIALツマミをまわして「インターネットCH」を選択します
(工場出荷時:インターネット)。
- MENU** を短く押します。
- DIALツマミをまわして『36 INTERNET』を選択します。
- MENU** を短く押します。
- DIALツマミをまわして「ON」を選択します。
(工場出荷時:OFF)
ディスプレイの左下に“”が表示します。
- MENU** を1秒以上押してセットモードを終了します。
- ローカルのWiRES局の周波数に合わせます。
- ^{TX PO}() を短く押した後、アクセスコードが表示されます。
- DIALツマミをまわして送出したいアクセスコードを選択します。
○ 希望のチャンネル(1~64)を選択してください。
○ () を短く押すと、周波数表示に戻ります。
- PTTスイッチを短く押すと選択したアクセスコードが送出されます。
- WiRESが接続されたら、PTTスイッチを押したままマイクに向かって話します。
インターネットを介してWiRES局をアクセスすることができますので、あとは、一般の交信と同様に行ないます。
- 交信を終了するときは、^{TX PO}() を短く押した後、DIALツマミをまわして、切断コード(#99999または#9999D)を選択し、PTTスイッチを押すと切断コードを送出します。


39 INTERNET MODE
40 INTERNET SELECT
41 LAMP
42 LANGUAGE

39 INTERNET MODE
▶ FRG

38 INTERNET KEY
39 INTERNET MODE
30 INTERNET SELECT
31 LAMP

38 INTERNET KEY
▶ インターネットCH

36 INTERNET
37 INTERNET CODE
38 INTERNET KEY
39 INTERNET MODE

36 INTERNET
▶ ON


WiRESで交信する(つづき)

③ ローカルのWiRES局をアクセスする (FRG方式)

よく使用するWiRES IDメモリーをWiRES IDメモリー1～WiRES IDメモリー10に登録しておき、直接テンキー(^{STEP}1 (1) ～ ^{SUB OP}0 (10)) を押してアクセスコードを送出することができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『39 INTERNET MODE』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

4. DIALツマミをまわして「FRG」を選択します。
(工場出荷時:FRG)

5. **[MENU]** を短く押します。

6. DIALツマミをまわして『35 INT MANUAL/AUTO』を選択します。

7. **[MENU]** を短く押します。

8. DIALツマミをまわして、「自動」に設定します。

工場出荷時:手動

ディスプレイの左下に“Ⓔ”が点灯します。

9. **[MENU]** を短く押します。

10. DIALツマミをまわして『36 INTERNET』を選択します。

11. **[MENU]** を短く押します。

12. DIALツマミをまわして「ON」を選択します。
(工場出荷時:OFF)

ディスプレイの左下に“Ⓕ”が表示します。

13. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。

14. ローカルのWiRES局の周波数に合わせます。

15. PTTスイッチを押しながらテンキーを短く押した後、アクセスコードが送出されます。

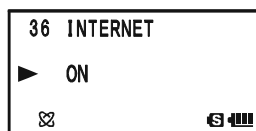
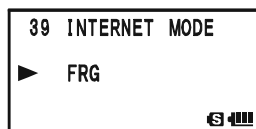
希望のチャンネル(^{STEP}1 (1) ～ ^{SUB OP}0 (10)) を選択してください。

16. WiRESが接続されたら、PTTスイッチを押したままマイクに向かって話します。

インターネットを介してWiRES局をアクセスすることができますので、あとは、一般の交信と同様に行ないます。

17. 交信を終了するときは、PTTスイッチを押しながら、切断

コード (#99999または#9999D) を登録してあるテンキーを押して切断します。



■SRG方式のWiRES局をアクセスする

SRG方式のWiRES局をアクセスするには、ローカルのWiRES局に対して、インターネットを介して接続したいWiRES局のアクセスコード（1桁のDTMF信号）を送出することでアクセスすることができます。あらかじめ、WiRES局の周波数とアクセスコードを確認してください。

ローカルのWiRES局をアクセスする（SRG方式）

1. **MENU** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『39 INTERNET MODE』を選択します。
3. **MENU** を短く押します。
4. DIALツマミをまわして『SRG』を選択します。
(工場出荷時:FRG)
5. **MENU** を短く押します。
6. DIALツマミをまわして『38 INTERNET KEY』を選択します。
7. **MENU** を短く押します。
8. DIALツマミをまわして『インターネット』を選択します
(工場出荷時:インターネット)。
9. **MENU** を短く押します。
10. DIALツマミで『37 INTERNET CODE』を選択します。
11. **MENU** を短く押します。
12. DIALツマミで送りたいアクセスコード（DTMFコード
“DTMF 0～9”, “DTMF A～D”, “DTMF *”, “DTMF #”）を表示させます。
13. **MENU** を1秒以上押してセットモードを終了します。
14. **TX PO** **⊗** を短く押しWiRESモードにします。
ディスプレイの左下に“⊗”が表示します。
15. ローカルのWiRES局の周波数にあわせます。
16. PTTスイッチを押してアクセスコードを送出後、PTTスイッチを押したままマイクに向かって話します。
PTTスイッチを押すと、自動的にアクセスコードが送出されます。
17. PTTスイッチを押すたびに、手順12.でセットしたアクセスコードが送出され、インターネットを介してWiRES局をアクセスすることができます。

インターネットモードをオフにするには **TX PO** **⊗** を押します。

39 INTERNET MODE
40 INTERNET SELECT
41 LAMP
42 LANGUAGE

39 INTERNET MODE
▶ SRG

38 INTERNET KEY
39 INTERNET MODE
30 INTERNET SELECT
31 LAMP

38 INTERNET KEY
▶ インターネット

37 INTERNET CODE
38 INTERNET KEY
39 INTERNET MODE
40 INTERNET SELECT

37 INTERNET CODE
▶ DTMF 1

メモリーを使う

多彩なメモリー機能

VX-8Gには、通常のメモリー900チャンネル(メモリー番号1～900)の他に、

- ◎ 各周波数帯ごとに独立した、ワンタッチ呼び出し可能な“ホームチャンネル” (図p. 40)
- ◎ 各地域に合わせてチャンネルを選択できる鉄道無線 (19チャンネル)、国際VHF (マリン) 無線 (57チャンネル)、特定小電力無線 (20チャンネル)、ワイヤレスマイク (13チャンネル)、救急/消防無線 (20+85チャンネル) などの“スペシャルバンク” (図p. 48～p. 55)
- ◎ 受信したくない周波数をVFOスキャン中にスキップさせる99 (901～999) チャンネルの“スキップサーチメモリー” (図p. 57)
- ◎ 50組 (L01/U01～L50/U50) の“プログラマブルメモリスキャン (PMS) 用メモリーチャンネル” (図p. 62)
- ◎ 自分の行方を仲間に検索してもらうための“EAI専用メモリー” (図p. 116)

を搭載しております。

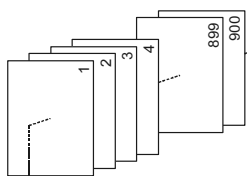
なお、通常のメモリーチャンネルとホームチャンネルおよびPMSメモリーチャンネルには、各チャンネルごとに個別に、運用周波数の他に、運用モード(電波型式)やその他の運用情報などのデータも同時にメモリーすることができます。

- メモリスキャン情報
- 運用周波数
- メモリータグ
- トーン情報
- 空線スケルチ情報
- 送信出力
- 運用モード
- レピータ情報
- DCS情報

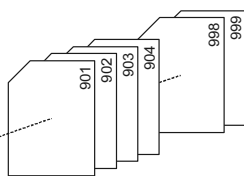
上記で紹介しましたメモリーを使用目的ごとのバンクに分けて整理することができます。VX-8Gでは24種類のメモリーバンクに分けておくことができ、1つのメモリーバンクには最大100個のメモリーチャンネルを登録することができます。また、メモリーバンクに半角の場合最大16文字の名前を付けることができます (図p. 46)。

VX-8Gのメモリー構成

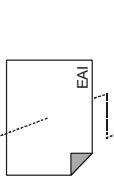
メモリーチャンネル
(900チャンネル)



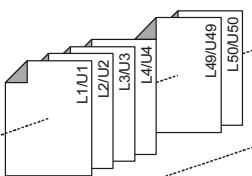
スキップサーチメモリー
(99チャンネル)



EAIチャンネル
(1チャンネル)



PMS用メモリー
(50組)



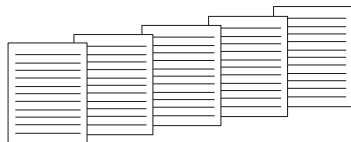
ホームチャンネル
(7チャンネル)



メモリーバンク
(24バンク)

各バンドごとに最大100チャンネル登録可能


スペシャルバンク



- 鉄道無線のプリセットメモリー (19チャンネル)
- 国際VHF (マリン) (57チャンネル)
- 特定小電力のプリセットメモリー (20チャンネル)
- ワイヤレスマイク (13チャンネル)
- 救急/消防のプリセットメモリー (20+85チャンネル)

メモリーに書き込む

VX-8Gには900チャンネル(メモリー番号1~900)のメモリーがあります。





1. VFOモードにします(メモリーモードの時は^{DW MT}を押します)。

2. メモリーする周波数をDIALツマミで選択します。

3. を1秒以上押します。

- 書き込みモードになり、以前書き込んだメモリー番号の次のメモリー番号がディスプレイに点滅します。
- PTTスイッチを押すと、書き込みモードをキャンセルすることができます。

4. メモリーチャンネルを指定して書き込む場合は、DIALツマミをまわして希望するメモリーチャンネルを選択します。

- 未登録のメモリーチャンネルは左側にが点灯し、メモリーチャンネルが点滅します。
- すでに登録してあるメモリーチャンネルには、メモリーチャンネルの左側にが点灯します。登録してあるメモリーチャンネルに上書きしようとする、ディスプレイに“上書きOK?”が表示され、上書きしてよいが警告が表示されます。よい場合は短く押してください。
- を押すたびに100チャンネルステップで早送りすることができます。

5. を短く押してメモリー書き込みを完了します(もとの周波数表示に戻ります)。



- メモリーチャンネル1にあらかじめ145.000MHzが登録されています。上書きすることはできません。
- すでに登録されているメモリーチャンネルに再度書き込み操作を行うと、新しい周波数に書き替えることができます。また、次回メモリーの書き込みをするときは、何も登録されていないメモリーチャンネルが呼び出されます。
- セットモードの『51 MEMORY WRITE』により、メモリー書き込み時に何もメモリーされていない最も小さい番号のメモリー番号を表示することができます。
- セットモードの『49 MEMORY PROTECT』により、すべてのメモリーを書き込み禁止にすることができます。


⚠ 注意 ⚠

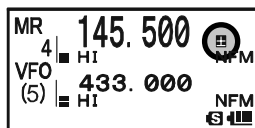
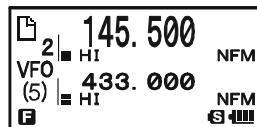
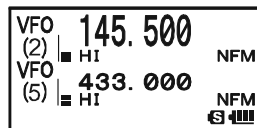
メモリーした内容は、誤操作や静電気または電氣的雑音を受けたときに消失する場合があります。また、故障や修理の際にも消失する場合がありますので、メモリーした内容は、必ず紙などに控えておくようにしてください。

スプリットメモリー

1つのメモリーチャンネルに異なる受信周波数と送信周波数を登録することができます。

1. 上記の“メモリーを書き込む”に従い、受信周波数をメモリーします。
2. VFOモードで送信周波数を選択します。
3. を1秒以上押します。
4. DIALツマミをまわして、受信周波数をメモリーしたチャンネル番号を選択します。
5. PTTスイッチを押しながらを短く押します。

異なる受信周波数と送信周波数を登録したメモリーチャンネルは、メモリーを呼び出したとき、ディスプレイにが表示されます。



メモリーを呼び出す

1. メモリーモードにします(VFOモードの時は ^{DW MT} **[V/M]** を押します)。

最後に使用したメモリーチャンネルが呼び出されます。

2. DIALツマミをまわして呼び出すメモリーチャンネルを選択します。

[QW] を短く押した後にDIALツマミをまわすと、10チャンネルづつ早送りすることができます(工場出荷時)。セットモードの『47 MEMORY FAST STEP』により、早送りのチャンネルを変更することができます。

^{DW MT} **[V/M]** を押すと、VFOモードに戻り、メモリーモードに移行する前に選択していた周波数になります。

テンキーでメモリーチャンネル番号を入力し、^{DW MT} **[V/M]** を押すことで呼び出すこともできます。(例: ^{STEP} **[1]** ^{SKIP} **[5JUL]** ^{DW MT} **[V/M]**)

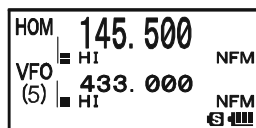
- DIALツマミをまわしたときは、周波数書き込まれていないメモリーチャンネルはスキップされます。
- 工場出荷時には、メモリーチャンネル1にデュアルレシーブの優先チャンネルとして使用されるブライオリティメモリーチャンネルが設定されており、メモリー番号の右上に“P”の表示が点灯します(※p. 128)。
- **[QW]** を1秒押した後に ^{DW MT} **[V/M]** を押すと、“上書きOK?”がディスプレイに表示され、^{DW MT} **[V/M]** を押すとメモリーチャンネルの内容を操作バンドのVFOに転送します(メモリー→VFO転送)。
- メモリーモードだけで運用することもできます。^{DW MT} **[V/M]** を押しながら **[Q]** を押して電源をオンにすると、メモリーチャンネルだけを使う状態(メモリーオンリーモード)になります。もう一度 ^{DW MT} **[V/M]** を押しながら **[Q]** を押して電源をオンにすると、メモリーオンリーモードは解除されます(※p. 155)。

ホームチャンネルを呼び出す

^{EMG R/H} **[HM/RV]** を短く押します。

- ^{EMG R/H} **[HM/RV]** を押したときに選択されていた周波数帯のホームチャンネル(下表)が呼び出されます。
- DIALツマミをまわして周波数を選択するとVFOモードに戻ります。

もう一度 ^{EMG R/H} **[HM/RV]** を押すと、ホームチャンネルを呼び出す前に選択していた周波数になります。



周波数帯	周波数	周波数帯	周波数
航空無線帯 [1]	108.000MHz	430MHz帯 [5]	433.000MHz
144MHz帯 [2]	145.000MHz	TV-UHF放送帯 [6]	481.750MHz
TV-VHF放送帯 [3]	175.750MHz	情報無線帯(2) [7]	859.000MHz
情報無線帯(1) [4]	379.000MHz	-	-

ホームチャンネルの周波数を変更する

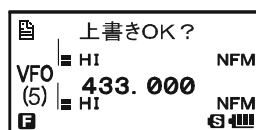
ホームチャンネルの周波数を変更することができます。

1. VFOモードにします。
2. 変更したい周波数をDIALツマミで選択します。
3. **[QW]** を1秒以上押して書き込みモードにします。
4. ^{EMG R/H} **[HM/RV]** を短く押します。

ディスプレイに約1秒間“上書きOK?”が表示されます。

5. 再度 ^{EMG R/H} **[HM/RV]** を短く押すと書き込みが終了します。

変更した周波数の周波数帯におけるホームチャンネルが変更されます。



メモリーチューン機能 —メモリーチャンネルの内容を一時的に変える—

呼び出したメモリーチャンネルの内容を一時的に変更することができます。

1. メモリーモードで、**[G W]**を短く押した後に^{DW MT}**[V/M]**を短く押すと、メモリーチューン機能が動作し、ディスプレイに“TUN”が表示されます。
2. DIALツマミをまわして、一時的に周波数を変更することができます。
3. **[G W]**を短く押した後に^{DW MT}**[V/M]**を短く押すと、メモリーチューン機能が動作する前のチャンネルに戻ります。



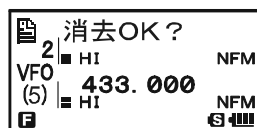
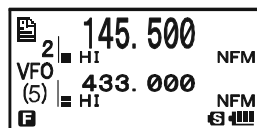
- メモリーチューンのときに^{DW MT}**[G W]**を1秒以上押した後^{DW MT}**[V/M]**を短く押すと、“上書きOK?”がディスプレイに表示され、^{DW MT}**[V/M]**を押すと一時的に変更している周波数が操作バンドのVFOに転送され、VFOモードで運用することができます。
- メモリーチューン機能はメモリーチャンネル“901～999”と“EA”では、動作しません。

メモリーを消す

1. メモリーモードにします (VFOモードの時は^{DW MT}**[V/M]**を押します)。
2. **[G W]**を1秒以上押します。
3. DIALツマミをまわして、消したいメモリーチャンネルを選択します。
4. ^{TX PO}**[X]**を短く押します。
ディスプレイに約3秒間“消去OK?”の警告が表示されます。
[G W]を押すとメモリーの消去をキャンセルすることができます。
5. 消してよければ^{TX PO}**[X]**を短く押します。

消去は完了します。

続けて他のメモリーを消すには、手順2から手順5.を繰り返します。



- プライオリティメモリーチャンネルに指定されているメモリーを消去することはできません。消去する場合は、プライオリティの設定を他のメモリーに設定してから消去してください。
- メモリーチャンネル1は消去できません。

消したメモリーを復活する

消した直前のメモリーを復活することができます。

1. メモリーモードにします (VFOモードの時は^{DW MT}**[V/M]**を押します)。
最後に使用したメモリーチャンネルが呼び出されます。
2. **[G W]**を1秒以上押した後、DIALツマミをまわして復活したいメモリーチャンネルを選択します。
3. ^{TX PO}**[X]**を短く押します。
メモリーチャンネルが復活します。

メモリータグを使う

■ メモリーに名前をつける

メモリーチャンネル、ホームチャンネルなどにコールサインや放送局名などの名前(メモリータグ)を半角の場合最大16文字(全角8文字)つけることができます。

入力できる文字(文字種)は、英字(大文字 全角/半角, 小文字 全角/半角), 数字(全角/半角), 記号, ひらがな(全角/半角, 濁点/半濁点), カタカナ(全角/半角, 濁点/半濁点), 漢字(約6000文字)があります。

入力方法として, “音読み”または“文字コード”(ディスプレイに表示)で漢字を選択します。さらに漢字以外にも全角文字は“文字コード”が表示され, 英数字, ひらがな, カタカナ, 記号を選択することができます。

「文字コード一覧表」は186ページを参照してください。

入力例は下記を参照してください。

<<例>>「東京クラブ2」を入力する場合

1. メモリーモードにします(VFOモードの時は^{DW MT}_{V/M}を押します)。

2. 名前をつけるメモリーチャンネルを呼び出します。

3. ^{MENU}を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

4. DIALツマミをまわして『48 MEMORY NAME』を選択します。

5. ^{MENU}を短く押します。

ディスプレイに“▼”のカーソルが点灯します。

6. ^{DW MT}_{V/M}を5回押して「漢字」を選択します。

押すごとに下記のように選択できます。

英数字半角(A, 0)⇔カタカナ半角(ア)⇔英数字全角(A, 0)⇔

⇔カタカナ全角(ア)⇔ひらがな(あ)⇔漢字⇔英数字半角(A, 0)に戻る

7. ^{ARTS}_{4GHI}を5回押して「兎(0AC6)」を選択します。

た行の漢字が音読み順に表示されます。

8. DIALツマミをまわして「東(0AEC)」を選択します。

9. ^{SPS SQ TYP}_{MODE}を押して次の桁へカーソルを移動します。

10. ^{CODE}_{2ABC}を2回押して「企(026B)」を選択します。

か行の漢字が音読み順に表示されます。

11. DIALツマミをまわして「京(02FE)」を選択します。

12. ^{SPS SQ TYP}_{MODE}を押して次の桁へカーソルを移動します。

13. ^{DW MT}_{V/M}を4回押して「カタカナ全角(カ)」を選択します。

14. ^{CODE}_{2ABC}を3回押して文字を「ク」に指定します。

^{CODE}_{2ABC}を押すごとに カ→キ→ク→ケ→コ→カへ戻ります。

15. ^{SPS SQ TYP}_{MODE}を押して次の桁へカーソルを移動します。

16. ^{SP BNK}_{9 WX YZ}を1回押して文字を「ラ」に指定します。

^{SP BNK}_{9 WX YZ}を押すごとに ラ→リ→ル→レ→ロ→ラへ戻ります。

17. ^{SPS SQ TYP}_{MODE}を押して次の桁へカーソルを移動します。

48 MEMORY NAME
▼
A, 0

48 MEMORY NAME
▼
東
漢字 0AEC
文字コード

48 MEMORY NAME
▼
東京
漢字 02FE

48 MEMORY NAME
▼
東京ク
ア 068F

48 MEMORY NAME
▼
東京クラ
ア 0E89

メモリータグを使う(つづき)

18. ^{RPT}_(6MNO) を3回押して文字を「フ」に指定します。

^{RPT}_(6MNO) を押すごとに ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ→ハへ戻ります。

19. DIALツマミを右へ1回まわして「ブ」を選択します。

20. ^{SPS SQ TYP}_(MODE) を押して次の桁へカーソルを移動します。

21. ^{DW MT}_(V/M) を5回押して「英数字全角 (A, 0)」を選択します。

22. ^{CODE}_(2ABC) を7回押して文字を「2」に指定します。

^{CODE}_(2ABC) を押すごとに A→B→C→a→b→c→2→Aへ戻ります。

23. ^{MENU} を1秒以上押して完了します。

メモリーチャンネルにメモリータグが書き込まれ、セットモードを終了します。

48 MEMORY NAME

東京クラフ

A 0 A 9 5

48 MEMORY NAME

東京クラブ

A 0 A 9 6

48 MEMORY NAME

東京クラブ2

A, 0 0 5 9 2

○ 文字を修正したいときは、^{SC-M BND DN}_(BAND) (左方向へ移動)または^{SPS SQ TYP}_(MODE) (右方向へ移動)を押して修正したい桁にあわせ、DIALツマミをまわして文字を選択します。

○ 文字を入力中に^{EMG R/N}_(HM/RV)を1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。

○ ^{DW MT}_(V/M) : 文字種を変更します。

○ “ひらがな”、“カタカナ”及び“漢字”(音読み)は、^{STEP}₍₁₎あ行、^{CODE}_(2ABC)か行、^{DTMF}_(3DEF)さ行、^{ARTS}_(4GHI)た行、^{SKIP}_(5JKL)な行、^{RPT}_(6MNO)は行、^{MUTE}_(7RS)ま行、^{SPS BND}_(8TUV)や行、^{SP BND}_(9YZ)ら行、^{SUB OP}₍₀₎わ行で呼び出すことができます。

○ 半角で濁点/半濁点の文字、句点、読点、小文字などの文字を入力するときは、DIALツマミをまわすいろいろな文字が選択できます。

○ 全角または半角の英数字(A 0)のときに^{SUB OP}₍₀₎を押すと、0、(スペース)、-、?、!、.、:、#、/を選択することができます。

○ 漢字選択時、表示される漢字は文字コード順に出てくるため、目的の漢字の間に記号やアイコンなどが表示される場合があります。

○ 同一グループ文字を続けて入力する場合は、^{SPS SQ TYP}_(MODE)を押してカーソルを移動します。

○ ホームチャンネルに名前をつける場合は、あらかじめ手順1.で名前をつけたいホームチャンネルを呼び出しておきます。

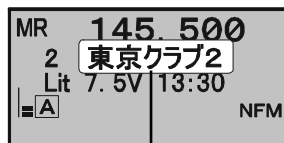
■ メモリータグを表示する(モノバンド表示のみ)

メモリーチャンネルやホームチャンネルなどにタグ(名前)を表示するには下記のように行います。

1. 操作バンドをメモリーモードにします(VFOモードの時は^{DW MT}_(V/M)を押します)。

2. デュアルバンド表示のときは、操作バンドの^(A▲)または^(B▼)を1秒以上押してモノバンド表示にします。
周波数の下にタグ(名前)を表示します。

倍角表示のときも周波数の下にタグ(名前)を表示します。

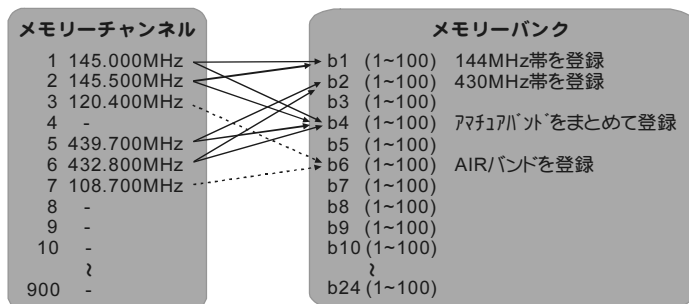


タグ(名前)表示

メモリーバンクを使う

メモリーチャンネルを使用目的ごとのバンクに分けて整理することができます。VX-8Gでは24種類のメモリーバンクに分けることができ、1つのメモリーバンクには最大100個のメモリーチャンネルを登録できます。

また、メモリーチャンネルを複数のメモリーバンクに登録することもできます。メモリーバンクに登録したメモリーチャンネルを変更または更新すると、メモリーバンク内のメモリーチャンネルの内容も変更されます。



■メモリーバンクに登録する

1. メモリーモードにします (VFOモードの時は **[DW MT]** を押します)。

2. メモリーバンクに登録するメモリーチャンネルを呼び出します。

DIALツマミでメモリーチャンネルを選択します。

3. **[DW]** を1秒以上押すと、メモリーの書き込みモードになります。

4. DIALツマミをまわしてメモリーバンクの番号 (B 1~B 24) を指定します。

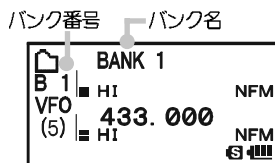
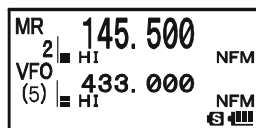
ーメモリーバンク選択時の注意ー

メモリーバンクを選択時にメモリーチャンネル、スキップサーチメモリーチャンネル、プログラマブルメモリーチャンネルも表示されます。表示される順序はDIALツマミをまわすと“1⇔2⇔3⇔...⇔150⇔150⇔BANK1⇔BANK2...⇔BANK24⇔1...”と表示され、太文字がメモリーバンクになります (メモリーチャンネルが“1”に近ければDIALツマミを左へ、またメモリーチャンネルが“150”に近ければ右にまわすとメモリーバンクが表示されます。また、**[MENU]** を短く押すと100桁ずつ早送りすることができます (メモリーバンク名を変更している場合は、変更したバンク名を表示します)。

メモリーバンクに何も登録されていない場合は“**[C]**”が表示され、登録されている場合は“**[■]**”が表示されます。

5. **[DW]** を短く押して登録が完了します。

○ スペシャルバンクのプリセットメモリーをメモリーバンクに登録する場合は48ページの「よく聴くスペシャルメモリーバンクをメモリーバンクに登録する」を参照してください。



メモリーバンクを使う(つづき)

■メモリーバンクを呼び出す

1. メモリーモードにします(VFOモードの時は DW MT **V/M** を押します).
2. SC-M BND DN **(BAND)** を押し、メモリーバンクを選択します.
SC-M BND DN **(BAND)** を押すたびに“メモリー番号”⇄“BANK(番号)”が切り替わります.
3. 他のメモリーバンク番号にするときは、**[BW]** を押した後 SC-M BND DN **(BAND)** を押します.
4. DIALツマミをまわしてメモリーバンク(BANK 1～BANK 24)を選択します.
5. SC-M BND DN **(BAND)** を短く押して確定します.
6. DIALツマミをまわしてバンク内のメモリーを選択します.
 他のメモリーバンクを選択するときは、手順3～手順6を行いません.
7. 通常のメモリーモードに戻すときは、SC-M BND DN **(BAND)** を短く押します.
 通常のメモリーモードに戻ります.

バンク番号
メモリーチャンネル番号

B 1	145.500	NFM
2		
VFO	433.000	NFM
(5)		

バンク番号 バンク名

B24	BANK24	
9		
VFO	433.000	NFM
(5)		

B24	145.080	NFM
9		
VFO	433.000	NFM
(5)		

メモリーバンクを使う(つづき)

■メモリーバンクへの登録を解除する

1. “メモリーバンクを呼び出す”を参考に、登録を解除したいメモリーチャンネルが登録されているメモリーバンクを呼び出します。
2. DIALツマミで、登録を解除したいメモリーチャンネルを選びます。
3. **[W]**を1秒以上押した後、**[TX PO]**を押します。

メモリーバンクへの登録が解除され、手順1で呼び出したメモリーバンクの状態に戻ります。
なお、登録を解除したことにより、メモリーバンクが“空”になる場合は、バンク番号の最も小さなメモリーバンクに戻ります。

■メモリーバンクに名前を付ける

メモリーバンクに最大16文字の名前をつけることができます。

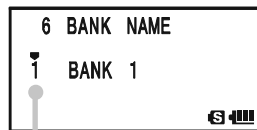
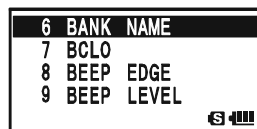
入力できる文字(文字種)は、英字(大文字 全角/半角, 小文字 全角/半角), 数字(全角/半角), 記号, ひらがな(全角/半角, 濁点/半濁点), カタカナ(全角/半角, 濁点/半濁点), 漢字(約6000文字)があります。

入力方法として、“音読み”または“文字コード”(ディスプレイに表示)で漢字を選択します。さらに漢字以外にも全角文字は“文字コード”が表示され、英数字, ひらがな, カタカナ, 記号を選択することができます。

「文字コード一覧表」は186ページを参照してください。

入力例は下記を参照してください。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『6 BANK NAME』を選択します。
3. **[MENU]**を短く押します。
4. DIALツマミをまわして、名前を付けたいメモリーバンク番号を表示させます。
5. **[MODE]**を押します。
カーソルがバンク名の1桁目に移動します。



バンク番号



バンク名を変更します
名前入力 (1 桁目)

メモリーバンクを使う(つづき)

6. ^{STEP} **[1]** を1回押して数字の「1」を選択します。
7. ^{SPS SQ TYP} **[MODE]** を押して次の桁へカーソルを移動します。
8. ^{ARTS} **[4GHI]** を7回押して数字の「4」を選択します。
^{DTMF} **[3DEF]** を押すごとに **G→H→I→g→h→i→4→G** へ戻ります。
9. ^{SPS SQ TYP} **[MODE]** を押して次の桁へカーソルを移動します。
10. ^{ARTS} **[4GHI]** を7回押して数字の「4」を選択します。
^{DTMF} **[3DEF]** を押すごとに **G→H→I→g→h→i→4→G** へ戻ります。
11. ^{SPS SQ TYP} **[MODE]** を押して次の桁へカーソルを移動します。
12. ^{RPT} **[6MNO]** を1回押して文字を「M」に指定します。
^{RPT} **[6MNO]** を押すごとに **M→N→O→m→n→o→6→M** へ戻ります。
13. ^{SPS SQ TYP} **[MODE]** を押して次の桁へカーソルを移動します。
14. ^{DW MT} **[V/M]** を5回押して「漢字」を選択します。

押すごとに下記のように選択できます。

英数字半角(A, 0)⇔カタカナ半角(ア)⇔英数字全角(A, 0)⇔

⇔カタカナ全角(ア)⇔ひらがな(あ)⇔漢字⇔英数字半角(A, 0)に戻る

15. ^{ARTS} **[4GHI]** を1回押して「他(093E)」を選択します。
 た行の漢字が音読み順に表示されます。
16. **DIAL** ツマミをまわして「帯(0953)」を選択します。
16. **[MENU]** を1秒以上押します。

メモリーバンク名「BANK 1」が「144M帯」に変更され、セットモードを終了します。

6 BANK NAME
1 1ANK
A, 0

6 BANK NAME
1 14NK 1
A, 0

6 BANK NAME
1 144K 1
A, 0

6 BANK NAME
1 144M 1
A, 0

6 BANK NAME
1 144M帯
漢字 0953

文字コード

メモリーを使う

- 文字を修正したいときは、^{SC-M BND DN} **[BAND]** (左方向へ移動)または^{SPS SQ TYP} **[MODE]** (右方向へ移動)を押して修正したい桁にあわせ、**DIAL** ツマミをまわして文字を選択します。
- 文字を入力中に^{ENG R/L} **[RM/RV]** を1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。
- ^{DW MT} **[V/M]** : 文字種を変更します。
- “ひらがな”, “カタカナ” 及び “漢字” (音読み) は、^{STEP} **[1]** あ行、^{CODE} **[2ABC]** か行、^{DTMF} **[3DEF]** さ行、^{ARTS} **[4GHI]** た行、^{SKIP} **[5JKL]** な行、^{RPT} **[6MNO]** は行、^{MUTE} **[7PQ]** ま行、^{SP-ANA} **[8TUV]** や行、^{SP-BNK} **[9XYZ]** ら行、^{SUB OP} **[0]** わ行で呼び出すことができます。
- 全角または半角の英数字(A, 0)のときに^{SUB OP} **[0]** を押すと、0, (スペース), -, ?, !, ., :, #, / を選択することができます。
- 半角で濁点/半濁点の文字、句点、読点、小文字などの文字を入力するときは、**DIAL** ツマミをまわすいろいろな文字が選択できます。
- 漢字選択時、表示される漢字は文字コード順に出てくるため、目的の漢字の間に記号やアイコンなどが表示される場合があります。
- メモリーバンク内のメモリーチャンネルに名前をつける場合は、“メモリーバンクを呼び出す”を参照し、メモリーチャンネルを呼び出しておき、手順1.から操作します。

便利なスペシャルバンク

各地域に合わせてチャンネルを選択できる、 主要なJR鉄道無線（19チャンネル）、国際VHF（マリン）無線（57チャンネル）、特定小電力無線（20チャンネル）、ワイヤレスマイク（13チャンネル）、 救急/消防無線（20+85チャンネル）などのアクションバンドをあらかじめプリセットしてあるスペシャルバンクメモリーです。

JR鉄道無線プリセットメモリー “SP2 鉄道無線” 49 ページ

主要なJR鉄道無線のチャンネルがあらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。また設定により、2280Hzの空線信号の音を消して、待ち受け受信をすることができます。

国際VHF（マリン）無線プリセットメモリー “SP3 国際VHF” 51 ページ

国際VHF（マリン）無線で使われている周波数（57チャンネル）が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

特定小電力無線プリセットメモリー “SP5 特定小電力” 52 ページ

特定小電力トランシーバーで使われている周波数（20チャンネル）が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

ワイヤレスマイクプリセットメモリー “SP7 ワイヤレスC” 53 ページ

主要なワイヤレスマイクロホンで使われている周波数が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

救急無線プリセットメモリー “SP8 救急無線” 54 ページ

救急アナログ無線（20チャンネル）で使われている周波数が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

消防無線プリセットメモリー “SP9 消防無線” 54 ページ

消防アナログ無線（85チャンネル）で使われている周波数が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

よく聴くスペシャルメモリーをメモリーバンクに登録する

よく聴くスペシャルメモリーをメモリーバンクに登録することができます。

1. DIALツマミをまわして聴きたいスペシャルメモリーを選択します。

2. **[QW]** を1秒以上押します。

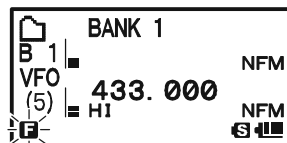
書き込みモードになり、ディスプレイに“**[Q]**”が点滅します。

PTTスイッチを押すと、登録をキャンセルすることができます。

3. DIALツマミをまわして希望するメモリーバンク番号を選択します。

4. **[QW]** を短く押してメモリー書き込みを完了します。

選択していた周波数表示に戻ります。



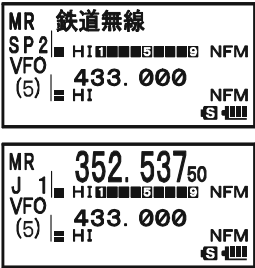
スペシャルバンクを呼び出してJR鉄道無線を聴く

主要なJR鉄道無線のチャンネルがあらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。
よく聴くJR鉄道無線のチャンネルを普通のメモリーに書き込むことができます。
また、2280Hzの空線信号の音を消して、待ち受け受信をすることができます。

デジタル通信に移行している地域では、受信することができません。

■JR鉄道無線のチャンネルを選ぶ

- 1. **[▲]**を押して操作バンドをAバンドにします。
- 2. **[W]**を押した後に **[9 1/2]**を押します (SP BNK)。
スペシャルバンクになります。
- 3. **[BAND]**を数回押して「鉄道無線」を選択します。
選択後、プリセットされているJR鉄道無線の周波数を表示します。
[▲]を長く押してモノバンド運用にすると、通信局名も表示します。
- 4. DIALツマミをまわして希望のJR鉄道無線の周波数を選択します(下表参照)。
- 5. 鉄道無線の受信を中止するときは、**[9 1/2]**を押します。



スペシャルバンクに登録されているJR鉄道無線の周波数

チャンネル 番号	周波数 (MHz)	チャンネル 番号	周波数 (MHz)	チャンネル 番号	周波数 (MHz)	チャンネル 番号	周波数 (MHz)
J1	352.5375 列車無線1基地局	J6	336.0625 列車無線3移動局	J11	352.6000 列車無線6基地局	J16	336.1250 列車無線8移動局
J2	336.0375 列車無線1移動局	J7	352.5750 列車無線4基地局	J12	336.1000 列車無線6移動局	J17	414.4250 Cタイプ入換波
J3	352.5500 列車無線2基地局	J8	336.0750 列車無線4移動局	J13	352.6125 列車無線7基地局	J18	414.5500 Cタイプより波
J4	336.0500 列車無線2移動局	J9	352.5875 列車無線5基地局	J14	336.1125 列車無線7移動局	J19	415.2000 Cタイプ下り波
J5	352.5625 列車無線3基地局	J10	336.0875 列車無線5移動局	J15	352.6250 列車無線8基地局	-	-

- スペシャルバンクは、他の周波数のデータに書き換えることはできません。
- **[BAND]**を1秒以上押して離すと、スペシャルバンクに登録されているJR鉄道無線のチャンネルをアップ方向にスキャンします。スキャン中にDIALツマミを左に1クリックまわすと、チャンネルをダウン方向にスキャンします。スキャン中に信号を受信するとスキャンは5秒間停止し、その周波数を受信します。スキャンが停止したときの動作を設定することができます(「スキャンストップ時の受信方法を設定する」を参照：p.57)。
- よく聴くJR鉄道無線をメモリーバンクに登録することができます(「よく聴くスペシャルメモリーバンクをメモリーバンクに登録する」を参照：p.48)。

⚠ 注 意 ⚠

電波法第59条で「特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在若しくは内容を漏らし、又はこれを盗用してはならない」と定められています。
他人の会話を聞いて、これを漏らしたり盗用することは法律で禁止されていますのでご注意ください。

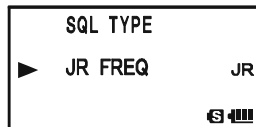
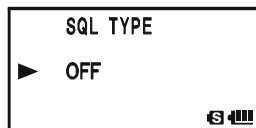
メモリーを使う

スペシャルバンクを呼び出してJR鉄道無線を聴く(つづき)

■JRの空線信号音を消す (空線スケルチ機能)

通話が行なわれていないときに聴こえる、「ピー」という2280Hzの空線信号音を消すことができます。

1. スペシャルバンクにより、聴きたいJR鉄道無線の周波数を選択します。
2. **[W]** を短く押した後 **[MODE]** を短く押します (SQ TYP)。
セットモード『88 SQL TYPE』のショートカットキーです。
3. DIALツマミをまわして「JR FREQ」を選択します。
ディスプレイの右側に「JR」が点灯します。
4. **[MODE]** を短く押して設定を終了します。
空線スケルチを解除するには、上記の操作を繰り返し、手順3. の項目で「OFF」を選択します。

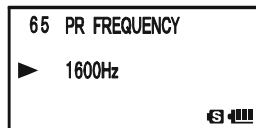
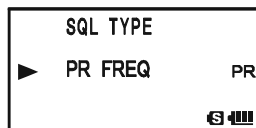
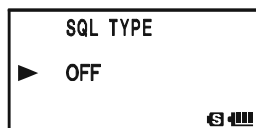


- 2280Hzの空線信号を受信すると、スケルチが動作し空線信号音を消します。
また、2280Hzの空線信号がなくなるとスケルチが解除されます。
- 信号が弱いときやノイズが多いときなどは、動作しないことがあります。

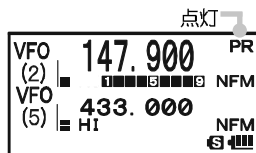
■JR以外の空線信号音を消す (可変型空線スケルチ機能)

300Hz～3000Hzの空線スケルチの周波数を100Hzステップで設定することができます。

1. VFOモードまたはメモリーモードにより、聴きたい鉄道無線の周波数を選択します。
2. **[W]** を短く押した後 **[MODE]** を短く押します (SQ TYP)。
セットモード『88 SQL TYPE』のショートカットキーです。
3. DIALツマミをまわして「PR FRQ」を選択します。
ディスプレイの右側に「PR」が点灯します。
4. **[MODE]** を短く押して設定を終了します。
5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードにします。
6. DIALツマミをまわして『65 PR FREQUENCY』を選択します。
7. **[MENU]** を短く押します。
8. DIALツマミをまわして空線信号が消える周波数に選択します。
300Hz～3000Hzの空線スケルチの周波数を100Hzステップで設定することができます(工場出荷時: 1600Hz)。
9. **[MENU]** を1秒以上押します。
空線スケルチを解除するには、上記の操作を繰り返し、手順3. の項目で「OFF」を選択します。



- 設定した周波数の空線信号を受信すると、スケルチが動作し空線信号音を消します。
また、設定した周波数の空線信号がなくなるとスケルチが解除されます。
- 信号が弱いときやノイズが多いときなどは、動作しないことがあります。



スペシャルバンクを呼び出して国際VHF(マリン)無線を聴く

国際VHF(マリン)無線で使われている周波数(57チャンネル)が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

1. **[▲]**を押して操作バンドをAバンドにします。
2. **[W]**を押した後に **[9 92]**を押します (SP BNK)。スペシャルバンクになります。
3. **[BAND]**を数回押して「国際VHF」を選択します。
4. DIALツマミをまわして希望のチャンネルを選択します (下表参照)。
5. 国際VHF(マリン)無線の受信を中止するときは、**[9 92]**を押します。

MR 国際VHF
SP 3
VFO **433.000** NFM
(5) **HI** NFM

MR **160.650** NFM
VFO **433.000** NFM
(5) **HI** NFM

スペシャルバンクに登録されている国際VHF(マリン)無線の周波数

チャンネル 番号	周波数 (MHz)		チャンネル 番号	周波数 (MHz)		チャンネル 番号	周波数 (MHz)		チャンネル 番号	周波数 (MHz)	
1	156.050	160.650*	15	156.750		60	156.025	160.625*	74	156.725	
2	156.100	160.700*	16	156.800		61	156.075	160.675*	75	156.775	
3	156.150	160.750*	17	156.850		62	156.125	160.725*	76	156.825	
4	156.200	160.800*	18	156.900	161.500*	63	156.175	160.775*	77		156.875
5	156.250	160.850*	19	156.950	161.550*	64	156.225	160.825*	78	156.925	161.525*
6	156.300		20	157.000	161.600*	65	156.275	160.875*	79	156.975	161.575*
7	156.350	160.950*	21	157.050	161.650*	66	156.325	160.925*	80	157.025	161.625*
8	156.400		22	157.100	161.700*	67	156.375		81	157.075	161.675*
9	156.450		23	157.150	161.750*	68	156.425		82	157.125	161.725*
10	156.500		24	157.200	161.800*	69	156.475		83	157.175	161.775*
11	156.550		25	157.250	161.850*	70	156.525		84	157.225	161.825*
12	156.600		26	157.300	161.900*	71	156.575		85	157.275	161.875*
13	156.650		27	157.350	161.950*	72	156.625		86	157.325	161.925*
14	156.700		28	157.400	162.000*	73	156.675		87	157.375	161.975*
									88	157.425	162.025*

- スペシャルバンクは他の周波数のデータに書き換えることはできません。
- ※は基地局の周波数です。例えば1チャンネルを選択すると基地局の周波数 160.650MHzが表示されて **[■]** が点灯します。 **[W]** を短く押した後に **[EMG R/H]** を短く押すと船舶局の周波数 156.050MHzが表示されて **[■]** が点滅します。基地局の周波数からマイナス4.6MHzの周波数が船舶局の周波数になり、複信運用となります。
- **[BAND]** を1秒以上押して離すと、スペシャルバンクに登録されているチャンネルをアップ方向にスキャンします。スキャン中にDIALツマミを左に1クリックまわすと、チャンネルをダウン方向にスキャンします。スキャン中に信号を受信するとスキャンは5秒間停止し、その周波数を受信します。スキャンが停止したときの動作を設定することができます(「スキャンストップ時の受信方法を設定する」を参照：p.57)。
- 希望のチャンネルをメモリーバンクに登録することができます(「よく聴くスペシャルメモリーバンクをメモリーバンクに登録する」を参照：p.48)。

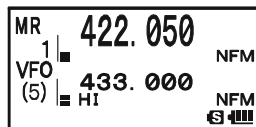
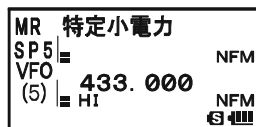
⚠ 注意 ⚠

電波法第59条で「特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない」と定められています。他人の会話を聞いて、これを漏らしたり窃用することは法律で禁止されていますのでご注意ください。

スペシャルバンクを呼び出して特定小電力無線を聴く

特定小電力トランシーバーで使われている周波数(20チャンネル)が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

1. **[A▲]**を押して操作バンドをAバンドにします。
2. **[W]**を押した後に**[9 WK YZ]**を押します (SP BNK)。
スペシャルバンクになります。
3. **[BAND]**を数回押して「特定小電力」を選択します。
4. DIALツマミをまわして希望のチャンネルを選択します
(下表参照)。
MR1～MR11のチャンネルは、主に業務用として使用されており、MR12～
MR20のチャンネルは、主にレジャー用として使用されています。
5. 特定小電力トランシーバーの受信を中止するときは、**[9 WK YZ]**
を押します。



スペシャルバンクに登録されている特定小電力無線の周波数

チャンネル	周波数 (MHz)	チャンネル	周波数 (MHz)	チャンネル	周波数 (MHz)	チャンネル	周波数 (MHz)
1	422.0500	6	422.1125	11	422.1750	16	422.2500
2	422.0625	7	422.1250	12	422.2000	17	422.2625
3	422.0750	8	422.1375	13	422.2125	18	422.2750
4	422.0875	9	422.1500	14	422.2250	19	422.2875
5	422.1000	10	422.1625	15	422.2375	20	422.3000

- **[A▲]**を長押ししてモノバンド運用にすると、周波数の下にチャンネル名が表示されます。
- **[BAND]**を1秒以上押して離すと、スペシャルバンクに登録されているチャンネルをアップ方向にスキャンします。スキャン中にDIALツマミを左に1クリックまわすと、チャンネルをダウン方向にスキャンします。
- 希望のチャンネルをメモリーバンクに登録することができます(「よく聴くスペシャルメモリーバンクをメモリーバンクに登録する」を参照：p.48)。



チャンネル名を表示

⚠ 注意 ⚠

電波法第59条で「特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない」と定められています。
他人の会話を聞いて、これを漏らしたり窃用することは法律で禁止されていますのでご注意ください。

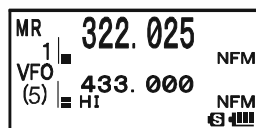
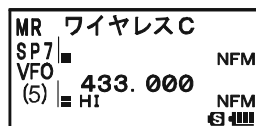
スペシャルバンクを呼び出してワイヤレスマイクを聴く

ワイヤレスマイクロホン(ワイヤレスC)で使われている周波数が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

■ ワイヤレスマイク(ワイヤレスC)の周波数を聴く

ワイヤレスCは、322.025MHz～322.400MHzの周波数を25kHzステップで13チャンネル登録されています。

1. **[A▲]**を押して操作バンドをAバンドにします。
2. **[W]**を押した後に^{SP BNK}**[9 1/2]**を押します (SP BNK)。スペシャルバンクになります。
3. ^{SC-M BND DN}**[BAND]**を数回押して「ワイヤレスC」を選択します。
4. DIALツマミをまわして希望の周波数を選択します。
5. ワイヤレスマイクの受信を中止するときは、^{SP BNK}**[9 1/2]**を押します。



- 希望の周波数をメモリーバンクに登録することができます(「よく聴くスペシャルメモリーバンクをメモリーバンクに登録する」を参照：p.48)。
- ^{SC-M BND DN}**[BAND]**を1秒以上押して離すと、スペシャルバンクに登録されているチャンネルをアップ方向にスキャンします。スキャン中にDIALツマミを左に1クリックまわすと、チャンネルをダウン方向にスキャンします。
- 付属のアンテナは、144MHz帯と430MHz帯での使用を前提に調節されており、さらにワイヤレスマイクの電波は非常に弱いため、距離や周りの状況などにより、良好に受信できない場合があります。良好に受信できない場合は、上記の周波数に対応した市販のアンテナを使用してください。

⚠ 注意 ⚠

電波法第59条で「特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない」と定められています。他人の会話を聞いて、これを漏らしたり窃用することは法律で禁止されていますのでご注意ください。

スペシャルバンクを呼び出して救急無線/消防無線を聴く


救急アナログ無線(20チャンネル)や消防アナログ無線(85チャンネル)で使われている周波数が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

デジタル通信に移行している地域では、受信することができません。


■ 救急無線を聴く

1. **[AA]**を押して操作バンドをAバンドにします。
2. **[GW]**を押した後に^{SP BNK}**[9 1/2]**を押します (SP BNK)。スペシャルバンクになります。
3. ^{SC-M BND DN}**[BAND]**を数回押して「救急無線」を選択します。
4. DIALツマミをまわして希望の周波数を選択します (周波数表は次ページ参照)。

救急無線は、基地局の周波数が表示されます。


例えば1チャンネルを選択すると基地局の周波数 146.040MHzが表示されて  が点灯します。

基地局の周波数からマイナス4MHzの周波数が移動局の周波数になります。

移動局の周波数を受信したい場合は、**[GW]**を短く押した後に^{EMG R/H}**[MR]**を短く押すと、移動局の周波数 142.040MHzが表示され、 が点滅し受信することができます。

基地局の周波数に戻りたい場合は、**[GW]**を短く押した後に^{EMG R/H}**[MR]**を短く押します。

MR	救急無線	
SP 8		NFM
VFO		
(5)	433. 000	NFM
	HI	

MR	146. 040	NFM
1		
VFO		
(5)	433. 000	NFM
	HI	


5. 救急無線の受信を中止するときは、^{SP BNK}**[9 1/2]**を押します。


■ 消防無線を聴く

1. **[AA]**を押して操作バンドをAバンドにします。
2. **[GW]**を押した後に^{SP BNK}**[9 1/2]**を押します (SP BNK)。スペシャルバンクになります。
3. ^{SC-M BND DN}**[BAND]**を数回押して「消防無線」を選択します。
4. DIALツマミをまわして希望の周波数を選択します (周波数表は次ページ参照)。

消防無線の場合は、全国共通周波数 (FC1~FC3)、都道府県内共通周波数 (Ft1~Ft7)、消防団専用周波数 (Fdq)、消防署活系周波数 (F1~F17)、市町村周波数 (1~57) の周波数が表示されます。

5. 消防無線の受信を中止するときは、^{SP BNK}**[9 1/2]**を押します。

MR	消防無線	
SP 9		NFM
VFO		
(5)	433. 000	NFM
	HI	

MR	150. 730	NFM
FC 1		
VFO		
(5)	433. 000	NFM
	HI	

- ^{SC-M BND DN}**[BAND]**を1秒以上押して離すと、スペシャルバンクに登録されているチャンネルをアップ方向にスキャンします。スキャン中にDIALツマミを左に1クリックまわすと、チャンネルをダウン方向にスキャンします。
- 希望の周波数をメモリーバンクに登録することができます (「よく聴くスペシャルメモリーバンクをメモリーバンクに登録する」を参照: [p.48](#))。

⚠ 注意 ⚠


電波法第59条で「特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない」と定められています。他人の会話を聞いて、これを漏らしたり窃用することは法律で禁止されていますのでご注意ください。

スペシャルバンクを呼び出して救急無線/消防無線を聴く(つづき)


救急無線の周波数



チャンネル番号	周波数 (MHz)		チャンネル番号	周波数 (MHz)	
	基地局※	移動局		基地局※	移動局
1	146.040	142.040	11	147.420	143.420
2	146.080	142.080	12	147.440	143.440
3	146.760	142.760	13	147.460	143.460
4	146.780	142.780	14	147.480	143.480
5	146.800	142.800	15	147.500	143.500
6	146.820	142.820	16	147.740	143.740
7	146.840	142.840	17	147.760	143.760
8	146.860	142.860	18	147.780	143.780
9	146.880	142.880	19	152.030	148.030
10	147.400	143.400	20	153.110	149.110

※は基地局の周波数です。

例えば1チャンネルを選択すると基地局の周波数146.040MHzが表示されて  が点灯します。

移動局の周波数を受信したい場合は、 を短く押した後に  を短く押します。

移動局の周波数142.040MHzが表示されて  が点滅します。

基地局の周波数に戻りたい場合は、 を短く押した後に  を短く押します。

消防無線の周波数

チャンネル番号	周波数 (MHz)	チャンネル番号	周波数 (MHz)	チャンネル番号	周波数 (MHz)	チャンネル番号	周波数 (MHz)
1	148.010	23	151.210	45	153.430	FT7*2	153.530
2	149.130	24	151.230	46	153.510	FDG*3	153.350
3	149.150	25	151.270	47	153.550	F1*4	466.3500
4	149.610	26	151.310	48	153.590	F2*4	466.3625
5	149.630	27	151.430	49	153.710	F3*4	466.3750
6	149.710	28	151.550	50	153.750	F4*4	466.3875
7	149.730	29	151.570	51	153.830	F5*4	466.4000
8	149.750	30	151.590	52	153.850	F6*4	466.4125
9	150.070	31	151.630	53	153.870	F7*4	466.4250
10	150.170	32	151.670	54	154.070	F8*4	466.4375
11	150.190	33	151.690	55	154.190	F9*4	466.4500
12	150.270	34	151.710	56	154.290	F10*4	466.4625
13	150.290	35	151.750	57	154.310	F11*4	466.4750
14	150.310	36	151.810	FC1*1	150.730	F12*4	466.4875
15	150.330	37	152.010	FC2*1	148.750	F13*4	466.5000
16	150.350	38	152.070	FC3*1	154.150	F14*4	466.5125
17	150.450	39	152.090	FT1*2	148.210	F15*4	466.5250
18	150.470	40	152.230	FT2*2	148.290	F16*4	466.5375
19	150.750	41	152.270	FT3*2	149.690	F17*4	466.5500
20	151.110	42	152.570	FT4*2	152.770		
21	151.150	43	152.790	FT5*2	152.810		
22	151.190	44	153.310	FT6*2	153.010		

消防無線の詳細は、下記ようになります。

市町村周波数 57チャンネル(1~57)

※1:全国共通周波数 3チャンネル(FC1~FC3)

※2:都道府県内共通周波数 7チャンネル(FT1~FT7)

※3:消防団専用周波数 1チャンネル(FDG)

※4:消防署活系周波数 17チャンネル(F1~F17)

スキャンを使う

VX-8Giは、“VFOスキャン”、“プログラマブルメモリスキャン”、“メモリスキャン”、“指定メモリーチャンネルスキャン”の4つのスキャンを行うことができます。

VFOスキャン

1. VFOモードにし、スキャンするバンドを選択します。
2. **[SC-M BND DN BAND]**を押しながら、DIALツマミをまわしてスキャンする範囲を設定します。

表示※	動作状態
ALL	現在の周波数から108MHz～999MHz内の全バンドをスキャンします。
(PMS番号)	PMSスキャンのショートカット(46ページの手順1.～手順2.をショートカット)です。 あらかじめPMSメモリーが登録してある場合のみ、PMSメモリー番号を表示します。 DIALツマミをまわしてスキャンしたいPMSメモリーを指定し、PMSの下限と上限の範囲をスキャンします。
±1MHz	現在の周波数を中心にスタートした周波数のバンド(下表参照)内を±1MHzの範囲でスキャンします。
±2MHz	現在の周波数を中心にスタートした周波数のバンド(下表参照)内を±2MHzの範囲でスキャンします。
±5MHz	現在の周波数を中心にスタートした周波数のバンド(下表参照)内を±5MHzの範囲でスキャンします。
BAND	現在の周波数からスキャンし、スタートした周波数のバンド(下表参照)内をスキャンします。

3. **[SC-M BND DN BAND]**を離すと周波数が高い方向にスキャン(SCAN)が開始されます。

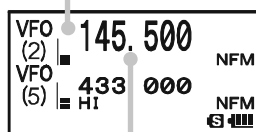
DIALツマミを右方向にまわすと周波数が高くなる方向に、DIALツマミを左方向にまわすと周波数が低くなる方向に変わります。

スキャン中に信号を受信するとピープ音(ピポッ)が鳴り、スキャンは5秒間停止して、その周波数を受信します。

スキャンが停止しているときには、デシマルポイントが点滅し、ディスプレイの照明が点灯します。

5秒経過すると、スキャンを再開します。

※: **[SC-M BND DN BAND]**を押している間
スキャン範囲を表示



信号を受信すると
デシマルポイントが点滅

4. スキャンを中止するときは、PTTスイッチを短く押します。

○ スキャン中に、**[GW]**を押した後**[MONI]**を押し、DIALツマミをまわすと、スケルチを調節することができます。スケルチの調節を終了するには、**[GW]**を押した後**[MONI]**を押します。

○ 周波数帯と受信周波数の関係は右表のようになります。

○ スキャンが停止したときの動作を設定することができます(「スキャンストップ時の受信方法を設定する」を参照: p. 57)。

○ 周波数帯のエッジに達したときには「ピピッ」とピープ音が鳴って隣の周波数帯に移り、その周波数帯をスキャンします。

○ セットモードの『8 BEEP EDGE』により、スキャン中に隣の周波数帯に移ったときに「ピピッ」と鳴るピープ音をオフにすることができます。

○ セットモードの『95 VFO MODE』により、現在のバンド内のみをスキャンします。

○ セットモードの『11 BEEP SELECT』により、スキャンストップ時に鳴るピープ音を消すことができます。

○ セットモードの『75 SCAN LAMP』により、スキャンストップ時の照亮点灯をオフにすることができます。

● PMSは下限周波数と上限周波数との間を、必ず100kHz以上空けるようにしてください。

Aバンド、Bバンド受信周波数帯表

周波数帯番号	A/バンド	B/バンド
[1]	108～137MHz 航空無線帯	108～137MHz 航空無線帯
[2]	137～174MHz 144MHz帯HAM	137～174MHz 144MHz帯HAM
[3]	174～222MHz	174～222MHz
[4]	222～420MHz 情報無線帯(1)	222～420MHz 情報無線帯(1)
[5]	420～470MHz 430MHz帯HAM	420～470MHz 430MHz帯HAM
[6]	470～770MHz	470～580MHz
[7]	770～999MHz 情報無線帯(2)	--

VFOスキャン (つづき)

■ スキャンしたくない周波数をスキップする(スキップサーチメモリー)

スキャンをしているとき、受信したくない周波数でもスキャンが止まることがあります。このような周波数はあらかじめ設定しておくことで、スキャン中にその周波数を受信しないことが可能となります。この設定するメモリーを“スキップサーチメモリー”といい、99チャンネル(メモリーチャンネル901~999)あります。

スキャンしたくない周波数を設定する

1. VFOスキャンを開始します (56ページ参照)。
2. スキャン中、受信したくない周波数で停止したら、**[GW]**を0.5秒以上押します。
何も書き込まれていない最も小さい番号のスキップサーチメモリーチャンネルが点滅します。
DIALツマミをまわしてスキップサーチメモリーチャンネルを指定することもできます。
3. **[GW]**を押します。
スキップサーチメモリーへの書き込みが完了し、スキャンが再開します。
あらかじめスキャンしたくない周波数をスキップサーチメモリーへ書き込んでおくこともできます。この場合、手順1. のかわりにVFOモードで周波数をあわせ、手順2, 手順3. を行います。
4. スキャンを中止するときは、PTTスイッチを短く押します。

スキップサーチメモリーを消す

スキップサーチメモリーは、下記の操作を行うことにより消すことができます。スキップサーチメモリーに設定してあった周波数は、再びスキャンするようになります。

1. メモリーモードにします。
2. **[GW]**を1秒以上押します。
3. DIALツマミをまわして消したいスキップサーチメモリーを選択します。
メモリーチャンネル901~999のスキップサーチメモリーから選択します。
スキップサーチメモリー番号を選択中に**[MENU]**を押すと、メモリーチャンネル番号の百の位を早送りすることができます。
4. **[X]**を押します(ディスプレイに“消去OK?”が表示されます)。
5. **[X]**を押して消去を完了します(スキップサーチメモリーの内容が消去されます)。
続けて他のスキップメモリーを消すには、手順2 から手順4. を繰り返します。

消したスキップサーチメモリーチャンネルに周波数などを新たに書き込む前であれば、上記のメモリー消去の操作をもう一度行うことによって消去した内容を復活できます。

スキャンストップ時の受信方法を設定する

スキャンが停止したときの動作を設定できます。

- 設定した時間を受信しスキャンを再開します (2秒~10秒設定可能 (0.5秒単位))。
- 信号がなくなるまで受信し、信号がなくなってから2秒後にスキャンを再開する (選択時の表示は“BUSY”)。
- スキャンを中止し、その周波数を受信する (選択時の表示は“HOLD”)。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
2. DIALツマミをまわして『77 SCAN RESUME』を選択します。
3. **[MENU]**を短く押します。
4. DIALツマミをまわして使用する受信方法を“2秒~10秒(0.5秒ステップ)”, “BUSY”, “HOLD”のいずれから選択します。
5. **[MENU]**を1秒以上押して完了します (もとの周波数表示に戻ります)。

- この設定は、VFOスキャン、プログラブルメモリースキャン、メモリースキャン、デュアルレシープに共通です。
- セットモードの『76 SCAN RE-START』により、BUSYスキャンの再開開始時間を変更することができます。

77	SCAN RESUME
78	SENSOR DISPLAY
79	SENSOR INFO
80	SET MODE CSR

77	SCAN RESUME
▶	5.0 秒

メモリスキャン

メモリーされている周波数をメモリーチャンネル番号順にスキャンします。

1. メモリーモードにし、メモリーチャンネルを呼び出します。

2. ^{SC-M BND DN} (BAND) を押しながら、DIALツマミをまわしてスキャンする範囲を設定します。

表示※	動作状態
ALL CH	現在指定しているメモリーから、すべてのメモリーチャンネル(1~900)をスキャンします。 (指定メモリーを指定している場合は、すべての指定メモリーチャンネルをスキャンします:59ページ参照)
(RMS番号)	RMSスキャンのショートカット(62ページの手順1.~手順2.をショートカット)です。 あらかじめRMSメモリーが登録してある場合のみ、RMSメモリー番号を表示します。 DIALツマミをまわしてスキャンしたいRMSメモリーを指定し、RMSの下限と上限の範囲をスキャンします。
TAG1	名前を付けたメモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目に同じ文字を使用しているメモリーチャンネルだけをスキャンします。
TAG2	名前を付けたメモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目と2文字目に同じ文字を使用しているメモリーチャンネルだけをスキャンします。
BAND	現在指定しているメモリーと、同じ周波数帯* 内の周波数が書き込まれているメモリーチャンネルだけをスキャンします。 (指定メモリーを指定している場合は、同じ周波数帯* 内の周波数が書き込まれている指定メモリーチャンネルだけをスキャンします:59ページ参照)

*: 周波数帯と受信周波数の関係は56ページの下表を参照してください。

3. ^{SC-M BND DN} (BAND) を離すとメモリーチャンネル番号が高い方向にスキャン(SCAN)を開始します。

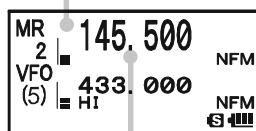
DIALツマミを右方向にまわすとメモリーチャンネル番号が高くなる方向に、DIALツマミを左方向にまわすとメモリーチャンネル番号が低くなる方向に変わります。

スキャン中に信号を受信するとピープ音(ピポツ)が鳴り、スキャンは5秒間停止して、その周波数を受信します。

スキャンが停止しているときには、デシマルポイントが点滅し、ディスプレイが点灯します。

5秒経過すると、スキャンが再開されます。

※: ^{SC-M BND DN}
(BAND) を押している間
スキャン範囲を表示



信号を受信すると
デシマルポイントが点滅

4. スキャンを中止するときは、PTTスイッチを短く押します。

- スキャン中にDIALツマミをまわすと、スキャンの方向を変更できます。
- スキャン中に、**[GW]**を押した後**[VFO]**を押すと、スケルチを調節することができます。
- スキャンするメモリーチャンネルは通常のメモリー番号1~900をスキャンします。
- メモリーバンクを呼び出しているときは、メモリーバンク内のメモリーチャンネルのみをスキャンします。
- スキャンが停止したときの動作を設定することができます(「スキャンストップ時の受信方法を設定する」を参照: 59p. 59)。
- セットモードの『8 BEEP EDGE』により、スキャン中にメモリー1を通過したときには「ピピツ」とピープ音が鳴るように設定することができます。
- セットモードの『11 BEEP SELECT』により、スキャンストップ時に鳴るピープ音を消すことができます。
- セットモードの『75 SCAN LAMP』により、スキャンストップ時の照明点灯をオフにすることができます。
- RMSは下限周波数と上限周波数との間を、必ず100kHz以上空けるようにしてください。

メモリスキャン(つづき)

メモリスキャン時にスキャンする必要のないメモリーチャンネルにはスキップメモリーを、指定のメモリーチャンネルのみをスキャンしたいときには指定メモリーを設定しておく、指定のメモリーチャンネルのみをスキャンできます。

■スキップメモリー／指定メモリーを設定する

- メモリーモードにし、スキップメモリーまたは指定メモリーを設定するメモリーチャンネルを呼び出します。

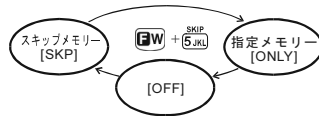
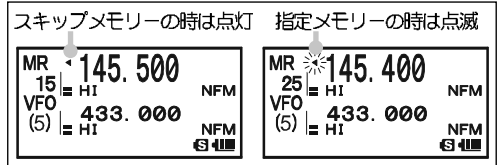
- [GW]**を短く押した後に^{SKIP}**[5JKL]**を押します。

セットモード『50 MEMORY SKIP』のショートカットキーです。

スキップメモリー (SKIP) が設定されます。

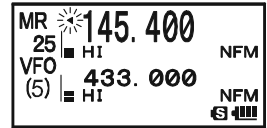
もう一度**[GW]**を短く押した後に^{SKIP}**[5JKL]**を押すと指定メモリー (ONLY) が設定されます。

スキップメモリー／指定メモリーを解除するには、**[GW]**を短く押した後に^{SKIP}**[5JKL]**を押して \blacktriangleleft を消灯し“OFF”にします。



■指定メモリーを設定したメモリーチャンネルのみをスキャンする

- メモリーモードにし、“指定メモリー”が設定されているメモリーチャンネルを呼び出します。
- ^{SC-M BND DN}**[BAND]**を押しながら、DIALツマミをまわしてスキャンする範囲を設定します。



表示	動作状態
ALL CH	現在指定している指定メモリーから、すべての指定メモリーチャンネルをスキャンします。
(PMS番号)	PMSスキャンのショートカット (62ページの手順1~手順2をショートカット) です。あらかじめPMSメモリーが登録してある場合のみ、PMSメモリー番号を表示します。DIALツマミをまわしてスキャンしたいPMSメモリーを指定し、PMSの下限と上限の範囲をスキャンします。
TAG1	名前を付けた指定メモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目に同じ文字を使用している指定メモリーチャンネルだけをスキャンします。
TAG2	名前を付けた指定メモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目と2文字目に同じ文字を使用している指定メモリーチャンネルだけをスキャンします。
BAND	現在指定しているメモリーと、同じ周波数帯* 内の周波数が書き込まれている指定メモリーチャンネルだけをスキャンします。

*: 周波数帯と受信周波数の関係は56ページの下表を参照してください。

- ^{SC-M BND DN}**[BAND]**を離すとメモリーチャンネル番号が高い方向にスキャン (SCAN) を開始します。

指定メモリーが設定されているメモリーチャンネルのみをメモリスキャンします。

スキャン中に信号を受信するとピープ音(ピポツ)が鳴り、スキャンは5秒間停止して、その周波数を受信します。スキャンが停止しているときには、デシマルポイントが点滅し、ディスプレイが点灯します。

5秒経過すると、スキャンが再開されます。

- スキャンを中止するときは、PTTスイッチを短く押します。

メモリーバンクスキャン

呼び出したメモリーバンクに登録されているメモリーだけをスキャンします。

1. メモリーモードにします (VFOモードの時は ^{DW MT}(V/M) を押します)。
2. ^{SC-M BND DN}(BAND) を短く押し、メモリーバンクを呼び出します。
^{SC-M BND DN}(BAND) を短く押すたびに“メモリー番号”⇔“BANK(番号)”が切り替わります。
3. 他のメモリーバンク番号にするときは、^{QW}(QW) を短く押した後 ^{SC-M BND DN}(BAND) を短く押します。
4. DIALツマミをまわしてメモリーバンク (BANK 1～BANK 24) を選択します。
5. ^{SC-M BND DN}(BAND) を短く押して確定します。
6. ^{SC-M BND DN}(BAND) を押しながら、DIALツマミをまわしてスキャンする範囲を設定します。

表 示	動作状態
ALL CH	選択しているメモリーバンク内のすべてのメモリーチャンネルをスキャンします。 (指定メモリーを指定している場合は、すべての指定メモリーチャンネルをスキャンします:59ページ参照)
(PMS番号)	PMSスキャンのショートカット (62ページの手順1. ～手順2. をショートカット) です。 選択しているメモリーバンク内で、あらかじめPMSメモリーが登録してある場合のみ、PMSメモリー番号を表示します。DIALツマミをまわしてスキャンしたいPMSメモリーを指定し、PMSの下限と上限の範囲をスキャンします。
TAG1	選択しているメモリーバンク内で、名前を付けたメモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目に同じ文字を使用しているメモリーチャンネルだけをスキャンします。
TAG2	選択しているメモリーバンク内で名前を付けたメモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目と2文字目に同じ文字を使用しているメモリーチャンネルだけをスキャンします。
BAND	選択しているメモリーバンク内の選択しているメモリーと、同じ周波数帯* 内の周波数が書き込まれているメモリーチャンネルだけをスキャンします。 (指定メモリーを指定している場合は、同じ周波数帯* 内の周波数が書き込まれている指定メモリーチャンネルだけをスキャンします:59ページ参照)

*：周波数帯と受信周波数の関係は56ページの下表を参照してください。

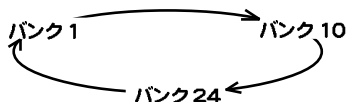
7. ^{SC-M BND DN}(BAND) を離すとメモリーチャンネル番号が高い方向にスキャン (SCAN) を開始します。
DIALツマミを右方向にまわすとメモリーチャンネル番号が高くなる方向に、DIALツマミを左方向にまわすとメモリーチャンネル番号が低くなる方向に変わります。
スキャン中に信号を受信するとスキャンは5秒間停止し、その周波数を受信します。
スキャンが停止しているときには、デシマルポイントが点滅し、ディスプレイが点灯します。
5秒経過すると、スキャンが再開されます。
8. スキャンを中止するときは、PTTスイッチを短く押します。

メモリーバンクスキャン(つづき)

■メモリーバンクリンクスキャン

通常のメモリーバンクスキャンは、呼び出したメモリーバンクに登録されているメモリーチャンネルだけをスキャンしますが、メモリーバンクリンクスキャンはあらかじめ指定したバンクを続けてスキャンをします。

◀例▶ バンク1、バンク10、バンク24をバンクリンクスキャンをした場合のイメージ図



1. メモリーモードで **SC-M BND DN (BAND)** を押し、メモリーバンクを呼び出します。

2. **[W]** を短く押した後 **SC-M BND DN (BAND)** を短く押して、DIALツマミをまわしてバンクリンクスキャンをしたいメモリーバンクを選択します。

3. **DW MT (V/M)** を短く押してバンクリンクを指定します。

メモリーバンク番号の“B”が“b”に変わります。

4. 手順2～手順3を繰り返し、他のメモリーバンクを指定します。

5. **SC-M BND DN (BAND)** を短く押して確定します。

6. **SC-M BND DN (BAND)** を押したままの状態、DIALツマミで希望のスキャン動作を選び、**SC-M BND DN (BAND)** を離すとスキャンを開始します。

スキャン中に信号を受信するとスキャンは5秒間停止し、その周波数を受信します。

スキャンが停止しているときには、デシマルポイントが点滅し、ディスプレイが点灯します。

5秒経過すると、スキャンが再開されます。

Bがbに変わる

b	2	B-LINK ON	
1		HI	NFM
VFO		432. 400	NFM
(5)		HI	NFM
			6.4

表示	動作状態
ALL CH	現在指定しているメモリーから、すべてのメモリーチャンネル(1~900)をスキャンします。 (指定メモリーを指定している場合は、すべての指定メモリーチャンネルをスキャンします:59ページ参照)
(PMS番号)	FMSスキャンのショートカット(62ページの手順1～手順2.をショートカット)です。 あらかじめFMSメモリーに登録してある場合のみ、FMSメモリー番号を表示します。 DIALツマミをまわしてスキャンしたいFMSメモリーを指定し、FMSの下限と上限の範囲をスキャンします。
TAG1	名前を付けたメモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目に同じ文字を使用しているメモリーチャンネルだけをスキャンします。
TAG2	名前を付けたメモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目と2文字目に同じ文字を使用しているメモリーチャンネルだけをスキャンします。
BAND	現在指定しているメモリーと、同じ周波数帯内の周波数が書き込まれているメモリーチャンネルだけをスキャンします。 (指定メモリーを指定している場合は、同じ周波数帯内の周波数が書き込まれている指定メモリーチャンネルだけをスキャンします:59ページ参照)

7. スキャンの方向を変える場合はDIALツマミまわします。

DIALツマミを右方向にまわすとメモリーチャンネル番号が高くなる方向に、DIALツマミを左方向にまわすとメモリーチャンネル番号が低くなる方向に変わります。

8. スキャンを中止するときは、PTTスイッチを押します。

バンクリンクスキャンを設定を解除するには、バンクリンクを指定したバンクを呼び出し、手順3で

DW MT (V/M) を短く押してメモリーバンク番号の“b”を“B”に変えます。

プログラマブルメモリスキャン (PMS)

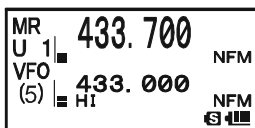
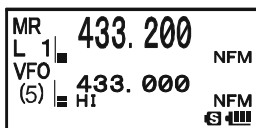
■プログラマブルメモリーに書き込む

スキャンしたい周波数範囲の下限周波数をメモリーチャンネルの“L*”, 上限周波数を“U*” (*は1~50の任意の数字で、下限のメモリーと上限のメモリーは同じ番号にしてください)に登録します。

39ページを参照し、下限周波数と上限周波数をメモリーチャンネルに登録します。

下限周波数/上限周波数メモリー(プログラマブルメモリーチャンネル)は50組(L1/U1~L50/U50)あります。プログラマブルメモリーチャンネルは、メモリーチャンネルの最後の方にありますので、メモリーチャンネルが一桁の場合はDIALツマミを左にまわすと早く選択できます。また、**[MENU]**を押すと100桁ずつ早送りすることもできます。

＜＜例＞＞ 下限周波数に433.200MHz, 上限周波数に433.700MHzをメモリーします。



■プログラマブルメモリスキャンをする

同一周波数帯内の指定した周波数範囲内をDIALツマミで選択したり、スキャンをすることができます。

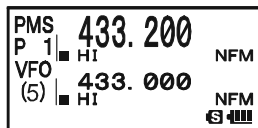
1. メモリーモードにし、下限周波数または上限周波数のメモリーを呼び出します。

2. **[QW]**を押した後^{DW MT}**[V/M]**を押します。

“L 1”(または“U 1”)が消え、“P 1”が表示されます。

“P 1”が表示中に、**[QW]**を押した後^{DW MT}**[V/M]**を押すと“L 1”(または“U 1”)の表示に戻ります。

DIALツマミをまわすと、下限と上限の周波数範囲を選択することができます。



3. ^{SC-M BND DN}**[BAND]**を押しながらDIALツマミまわし、PMSチャンネル選択後^{SC-M BND DN}**[BAND]**を離すとスキャンを開始します。

スキャン中に信号を受信するとスキャンは5秒間停止し、その周波数を受信します。スキャンが停止しているときには、デシマルポイントが点滅し、ディスプレイの照明が点灯します。5秒経過すると、スキャンを再開します。

^{SC-M BND DN}**[BAND]**を1秒以上押しながらDIALツマミをまわすと、他のPMSメモリーを選択することができます。



デシマルポイントが点滅

4. スキャンの方向を変える場合はDIALツマミまわします。

右方向にまわすとメモリーチャンネル番号が高くなる方向に、左方向にまわすと低くなる方向に変わります。

5. スキャンを中止するときは、PTTスイッチを短く押します。

○すでにL1/U1~L50/U50に登録されている場合は、56ページのVFOスキャン(または58ページのメモリスキャン)の操作によりPMS番号を選択するだけで、上記の手順1~手順2の操作をショートカットして簡単にPMSスキャンを行うことができます。

○“L*”, “U*” にスキップメモリー(P**)が指定されている場合や下限周波数/上限周波数が正しく設定されていない場合は、メモリーチューン動作(“TUN”)になります。

○スキャン中にDIALツマミをまわすと、スキャンの方向を変更できます。

○セットモードの『8 BEEP EXGE』により、スキャン範囲の上限または下限に達したときには「ピピッ」とピープ音が鳴るように設定することができます。

○スキャン中に、**[QW]**を押した後モニタースイッチを押し、DIALツマミをまわすと、スケルチを調節することができます。

○セットモードの『75 SCAN LAMP』により、スキャンストップ時の照明点灯をオフにすることができます。

● 下限周波数と上限周波数との間には、必ず100kHz以上空けるようにしてください。

GPS 機能を使う

■ GPS とは？

GPS (Global Positioning System) とは全地球測位システムとも言い、地球上の現在位置を調べるための人工衛星による測位システムです。アメリカ国防省により軍事用に開発されたシステムで、GPS 衛星は高度が約 20000km で約 30 個の GPS 衛星のうち、上空にある 3 個以上の衛星から信号を受け取ると、数 m の誤差で現在の位置 (緯度・経度・高度など) を知ることができます。また、GPS 衛星に搭載された原子時計から正確な時刻を知ることができます。

■ GPS 機能を動作させる

GPS 機能を動作させる場合は下記の設定方法を参照し、APRS/GPS セットモード『18 GPS POWER』を「GPS ON」に設定してください (工場出荷時は“ON”になっています)。VX-8G の GPS 機能を“ON”に設定していると、VX-8G の内部時計の設定*や自局の位置設定は GPS のデーターから自動的に取り込まれます。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示を STATION LIST 画面, APRS MESSAGE 画面または GPS 画面にします。

2. **[MENU]** を 1 秒以上押します。

各種の設定を行なえる APRS/GPS セットモードになります。

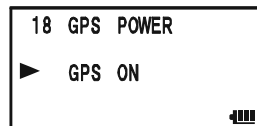
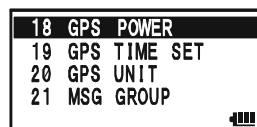
3. DIAL ツマミをまわして『18 GPS POWER』を選択します。

4. **[MENU]** を短く押します。

5. DIAL ツマミをまわして「GPS ON」を選択します。

6. **[MENU]** を 1 秒以上押してセットモードを終了します。

GPS 機能が ON に設定され、もとの表示に戻ります。



※：曜日のデーターは自動的に取り込みません。17 ページを参考に曜日を設定してください。

- GPS による自局位置情報を 10 個のメモリー (P 1 ~ P10) に登録することができます。また、登録した位置情報を自局位置として設定することができます (p. 111)。
- GPS 機能を使用すると消費電流が 40mA 程度増えますので、バッテリーの持ち時間は GPS が OFF のときと使用時間を比較して約 20% 程度短くなります。
- GPS 機能を APRS の運用で使用する場合は、必ず APRS セットモード『23 MY POSITION』の設定が“GPS”になっているか確認してください。

GPS 機能を使う

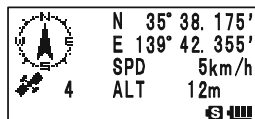
■ GPS の測位方法

1. VX-8G の電源を入れます。
2. 通常の周波数表示の状態から **[MENU]** を 1 回短く押すと GPS 画面になります。

[MENU] を押すごとに下記の順序で表示画面が変わります。

通常の周波数表示 → GPS 表示 → STATION LIST 表示 →

→ APRS MESSAGE 表示 → 通常の周波数表示に戻る



衛星をサーチするため測位時間が数分かかります。

方位（自局の移動方向）、測位、衛星、緯度、経度、高度が表示されます。

- GPS 衛星のデーターを捕捉する前の場合は、方位矢印（自局の移動方向）が無表示、緯度 / 経度の表示は点滅します。
- GPS 衛星のデーターを捕捉して測位すると方位矢印（自局の移動方向）は表示され、緯度 / 経度は点滅から点灯に変わり現在の位置を表示します。
- 建物やトンネルなどの障害物により測位できなくなったときは、方位矢印（自局の移動方向）のみ無表示になります。

3. **[B▼]** を押して画面をスクロールします。

[B▼] を押すと最後の行が 1 行移動し時刻が表示されます。

[A▲] を押すと 1 行戻り元の表示に戻ります。

GPS 測位について

測位とは、衛星の軌道情報と電波の伝播時間のデーターから自分の位置を計算することをいいます。測位するには衛星が 3 個以上捕捉されている必要があります。測位がうまくできない場合は、なるべく建物から離れ障害物の少ない天空の開けた場所に移動してください。

◎誤差について

測位する周辺的环境により数百 m の誤差が生じることがあります。測位する条件によっては 3 個の衛星でも測位できますが、下記の条件で精度が悪くなったり測位できなくなったりすることがあります。

- 高層ビルの間、● 建物との狭い道路、● 室内やビルの陰、● 高圧線の下や高架の下
- 森や林など樹木の間、● トンネルの中や地下、● 熱線反射ガラス越しの使用
- 強い磁気を発生する場所

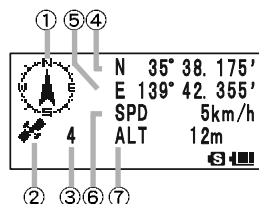
◎その日に初めて使用する場合

VX-8G をお買い上げ後、はじめて GPS 機能を使用する場合や、その日初めて使用の場合は、衛星をサーチするため測位時間が数分かかります。また、一度電源を切り数時間後再び使用する場合も、衛星をサーチするため測位時間が数分かかります。

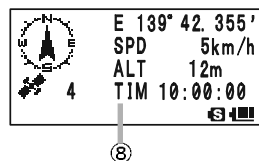
GPS 機能を使う

■ GPS 画面の説明と操作

GPS 機能を使用するとディスプレイに下記の情報が表示されます。



↓
[B▼] を押して画面を
 スクロールすると時刻
 が表示されます



① **方位**：North-UP：常に“北”が上になるように表示します。

Heading-UP： SPS SO TYP
(MODE) を押すと常に進行方向が上になるように表示します。矢印が白色に変わり方位計の右下に“H”が表示されます。



② **測位**：衛星を3個以上捕捉すると が表示します。

3個以上捕捉できない場合は は表示されません。

③ **衛星**：捕捉している衛星の数を表示します。

④ **緯度**：現在の位置をN（北緯）またはS（南緯）として表示します。
 X DD° MM. MMM と表示します。

X：X=N：北緯，X=S：南緯

DD：Degree（角度）

MM. MM：Minute（分）

例：N 35° 38.250（北緯35度38分15秒）

⑤ **経度**：現在の位置をE（東経）またはW（西経）として表示します。

X DDD° MM. MMM と表示します。

X：X=E：東経，X=W：西経

DDD：Degree（角度）

MM. MM：Minute（分）

例：E 139° 42.500（東経139度42分30秒）

⑥ **速度**：現在走行中の速度を表示します。

SPD aaakm/h と表示します。

例：SPD 5km/h（速度5km/h）

⑦ **高度**：現在の位置の高度を表示します。

ALT aaaaam と表示します。

例：ALT 20m（高度20メートル）

⑧ **時刻**：GPSからの時刻を表示します。

aa（時）：bb（分）：cc（秒） と表示します。

例：23：59：59（23時59分59秒）

※：データ端子へ外部GPS機器を入力した運用時は、下記のように表示されます。

aa（時）：bb（分）

- APRS/GPS セットモード『20 GPS UNIT』により、GPS データの単位を変更することができます。
- GPS 機能を使用することにより GPS から時刻データ（日付、時間）を受け取り24 時間表示で正確な時刻を表示します。またこの時刻データはGPS 画面やAPRS 画面の時刻データにも反映されます。ただし曜日のデータは自動的に取り込まれませんので、17 ページの「時計をセットしよう」を参考に曜日のみ設定してください。
- APRS/GPS セットモード『17 GPS DATUM』により、内蔵GPS ユニットの測地系を変更することができますが、APRS では WGS-84 の測地系を使用しますので変更しないことをお勧めします。
- APRS/GPS セットモード『27 TIME ZONE』により、タイムゾーンを30 分単位で設定することができます。
- GPS 機能を使用すると消費電流が40mA 程度増えますので、バッテリーの持ち時間はGPS がOFF のときと使用時間を比較して約20%程度短くなります。
- APRS/GPS セットモード『15 COM PORT SETTING』の「INPUT」を“GPS”にセットすると、外部GPS 機器から位置情報を取得することができます。このとき内蔵GPS からのデータは無効になります。
- 外部GPS 機器を使用するときは、VX-8G と外部GPS 機器を離して運用してください。

APRS® 機能を使う

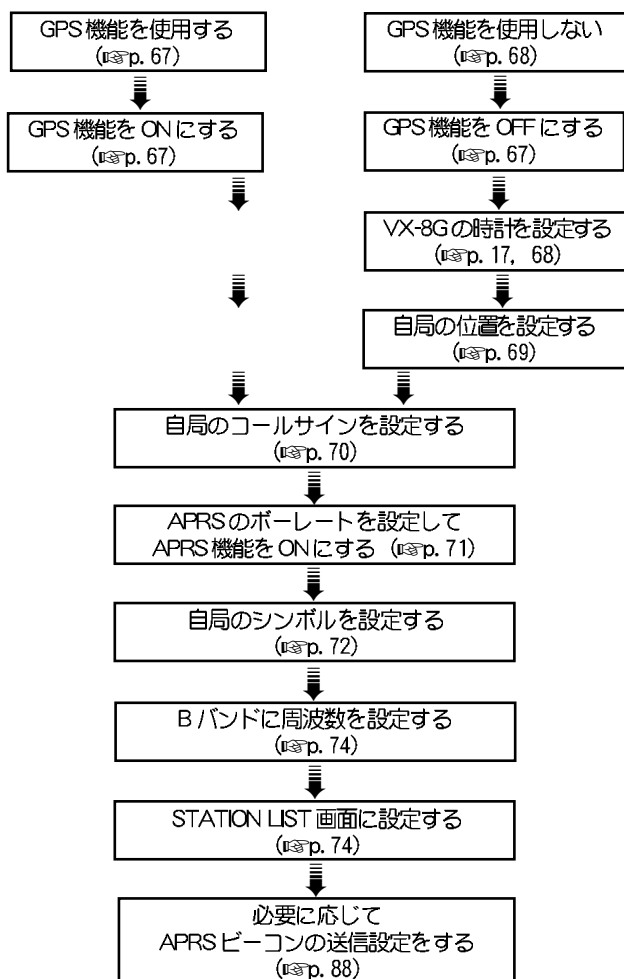
APRS® の初期設定

APRS (Automatic Packet Reporting System) とは、WB4APR Bob Bruninga 氏が提唱するシステムで、自局位置やメッセージ等のデーター通信を行うことができます。GPS 機能を使用しなくてもあらかじめ位置データーを入力しておくことで、同様な通信を行うこともできます。

相手局から APRS 信号を受信するとディスプレイに下記のようなデーターを表示します。

- ◎自局から見た相手局の方向、距離、速度等を表示します。
- ◎相手局から送ってきたメッセージを表示することができます。
- ◎特定の相手局を指定してメッセージを送受信することができます。

■ APRS 運用の初期設定の流れ



APRS®の初期設定 (つづき)

■ GPS 機能を使用して APRS を運用する場合

GPS 機能を使用すると、VX-8G の内部時計の設定*や自局の位置設定は GPS のデータから自動的に取り込まれますので、移動運用として使用する場合はお勧めします。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示を STATION LIST 画面、APRS MESSAGE 画面または GPS 画面にします。
2. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえる APRS/GPS セットモードになります。
3. DIAL ツマミをまわして『18 GPS POWER』を選択します。
4. **[MENU]** を短く押します。
5. DIAL ツマミをまわして『GPS ON』を選択します。
GPS 機能を OFF に設定する場合は、『GPS OFF』を選択します。
6. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。
GPS 機能が ON に設定され、もとの表示に戻ります。

18	GPS POWER
19	GPS TIME SET
20	GPS UNIT
21	MSG GROUP

18	GPS POWER
▶	GPS ON

APRS の運用で GPS からのデーターをそのまま自局の位置情報として利用する場合には、APRS セットモード『23 MY POSITION』の設定を“GPS”にしておく必要があります。GPS 以外の設定 (Lat/Lon や P1～P10) のときは、GPS データーを捕捉していても GPS データーは無効となり、設定した Lat/Lon や P1～P10 の位置情報が送信されます。

※：曜日のデーターは自動的に取り込みません。17 ページを参考に曜日を設定してください。

- GPS による自局位置情報を 10 個のメモリー (P 1～P10) に登録することができます。また、登録した位置情報を自局位置として設定することができます (p. 111)。
- GPS 機能を APRS の運用で使用する場合は、必ず APRS セットモード『23 MY POSITION』の設定が“GPS”になっているか確認してください。

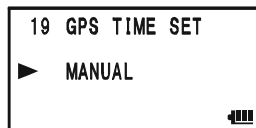
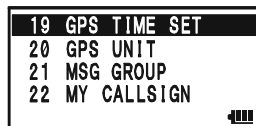
APRS®の初期設定 (つづき)

■ GPS 機能を使用せずに APRS を運用する場合

GPS機能を使用せずにAPRS運用をする場合は、「時計の設定」および「位置情報の設定」を手動で行う必要があります。

時計の設定

VX-8Gの内部時計を設定しておくと、APRS画面の時刻表示に反映されます。時刻の設定方法は17ページの「時計をセットしよう」を参考にし、下記の設定を行ってください。



1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面, APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。
2. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。
3. DIALツマミをまわして『19 GPS TIME SET』を選択します。
4. **[MENU]** を短く押します。
5. DIALツマミをまわして「MANUAL」を選択します。
6. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。
マニュアルに設定され、もとの表示に戻ります。

- GPS機能を使用すると消費電流が40mA程度増えますので、バッテリーの持ち時間はGPSがOFFのときと使用時間を比較して約20%程度短くなります。
- GPSユニットを起動しながらデュアル受信を行っているときに、GPSユニットからのノイズにより弱い信号が聞き取れない場合がありますが、故障ではありません。
- パソコンを接続してI-GATE運用やデジピーター運用をすることはできません。
- APRS/GPSセットモード『10 APRS UNIT』により、APRSデータの単位を変更することができます。
- VX-8Gの内部時計をマニュアルで設定してあっても、GPS機能を使用することによりGPSから時刻データを受け取り正確な時刻を表示します。またこの機能をAPRSセットモード『19 GPS TIME SET』によりOFF (MANUAL) に設定することができます。

APRS®の初期設定 (つづき)

位置情報の設定 (測地系: WGS-84)

マニュアルで自局の位置情報を入力します。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。
2. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。
3. DIALツマミをまわして『23 MY POSITION』を選択します。
4. **[MENU]** を短く押すと「GPS」の設定項目が現れます。
5. DIALツマミをまわして「Lat」を選択します。
6. SPS SQ TYP
[MODE] を押してカーソルを緯度の設定項目に移動します。
SC-M BND DN
[BAND] を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
7. DIALツマミをまわして「N(北緯)」または「S(南緯)」を設定します。
8. SPS SQ TYP
[MODE] を押してカーソルを移動します。
SC-M BND DN
[BAND] を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
9. DIALツマミをまわして「度」を入力します。
10. SPS SQ TYP
[MODE] を押してカーソルを移動します。
SC-M BND DN
[BAND] を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
11. DIALツマミをまわして「分」を入力します。
12. SPS SQ TYP
[MODE] を押してカーソルを移動します。
SC-M BND DN
[BAND] を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
13. DIALツマミをまわして「1/100分」を入力します。
カッコの部分は秒表示です。
14. SPS SQ TYP
[MODE] を押してカーソルを移動します。
SC-M BND DN
[BAND] を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
15. DIALツマミをまわして「Lon」の設定項目にします。
16. SPS SQ TYP
[MODE] を押してカーソルを経度の設定項目に移動します。
SC-M BND DN
[BAND] を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
17. DIALツマミをまわして「E(東経)」または「W(西経)」を設定します。
18. SPS SQ TYP
[MODE] を押してカーソルを移動します。
SC-M BND DN
[BAND] を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
19. 手順8. ～手順12. と同様に「度」「分」「1/100分」を入力します。
20. **[MENU]** を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。
マニュアルで自局位置が設定され、もとの表示に戻ります。

```
23 MY POSITION
24 MY SYMBOL
25 POSITION COMMENT
26 SmartBeaconing
```

```
23 MY POSITION
GPS
```

```
23 MY POSITION
Lat N 0°00.00'
('00")
```

```
23 MY POSITION
Lat N 0°00.00'
('00")
```

```
23 MY POSITION
Lat N 35°00.00'
('00")
```

```
23 MY POSITION
Lat N 35°38.00'
('00")
```

```
23 MY POSITION
Lat N 35°38.17'
('10")
```

```
23 MY POSITION
Lon E 0°00.00'
('00")
```

```
23 MY POSITION
Lon E 0°00.00'
('00")
```

```
23 MY POSITION
Lon E 139°42.33'
('20")
```

APRS® 機能の初期設定 (つづき)

■ 自局のコールサインを設定する

APRSでビーコンの送信及びメッセージの送受信を行うための自局のコールサインを登録します。コールサインは“JA1ZRL-7”のように入力し、“-7”はSSID (Secondary Station Identifier) というもので、SSIDなしを含めて16種類あります。APRSでは下表のようなSSIDが一般的に使用されています。

SSID	説 明	SSID	説 明
なし	固定局、固定局のIGate運用	- 8	船舶での運用
- 1	デジピーター、その他の固定局運用	- 9	FTM-350 などのモービルでの運用
- 2	デジピーター、その他の固定局運用	- 10	インターネット経由のみでの運用
- 3	デジピーター、その他の固定局運用	- 11	APRS touch-tone ユーザー (または気球局など)
- 4	HF から VHF へのゲートウェイでの運用	- 12	ラップトップのような移動機器での運用
- 5	固定局以外の IGate 運用	- 13	一般的に使用されていません
- 6	サテライト経由での運用	- 14	トラックでの運用
- 7	VX-8G などのハンディ機での運用	- 15	HF での運用

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示を STATION LIST 画面, APRS MESSAGE 画面または GPS 画面にします。

2. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。

3. DIAL ツマミをまわして『22 MY CALLSIGN』を選択します。

4. **[MENU]** を短く押します。

5. DIAL ツマミをまわしてコールサインを入力します。

テンキー入力も可能です。

下記の手順はDIAL ツマミでの入力方法です。

6. **[MODE]** を押してカーソルを移動します。

SPS SQ TYP

(MODE)

SC-M END ON

(BAND)

[MODE] を押すとカーソルの位置を1桁前に戻すことができます。

7. 手順5., 6. を繰り返しコールサインを入力します (最大6文字)。

6桁のコールサインが入力できます。

8. SSIDを設定しない場合は、**[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。

SSIDを設定する場合は、手順9. へ進み設定します。

9. **[MODE]** を押してカーソルを移動します。

SPS SQ TYP

(MODE)

10. DIAL ツマミをまわしてSSIDを設定します。

コールサインの後にSSIDの“-”が表示されます。

VX-8Gでは“-7”に設定することを推奨します。

11. **[MENU]** を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。

コールサインが設定され、もとの表示に戻ります。

コールサイン字を入力中に **[MODE]** を1秒以上押すとカーソル以降を削除します (SSIDを除く)。また、カーソルが1桁目の場合はSSIDを含めて削除します。

22 MY CALLSIGN
23 MY POSITION
24 MY SYMBOL
25 POSITION COMMENT

22 MY CALLSIGN
-

22 MY CALLSIGN
J

22 MY CALLSIGN
J

22 MY CALLSIGN
JA1ZRL

22 MY CALLSIGN
JA1ZRL-7

APRS® 機能の初期設定 (つづき)

■ APRS ボーレートの設定

APRS のボーレートの設定を行います。1200bps または 9600bps を選択すると APRS 機能が ON になります。OFF を選択すると APRS 機能は OFF になります。

1200bps に設定すると AFSK 1200bps / パケットによる APRS 運用が可能になります。また、9600bps に設定すると GMSK 9600bps / パケットによる APRS 運用が可能になります。

設定方法は下記のように行います。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示を STATION LIST 画面、APRS MESSAGE 画面または GPS 画面にします。

2. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえる APRS/GPS セットモードになります。

3. DIAL ツマミをまわして『3 APRS MODEM』を選択します。

4. **[MENU]** を短く押します。

5. DIAL ツマミをまわして希望の APRS ボーレートに設定します。

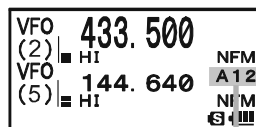
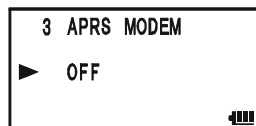
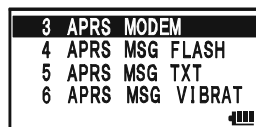
工場出荷時: OFF

OFF / 1200bps / 9600bps が設定可能です。

6. **[MENU]** を1秒以上押して APRS/GPS セットモードを終了します。

APRS ボーレートが設定され、もとの表示に戻ります。

B/バンドの周波数右側部分に **A12** (または **A96**) が表示されます。




A12 または
A96 が表示

APRS 運用を行わないときは、上記の手順5. で「OFF」の設定にしてください。

-
- APRS ボーレートを 1200bps または 9600bps に設定すると、自動的に受信セーブ機能が停止し、**[S]** が点滅から点灯に変わります。
 - APRS/GPS セットモードの『7 APRS MUTE』を「ON」に設定すると [B] バンドの受信音量（ピーコンや音声など）がミュートされ、「A12」または「A96」の表示が点滅します。
-

APRS® 機能の初期設定 (つづき)

■ 自局のシンボルを設定する

送信する自局のシンボルを設定します。46種類のシンボルを設定することができます。工場出荷時は“”が設定されています。





1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。

2. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして『24 MY SYMBOL』を選択します。

4. **[MENU]** を短く押すとMY SYMBOL 1が表示されます。

SPS SQ TYP **[MODE]** (または SC-M END ON **[BAND]**) を押すと  が  に変わりMY SYMBOL 1をよく使用するシンボルに変更することができます。




5. DIALツマミをまわすと、MY SYMBOL 1以外に、MY SYMBOL 2、MY SYMBOL 3、MY SYMBOL 4を選択することができます(下表参照)。

MY SYMBOL 1と同様、よく使用するシンボルに変更しておく、簡単にシンボルを呼び出すことができます。

MY SYMBOL 4はシンボル文字の直接入力を行うことができます。

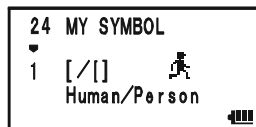
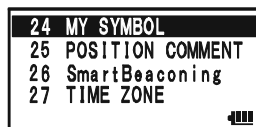
入力方法は次ページを参照してください。

各シンボルの初期値は下記ようになります。

MY SYMBOL	コード	シンボル
1	[/ []]	 Human/Person
2	[/ b]	 Bicycle
3	[/ >]	 Car
4	[YY]	User

6. **[MENU]** を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。

シンボルが設定され、もとの表示に戻ります。



シンボル文字の直接入力 (User モード)

シンボルが無い場合はシンボルの文字を直接入力することができます。入力方法は下記のように行います。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。

2. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして『24 MY SYMBOL』を選択します。

4. **[MENU]** を短く押すとMY SYMBOL 1が表示されます。

5. DIALツマミをまわしてMY SYMBOL 4を選択します。

6. SPS SQ TYP
[MODE] を押すと4が▶に変わります。

SC-MI SMD DN
[BAND] を押すと▶を4に戻すことができます。

7. SPS SQ TYP
[MODE] を押すとSymbol Table IDの設定項目にカーソルが移動します。

SC-MI SMD DN
[BAND] を押すとカーソルを▶に戻すことができます。

8. DIALツマミをまわして文字を入力します。

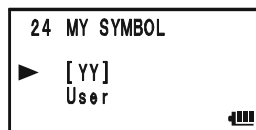
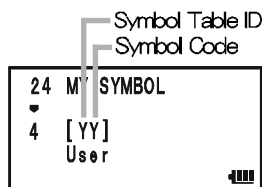
9. SPS SQ TYP
[MODE] を押すとSymbol Codeの設定項目にカーソルが移動します。

SC-MI SMD DN
[BAND] を押すとカーソルを位置をSymbol Table IDに戻すことができます。

10. DIALツマミをまわして文字を入力します。

11. **[MENU]** を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。

シンボルが設定され、もとの表示に戻ります。



- 最新のシンボル表は「<http://aprs.org/symbols/symbolsX.txt>」, 「<http://aprs.org/symbols/symbols-new.txt>」を参照してください。

APRS® ビーコンを受信する

ビーコンを受信する前に下記の設定を行ってください。

■ APRS の運用周波数を設定する

地域や国によって周波数は異なるようですが、国内では 144.64MHz または 144.66MHz で運用されていますので、どちらかの周波数に設定することを推奨します（2010 年 3 月現在）。

1. 操作バンドを [B▼] を押して B バンドに設定します。

APRS 運用は B バンドのみ動作します。B バンドの周波数右側部分に A12（または A96）が表示されていることを確認してください（※p. 71）。

2. 運用周波数を設定します。

運用周波数を設定後、操作バンドを A バンドに切り替えてもビーコンを送信することができます。

APRS/GPS セットモード『3 APRS MODEM』により APRS ポーレート を 1200bps または 9600bps に設定すると、自動的に受信セーブ機能が停止し、[9] が点滅から点灯に変わります。

■ ビーコンを受信する

周波数表示から [MENU] を短く 2 回押して“STATION LIST”画面を表示します。

周波数表示⇒GPS 表示⇒STATION LIST 表示⇒APRS MESSAGE 表示⇒周波数表示へ戻る

ビーコンを受信すると「ピンポーン（≡≡≡）」とベル音がなり下図のような画面が表示されます。

■ APRS ビーコン画面とキー操作の説明

“STATION LIST”画面とキー操作の説明

- ⑥
- | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|--------------|-------|---|---|---|
| STATION LIST | 5/50 | | | |
| 1 E JQ1YBG-9 | 01:20 | | | |
| 2 P JA1ZRL | 01:15 | | | |
| 3 W JQ1YBF | 01:06 | | | |
- ①局数/トータル数：ビーコンの数を最大 50 件まで表示します。
②番号：受信ビーコンを最新順に表示します。
③キャラクター：ステーションリストキャラクターを表示します。詳細は次ページを参照してください。
④ステーション名：受信ビーコンのコールサインまたは Object 名 / Item 名を表示します。
⑤時刻または日付：時刻（HH 時：MM 分）または日付（MM 月/DD 日）を表示します。翌日になると時刻表示が日付に変わります。
⑥ビーコン自動/手動送信アイコン：消灯時（MANUAL）、●が点灯時（AUTO）（※p. 88）、○が点灯時（SMART）（※p. 90）

- [A▲] [B▼], DIAL ツマミ…画面のスクロール / STEP 1 …STATION LIST の先頭にカーソルを移動
[DW MT] [V/M] …選択したビーコン局をディスプレイから削除（※p. 85）
[SC-H BND DN] [BAND] …“STATION LIST”詳細画面へ移動（※p. 76～p. 84）
[EMG R/H] [HM/RV] …メッセージの編集画面へ移動（※p. 99）
[MENU] …APRS MESSAGE 画面へ移動（※p. 94）
[MENU] (1 秒以上押す) …APRS/GPS セットモード（※p. 105）
[TX PO] [9] …ビーコンの手動送信（※p. 88） / [MODE] …ビーコン手動送信/自動送信の切り替え（※p. 88）

- APRS/GPS セットモード『2 APRS FILTER』により、APRS フィルターで「ON」に設定したビーコンを取り込み表示します。「OFF」を選択すると、「ピープ（≡≡≡）」とベル音がなりビーコンを取り込みません。
○ APRS/GPS セットモード『7 APRS MUTE』により、APRS を運用している [B] バンドの受信音（ビーコンや音声など）をミュートします。
○ APRS/GPS セットモード『9 APRS RINGER BOON』により、APRS のビーコンが着信したとき、ベルを鳴らして知らせます。「OFF」を選択すると、着信時のベル音は鳴りません。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

ステーションリストキャラクターの説明

ステーションリストキャラクターの表示例として14種類説明しています、詳細画面の表示例は下記表の記載ページを参照してください。

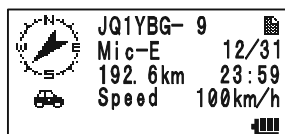
◎ STATION LIST 5/50		
1	E JQ1YBG- 9	01:20
2	P JA1ZRL	01:15
3	W JQ1YBF	01:06

表示	説明	ページ
E	Mic-E: マイクエンコーダー局のビーコンを受信すると表示します	76
P	Position: 固定局(FIXED)/移動局(MOVING)のビーコンを受信すると表示します	77~79
p	Position: 固定局(fixed)/移動局(moving)ビーコンを受信すると表示します 圧縮タイプ)	80
W	Weather report: 気象局のビーコンを受信すると表示します	81
w	Weather report: 気象局のビーコンを受信すると表示します 圧縮タイプ)	81
O	Object: オブジェクト局のビーコンを受信すると表示します	82
o	Object: オブジェクト局のビーコンを受信すると表示します 圧縮タイプ)	82
I	Item: アイテム局のビーコンを受信すると表示します	82
i	Item: アイテム局のビーコンを受信すると表示します 圧縮タイプ)	82
K	Killed Object/Item: 削除されたオブジェクト局/アイテム局を受信すると表示します	82
k	Killed Object/Item: 削除されたオブジェクト局/アイテム局を受信すると表示します 圧縮タイプ)	82
S	Status: ステータス局のビーコンを受信すると表示します	83
?	Other: 解読できなかったビーコンを受信すると表示します	84
Emg	Mic-E局からのEmergency信号を受信すると表示します	76

- VX-8Gの電源を入れ、GPSを捕捉前の状態のときに詳細画面を表示すると、方位矢印と距離は無表示になります。
- 建物やトンネルなどの障害物により測位できないときは、測位できていた時点の位置情報（方位矢印、緯度/経度、距離）を表示し、測位できる位置に移動すると再び正確な位置情報を表示します。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

E (Mic-E) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明



または
DIAL ツマミ

“STATION LIST” 画面で、 を押すまたは DIAL ツマミをまわして “E” の局を選択し、 を押して確定すると E (Mic-E) の詳細画面になります。

ディスプレイに 4 行まで表示しますが、 を押すまたは DIAL ツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

, DIAL ツマミ…画面のスクロール

+ , DIAL ツマミ…ビーコン局の切り替え

…“STATION LIST”画面へ移動 (p. 74)

…メッセージの編集画面へ移動 (p. 99)

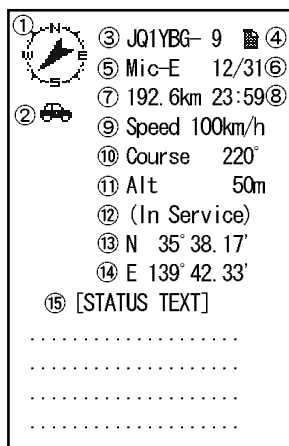
…APRS MESSAGE画面へ移動 (p. 94)

(1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (p. 105)

…RAWデータ表示画面へ移動 (p. 86)

…ビーコンの送信 (p. 88)

画面の詳細



①コンパス 方位： 自局から見た相手局の方向を表示します。

②シンボル： 無線局のシンボルを表示します。

③コールサイン： 受信コールサインを表示します。

④メッセージ表示： STATUS TEXT が含まれているビーコンを受信すると のマークを表示します。

⑤タイプコード： 相手局が使用しているタイプコードを表示します (Mic-E, McE-Trk, McE-Msg や無線機の機種名等)。

⑥日 付： ビーコンを受信した日付 (MM月/DD日) を表示します。

⑦距 離： 相手局との距離を表示します。

⑧時 刻： ビーコン受信時の時刻 (HH時:MM分) を表示します。

⑨速 度： 相手局の移動速度を表示します。

⑩方 向： 相手局の移動方向を表示します。

⑪高 度： 相手局の高度を表示します。

⑫ポジションコメント： 相手局のポジションコメントを表示します。Emergencyを受信すると (Emergency!) と表示され「プーッ (X12)」と 12 回繰り返しベル音をならします。

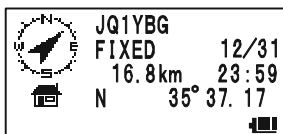
⑬緯 度： 現在の位置を N (北緯) または S (南緯) として表示します (DD度MM分またはDD度MM分SS秒)。

⑭経 度： 現在の位置を E (東経) または W (西経) として表示します (DD度MM分またはDD度MM分SS秒)。

⑮STATUS TEXT： コメント情報を表示することができます。

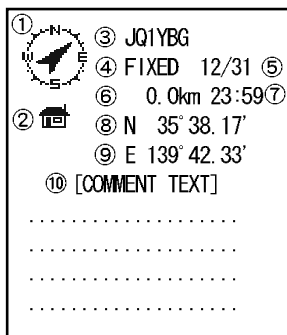
APRS® ビーコンを受信する (つづき)

P (Position:固定局) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明



A▲ B▼
または
DIALツマミ

画面の詳細



“STATION LIST”画面で、A▲ B▼ を押すまたはDIALツマミをまわして“P”の局を選択し、BAND を押して確定するとP (Position) の詳細画面になります。

ディスプレイに4行まで表示しますが、A▲ B▼ を押すまたはDIALツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

A▲ B▼, DIALツマミ…画面のスクロール

BW + A▲ B▼, DIALツマミ…ビーコン局の切り替え

SC-M BND DN
BAND …“STATION LIST”画面へ移動 (p. 74)

EMG R/H
HM/RV …メッセージの編集画面へ移動 (p. 99)

MENU …APRS MESSAGE画面へ移動 (p. 94)

MENU (1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (p. 105)

SPS SQ TYP
MODE …RAWデータ表示画面へ移動 (p. 86)

TX PO
88 …ビーコンの送信 (p. 88)

①コンパス (方位) : 自局から見た相手局の方向を表示します。

②シンボル : 無線局のシンボルを表示します。

③コールサイン : 受信コールサインを表示します。

④相手局情報 : 固定局 (FIXED) 情報を表示します。

⑤日付 : ビーコンを受信した日付 (MM月/DD日) を表示します。

⑥距離 : 相手局との距離を表示します。

⑦時刻 : ビーコン受信時の時刻 (HH時:MM分) を表示します。

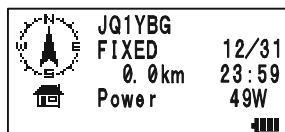
⑧緯度 : 現在の位置をN (北緯) またはS (南緯) として表示します (DD度MM.MM分またはDD度MM分SS秒)。

⑨経度 : 現在の位置をE (東経) またはW (西経) として表示します (DDD度MM.MM分またはDDD度MM分SS秒)。

⑩COMMENT TEXT : コメント情報を表示することができます。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

P (Position:固定局) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明



または
DIAL ツマミ

“STATION LIST” 画面で、 を押すまたは DIAL ツマミをまわして “P” の局を選択し、 を押して確定すると P (Position) の詳細画面になります。Position には PHG コードとよばれる詳細情報を含む場合があります。このデータは下記のように表示します。ディスプレイに 4 行まで表示しますが、 を押すまたは DIAL ツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

, DIAL ツマミ…画面のスクロール

, DIAL ツマミ…ビーコン局の切り替え

…“STATION LIST”画面へ移動 (p. 74)

…メッセージの編集画面へ移動 (p. 99)

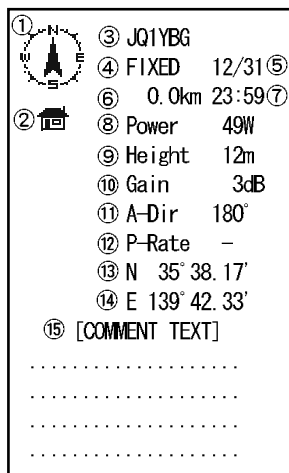
…APRS MESSAGE画面へ移動 (p. 94)

(1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (p. 105)

…RAWデータ表示画面へ移動 (p. 86)

…ビーコンの送信 (p. 88)

画面の詳細



①コンパス (仿位) : 自局から見た相手局の方向を表示します。

②シンボル : 無線局のシンボルを表示します。

③コールサイン : 受信コールサインを表示します。

④相手局情報 : 固定局 (FIXED) 情報を表示します。

⑤日付 : ビーコンを受信した日付 (MM月/DD日) を表示します。

⑥距離 : 相手局との距離を表示します。

⑦時刻 : ビーコンを受信した時刻 (HH時:MM分) を表示します。

⑧送信出力 : 相手局の送信出力を表示します。

⑨アンテナ地上高 : 相手局のアンテナ地上高を表示します。

⑩アンテナゲイン : 相手局のアンテナゲインを表示します。

⑪アンテナ方向 : 相手局のアンテナ方向を表示します。

⑫送信回数 : 相手局の送信回数を表示します。

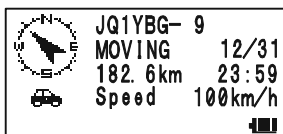
⑬緯度 : 相手局の位置を N (北緯) または S (南緯) として表示します (DD度MM.MM分またはDD度MM分SS秒)。

⑭経度 : 相手局の位置を E (東経) または W (西経) として表示します (DDD度MM.MM分またはDD度MM分SS秒)。




⑮COMMENT TEXT : コメント情報を表示することができます。



APRS® ビーコンを受信する (つづき)



P (Position:移動局) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明







 または
 DIAL ツマミ

“STATION LIST” 画面で、  を押すまたは DIAL ツマミをまわして “P” の局を選択し、 を押して確定すると P (Position) の詳細画面になります。移動に関する情報 (Speed, Course) を含む場合は下記のように表示します。

ディスプレイに 4 行まで表示しますが、  を押すまたは DIAL ツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

 , DIAL ツマミ…画面のスクロール


 +  , DIAL ツマミ…ビーコン局の切り替え


SC-M BND DN
 …“STATION LIST”画面へ移動 (p. 74)

EMG R/H
(HM/RV) …メッセージの編集画面へ移動 (p. 99)

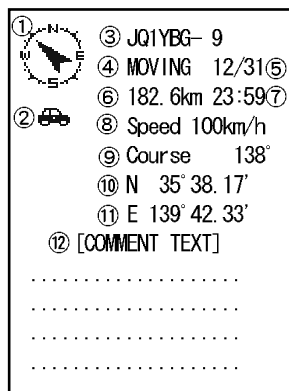
 …APRS MESSAGE画面へ移動 (p. 94)

 (1 秒以上押す) …APRS/GPS セットモード (p. 105)

SPS SQ TYP
 …RAW データ表示画面へ移動 (p. 86)

TX PO
 …ビーコンの送信 (p. 88)

画面の詳細



①コンパス (方位) : 自局から見た相手局の方向を表示します。

②シンボル : 無線局のシンボルを表示します。

③コールサイン : 受信コールサインを表示します。

④相手局情報 : 移動局 (MOVING) 情報を表示します。

⑤日付 : 日付 (MM 月/DD 日) を表示します。

⑥距離 : 相手局との距離を表示します。

⑦時刻 : ビーコンを受信した時刻 (HH 時:MM 分) を表示します。

⑧速度 : 相手局の移動速度を表示します。

⑨方向 : 相手局の移動方向を表示します。

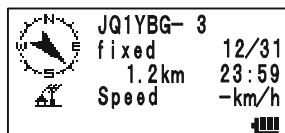
⑩緯度 : 現在の位置を N (北緯) または S (南緯) として表示します (DD 度 MM. MM 分または DD 度 MM 分 SS 秒)。

⑪経度 : 現在の位置を E (東経) または W (西経) として表示します (DDD 度 MM. MM 分または DD 度 MM 分 SS 秒)。

⑫COMMENT TEXT : コメント情報を表示することができます。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

p (Compressed type: 固定局/移動局) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明



① ②
または
DIAL ツマミ

“STATION LIST” 画面で、**①** **②** を押すまたは DIAL ツマミをまわして “p” (Position Compressed type*) の局を選択し、**③** **④** を押して確定すると P (Position) の詳細画面になります。

ディスプレイに 4 行まで表示しますが、**①** **②** を押すまたは DIAL ツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

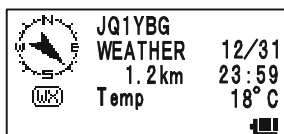
① **②**, DIAL ツマミ…画面のスクロール

③ **④** + **①** **②**, DIAL ツマミ…ビーコン局の切り替え

⑤ **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **⓪** **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝</**

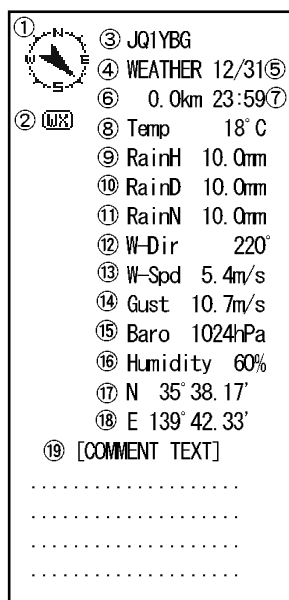
APRS® ビーコンを受信する (つづき)

W または w (Weather report:気象局) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明



または
 DIAL ツマミ

画面の詳細



“STATION LIST” 画面で、 を押すまたは DIAL ツマミをまわして “W” (Weather report) または “w” (Weather report Compressed type*) の局を選択し、
SC-M BND DN
 を押して確定すると W または w (Weather report) の詳細画面になります。

ディスプレイに 4 行まで表示しますが、 を押すまたは DIAL ツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

, DIAL ツマミ…画面のスクロール

+ , DIAL ツマミ…ビーコン局の切り替え

SC-M BND DN
 …“STATION LIST”画面へ移動 (p. 74)

EMG R/H
 …メッセージの編集画面へ移動 (p. 99)

…APRS MESSAGE 画面へ移動 (p. 94)

(1 秒以上押す) …APRS/GPS セットモード (p. 105)

SPS SQ TYP
 …RAW データ表示画面へ移動 (p. 86)

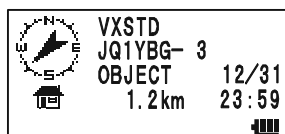
TX PO
 …ビーコンの送信 (p. 88)

- ①コンパス (方位) : 自局から見た相手局の方向を表示します。
- ②シンボル : のシンボルを表示します。
- ③コールサイン : 受信コールサインを表示します。
- ④相手局情報 : 気象局情報 (WEATHER) を表示します。
Compressed type は小文字で表示されます。
- ⑤日 付 : 日付 (MM 月/DD 日) を表示します。
- ⑥距 離 : 相手局との距離を表示します。
- ⑦時 刻 : ビーコンを受信した時刻 (HH 時 : MM 分) を表示します。
- ⑧温 度 : 温度情報を表示します。
- ⑨雨 量 : 1 時間当たりの雨量情報を表示します。
- ⑩雨 量 : 24 時間当たりの雨量情報を表示します。
- ⑪雨 量 : 夜半からの雨量情報を表示します。
- ⑫風向き : 風向きの情報を表示します。
- ⑬風 速 : 風速情報を表示します。
- ⑭最大風速 : 最大風速の情報を表示します。
- ⑮気 圧 : 気圧の情報を表示します。
- ⑯湿 度 : 湿度の情報を表示します。
- ⑰緯 度 : 現在の位置を N (北緯) または S (南緯) として表示します (DD 度 MM. MM 分または DD 度 MM 分 SS 秒)。
- ⑱経 度 : 現在の位置を E (東経) または W (西経) として表示します (DDD 度 MM. MM 分または DD 度 MM 分 SS 秒)。
- ⑲ COMMENT TEXT : コメント情報を表示することができます。

※ : Compressed type のビーコンは一部の情報が圧縮された形式で送信されるビーコンです。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

O (Object) または I (Item) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明

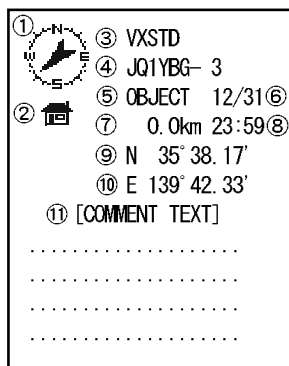


[A▲] [B▼]
または
DIALツマミ

“STATION LIST” 画面で、**[A▲] [B▼]** を押すまたは DIAL ツマミをまわして “O” (Object) または “I” (Item) の局を選択し、**[SC-M BND DN] [BAND]** を押して確定すると O (Object) または I (Item) の詳細画面になります。
ディスプレイに 4 行まで表示しますが、**[A▲] [B▼]** を押すまたは DIAL ツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

- [A▲] [B▼]**, DIAL ツマミ…画面のスクロール
- [BAND] + [A▲] [B▼]**, DIAL ツマミ…ビーコン局の切り替え
- [SC-M BND DN] [BAND]** …“STATION LIST”画面へ移動 (p. 74)
- [EMG R/H] [HM/RV]** …メッセージの編集画面へ移動 (p. 99)
- [MENU]** …APRS MESSAGE画面へ移動 (p. 94)
- [MENU] (1秒以上押す)** …APRS/GPSセットモード (p. 105)
- [SPS SQ TYP] [MODE]** …RAWデータ表示画面へ移動 (p. 86)
- [TX PO] [X]** …ビーコンの送信 (p. 88)

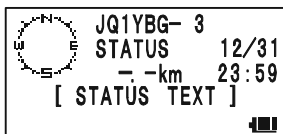
画面の詳細



- ①コンパス 方位： 自局から見た相手局の方向を表示します。
- ②シンボル： 無線局のシンボルを表示します。
- ③名 称： Object または Item 名を表示します。
- ④コールサイン： 受信コールサインを表示します。
- ⑤相手局情報： Object または Item 局情報を表示します。
ステーションリストキャラクターに “K” または “k” を表示された場合は Kill ビーコンを受信した場合で、「KILL OBJ」または「KILL ITEM」と表示します。Kill は Object 局または Item 局が削除されたことを示すビーコンです。Compressed タイプは小文字で表示されます。
- ⑥日 付： ビーコン受信した日付 (MM 月/DD 日) を表示します。
- ⑦距 離： 相手局との距離を表示します。
- ⑧時 刻： ビーコン受信時の時刻 (HH 時 : MM 分) を表示します。
- ⑨緯 度： 現在の位置を N (北緯) または S (南緯) として表示します (DD 度 MM. MM 分または DD 度 MM 分 SS 秒)。
- ⑩経 度： 現在の位置を E (東経) または W (西経) として表示します (DD 度 MM. MM 分または DD 度 MM 分 SS 秒)。
- ⑪COMMENT TEXT： コメント情報を表示することができます。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

S (Status) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明



(A▲) (B▼)
または
DIAL ツマミ

“STATION LIST” 画面で、(A▲) (B▼) を押すまたは DIAL ツマミをまわして “S” (Status) の局を選択し、(SC-M BND DN) (BAND) を押して確定すると S (Status) の詳細画面になります。ディスプレイに 4 行まで表示しますが、(A▲) (B▼) を押すまたは DIAL ツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

(A▲) (B▼), DIAL ツマミ…画面のスクロール

(BAND) + (A▲) (B▼), DIAL ツマミ…ビーコン局の切り替え

(SC-M BND DN) (BAND) …“STATION LIST”画面へ移動 (p. 74)

(EMC R/H) (MM/RV) …メッセージの編集画面へ移動 (p. 99)

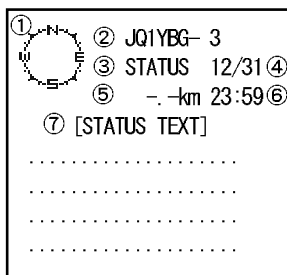
(MENU) …APRS MESSAGE画面へ移動 (p. 94)

(MENU) (1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (p. 105)

(SPS SQ TYP) (MODE) …RAWデータ表示画面へ移動 (p. 86)

(TX PO) (8) …ビーコンの送信 (p. 88)

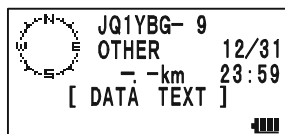
画面の詳細



- ①コンパス (方位) : 位置情報は表示されません。
- ②コールサイン : 受信コールサインを表示します。
- ③相手局情報 : Status 情報を表示します。
- ④日 付 : ビーコンを受信した日付 (MM月/DD日) を表示します。
- ⑤距 離 : 相手局との距離は表示しません。
- ⑥時 刻 : ビーコン受信時の時刻 (HH時:MM分) を表示します。
- ⑦STATUS TEXT : コメント情報を表示することができます。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

? (Other) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明



または

 DIALツマミ

“STATION LIST”画面で、**A▲ B▼**を押すまたはDIALツマミをまわして“?” (Other) の局を選択し、**BAND**を押して確定すると? (Other) の詳細画面になります。APRSのビーコンとして解読できなかった/パケットを受信したときに表示されます。

ディスプレイに4行まで表示しますが、**A▲ B▼**を押すまたはDIALツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

A▲ B▼, DIALツマミ…画面のスクロール

BW+ A▲ B▼, DIALツマミ…ビーコン局の切り替え
SC-M BND ON
BAND …“STATION LIST”画面へ移動 (p. 74)

EMG R/H
HM/RV …メッセージの編集画面へ移動 (p. 99)

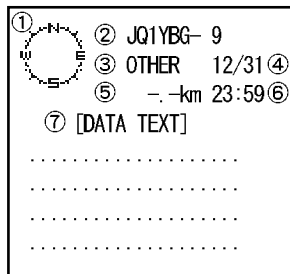
MENU …APRS MESSAGE画面へ移動 (p. 94)

MENU (1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (p. 105)

SPS SQ TYP
MODE …RAWデーター表示画面へ移動 (p. 86)

TX PO
 …ビーコンの送信 (p. 88)

画面の詳細



①コンパス (方位) : 位置情報は表示されません。

②コールサイン : 受信コールサインを表示します。

③相手局情報 : Other packet 情報を表示します。

④日 付 : ビーコンを受信した日付 (MM月/DD日) を表示します。

⑤距 離 : 相手局との距離は表示しません。

⑥時 刻 : ビーコン受信時の時刻 (HH時:MM分) を表示します。

⑦DATA TEXT : APRSのビーコンとして解読できなかった/パケットデーターをそのまま表示します。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

■ ビーコン局をリストから削除する

“STATION LIST” 画面から必要としないビーコン局を選択してリストから削除することができます。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST 画面にします。
2. **[A▲]** **[B▼]** を押すまたはDIALツマミをまわして画面を上下にスクロールし、削除したいコールサインを選択します。
3. DW MT
[V/M] を押すとディスプレイに“DELETE?”と確認メッセージが表示されます。
DW MT
[V/M] 以外のキーを押すとキャンセルします。
4. DW MT
[V/M] を押すと消去されます。

STATION LIST		5/50
2	P JA1ZRL	01:15
3	W JQ1YBF	01:08
4	E JQ1YBG- 9	01:06

STATION LIST		5/50
2	DELETE?	
3	W JQ1YBF	01:08
4	E JQ1YBG- 9	01:06

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

■ RAW パケットデータの表示

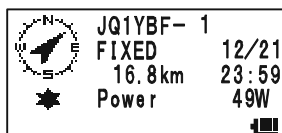
“STATION LIST” 詳細画面から相手局のパケットデータ（生データ）を表示することができます。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面にします。
2. **[▲]** **[▼]** を押すまたはDIALツマミをまわしてRAWパケットデータを見たいビーコン局を選択します。
3. SC-M END DN
[BAND] を押してディスプレイの表示をSTATION LIST詳細画面にします。
4. SPS SQ TYP
[MODE] を押すとディスプレイにRAWパケットデータが表示されます。
5. **[▲]** **[▼]** を押すまたはDIALツマミをまわして画面を上下にスクロールすることができます。

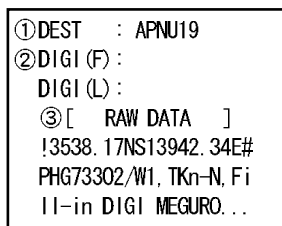
[QW] を表示中, **[▲]** **[▼]** を押すまたはDIALツマミをまわすと表示中のビーコン局を切り替えることができます。

6. SPS SQ TYP
[MODE] を押すとSTATION LIST詳細画面に戻ります。

STATION LIST詳細画面



RAWパケットデータ表示画面の詳細



- ① **Destination 情報:** AX.25 パケットの Destination Address 情報を表示
- ② **Digipeater 情報:** 中継局 (Digipeater) の情報を表示
- ③ **RAW TEXT:** 生データのテキストを表示

- 送信メッセージの場合は、Digipeater 情報が保存されないため DIGI(First)と DIGI(Last)の情報は表示されません (“-” が表示されます)。
- 3rd Party Header Beacon (I-Gate 等からの BEACON) を受信した場合は、AX.25 のパケット信号から得られる情報ではなく、3rd Party Header Beacon のテキストに含まれているルート情報を表示します。

APRS® ビーコンを送信する

■ ビーコンを手動で送信する

を押します。

ビーコンを自動送信したい場合は、下記の「ビーコンの手動送信/自動送信の切り替え」で「AUTO」または「SMART」に設定してください。


- デジピーターに中継された自局ビーコンを受信したとき「ピポポーッ (耳)」とベル音がなります。
- GPS機能をAPRSの運用で使用する場合は、必ずAPRSセットモード『23 MY POSITION』の設定が“GPS”になっているか確認してください。また、GPSデーターが捕捉できない場合は、ビーコンを送信できません。

■ ビーコンの手動送信 / 自動送信の切り替え


APRSビーコンを手動送信するまたは自動送信するかを設定することができます。

1. を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。

2. を短く押すごとに「MANUAL」、「AUTO」または「SMART」に切り替わります。
セットモードの『14 BEACON TX』のショートカットキーです。

- が消灯 (MANUAL): を押したときにのみ自局のAPRSビーコンを送信することができます (工場出荷時)。
- が点灯 (AUTO): 自局のAPRSビーコンを5分間隔で自動送信をします。^{※1}
- が点灯 (SMART): SmartBeaconing™機能により自動送信をします。^{※2}

消灯時 (MANUAL)
● が点灯時 (AUTO)
○ が点灯時 (SMART)



◎	STATION LIST	5/50
1	E JQ1YBG- 9	01:20
2	P JA1ZRL	01:15
3	W JQ1YBF	01:06

※1: APRS/GPS セットモード『12 BEACON INTERVAL』でビーコン送信の間隔を変更することができます。

※2: ・ SmartBeaconing™機能の詳細は90ページを参照してください。

- ・ APRS/GPS セットモード『26 SmartBeaconing』のSTATUS設定がTYPE1～TYPE3で、さらにAPRS/GPS セットモード『23 MY POSITION』がGPSの場合にのみ、この設定が選べます。

APRS/GPS セットモード『11 APRS TX DELAY』で、データ送信ディレイタイムを変更することができます。

APRS[®] ビーコンを送信する (つづき)

■ ビーコンの自動送信間隔設定

APRSビーコンを自動的に送出する時間間隔を設定します。

ビーコンの手動送信 / 自動送信の切り替えを「**●AUTO**」に設定してください。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示を**STATION LIST**画面, **APRS MESSAGE**画面または**GPS**画面にします。

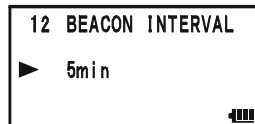


2. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。

3. **DIAL** ツマミをまわして『**12 BEACON INTERVAL**』を選択します。

4. **[MENU]** を短く押します。



5. **DIAL** ツマミをまわして希望の自動送信間隔時間を選択します。

工場出荷時: 5min

30sec / 1min / 2min / 3min / 5min / 10min / 15min / 20min / 30min / 60min から設定可能です。

6. **[MENU]** を1秒以上押して**APRS/GPS**セットモードを終了します。

送信間隔時間が設定され、もとの表示に戻ります。

- APRSビーコンを自動送信に切り替えておき、ビーコンの自動送信間隔設定をした時点でタイマーがリセットされ、この時点からビーコンの自動送信間隔時間のカウントが始まり、設定した時間が経つと初回のビーコンが送出されます。
- 自動 (AUTO) 送信動作中も **[TXPO]** を押すと、強制的にビーコンを送信することができます。強制的にビーコンを送信すると、自動送信タイマーがリセットされます。
- 指定された時間が経過し、自動的にビーコンを送出しようとしたときにスケルチが開いているときは、送出動作を保留します。スケルチが閉じるとビーコンを送出します。

APRS® ビーコンを送信する (つづき)

■ SmartBeaconing™ を設定する

SmartBeaconing™ 機能とは、GPS アンテナユニットからのデータ（移動速度や進行方向など）にもとづき、効率的に自局位置情報のビーコンを送信する機能です。

VX-8G では、SmartBeaconing™ 機能による自動送信機能に対応しています。

VX-8G の SmartBeaconing™ 機能には、3 種類 (TYPE1 ~ TYPE3) の異なる設定が用意されており、下記運用を想定した初期値があらかじめプリセットされています。

TYPE1 : 自動車などの高速移動を想定

TYPE2 : 自転車などの中低速移動を想定

TYPE3 : 徒歩などの低速移動を想定

TYPE2 と TYPE3 の設定 (特に TYPE3) では、比較的遅めの移動速度であっても短時間に多数のビーコンが送信されてしまう為、これらの設定のまま自動車等の高速移動中に運用すると、ビーコンが多数送信され周波数混雑の要因となります。

高速移動する可能性がある場合には、必ず TYPE1 の設定に戻す様にしてください。

異なるタイミングでの運用を試したい場合、TYPE1 ~ TYPE3 の設定パラメータ自体を変更する事もできます。パラメータを変更する際も、適切にビーコンが送信されるように SmartBeaconing™ のパラメータや DIGI PATH 設定などを調整し、周波数混雑を起こさないような運用を心がけましょう。

この機能を使う為には、下記のような操作を行います。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示を STATION LIST 画面、APRS MESSAGE 画面または GPS 画面にします。
2. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえる APRS/GPS セットモードになります。
3. DIAL ツマミをまわして『26 SmartBeaconing』を選択します。
4. **[MENU]** を短く押します。
5. DIAL ツマミをまわして希望の「TYPE」を選択します。
OFF: SmartBeaconing 機能を OFF にします。
TYPE1 : 自動車などの高速移動を想定した設定になっています。
TYPE2 : 自転車などの中低速移動を想定した設定になっています。
TYPE3 : 徒歩などの低速移動を想定した設定になっています。
6. **[MENU]** を1秒以上押して APRS/GPS セットモードを終了します。

26 SmartBeaconing
27 TIME ZONE
1 APRS DESTINATION
2 APRS FILTER

26 SmartBeaconing
STATUS : TYPE2
LOW SPD: 3km/h
HIGH SPD: 30km/h

○ STATION LIST	5/50
1 E JQ1YBG- 9	01:20
2 P JA1ZRL	01:15
3 W JQ1YBF	01:06

7. **[MODE]** を数回押してディスプレイの左上に“O”を点灯させます。
APRS/GPS セットモード「14 BEACON TX」のショートカットキーです。
ディスプレイの左上に“O”が点灯すると SmartBeaconing™ が設定されます。

○ APRS/GPS セットモード『14 BEACON TX』で SMART を選んだ場合、BEACON INTERVAL の設定は無視されます。

○ APRS/GPS セットモード『26 SmartBeaconing』の STATUS 設定が TYPE1 ~ TYPE3 で、さらに APRS/GPS セットモード『23 MY POSITION』が GPS の場合のみ、この設定が選べます。

※ SmartBeaconing™ は、HamHUD Nichetronix 社から提供されています。

APRS® ビーコンを送信する (つづき)

■ ステータステキストの入力

最大 60 文字までのステータステキストを 5 種類登録することができます。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。

2. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして『13 BEACON STATS TXT』を選択します。

4. **[MENU]** を短く押します。

5. DIALツマミをまわして登録したいステータステキストの番号を選択します。

あらかじめテキストが入力されている場合は、テキスト内容の先頭 16 文字が表示されます。

6. SFS SQ TYP
[MODE] を押すと編集画面になります。

SC-M BND ON
[BAND] を押すと1つ前の状態に戻ります。

7. DIALツマミをまわして文字を入力します (文字は下表参照)。

テンキー入力も可能です。

○ カーソル以降のクリアーは、**[▲]** **[▼]** を押して「CLEAR」を選択後 DW MT
[V/M] を押してください。

○ カーソル位置の1文字クリアーは、**[▲]** **[▼]** を押して「DELETE」を選択後 DW MT
[V/M] を押してください。

○ 文章中1文字追加は、**[▲]** **[▼]** を押して「INSERT」を選択後 DW MT
[V/M] を押してください。

○ 全消去方法は、**[▲]** **[▼]** を押して「ALL CLEAR」を選択後 DW MT
[V/M] を押してください。

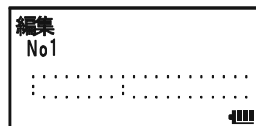
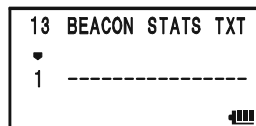
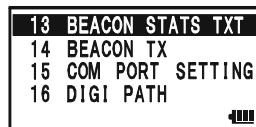
8. 手順6, 7. を繰り返し文字を入力します。

9. **[MENU]** を短く押して確定します。

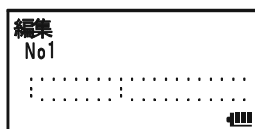
10. **[MENU]** を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。

ステータステキストの登録を終了し、もとの表示に戻ります。

最後に登録したステータステキストが送出されます。



21文字目、29文字目及び43文字目に: (コロン)が表示されます。このコロンの位置を超える長いテキストを入力すると、一部の機種で受信表示できない場合があります。なるべくコロンの位置より短い長さのテキストで入力することを推奨します。



ステータステキスト入力文字一覧表

ステータステキスト入力文字一覧表																				
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U
V	W	X	Y	Z	[\]	^ _	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{ }	~ (スペース)	!	"	#	\$	%	&
'	()	*	+	,	-	.	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	< = > ? @

テンキーで英数字が入力可能です。また、メッセージ入力では、SUB OF
[0] を押すと0以外に スペース - % / ? ! . : # を入力することができます。

APRS® ビーコンを送信する (つづき)

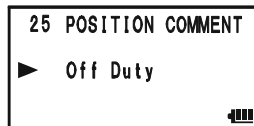
■ ポジションコメントの選択

自局ビーコン中に盛り込むポジションコメント (定型メッセージ) を選択します。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。
2. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。
3. DIALツマミをまわして『25 POSITION COMMENT』を選択します。
4. **[MENU]** を短く押します。
5. DIALツマミをまわして希望のポジションコメントを選択します。



25 POSITION COMMENT
26 SmartBeaconing
27 TIME ZONE
1 APRS DESTINATION



25 POSITION COMMENT
▶ Off Duty

工場出荷時: Off Duty

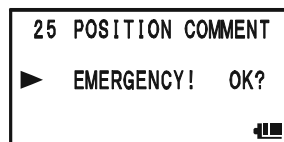
Off Duty / En Route / In Service / Returning / Committed /

Special / Priority / Custom 0 ~ Custom 6 / EMERGENCY! から設定可能です。

「EMERGENCY!」を選択したときのみ手順 6 で **[MENU]** を1秒以上押すと「OK?」の確認メッセージが表示され「プープープープ (≡×3)」とベル音がなります。

キャンセルをする場合はDIALツマミをまわして他のポジションコメントを選択してください。

表示後もう一度 **[MENU]** を1秒以上押して終了します。



25 POSITION COMMENT
▶ EMERGENCY! OK?

6. **[MENU]** を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。

ポジションコメントが設定され、もとの表示に戻ります。



事故や災害など本当に緊急の救助が必要な場合以外は絶対に「EMERGENCY!」を選択しないでください。

APRS® ビーコンを送信する (つづき)

■ デジピータールートの設定

デジピーターとは、ビーコンなどのパケットを中継する局を言います。利用するデジピーターのコールサインやエイリアス (ALIAS) を選択します。

VX-8Gでは、あらかじめ「WIDE1-1」(1ヶ所の中継設定)、「WIDE1-1, WIDE2-1」(2ヶ所の中継設定) がプリセットされています。「WIDE1-1, WIDE2-1」の場合は、最初にWIDE1-1指定により1ヶ所目のデジピーター局が中継行い、次のWIDE2-1指定により2ヶ所目のデジピーター局が中継を行います。この設定では、2ヶ所のデジピーター局により中継が行われます。

2010年現在では、APRSで使われているデジピーター局は、New-N Paradigm方式※による運用が推奨されており、また対応デジピーター局も最も多いことからVX-8GではNew-N Paradigm方式のデジピーター局を想定した初期値を設定してあります。

他の中継方式等を利用する場合は、P4～P8のどれかを選び、CALLSIGNやエイリアス (ALIAS) を入力しておく必要があります (入力方法は下記手順にて設定してください)。

※ New-N Paradigm方式に関しては、下記サイトに記載があります。

<http://aprs.org/fix14439.html> (2010年3月現在)

中継段数を多く設定すると、同一局が送信したビーコンが何回も中継されチャンネルの混雑を招くので、設定を変更せずに運用されることをお勧めします。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。
2. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。
3. DIALツマミをまわして『16 DIGI PATH』を選択します。
4. **[MENU]** を短く押します。
5. DIALツマミをまわしてDIGI PATH (P1～P8) を選択します。
P1 (OFF) P2 (WIDE1-1) 及びP3 (1: WIDE1-1/2: WIDE2-1) は固定値で、P4～P8は中継方式等を入力することができます。
6. P1～P3を設定する場合は手順13.へ、P4～P8を設定する場合は手順7.へ進みます。
7. **[MODE]** を押してカーソルを移動します。
SPS SQ TYP
SC-M BND ON
(BAND) を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
8. DIALツマミをまわしてアドレス (1, 2) を選択します。
P8のみ8個アドレスを設定可能です。
9. **[MODE]** を押してカーソルを移動します。
SPS SQ TYP
(MODE)
SC-M BND ON
(BAND) を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
10. DIALツマミをまわして文字を入力します。
テンキー入力も可能です。
○ EMG R/H
(HM/RV) を1秒以上押すとSSDを除きカーソル以降を削除、カーソルが1桁目の場合はSSDを含め削除
11. 手順8. , 9. を繰り返し文字 (コールサイン) とSSIDをします。
12. 次のアドレスを入力したい場合は、手順6. ～10. を繰り返し入力してください。
13. **[MENU]** を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。
デジピータールートが設定され、もとの表示に戻ります。

16 DIGI PATH	
17	GPS DATUM
18	GPS POWER
19	GPS TIME SET

16 DIGI PATH	
(FIXED)	
P3 (2)	1 WIDE1 - 1
	2 WIDE2 - 1

16 DIGI PATH	
P4 (2)	1 -----
	2 -----

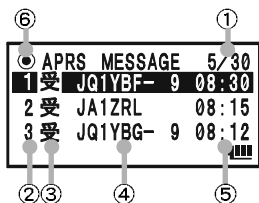
APRS® メッセージを受信する

■ “APRS MESSAGE” 画面とキー説明

周波数表示から **[MENU]** を3回短く押すと“APRS MESSAGE”画面が表示されます。

周波数表示⇒GPS表示⇒STATION LIST表示⇒APRS MESSAGE表示⇒周波数表示へ戻る

“APRS MESSAGE”画面は受信及び送信したメッセージを最大30件メモリーすることができリスト形式で表示します。一番上の桁が最新の情報になります。



①局数/トータル数：メッセージの数を表示します。

②番号：受信または送信のメッセージ番号です。

③受信/送信：受信すると“受”送信すると“送”が表示されます。

④コールサイン：受信または送信したコールサインを表示します。

⑤時刻または日付：受信または送信した時刻（HH時：MM分）または日付（MM月/DD日）を表示します。

⑥ビーコン/自動送信アイコン：アイコン表示がないとビーコン手動送信、アイコンが●表示のときはビーコン自動送信で、アイコンが○表示のときは SmartBeaconing™の自動送信です。

[A▲ B▼], DIALツマミ…画面のスクロール

STEP 1 ……APRS MESSAGE LISTの先頭にカーソルを移動

[DW MT V/M] ……選択したビーコン局をディスプレイから削除 (p. 85)

SC-M BND DN [BAND] ……MESSAGE“受信/送信”詳細画面へ移動 (p. 94)

EMG R/H [HM/RV] ……メッセージの編集画面へ移動 (p. 95)

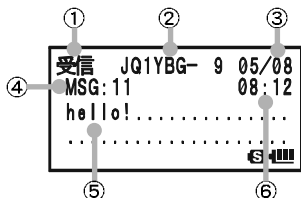
[MENU] ……周波数表示画面へ移動

[MENU] (1秒以上押す) ……APRS/GPSセットモード (p. 105)

SPS SQ TYP [MODE] ……ビーコン手動送信/自動送信の切り替え (p. 88)

■ “受信/送信” 詳細画面とキー説明

“APRS MESSAGE”画面から詳細を見たい局を **[A▲ B▼]** または **DIAL** で選択し、**[SC-M BND DN BAND]** を押すと“受信/送信”メッセージの詳細画面が表示されます。“受信/送信”詳細画面は“APRS MESSAGE”画面で受信（受）したメッセージの詳細や、送信（送）したメッセージの詳細を見ることができます。



①受信/送信：“受信”の時は受信の詳細を“送信”のときは送信の詳細を表示します。

②コールサイン：受信/送信したコールサインを表示します。

③受信/送信の日付：受信した日付を表示します。

④メッセージ番号：受信時は相手局が付与したメッセージ番号、送信時は、編集時に自局が付与したメッセージ番号を表示します。ブレンやグループメッセージの時は「GP: (グループ)」, 「BLN: (番号/ブレン名)」を表示します。

⑤メッセージ：受信したメッセージの内容を表示します。

⑥受信/送信の時刻：時刻（HH時：MM分）または日付（MM月/DD日）を表示します。

[A▲ B▼], DIALツマミ…画面のスクロール / **[GW+ A▲ B▼]**, DIALツマミ…ビーコン局の切り替え


SC-M BND DN [BAND] ……APRS MESSAGE画面へ移動 (p. 94) / **EMG R/H [HM/RV]** ……メッセージの編集画面へ移動 (p. 95)

[MENU] ……周波数表示へ移動 / **[MENU]** (1秒以上押す) ……APRS/GPSセットモード (p. 105)

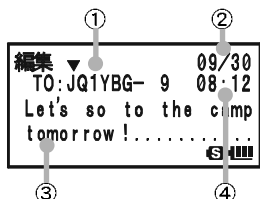
SPS SQ TYP [MODE] ……RAWデータ表示画面へ移動 (p. 86)

APRS® メッセージを受信する (つづき)

■ “編集” 画面とキー説明

“APRS MESSAGE” 画面または “受信 / 送信” 詳細画面から  を押すと “編集” 画面が表示されます。

“編集” 画面は受信または送信したメッセージを編集して送信することができます。




- ① コールサイン : あて先のコールサインを表示します。
- ② 日付 : 現在の日付が表示されます。
- ③ メッセージ : 送信するメッセージを入力します。最大 67 文字まで入力可能です。
- ④ 時刻 : 現在の時刻が表示されます。


  ...「CLEAR」, 「INSERT」, 「ALL CLEAR」, 「DELETE」, 「MSG TXT1」～「MSG TXT7」などの編集操作 ( p. 99)

テンキー, DIAL ツマミ...文字入力


 ...カーソルを左へ移動


 ...カーソルを右へ移動

 ...APRS MESSAGE画面へ移動※ ( p. 94)

 ...周波数表示へ移動

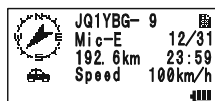
 (1秒以上押す) ...APRS/GPSセットモード ( p. 105)

 ...メッセージの送信 ( p. 99)

下記の操作画面から  編集画面に移り, それぞれの動作を行うことができます。



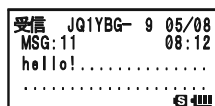
→ 編集用バッファに入っている情報から編集再開



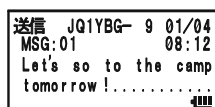
→ コールサインのみコピーされた編集画面(リプライ機能)



→ 編集用バッファに入っている情報から編集再開



→ コールサインと本文をコピーされた編集画面(リプライ機能)



→ コールサインと本文をコピーされた編集画面(再編集機能)

※ : 編集画面の内容は, ALL CLEARを実行するか電源を切るまでは編集用バッファに保存されます。

APRS® メッセージを受信する (つづき)

■ メッセージを受信する

周波数表示から **[MENU]** を3回短く押して APRS MESSAGE 画面を表示します。

周波数表示⇒GPS表示⇒STATION LIST表示⇒APRS MESSAGE表示⇒周波数表示へ戻る

メッセージを受信すると「ピポピポーン (≡≡≡)」のベル音とストロボ (白色LED) が点滅して、下図のような画面が表示されます。

操作は下記のように行います

1. **[▲] [▼]**を押すまたはDIALツマミをまわして画面を上下にスクロールし、受信したメッセージを選択します。
2. **[BAND]**を押して“受信”詳細画面にし、メッセージを見ることができます。
○ **[EMG R/H] [RV]**を押すと“APRS MESSAGE”編集画面へ移動します (p.99).
○ **[MENU]**を押すと“周波数表示”画面へ戻ります。
3. **[BAND]**を押すと“APRS MESSAGE”画面に戻ります。

APRS MESSAGE 5/30
1 受 JQ1YBF- 9 08:30
2 受 JA1ZRL 08:15
3 受 JQ1YBG- 9 08:12

↓ **[▲] [▼]**を押す
またはDIALツマミをまわす

APRS MESSAGE 5/30
3 受 JQ1YBG- 9 08:12
4 受 JI1QSO- 9 08:08
5 受 JA1QSL- 9 07:52

[BAND]を押す ↓ ↑ **[BAND]**を押す

受信 JQ1YBG- 9 09/30
MSG:11 08:12
hello!.....

- グループ/ プレテンメッセージを受信すると「ピポピポピポーン (≡≡≡)」とベル音がなり、図のようにコールサインを表示します。
- 自局宛のメッセージを受信したときに知らせるベル音を APRS/GPS セットモード『8 APRS RINGER MSG』の設定により自分で作成したビーブ音を選択して鳴らすことができます。
- メッセージACKを受信すると「ピーツ (≡≡≡)」とベル音がなります。
- メッセージREJ (リジェクト)を受信すると「ピーツ (≡≡≡)」とベル音がなります。
- ストロボ (白色LED) 表示は、APRS/GPS セットモード『4 APRS MSG FLASH』の設定により変更することができます。
- APRSメッセージを受信したときにベル音とストロボで知らせますが、その他にAPRS/GPS セットモード『6 APRS MSG VIBRAT』の設定によりバイブレーター機能で知らせることもできます。バイブレーター設定時は、モード表示の下部分に短破線 (----) が表示されます。
- BUSYまたはSIGNALINGのバイブレーター機能とAPRSメッセージのバイブレーター機能が同時に設定されている場合は、APRSメッセージのバイブレーター機能が優先されます。またモード表示の下部分に短破線 (----) が表示されます。
- APRSメッセージのバイブレーター機能は、セットモード『98 VIBRATOR MODE』の設定に関係なく、MODE3の動作になります。

受信 JQ1YBG- 9 09/20
GRP:ALL 08:15
hello!.....

APRS® メッセージを受信する (つづき)

受信メッセージのフィルター設定

特定のグループコード (ALL, CQ, QST, YAESUなど) のメッセージやブレンテンメッセージを受信するためのグループフィルターを設定します。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示を **STATION LIST** 画面, **APRS MESSAGE** 画面または **GPS** 画面にします。

21	MSG GROUP
22	MY CALLSIGN
23	MY POSITION
24	MY SYMBOL

2. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるAPRSセットモードになります。

3. **DIAL** ツマミをまわして『21 MSG GROUP』を選択します。

4. **[MENU]** を短く押します。

5. **DIAL** ツマミをまわしてグループフィルターを設定します。

21	MSG GROUP
G1 ALL *****	

グループコードの場合はG1 ALL, G2 CQ, G3 QST, G4 YAESU, G5 (任意) が設定可能です。ブレンテンの場合はB1~B3を設定します。

○ 文字入力中に **EMG R/H** (H/M/RV) を1秒以上押すと、カーソル以降を削除します。

6. **[MODE]** を短く押します。

7. **DIAL** ツマミをまわして文字を選択します。

テンキー入力も可能です。

8. **[MODE]** を押して次の桁へカーソルを移動します。

9. 上記の手順7., 8. を繰り返して文字を入力 (最大9文字) します。

ブレンテンの場合は最大5文字まで入力できます。

10. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。

受信すると下記のような画面が表示されます。

ALL, CQ, QST, YAESUなどの グループ名を表示	
受信	JQ1YBG- 9 09/20
MSG:01	08:15
hello!.....	

自分宛メッセージ画面

ブレンテン番号 ブレンテン名を表示	
受信	JQ1YBG- 9 09/20
GRP:ALL	08:15
hello!.....	

グループメッセージ受信画面

ブレンテン番号 ブレンテン名を表示	
受信	JQ1YBG- 9 09/20
BLN: 1 ALL	08:15
hello!.....	

ブレンテン受信画面

- APRS/GPSセットモード『4 APRS MSG FLASH』によりメッセージ (MSG), グループ (GRP) またはブレンテン (BLN) を着信したときにストロボ (白色LED) が点滅します。また、『6 APRS MSG VIBRAT』によりメッセージ (MSG), グループ (GRP) またはブレンテン (BLN) を着信したときにバイプレーターで知らせることができます。
- APRS/GPSセットモード『7 APRS MUTE』によりAPRSを運用している[B]バンドの受信音 (ピーコンや音声など) をミュートすることができます。
- APRS/GPSセットモード『8 APRS RINGER MSG』によりAPRSの自局あてメッセージ/グループメッセージ/ブレンテンメッセージなどを着信したとき、ベルを鳴らして知らせます。「OFF」を選択すると、ベル音を鳴らさず、ディスプレイに表示のみ行います。
- 自局のコールサインのSSDだけ異なったメッセージも受信することができます。ただし、ACKデータの返信は、SSDを含めてすべてが一致したときのみに行います。
- APRS/GPSセットモード『21 MSG GROUP』により特定のグループコード (ALLやCQなど) をもつメッセージやブレンテンメッセージを受信するためのフィルターを設定します。

APRS®メッセージを受信する（つづき）

■ メッセージをリストから削除する

“APRS MESSAGE”画面から必要としないメッセージを選択してリストから削除することができます。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をAPRS MESSAGE画面にします。
2. **[A▲]** **[B▼]** を押すまたはDIALツマミをまわして画面を上下にスクロールし、削除したいコールサインを選択します。
3. DW MT
[V/M] を押すとディスプレイに“DELETE?”と確認メッセージが表示されます。
DW MT
[V/M] 以外のキーを押すとキャンセルします。
4. DW MT
[V/M] を押すと消去されます。

APRS MESSAGE 5/30			
1 受	JQ1YBF-	9 08:30	
2 送	JA1ZRL	08:15	
3 受	JQ1YBG-	9 08:12	

APRS MESSAGE 5/30			
3	DELETE?		
4 受	J11QSO-	9 08:08	
5 受	JA1QSL-	9 07:52	

APRS MESSAGE 4/30			
1 受	JQ1YBF-	9 08:30	
2 送	JA1ZRL	08:15	
3 受	J11QSO-	9 08:08	

APRS® メッセージを送信する

■ メッセージの作成と送信

新規のメッセージを作成する方法を説明します。作成する方法は1文字ずつ入力する方法と定型文 (MSG TXT 1~MSG TXT7) を貼り付ける方法があります。また編集中に「カーソル以降をクリアー (CLEAR)」、「文章中1文字追加 (INSERT)」、「文章中1文字削除 (DELETE)」、「文章の全消去 (ALLCLEAR)」を行うことができます。操作は下記のように行います

1文字ずつ入力して送信する

1. 周波数表示から **[MENU]** を3回短く押してAPRS MESSAGE画面にします。

2. **[EMG R/T]** **[HM/RV]** を押してAPRS MESSAGE編集画面にします。

以前メッセージを作成/編集していた場合は、作成/編集したメッセージが表示されますので画面の内容を消去してください。消去方法は、**[SC-M BND ON]** **[BAND]** を押してカーソルをメッセージの桁へ移動させ、**[A▲]** **[B▼]** を押して「CLEAR」を選択後 **[DW MT]** **[V/M]** を押してください。「ALLCLEAR」はコールサインを含めて全て削除します。

3. DIAL ツマミをまわして1桁目の宛先コールサインを入力します。

テンキー入力も可能です。

下記手順はDIAL ツマミでの入力方法を説明します。

4. **[MODE]** を押して次の桁へカーソルを移動します。

5. 上記の手順3, 4 を繰り返しコールサイン (最大6桁) を入力します。

6. **[MODE]** を押して7桁目にカーソルを移動し、DIAL ツマミをまわしてSSID (1~15) を入力します。

SSIDがいらない場合は、入力する必要ありません。

7. **[MODE]** を押すとメッセージの桁へカーソルが移動し、カーソル (.) が点滅します。

8. DIAL ツマミをまわして1桁目の文字を入力します。

テンキー入力も可能です。

9. **[MODE]** を押して次の桁へカーソルを移動します。

[SC-M BND ON] **[BAND]** を押すと前の桁に戻ります

10. 上記の手順8, 9 を繰り返し文字 (最大67文字) を入力します。

○ カーソル以降のクリアーは、**[A▲]** **[B▼]** を押して「CLEAR」を選択後 **[DW MT]** **[V/M]** を押してください。

○ カーソル位置の1文字削除は、**[A▲]** **[B▼]** を押して「DELETE」を選択後 **[DW MT]** **[V/M]** を押してください。

○ 文章中1文字追加は、**[A▲]** **[B▼]** を押して「INSERT」を選択後 **[DW MT]** **[V/M]** を押してください。

○ 全消去方法は、**[A▲]** **[B▼]** を押して「ALLCLEAR」を選択後 **[DW MT]** **[V/M]** を押してください。

11. **[TX PO]** を押してメッセージを送信します。

送信後、自動でAPRS MESSAGE画面に戻ります。

編集 ▼	09/30
TO:-----	08:12
.....	
.....	
.....	

編集 ▼	09/30
TO:J	08:12
.....	
.....	
.....	

編集 ▼	09/30
TO:JQ1YBG	08:12
.....	
.....	
.....	

編集 ▼	09/30
TO:JQ1YBG- 9	08:12
.....	
.....	
.....	

編集 ▼	09/30
TO:JQ1YBG- 9	08:12
*.....	
.....	
.....	

編集 ▼	09/30
TO:JQ1YBG- 9	08:12
L.....	
.....	
.....	





編集 ▼	09/30
TO:JQ1YBG- 9	08:12
Let's so to the camp	
tomorrow !.....	
.....	

APRS[®] 機能を使う

定型文から作成して送信する


1. 周波数表示から **MENU** を3回短く押してAPRS MESSAGE 画面にします。

2. を押してAPRS MESSAGE編集画面にします。

以前メッセージを作成/編集していた場合は、作成/編集したメッセージが表示されますので画面の内容を消去してください。消去方法は、を押してカーソルをメッセージの桁へ移動させ、 を押して「Q.EAR」を選択後、を押してください。
「A」Q.EARはコールサインを含めて全て削除します。

3. DIALツマミをまわして1桁目の宛先コールサインを入力します。
テンキー入力も可能です。


下記手順はDIALツマミでの入力方法を説明します。

4.  を押して次の桁へカーソルを移動します。


5. 上記の手順3, 4を繰り返しコールサイン(最大6桁)を入力します。

6. SPS SQ TYP **MODE** を押して7桁目にカーソルを移動し、DIALツマミをまわしてSSID (1~15) を入力します。

SSDがない場合は、入力する必要ありません。

7.  を押すとメッセージの桁へカーソルが移動し、カーソル(.)が点滅します。

8. **A▲** **B▼**を押してあらかじめ作成してある定型文(MSG TXT 1~MSG TXT7)を選択します。

9. を押して確定します。

- 選択すると定型文が編集内容に反映され、文字を追加や削除など編集作業を行うことができます。
- 定型文を呼び出した後も、引き続き編集を行うことができます。
- テンキー入力も可能です。
- カーソル以降をクリアは、**[AA] [BV]**を押して「**QLEAR**」を選択後^{DW MT}_{V/M}を押してください。
- カーソル位置の1文字削除は、**[AA] [BV]**を押して「**DELETE**」を選択後^{DW MT}_{V/M}を押してください。
- 文章中1文字追加は、**[AA] [BV]**を押して「**INSERT**」を選択後^{DW MT}_{V/M}を押してください。
- 全消去方法は、**[AA] [BV]**を押して「**ALL QLEAR**」を選択後^{DW MT}_{V/M}を押してください。

- 定型文を呼び出した後も、引き続き編集を行うことができます。

- テンキー入力も可能です。

- カーソル以降をクリアーは、**[A▲]** **[B▼]** を押して「CLEAR」を選択後 ^{DW MT}**[V/M]** を押してください。

- カーソル位置の1文字削除は、**[A▲]** **[B▼]** を押して「DE FTE」を選択後 **[V/M]** ^{DW MT} を押してください。

- 文意中1文字追加は、 を押し、**INSERT** を選択後 を押し、てください。

- 全消去方法は、 を押して「A」|「C」EAB を選択後 を押してください。

10. 定型文を連続して貼り付けることもできます。

11. を押してメッセージを送信します。

送信後、自動でAPRS MESSAGE画面に戻ります。

編集 ▼ 09/30
TO:----- 08:12
.....
.....

編集 ▼ 09/30
TO: J 08:12

編集 ▼ 09/30
TO: JQ1YBG 08:12
.....
.....

編集 ▼ 09/30
TO: JQ1YBG- 9 08:12
.....
.....

編集 09/30
TO: JQ1YBG- 9 08:12
※
.....
■■■■

返信機能

APRSメッセージを受信した局に返信するときは、APRS MESSAGE (LIST) 画面上で、返信相手局を **(A▲)**、**(B▼)** を押すか DIAL ツマミをまわして選択し、**SEND** を押して受信詳細画面に入り、その画面で **EMO 1st**、**EMO 2nd**、**EMO 3rd**、**EMO 4th**、**EMO 5th**、**EMO 6th**、**EMO 7th**、**EMO 8th**、**EMO 9th**、**EMO 10th**、**EMO 11th**、**EMO 12th**、**EMO 13th**、**EMO 14th**、**EMO 15th**、**EMO 16th**、**EMO 17th**、**EMO 18th**、**EMO 19th**、**EMO 20th**、**EMO 21st**、**EMO 22nd**、**EMO 23rd**、**EMO 24th**、**EMO 25th**、**EMO 26th**、**EMO 27th**、**EMO 28th**、**EMO 29th**、**EMO 30th**、**EMO 31st**、**EMO 32nd**、**EMO 33rd**、**EMO 34th**、**EMO 35th**、**EMO 36th**、**EMO 37th**、**EMO 38th**、**EMO 39th**、**EMO 40th**、**EMO 41st**、**EMO 42nd**、**EMO 43rd**、**EMO 44th**、**EMO 45th**、**EMO 46th**、**EMO 47th**、**EMO 48th**、**EMO 49th**、**EMO 50th**、**EMO 51st**、**EMO 52nd**、**EMO 53rd**、**EMO 54th**、**EMO 55th**、**EMO 56th**、**EMO 57th**、**EMO 58th**、**EMO 59th**、**EMO 60th**、**EMO 61st**、**EMO 62nd**、**EMO 63rd**、**EMO 64th**、**EMO 65th**、**EMO 66th**、**EMO 67th**、**EMO 68th**、**EMO 69th**、**EMO 70th**、**EMO 71st**、**EMO 72nd**、**EMO 73rd**、**EMO 74th**、**EMO 75th**、**EMO 76th**、**EMO 77th**、**EMO 78th**、**EMO 79th**、**EMO 80th**、**EMO 81st**、**EMO 82nd**、**EMO 83rd**、**EMO 84th**、**EMO 85th**、**EMO 86th**、**EMO 87th**、**EMO 88th**、**EMO 89th**、**EMO 90th**、**EMO 91st**、**EMO 92nd**、**EMO 93rd**、**EMO 94th**、**EMO 95th**、**EMO 96th**、**EMO 97th**、**EMO 98th**、**EMO 99th**、**EMO 100th**、**EMO 101st**、**EMO 102nd**、**EMO 103rd**、**EMO 104th**、**EMO 105th**、**EMO 106th**、**EMO 107th**、**EMO 108th**、**EMO 109th**、**EMO 110th**、**EMO 111st**、**EMO 112nd**、**EMO 113rd**、**EMO 114th**、**EMO 115th**、**EMO 116th**、**EMO 117th**、**EMO 118th**、**EMO 119th**、**EMO 120th**、**EMO 121st**、**EMO 122nd**、**EMO 123rd**、**EMO 124th**、**EMO 125th**、**EMO 126th**、**EMO 127th**、**EMO 128th**、**EMO 129th**、**EMO 130th**、**EMO 131st**、**EMO 132nd**、**EMO 133rd**、**EMO 134th**、**EMO 135th**、**EMO 136th**、**EMO 137th**、**EMO 138th**、**EMO 139th**、**EMO 140th**、**EMO 141st**、**EMO 142nd**、**EMO 143rd**、**EMO 144th**、**EMO 145th**、**EMO 146th**、**EMO 147th**、**EMO 148th**、**EMO 149th**、**EMO 150th**、**EMO 151st**、**EMO 152nd**、**EMO 153rd**、**EMO 154th**、**EMO 155th**、**EMO 156th**、**EMO 157th**、**EMO 158th**、**EMO 159th**、**EMO 160th**、**EMO 161st**、**EMO 162nd**、**EMO 163rd**、**EMO 164th**、**EMO 165th**、**EMO 166th**、**EMO 167th**、**EMO 168th**、**EMO 169th**、**EMO 170th**、**EMO 171st**、**EMO 172nd**、**EMO 173rd**、**EMO 174th**、**EMO 175th**、**EMO 176th**、**EMO 177th**、**EMO 178th**、**EMO 179th**、**EMO 180th**、**EMO 181st**、**EMO 182nd**、**EMO 183rd**、**EMO 184th**、**EMO 185th**、**EMO 186th**、**EMO 187th**、**EMO 188th**、**EMO 189th**、**EMO 190th**、**EMO 191st**、**EMO 192nd**、**EMO 193rd**、**EMO 194th**、**EMO 195th**、**EMO 196th**、**EMO 197th**、**EMO 198th**、**EMO 199th**、**EMO 200th**、**EMO 201st**、**EMO 202nd**、**EMO 203rd**、**EMO 204th**、**EMO 205th**、**EMO 206th**、**EMO 207th**、**EMO 208th**、**EMO 209th**、**EMO 210th**、**EMO 211st**、**EMO 212nd**、**EMO 213rd**、**EMO 214th**、**EMO 215th**、**EMO 216th**、**EMO 217th**、**EMO 218th**、**EMO 219th**、**EMO 220th**、**EMO 221st**、**EMO 222nd**、**EMO 223rd**、**EMO 224th**、**EMO 225th**、**EMO 226th**、**EMO 227th**、**EMO 228th**、**EMO 229th**、**EMO 230th**、**EMO 231st**、**EMO 232nd**、**EMO 233rd**、**EMO 234th**、**EMO 235th**、**EMO 236th**、**EMO 237th**、**EMO 238th**、**EMO 239th**、**EMO 240th**、**EMO 241st**、**EMO 242nd**、**EMO 243rd**、**EMO 244th**、**EMO 245th**、**EMO 246th**、**EMO 247th**、**EMO 248th**、**EMO 249th**、**EMO 250th**、**EMO 251st**、**EMO 252nd**、**EMO 253rd**、**EMO 254th**、**EMO 255th**、**EMO 256th**、**EMO 257th**、**EMO 258th**、**EMO 259th**、**EMO 260th**、**EMO 261st**、**EMO 262nd**、**EMO 263rd**、**EMO 264th**、**EMO 265th**、**EMO 266th**、**EMO 267th**、**EMO 268th**、**EMO 269th**、**EMO 270th**、**EMO 271st**、**EMO 272nd**、**EMO 273rd**、**EMO 274th**、**EMO 275th**、**EMO 276th**、**EMO 277th**、**EMO 278th**、**EMO 279th**、**EMO 280th**、**EMO 281st**、**EMO 282nd**、**EMO 283rd**、**EMO 284th**、**EMO 285th**、**EMO 286th**、**EMO 287th**、**EMO 288th**、**EMO 289th**、**EMO 290th**、**EMO 291st**、**EMO 292nd**、**EMO 293rd**、**EMO 294th**、**EMO 29**

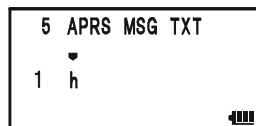
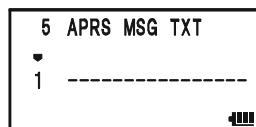
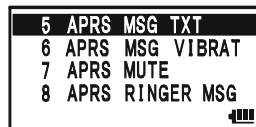
編集 ▼ 09/30
TO: JQ1YBF- 9 08:25
h!!o!.....
.....
■■■■

APRS® メッセージを送信する (つづき)

■ 定型メッセージの登録

最大16文字までの定型メッセージを7種類登録することができます。メッセージ編集画面で定型メッセージを貼り付けて送出することができます。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面, APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。
2. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるAPRSセットモードになります。
3. DIALツマミをまわして『5 APRS MSG TXT』を選択します。
4. **[MENU]** を短く押します。
5. DIALツマミをまわして登録したいメッセージの番号を選択します。
6. SPS SQ TYP
[MODE] を短く押します。
カーソルが1桁目に移動します。
7. DIALツマミをまわして1桁目の文字を選択します。
テンキー入力も可能です。
下記手順はDIALツマミでの入力方法を説明します。
8. SPS SQ TYP
SC-M BND ON
[MODE] を押して次の桁へカーソルを移動します。
EMG R/W
(HM/RV) を押すと前の桁に戻り、修正したい場合はDIALツマミをまわして文字を選択します。
メッセージを入力中に (HM/RV) を1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。
9. 上記の手順7, 8. を繰り返し文字を入力(最大16文字) します。
10. **[MENU]** を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。
定型メッセージの登録が終了し、もとの表示に戻ります。



メッセージ入力文字一覧表															
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^ _ `	a	b	c	d
e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	}	(スペース)	!	"	#	\$	%	&	'	()
*	+	-	.	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:
;	<	=	>	?	@										

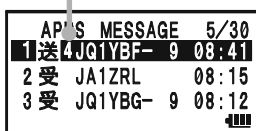
テンキーで英数字が入力可能です。また、メッセージ入力では、SUB OP
[0] を押すと0以外に スペース - % / ? ! . : # を入力することができます。

APRS®メッセージを送信する(つづき)

■ メッセージの受信確認データ (ACK)

相手局を指定したメッセージを送信すると、相手局から受信したことを通知するACKデータ(受信確認データ)が返ってきます。相手局からACKデータが返ってくると受信確認音が鳴り、そこで送信処理が完了となります。相手局からACKデータが1分間返ってこないときには、同じメッセージを再送信します。5回送信してもACKデータが返ってこないときはTX OUTの状態になります。ACKの残送信回数は下記のようにディスプレイに表示されます。また、^{SC-M BND DN}(BAND)を押して送信詳細画面に切り替えても残送信回数を確認することができます。

残送信の回数を表示



APRS MESSAGE画面
(残送信が4回残っている場合)



ACK受信時“*”を表示



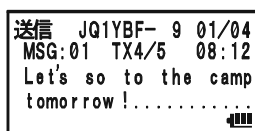
APRS MESSAGE画面
(ACK受信時の表示)

TX OUT受信時“.”を表示

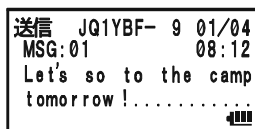


APRS MESSAGE画面
(TX OUT時の表示)

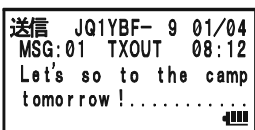
残回数表示例



送信詳細画面
(残送信が4回残っている場合)



送信詳細画面
(ACK受信時の表示)



送信詳細画面
(TX OUT時の表示)

メッセージのリストは最大30件登録することができますが、受信と送信を兼用しているため30件を超えると、一番古いメッセージから自動的に消去されます。このため、新着メッセージの受信により、5回の再送信が完了していないメッセージが消去されることがあります。

APRS®/GPSセットモード番号順一覧表

セットモード番号/項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
1 APRS DESTINATION	モデルコードの表示	[APY008]
2 APRS FILTER	フィルター機能の選択	Mic-E : ON /OFF / POSITION : ON /OFF / WEATHER : ON /OFF / OBJECT : ON /OFF / ITEM : ON /OFF / STATUS : ON /OFF / OTHER : ON /OFF
3 APRS MODEM	APRS ボーレートの選択	OFF / 1200bps / 9600bps
4 APRS MSG FLASH	メッセージ着信時のストロボ点滅設定	MSG: OFF / 2 - 4 - 10 (2sec 間隔) / 20sec / 30sec / 60sec / CONTINUOUS / EVERY 2s - 10s (1sec 間隔) / EVERY 10s - EVERY 50s (10sec 間隔) / EVERY 1m - EVERY 10m (1min 間隔) / GRP: OFF / 2 - 4 - 10 (2sec 間隔) / 20sec / 30sec / 60sec / CONTINUOUS BLN: OFF / 2 - 4 - 10 (2sec 間隔) / 20sec / 30sec / 60sec / CONTINUOUS
5 APRS MSG TXT	定型メッセージのテキスト入力	最大 16 文字 7 種類のメッセージを入力可能
6 APRS MSG VIBRAT	APRS メッセージ着信時のバイブレーター設定	MSG: OFF /2sec ~ 10sec(2 秒単位) / 20sec/30sec/60sec / CONTINUOUS / EVERY 2s~10s(1 秒単位) / EVERY 10s~50s(10 秒単位) / EVERY 1m~10m(1 分単位) / GRP: OFF /2sec ~ 10sec(2 秒単位) / 20sec/30sec/60sec / CONTINUOUS BLN: OFF /2sec ~ 10sec(2 秒単位) / 20sec/30sec/60sec / CONTINUOUS
7 APRS MUTE	APRS 設定時 B/バンド AF MUTE の ON/OFF	ON / OFF
8 APRS RINGER MSG	メッセージ着信時に鳴るベル音の ON/OFF	MSG: OFF / ON / USR BP1 / USR BP2 / USR BP3 GRP/BLN: OFF / ON
9 APRS RINGER BCON	ビーコン着信時に鳴るベル音の ON/OFF	ON / OFF
10 APRS UNIT	APRS 表示の単位設定	Position : MM , MM [°] / MM SS [°] Distance : km / mile Speed : km/h / knot / mph Altitude : m / ft Temp : °C / °F Rain : mm / inch Wind : m/s / mph
11 APRS TX DELAY	データ送出ディレイタイムの設定	100ms / 150ms / 200ms / 250ms / 300ms / 400ms / 500ms / 750ms / 1000ms
12 BEACON INTERVAL	ビーコンの自動送信間隔設定	30sec / 1min / 2min / 3min / 5min / 10min / 15min / 20min / 30min / 60min
13 BEACON STATS TXT	ステータステキストの入力	最大 60 文字 5 種類のステータステキスト入力可能
14 BEACON TX	ビーコンの自動送信 / 手動送信の切り替え	MANUAL / ◎ AUTO / ○ SMART
15 COM PORT SETTING	COM PORT の設定	STATUS : ON /OFF SPEED : 4800/ 9600 /19200 INPUT : OFF /GPS OUTPUT : OFF /GPS/WAYP WAYPOINT : NMEA6/NMEA7/NMEA8/ NMEA9 Mic-E : ON /OFF POST : ON /OFF WEATHER : ON /OFF OBJECT : ON /OFF ITEM : ON /OFF

APRS®/GPSセットモード番号順一覧表 (つづき)

セットモード番号/項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
16 DIGI PATH	デジピータールートの設定	P1 OFF P2 1 WIDE1-1 P3 1 WIDE1-1 / 2 WIDE2-1 P4 1 / 2 P5 1 / 2 P6 1 / 2 P7 1 / 2 P8 1 ~8
17 GPS DATUM	内蔵GPS機能の測位系選択	WGS-84 / Tokyo Mean / Tokyo Japan / Tokyo Korea / Tokyo Okinawa
18 GPS POWER	内蔵GPS機能のON/OFF	GPS ON / GPS OFF
19 GPS TIME SET	GPS時刻データー自動修正のON/OFF	AUTO / MANUAL
20 GPS UNIT	GPS表示の単位設定	Position: MM / "SS" Speed: km/h / knot / mph Altitude: m / ft
21 MSG GROUP	受信メッセージのグループフィルター設定	G1 ALL**** / G2 QO**** / G3 QST**** / G4 YAESU**** / G5 (任意) / B1 BLN**** / B2 BLN* (任意) / B3 BLN* (任意)
22 MY CALLSIGN	自局のコールサイン設定	****-NN (*: Callsign-NN(SSID): 数字)
23 MY POSITION	自局位置の設定	GPS / Lat / Lon / P 1 ~ P10
24 MY SYMBOL	自局シンボルの設定	(72 ページ参照)
25 POSITION COMMENT	ポタタコンメントの設定	Off Duty / En Route / In Service / Returning / Committed / Special / Priority / Custom 0 ~ Custom 6 / EMERGENCY!
26 SmartBeaconing	スマートビーコングの設定	OFF / TYPE1 / TYPE2 / TYPE3
27 TIME_ZONE	タイムゾーンの設定	-13 ~ 0 ~ +9 ~ +13 時間 (30分単位)

APRS®/GPSセットモード動作一覧表

APRS®セットモードでは、APRS®機能を運用する際に必要な27種類の設定を行なうことができます。また、一度設定してしまえばその後変更する機会の少ない機能です。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。

[MENU] を短く押すごとに

周波数画面⇒GPS画面⇒STATION LIST画面⇒
⇒APRS MESSAGE画面⇒周波数画面に戻ります

2. **[MENU]** を1秒以上押します。
APRS/GPSの各種設定を行なえるセットモードになります。
3. DIALツマミをまわして設定したいAPRS/GPSセットモードを選択します。
4. **[MENU]** を短く押します。
5. DIALツマミをまわして設定項目を選択します。
6. **[MENU]** を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。

3	APRS MODEM
4	APRS MSG FLASH
5	APRS MSG TXT
6	APRS MSG VIBRAT

3	APRS MODEM
▶	OFF

APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)

1 APRS DESTINATION

モデルコードの表示

設定項目: [APY008]

工場出荷時: [APY008]

解説:

モデルコードを表示します。表示のみで設定変更することはできません。

2 APRS FILTER

フィルター機能の選択

設定項目: Mic-E / POSITION / WEATHER /
OBJECT / ITEM / STATUS / OTHER

工場出荷時: Mic-E: ON / POSITION: ON /
WEATHER: ON / OBJECT: ON /
ITEM: ON / STATUS: ON /
OTHER: OFF

解説:

各種ピーコンを取り込むためのON/OFF設定をします。ONのときはピーコンを取り込み、OFFときはピーコンを取り込みません。

Mic-E: マイクエンコーダーピーコンを取り込み表示します。

POSITION: ポジションピーコンを取り込み表示します。

WEATHER: 気象ピーコンを取り込み表示します。

OBJECT: オブジェクトピーコンを取り込み表示します。

ITEM: アイテムピーコンを取り込み表示します。

STATUS: ステータスピーコンを取り込み表示します。

OTHER: 解析できなかったAPRS以外のパケットを取り込み表示します。

3 APRS MODEM

APRSボーレートの選択

設定項目: OFF/1200bps/9600bps

工場出荷時: OFF

解説:

OFF: APRS機能を「OFF」にします。

1200bps: AFSK 1200bps/パケットによるAPRS運用を設定します。

9600bps: GMSK 9600bps/パケットによるAPRS運用を設定します。

4 APRS MSG FLASH

メッセージ着信時のストロボ点滅設定

設定項目:

MSG: OFF / 2 - 4 - 10 (2sec間隔) /
20sec / 30sec / 60sec / CONTINUOUS /
EVERY 2s - 10s (1sec間隔) /
EVERY 10s - EVERY 50s (10sec間隔) /
EVERY 1m - EVERY 10m (1min間隔)
GRP: OFF / 2 - 4 - 10 (2sec間隔) / 20sec /
30sec / 60sec / CONTINUOUS
BLN: OFF / 2 - 4 - 10 (2sec間隔) / 20sec /
30sec / 60sec / CONTINUOUS

工場出荷時:

MSG: 4sec / GRP: 4sec / BLN: 4sec

解説:

「MSG」を選択すると、メッセージが着信したとき、「GRP」を選択すると、グループメッセージが着信したとき、「BLN」を選択すると、ブレンメッセージが着信したときにストロボ(白色LED)を設定した時間間隔で点滅します。また、CONTINUOUSは連続で点滅します。

「MSG」においてEVERYは下表のように点滅します。

2sec - 5sec	指定した時間間隔で1回フラッシュ
6sec - 9sec	指定した時間間隔で2回フラッシュ
10sec - 50sec	指定した時間間隔で3回フラッシュ
1min - 5min	指定した時間間隔で4回フラッシュ
6min - 10min	指定した時間間隔で5回フラッシュ

「OFF」を選択すると、着信してもストロボは点滅しません。

「MSG」において、EVERYを選択し、メッセージを受信してストロボが点滅中に(GRP:グループ)または(BLN:ブレン)メッセージを受信すると、一時的にグループまたはブレンのストロボ点滅動作を行い、終了後、メッセージのストロボ動作に戻ります。

5 APRS MSG TXT

定型メッセージのテキスト入力

解説:

最大16字までの定型メッセージを作成して7種類登録することができ、メッセージ編集画面から定型メッセージを貼り付けて送出することができます。

APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)

6 APRS MSG VIBRAT

APRSメッセージ着信時のバイブレーター設定

設定項目: MSG: OFF/2sec~10sec(2秒単位)/
20sec/30sec/60sec/
CONTINUOUS/
EVERY 2s~10s(1秒単位)/
EVERY 10s~50s(10秒単位)/
EVERY 1m~10m(1分単位)
GRP: OFF/2sec~10sec(2秒単位)/
20sec/30sec/60sec/
CONTINUOUS
BLN: OFF/2sec~10sec(2秒単位)/
20sec/30sec/60sec/
CONTINUOUS

工場出荷時:MSG: OFF, GRP: OFF, BLN: OFF

解説:

MSG: 自局宛のメッセージを受信すると設定した時間
間隔でバイブレーターが動作して知らせます。
GRP: グループメッセージを受信すると設定した時間
間隔でバイブレーターが動作して知らせます。
BLN: プレテンメッセージを受信すると設定した時間
間隔でバイブレーターが動作して知らせます。

7 APRS MUTE

APRS設定時B/バンドAF MUTEのON/OFF

設定項目: ON/OFF

工場出荷時:OFF

解説:

APRSセットモード『3 APRS MODEM』を1200bpsま
たは9600bpsに設定したときに「ON」に選択すると、
[B]/バンドの受信音量(ビーコンや音声など)をミュ
ートします。また、ディスプレイに表示されている“A12”
または“A96”が点滅します。
「OFF」を選択すると、B/バンドの音量ボリュームの設定
に合わせて受信音が聞こえるようになります。

8 APRS RINGER MSG

メッセージ着信時に鳴るベル音のON/OFF

設定項目: MSG: OFF/ON/
USR BP1/USR BP2/USR BP3
GRP BLN: OFF/ON

工場出荷時:ON

解説:

MSG: OFF: ベル音を鳴らさず、ディスプレイに
表示のみ行います。
ON: 自局あてメッセージを着信したと
き、ベルを鳴らして知らせます。
USR BP1~USR BP3:
セットモード『10 BEEP MELODY』
により好みのベル音を作成して、自
局あてメッセージを着信したとき
に、好みのベルを鳴らして知らせま
す。
GRP, BLN: OFF: ベル音を鳴らさず、ディスプレイに
表示のみ行います。
ON: グループやプレテンメッセージを
着信したとき、ベルを鳴らして知
らせます。

9 APRS RINGER BCON

ビーコン着信時に鳴るベル音のON/OFF

設定項目: ON / OFF

工場出荷時:ON

解説:

ON: APRSのビーコンを着信したとき、ベルを鳴らし
て知らせます。
OFF: 着信時のベル音は鳴りません。

APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)

10 APRS UNIT

APRS表示の単位設定

設定項目:

Position: MM. MM' / MM' SS"

Distance: km / mile

Speed: km/h / knot / mph

Altitude: m / ft

Temp: °C / °F

Rain: mm / inch

Wind: m/s / mph

工場出荷時:

Position: MM. MM'

Distance: km

Speed: km/h

Altitude: m

Temp: °C

Rain: mm

Wind: m/s

解説:

緯度/経度(Position)、距離(Distance)、速度(Speed)、高度(Altitude)、温度(Temp)、雨量(Rain)、風速(Wind)の単位を設定します。

Position: 緯度/経度 (DD°MM. MM') の分以下の表示単位を変更することができます。MM. MM' は1/100分型式でMM. SS"は分秒型式で表示されます。

Distance: 「km」または「mile」から単位を選択することができます。

Speed: 「km/h」、「knot」、「mph」から単位を選択することができます。

Altitude: 「m」または「ft」から単位を選択することができます。

Temp: 「°C」または「°F」から単位を選択することができます。

Rain: 「mm」または「inch」から単位を選択することができます。

Wind: 「m/s」または「mph」から単位を選択することができます。

11 APRS TX DELAY

データ送出ディレイタイムの設定

設定項目: 100ms / 150ms / 200ms / 250ms / 300ms / 400ms / 500ms / 750ms / 1000ms

工場出荷時: 300ms

解説:

APRSデータ送出時の下記プリアンプル(データ送出ディレイタイム)を設定することができます。



12 BEACON INTERVAL

ビーコンの自動送信間隔設定

設定項目: 30sec / 1min / 2min / 3min / 5min / 10min / 15min / 20min / 30min / 60min

工場出荷時: 5min

解説:

APRSビーコンを自動的に送出する時間間隔を設定します。

- APRS/GPSセットモード『14 BEACON TX』を“AUTO”に設定してAPRSビーコンを自動送信に切り替えておき、ビーコンの自動送信間隔設定をした時点でタイマーがリセットされ、この時点からビーコンの自動送信間隔時間のカウントが始まり、設定した時間が経つと初回のビーコンが送出されます。
- 指定された時間が経過し、自動的にビーコンを送出しようとしたときにスケルチが開いているときは、送出動作を保留します。スケルチが閉じるとビーコンを送出します。
- APRS/GPSセットモード『14 BEACON TX』でSMARTを選んだ場合、BEACON INTERVALの設定は無視されます。

13 BEACON STATS TXT

ステータステキストの入力

解説:

APRSビーコンを送出時に送るステータステキストを最大60文字5種類まで入力することができます。

APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)

14 BEACON TX

ビーコンの自動送信/手動送信の切り替え

設定項目: MANUAL / ● AUTO / ○ SMART

工場出荷時: MANUAL

解説:

BEACONの自動送信の方式を選択します。

SPS 50 TYP (MODE) でも状態を変更する事が出来ます。

MANUAL: 手動で (TX PO) を押したときのみAPRS BEACONを送信します。

● AUTO: 自局のAPRS BEACONを自動的に送信します。本体左上の●が点灯します。送信間隔はBEACON INTERVAL設定に従います。

○ SMART: SmartBeaconing™ 機能による自動送信を行います。本体左上の○が点灯します。APRS/GPS セットモード『2.5 SmartBeaconing』のSTATUS設定がTYPE1~TYPE3で、さらにAPRS/GPS セットモード『21 MY POSITION SET』がGPSの場合にのみ、この設定が選べます。

15 COM PORT SETTING

COM PORTの設定

設定項目: STATUS: ON/OFF

SPEED: 4800/9600/19200

INPUT: OFF/GPS

OUTPUT: OFF/GPS/WAY.P

WAYPOINT: NMEA6/NMEA7/NMEA8/
NMEA9

Mic-E: ON/OFF

POSIT: ON/OFF

WEATHER: ON/OFF

OBJECT: ON/OFF

ITEM: ON/OFF

工場出荷時:

STATUS: OFF

SPEED: 9600

INPUT: OFF

OUTPUT: OFF

WAYPOINT: NMEA9

Mic-E: ON

POSIT: ON

WEATHER: ON

OBJECT: ON

ITEM: ON

解説:

STATUS: OFF: データ端子を使用しないときはOFFにします。

ON: データ端子を使用するときはONにします。ONにすると各設定項目が追加されます。

SPEED: データ端子の通信速度を設定します。

INPUT: OFF: データ端子の入力機能は使いません(動作無効)。

GPS: VX-8G内蔵のGPS機能を使用せず、市販の外部GPS機器をデータ端子へ接続し、そこからGPSデータを取得します(この設定のときは、VX-8G内蔵GPSから得られるデータは無効になります)。

※: データ端子へ外部GPS機器を接続して入力した運用のときは、GPS画面の時刻表示が下記のように表示されます。

aa(時):bb(分)

○ VX-8GのGPS機能では、NMEA-0183フォーマットの\$GPRMCデータ及び\$GPGLAデータを使います。外部GPS機器を使う際には、これらのデータが出力される物を用意する必要があります。

○ 外部GPS機器を使う場合、APRS/GPSセットモード『18 GPS POWER』をOFFに設定し、内蔵GPS機能を止める事によりバッテリーの消耗を抑制する事ができます。

OUTPUT: OFF: データ端子の出力機能は使いません(動作無効)。

GPS: VX-8Gが取得したGPSデータ(NMEA-0183フォーマットの\$GPRMCデータ及び\$GPGLAデータ)を出力します。

WAY.P: 受信したAPRS PACKETから得られる他局BEACONの位置情報をWAYPOINTデータ(NMEA-0183フォーマットの\$GPWPLデータ)として出力します。

WAYPOINT: OUTPUTでWAYPOINTを選択した場合は、各データに付加されるAPRS BEACON局のコールサイン情報の桁数を設定します。

NMEA6: CALLSIGNは右6桁に制限されます(例: JQ 1YBG-14ならCALLSIGN情報は"YBG-14"となる)。

NMEA7: CALLSIGNは右7桁に制限されます(例: JQ 1YBG-14ならCALLSIGN情報は"1YBG-14"となる)。

NMEA8: CALLSIGNは右8桁に制限されます(例: JQ 1YBG-14ならCALLSIGN情報は"Q1YBG-14"となる)。

NMEA9: CALLSIGNは右9桁に制限されます(例: JQ 1YBG-14ならCALLSIGN情報は"JQ 1YBG-14"となる)。

APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)

- Mic-E: ON: Mic-E BEACONの情報(list上で“E”表示されるB E A C O N)をWAYPOINTデータの出力対象とします。
OFF: OFFに設定すると出力しなくなります。
- POST: ON: POSITION BEACONの情報(list上で“P”もしくは“p”表示されるBEACON)をWAYPOINTデータの出力対象とします。
OFF: OFFに設定すると出力しなくなります。
- WEATHER: ON: WEATHER BEACONの情報(list上で“W”もしくは“w”表示されるBEACON)をWAYPOINTデータの出力対象とします。
OFF: OFFに設定すると出力しなくなります。
- PositionlessタイプのWEATHER BEACONは位置情報を持たないため、WAYPOINT出力対象外となります。
- OBJECT: ON: この設定をONにすると、OBJECT BEACONの情報(list上で“O”もしくは“o”表示されるBEACON)をWAYPOINTデータの出力対象とします。
OFF: OFFに設定すると出力しなくなります。
- ITEM: ON: ITEM BEACONの情報(list上で“I”もしくは“i”表示されるBEACON)をWAYPOINTデータの出力対象とします。
OFF: OFFに設定すると出力しなくなります。

- CT-143を使いパソコンと接続を行う場合は、パソコン側で下記の設定を行います。
データスピード: 9600bps
(SPEED設定はVX-8Gとパソコンで一致させる必要があります)。
データ長: 8bit
パリティビット: なし
ストップビット: 1bit

16 DIGI PATH

デジピータールートの設定

- 設定項目: P1: OFF / P2: WIDE1-1(固定値) /
P3: WIDE1-1, WIDE2-1(固定値) /
P4~P7: 最大2アドレスまで任意に入力可能
P8: 最大8アドレスまで任意に入力可能

工場出荷時:

P3: WIDE1-1, WIDE2-1(固定値)

解説:

デジピーターとは、ビーコンなどのパケットを中継する局を言います。利用するデジピーターのコールサインやエイリアス(ALIAS)を選択します。

VX-8Gでは、あらかじめ「WIDE1-1」、「WIDE1-1, WIDE2-1」がプリセットされています。「WIDE1-1, WIDE2-1」の場合、最初にWIDE1-1指定により1ヶ所目のデジピーター一局が中継行い、次のWIDE2-1指定により2ヶ所目のデジピーター一局が中継を行います。この設定では、2ヶ所のデジピーター局により中継が行われます。

2010年現在では、APRSで使われているデジピーター一局は、New N Paradigm方式※による運用が推奨されており、また対応デジピーター一局も最も多いことからVX-8GではNew N Paradigm方式のデジピーター局を想定した初期値を設定してあります。

他の中継方式等を利用する場合は、P4~P8のどれかを選び、デジピーターのCALL SIGNやエイリアス(ALIAS)を入力することができます。入力方法は93ページを参照してください。

※ New N Paradigm方式に関しては、下記サイトに記載があります。

<http://aprs.org/fix14439.html>

(2010年3月現在)

17 GPS DATUM

内蔵GPS機能の測地系選択

設定項目: WGS-84 / Tokyo Mean / Tokyo Japan /
Tokyo Korea / Tokyo Okinawa

工場出荷時: WGS-84

解説:

APRSではWGS-84の測地系を使用しますので通常は変更する必要ありません。

18 GPS POWER

内蔵GPS機能のON/OFF

設定項目: GPS ON / GPS OFF

工場出荷時: GPS ON

解説:

GPS ON: GPS機能の回路が接続され、内蔵GPS機能が動作します。

GPS OFF: GPS機能の回路は切断され、内蔵GPS機能の動作は止まります。
GPS機能を使用しないときはGPS機能をOFFにすることでバッテリーの消耗を抑えることができます。

19 GPS TIME SET

GPS時刻データ自動修正のON/OFF

設定項目: AUTO / MANUAL

工場出荷時: AUTO

解説:

AUTO: GPSの時刻データをVX-8Gの内部時計へ自動的に取り込みます。

MANUAL: VX-8Gの内部時計を設定した時刻が優先されます(内部時計の設定方法は17ページの「時計をセットしよう」を参考にしてください)。

APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)

20 GPS UNIT

GPS表示の単位設定

設定項目:

Position: 'MMM' / 'SS'

Speed: km/h / mph / knot

Altitude: m / ft

工場出荷時:

Position: 'MMM'

Speed: km/h

Altitude: m

解説:

高度 (Altitude), 速度 (Speed), 緯度経度 (Position) の単位を設定します。

Position: 緯度/経度 (DDD° MM. MMM) の表示の単位を変更することができます。

MMMは1/1000分型式

MMMの部分がない場合は分秒型式で表示されます。

Speed: 「km/h」, 「mph」, 「knot」から単位を選択することができます。

Altitude: 「m」または「ft」の単位を選択することができます。

21 MSG GROUP

受信メッセージのグループフィルター設定

設定項目:

特定のグループコード (ALL, や QQ) をもつメッセージを受信するためのフィルターを設定します。

G1: ALL*****

G2: QQ*****

G3: QST*****

G4: YAESU*****

G5:

B1: BLN?*****

B2: BLN?

B3: BLN?

工場出荷時:

G1: ALL*****

G2: QQ*****

G3: QST*****

G4: YAESU*****

G5:

B1: BLN?*****

B2: BLN?

B3: BLN?

解説:

特定のグループコードをもつメッセージを受信するためのフィルターを設定します (初期値で ALL, QQ, QST, YAESU が指定されています)。

“*”: どの文字がきても一致判定をするワイルドカードです。

22 MY CALLSIGN

自局のコールサイン設定

解説:

APRS通信に必要な自局のコールサインを登録します。自局コールサインを登録しないとAPRSデーターの送信はできませんので必ず登録してください。

コールサインは下記の条件で登録してください

*****NN

*: コールサイン (最大6文字)

NN: 数字 (1~15の数字もしくはSSID無し)

一般的にハンディで使用する場合は、コールサインの次に“-7”を入力することを推奨します。

23 MY POSITION

自局位置の設定

設定項目: GPS / Lat / Lon / P 1~P10

工場出荷時: GPS

解説:

自局の位置情報をGPSから取得するか、マニュアルで位置情報を入力するかを設定します

GPS: 自局位置をGPSから自動的に取得します。

Lat / Lon: 自局位置をマニュアルで設定します。

P 1~P10: GPSから得られる位置情報を10個あるメモリ (P1~P10) のいずれかに登録することができます。また、登録した位置情報をAPRSビーコンの自局位置情報として送信することもできます。

メモリ方法は下記のように行います。

1. GPS機能を使用した状態で自局の位置を捕捉します。
2. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をGPS画面、STATION LIST画面またはAPRS MESSAGE画面にします。
3. **[MENU]** を1秒以上押します
4. DIALツマミをまわしてAPRS/GPS セットモードの『23 MY POSITION』を選択します。
5. **[MENU]** を短く押します。
6. DIALツマミをまわしてP 1~P10のいずれかを選択します。
7. **[MENU]** を1秒以上押してメモリーします。
8. メモリーした位置情報をAPRSの自局位置情報として送信する場合には**[MENU]** を1秒以上押します。または、自局位置をGPSから自動的に取得する場合には、DIALツマミをまわして“GPS”に選択してから**[MENU]** を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。

APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)



通常のAPRS運用では、自局位置をGPSから自動的に取得します。P1～P10へ位置をメモリーしたら、メモリーした位置情報を送信したい場合を除き、必ず“GPS”の設定に戻してください。戻し忘れると意図しない位置情報を送信してしまうことになる場合があります。

24 MY SYMBOL

自局のシンボル設定

設定項目: シンボル

工場出荷時:

MY SYMBOL 1: Human/Person (人)

MY SYMBOL 2: Bicycle (自転車)

MY SYMBOL 3: Car (車)

MY SYMBOL 4: User (YY)

解説:

送信する自局のシンボルを設定します。

46種類のシンボルから選ぶことができます。

工場出荷時はMY SYMBOL 1 “人 (Human/Person)” が設定されています (p. 72)。

25 POSITION COMMENT

ポジションコメントの選択

設定項目: Off Duty / En Route / In Service / Returning / Committed / Special / Priority / Custom 0 ~ Custom 6 / EMERGENCY!

工場出荷時: Off Duty

解説:

自局ビーコン中に盛り込むポジションコメント (定型メッセージ) を選択します。

「Off Duty」, 「En Route」, 「In Service」, 「Returning」, 「Committed」, 「Special」, 「Priority」, 「Custom 0 ~ Custom 6」, 「EMERGENCY!」のいずれかを選択します。



事故や災害など本当に緊急の救助が必要な場合以外は絶対に「EMERGENCY!」を選択しないでください。

26 SmartBeaconing

スマートビーコニングの設定

設定項目:

STATUS: OFF / TYPE1 / TYPE2 / TYPE3

LOW SPD: 2 ~ 30

HIGH SPD: 3 ~ 70

SLOW RATE: 1 min ~ 100 min

FAST RATE: 10 sec ~ 180 sec

TURN ANGL: 5° ~ 90°

TURN SLOP: 1 ~ 255

TURN TIME: 5sec ~ 180sec

工場出荷時:

STATUS: OFF

STATUS	TYPE1	TYPE2	TYPE3
LOW SPD	5km/h	3km/h	2km/h
HIGH SPD	70km/h	30km/h	12km/h
SLOW RATE	30 min	30 min	30 min
FAST RATE	120 sec	120 sec	120 sec
TURN ANGL	28°	28°	28°
TURN SLOP	26	11	7
TURN TIME	30sec	30sec	30sec

解説:

SmartBeaconing™とは、GPSアンテナユニットからのデータ (移動速度や進行方向など) にもとづき、効率的に自局位置情報のビーコンを送信する機能です。STATUS設定をTYPE1～TYPE3のいずれかに設定し、APRS/GPSセットモード『23 MY POSITION』を「GPS」に設定し、さらにAPRS/GPSセットモード『14 BEACON TX』を「SMART」に設定すると、SmartBeaconing™機能による運用状態となります (STATION LIST表示画面またはMESSAGE表示画面で を押しても状態を変える事ができます。この場合、画面左上に 表示が出ていれば、SmartBeaconing™の運用状態となります。

各設定項目の詳細は下記のようになります。

STATUS: 「TYPE1 / TYPE2 / TYPE3」に設定したときのみ、SmartBeaconing™の動作を有効とします。使用しないときはOFFにします。

LOW SPD: 設定速度よりも下回った場合は、「SLOW RATE」で設定された時間間隔でビーコンを送信します。速度の単位は、APRS/GPSセットモード『10 APRS UNT』の設定値に従います。

HIGH SPD: 設定速度を超えた場合は、「FAST RATE」で設定された時間間隔でビーコンを送信します。速度の単位は、APRS/GPSセットモード『10 APRS UNT』の設定値に従います。

SLOW RATE: 「LOW SPD」で設定された速度を下回ったときの、ビーコン送信時間間隔を設定します。

FAST RATE: 「HIGH SPD」で設定された速度を超えたときの、ビーコン送信時間間隔を設定します。

APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)

TURN ANGL: 進行方向が変化したと判断する角度の最小値を設定します。

TURN SLOP: 移動速度に応じて、進行方向の変化を判定する角度を動的に可変させる為の係数を設定します。係数の値が大きくなると、低速時の判定角度が大きくなります。

1~255 (X10)° /速度

(回転傾斜の設定単位が実数の10分の1になっているのは、HamHUD Nichetronix社のHamHUDシリーズの設定単位と同様です)。

TURN TIME: 時間 (Variable Rate Beacons) や進行方向の変化 (Corner Pedding) 検出による BEACON 送信後、次の BEACON 送信が可能になるまでの制限時間を設定します。

VX-8GのSmartBeaconing™機能には、3種類 (TYPE1~TYPE3) の異なる設定が用意されており、下記運用を想定した初期値があらかじめプリセットされています。

TYPE1 : 自動車などの高速移動を想定

TYPE2 : 自転車などの中低速移動を想定

TYPE3 : 徒歩などの低速移動を想定

TYPE2とTYPE3の設定 (特にTYPE3) では、比較的遅めの移動速度であっても短時間に多数の BEACON が送信されてしまう為、これらの設定のまま自動車等の高速移動中に運用すると、BEACON が多数送信され周波数混雑の要因となります。高速移動する可能性がある場合には、必ずTYPE1の設定に戻す様にしてください。

異なるタイミングでの運用を試したい場合、TYPE1~TYPE3の設定/パラメータ自体を変更する事もできます。パラメータを変更する際も、適切に BEACON が送信される様に、SmartBeaconing™ のパラメータやDIGI PATH-設定などを調整し、周波数混雑を起こさないような運用を心がけましょう。

※ SmartBeaconing™は、HamHUD Nichetronix社から提供されています。

27 TIME ZONE

タイムゾーンの設定

設定項目: ±13.0 時間

工場出荷時: UTC+9 時間

解説:

タイムゾーンを30分単位で設定することができます。GPSからの時刻データは協定世界時 (UTC) で送られます。日本の場合はUTCより9時間進んでおりますので+9時間に設定します (あらかじめ+9時間に設定してありますので、再度設定する必要はありません)。

旅行等で日本以外の国 (地域) で使用する場合は、各国 (地域) によってUTCとの差が異なりますので設定してください。

APRS® ベル音リスト

APRS ベル音リスト

ビーコンを受信したとき (APRSフィルタ: ON)	メッセージを受信したとき
 (ピンポーン)	 (ピポピポーン) ユーザーベル機能により変更可
ビーコンを受信したとき (APRSフィルタ: OFF)	グループ/ブレンメッセージを受信したとき
 (ピーツ)	 (ピポピポピポーン)
デジピーターに中継された自局ビーコンを受信したとき	メッセージACKを受信したとき
 (ピポポツ)	 (ピーツ)
“EMERGENCY!”を受信したとき	メッセージREJを受信したとき
 x 12 回 (ブーツを 12 回)	 (ピーツ)
ポジションコメントの“EMERGENCY!”を設定しようとしたとき	
 x 3 回 (ブーツブーツブーツ)	

緊急を知らせる —エマージェンシー機能—

白色のストロボ発光とビーブ音で緊急を知らせることがができます。



EMG R/H
(HM/RV) を2秒以上押します(EMG)。

ディスプレイに“EMGENCY”が表示され、ストロボが白色にストロボ発光し、ビーブ音が鳴ります。

周波数は430MHz帯のホームチャンネルが自動的に選択されます。

このときにPTTスイッチを押すとエマージェンシー機能が一旦停止し、ホームチャンネルで送信することができます。送信が終了すると約5秒後に再びエマージェンシー機能が動作します。

エマージェンシー機能を解除するときは、もう一度 EMG R/H (HM/RV) を2秒以上押します。

430MHz帯のホームチャンネルに戻ります。

エマージェンシーモードの設定

セットモードの『29 EMERGENCY SELECT』により、エマージェンシー機能動作時の、ストロボ発光とビーブ音の動作を変更することができます。ビーブを鳴らしながら、ストロボが白色にストロボ発光する以外に、下記の動作に変更することができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL** ツマミをまわして『29 EMERGENCY SELECT』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

4. **DIAL** ツマミをまわしてエマージェンシー機能の設定をします。

工場出荷時:ビーブ&ストロボ

5. **[MENU]** を1秒以上押します。

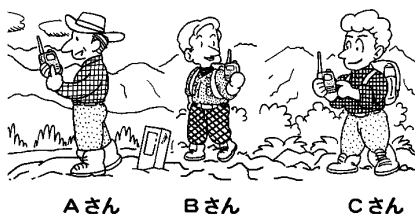
29	EMERGENCY SELECT
30	EXTENDED MENU
31	FW KEY HOLD TIME
32	HALF DEVIATION

29	EMERGENCY SELECT
	• BEEP : STROBE

表示	動作
BEEP & STROBE	ビーブ音を鳴らしながらストロボが白色でストロボ発光します。
BEAM	ストロボが白色で点灯します。
BEEP & BEAM	ビーブ音を鳴らしながらストロボが白色で点灯します。
CW	ストロボがモールス符号で「SOS」と白色で点滅します。
BEEP & CW	ビーブ音がモールス符号で「SOS」と鳴り、さらに音に合わせてストロボが白色で点滅します。
CW-ID TX	1分毎にCWDを送信し、同時にストロボが白色で点滅します。 CWDの登録方法は133ページを参照してください。
BEEP	ビーブ音のみ鳴らします。
STROBE	ストロボが白色でストロボ発光します。

自分の行方を仲間に探索してもらう -EAI(エマージェンシーオートマチックID)機能-

仲間との登山や/ハイキングの時、不慮の事故で自分の意識が無くなったり、動けなくなった場合などに、自分の行方を仲間に探索してもらうための機能です。各自が、個別にコードを登録することをおすすめしますが、工場出荷時の状態のまま、簡単にEAI機能を使用することもできます。なお、EAI機能はAバンドのみで動作します。



Aさん

Bさん

Cさん

工場出荷時の状態のままで、簡単に運用する場合

基本的な運用方法

3人共、個別コードを設定する。

EAI機能をオンにします(セットモード『27 EAI』を「ON」にします)。その後は、EAI周波数(433.300MHz)以外の周波数で通常の交信を行う。



Bさんが事故！

AさんまたはCさんは、メモリーモードにして(V/M)押してからDIALツマミをまわす) EAIメモリーを呼び出し、5秒以上送信します。

※ 工場出荷時の状態は、全員が同じコードに設定されていますので、全員の無線機が反応してしまいます。送信する人以外は、EAI機能をOFFにするか、電源をONにしてください。

AさんまたはCさんは、メモリーモードにして(V/M)押してからDIALツマミをまわす) EAIメモリーを呼び出し、コードをBさんの個別コードにあわせて5秒以上送信します。

信号を受信すると自動的に“ピー”音を5分間(変更可能)間欠送信



自分の行方を仲間に探索してもらう —EAI機能— (つづき)

■ EAI 機能の設定の流れ

個別コードを設定する



EAI 機能を動作させる



呼び出したい相手のEAI コードを設定する

■ 個別コードを設定する



この機能は、不慮の事故が発生した際に、捜索活動を補助するための機能です。
この機能を使用しても、必ずしも発見に至るとは限りません。また、相手が電波の届かない場所にいる場合、本機能は動作いたしません。なお、本機能を使用して生じたトラブルについては、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

EAI 機能時に使用する“個別コード”を仲間同士で決めておき、各個人毎に設定します。
(例:Aさんは“05 02”, Bさんは“03 04”, Cさんは“05 06”など)

工場出荷時は、あらかじめ“05 47”が設定されていますので、簡単にEAI 機能を使用したい場合は、個別コードを設定する必要はありません。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『62 PAGER CODE-RX』を選択します。

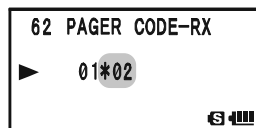
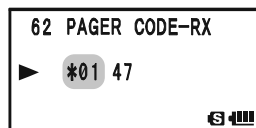
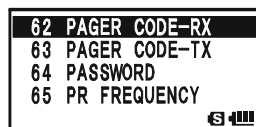
3. **[MENU]** を短く押します。

4. DIALツマミをまわして1つ目のコード(Aさんの場合は“01”)にあわせませう。

5. **[SPS SQ TYP MODE]** を短く押した後(※が移動します), DIALツマミで2つ目のコード(Aさんの場合は“02”)にあわせませう。

6. **[MENU]** を1秒以上押して設定は終了です。

- “01 01”のように、同じコードを設定することはできません。
- “01 02”と“02 01”などの場合、順番が違っても、同じコードとみなします。



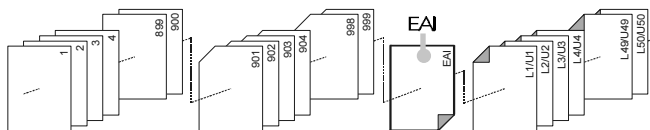
各種の便利な機能

■ EAI 用周波数を変更したい場合

EAI機能を動作させるためのメモリーチャンネル“EAI”には、あらかじめ433.300MHzがメモリーされていますが、この周波数を変更することができます。

1. 変更したい周波数にあわせませう。

2. **[GW]** を1秒以上押して、DIALツマミをまわして“EAI”にあわせませう。



EAIメモリーはメモリーチャンネル999とL1の間にあります。

[MENU] を押すたびに100チャンネルステップで早送りすることができます。

3. **[GW]** を短く押すと“上書きOK?”が表示されます。

4. **[GW]** を押すと周波数が変更されます(もとの周波数表示に戻ります)。

仲間全員が、メモリーチャンネル“EAI”を同じ周波数に設定しないと、EAI 機能は動作しません。

自分の行方を仲間に探索してもらう -EAI機能- (つづき)

■ EAI 機能を動作させる

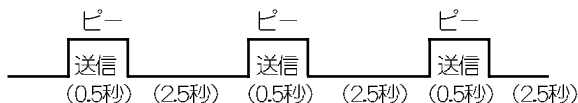
1. ^{DW MT}
[V/M] を短く押してメモリーモードにします。
2. DIALツマミをまわしてメモリーチャンネル“EAI”を呼び出します。
3. [MENU] を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
4. DIALツマミをまわして『28 EAI TIME』を選択します。
5. [MENU] を短く押します。
6. DIALツマミをまわして“EAI機能動作時の間欠送信時間”をあわせます。

28 EAI TIME
29 EMERGENCY SELECT
30 EXTENDED MENU
31 FW KEY HOLD TIME

28 EAI TIME
▶ 5分間隔

1～10分間隔(1分単位)/15/20/30/40/50分間隔から選択が可能です。

例: “10分”にあわせた場合は、EAI 機能が動作すると「10分間」ピープ音を間欠的に送信し続けます。



…10分間繰り返す

7. [MENU] を短く押します。
8. DIALツマミをまわして『27 EAI』を選択します。
9. [MENU] を短く押して、DIALツマミをまわして「ON」に設定します。
10. [MENU] を1秒以上押して、セットモードを終了します。

27 EAI
28 EAI TIME
29 EMERGENCY SELECT
30 EXTENDED MENU

27 EAI
▶ ON

以下の機能が動作しているときには、EAI機能は動作しません。EAI機能を動作させる場合は、これらの機能を“オフ”にしてください。

- ・スキャン関連
- ・スマートサーチ機能
- ・ARTS機能
- ・プライオリティ機能
- ・エマージェンシー機能
- ・セットモード
- ・ファンクションモード(^{DW}押し)
- ・メモリー書き込みモード(^{DW}1秒以上押し)
- ・AF-DUAL機能

- EAI 機能が動作中は、VX-8Gが自動的に“EAI 用周波数”を監視(受信)しますので、特別な操作などは必要ありません。EAI 機能が動作中も、“EAI 用周波数”以外の周波数で、通常と同じ交信を行うことができます。
- 1分経過毎に、CWでコールサインなどのI D(CW I D)を送出することができます(参p. 133)。

自分の行方を仲間に探索してもらう —EAI機能— (つづき)

■呼び出したい相手のEAIコードを設定する

工場出荷時の状態でEAI機能を動作させる場合は、手順3～手順8の操作は必要ありません。

例: 目的の相手のコードが“03 04”の場合

1. DW MT
V/M を短く押してメモリーモードにします。
2. DIALツマミをまわしてメモリーチャンネル“EAI”を呼び出します。
3. MENU を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
4. DIALツマミをまわして『63 PAGER CODE-TX』を選択します。
5. MENU を短く押します。
6. 目的の相手局のコード“03 04”にあわせませう。
DIALツマミをまわして1つ目のコード“03”にあわせませう。
7. SC-M BND DN
BAND を短く押した後(※が移動します), DIALツマミで2つ目のコード“04”にあわせませう。
8. MENU を1秒以上押して設定します。
9. PTTスイッチを押して5秒※以上送信状態にし、その後受信状態にします。
※ 相手がセーブ時間を長く設定している場合は、探索時に必要な送信時間が異なります。
10. 相手がこちらの信号を受信した場合、自動的に“LOW2”パワーで送信状態(“ピー”音を間欠送信、マイク回路はオフになります)になりますので、その信号を手がかりに、探索(信号が強くなる方向に向う)を行います。

63 PAGER CODE-TX
64 PASSWORD
65 PR FREQUENCY
66 PR1 REVERT

63 PAGER CODE-TX
▶ *03 47

63 PAGER CODE-TX
▶ 03*04

SC-M BND DN
BAND を押すたびに、下記のようにアッテネーター(受信感度を下げる回路)が動作しますので、相手との距離が近づいた時には、アッテネーターを動作させることにより、探索しやすくなる場合があります。

ATT 1 → ATT 2 → ATTOFF → (ATT 1 へ戻る)
(10dB) (50dB) (OFF) (10dB)

受信信号の周波数を一時的に記憶する —スマートサーチ—

選択したバンド内をサーチし、信号を受信した周波数を一時的なメモリー（スマートメモリー）に書き込みます。スマートメモリーは、DIALツマミをまわすと選択できます。

1. あらかじめ、**(A)** を押して操作バンドをAバンドにします。

2. スマートサーチを開始する周波数を選択します。

3. ^{SPS SQ TYP}**(MODE)** を押したまま、DIALツマミをまわして『スマートサーチ』を選択します。

スペシャルサーチモード（SPS）になり、スマートサーチを選択することができます。

4. ^{SPS SQ TYP}**(MODE)** を離すとスマートサーチのモードになります。

5. ^{SC-M BND DN}**(BAND)** を1秒以上押して離すと、サーチを開始します。

バンド内を1回サーチするとスマートサーチは終了します。

ただし、バンド内を1回サーチする前にスマートメモリーが一杯になると、スマートサーチは終了します。

6. DIALツマミをまわして、スマートメモリーを呼び出します。

スマートサーチを開始した周波数に“CNT”開始した周波数より高い周波数には“1～15”，開始した周波数より低い周波数には“－1～－15”がディスプレイに表示されます。

7. スマートサーチを終了するときは、^{SPS SQ TYP}**(MODE)** を押します。

スマートサーチを開始する直前の状態に戻ります。

VFO	スマートサーチ	
(5)	HI	NFM
VFO	433. 000	NFM
(5)	HI	NFM

SMS	433. 100	NFM
CNT		
VFO	433. 000	NFM
(5)	HI	NFM

- スマートメモリーはメモリーチャンネルとは別に31個あり、スマートサーチを開始した周波数よりも高い側／低い側用に各15個ずつ使用されます（1個はスマートサーチを開始した周波数）。
- セットモード『82 SMART SEARCH』の設定により、スマートメモリーがいっぱいになるまで、繰り返してサーチするように変更できます。
- スマートメモリーに書き込まれた周波数は次の時点で消去されます。
 - ・再度スマートサーチを開始したとき
 - ・電源をオフにしたとき
 - ・電池パックを取り外したとき
 - ・電池パックが取り付けられていないときに外部電源を取り外したとき
- スマートメモリーの周波数は、「メモリーに書き込む（39ページ）」を行うとメモリーチャンネルにメモリーできます。
- 再びスマートサーチを開始するときは、いったんVFOモードまたはメモリーモードに戻ってから行ってください。

受信信号の周波数を一時的に記憶する —スマートサーチ— (つづき)

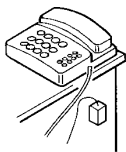
■指定した周波数の範囲をスマートサーチする

あらかじめプログラマブルメモリスキャン(PMS)により、下限周波数と上限周波数を登録しておきます (62ページ参照)。

1. メモリーモードにし、下限周波数または上限周波数のプログラマブルメモリーを呼び出します。
2. **[QW]**を押した後 ^{DW MT}**[V/M]**を押します。
DIALツマミをまわして、スマートサーチを開始する周波数に選択します。
3. ^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を押したまま、DIALツマミをまわして『スマートサーチ』を選択します。
4. ^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を離すとスマートサーチのモードになります。
5. ^{SC-M BND DN}**[BAND]**を1秒以上押して離すと、サーチを開始します。
指定した周波数内を1回サーチするとスマートサーチは終了します。
ただし、指定した周波数内を1回サーチする前にスマートメモリーが一杯になると、スマートサーチは終了します。
6. DIALツマミをまわして、スマートメモリーを呼び出します。
7. スマートサーチを終了するときは、^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を押します。
スマートサーチを開始する直前の状態に戻ります。

盗聴器を探し出す —盗聴器発見機能サーチ—

「盗聴器が仕掛けられているかも知れない」と困っている人がいるような場合、手助けをする機能です。盗聴で使用されていると思われる電波を自動的に探し出し、ビープ音の変化（4段階）でおおよその設置場所を発見することができます。



1. あらかじめ、**[AA]** を押して操作/バンドをAバンドにします。

2. **[SPS SQ TYP MODE]** を押したまま、DIALツマミをまわして『盗聴波サーチ』を選択します。

スペシャルサーチモード (SPS) になり、盗聴器発見機能サーチ (TAP) を選択することができます。

3. **[SPS SQ TYP MODE]** を離すと盗聴器発見機能サーチのモードになり、盗聴周波数を表示しながらサーチします。

◎盗聴波と思われる電波を発見したとき

最大20チャンネルある盗聴器発見機能サーチメモリーに、一番強い信号から順番に周波数を書き込み、一番強い信号の周波数を表示してサーチが止まります。サーチが終了後、DIALツマミを右にまわすと盗聴器発見機能サーチメモリーに書き込まれている周波数を、信号の強かった順に呼び出すことができます。

◎盗聴波と思われる電波がなかったとき

ディスプレイに“--- NO ---”が表示されVFOモードに戻ります。プライバシーを侵害する盗聴器は無いと思われます。

◎ 盗聴波と思われる電波を探し出すことができたなら、次は盗聴器が設置されている場所を探し出します。

4. **[SC-M BND DN BAND]** を押します。

アッテネーター (ATT1:約10dB) とビープ機能が自動的に“オン”になります。

[SC-M BND DN BAND] を押すごとに ATT2→OFF→ATT1へ戻ると切り替わります。

5. ビープ音が「ピー、ピー、ピー…」と高い音で鳴る場所を探し出します。

「ブツ、ブツ、ブツ…」と低い音で鳴る場合は、盗聴器が設置されている場所から離れていることを示し、さらに離れると、「ブツ、ブツ、ブツ…」と短い音に変わります。

6. 盗聴器に近づく、ビープのピー音が長く鳴りますので、**[SC-M BND DN BAND]** を押してアッテネーター (ATT2:約50dB) を動作させて受信感度を下げます。

さらにVX-8Gが盗聴器に近づく、VX-8Gのスピーカーがハウリングをおこし、盗聴器が設置されている場所を発見することができます。

7. **[SPS SQ TYP MODE]** を押すと盗聴器発見機能は解除され、盗聴器発見機能サーチを終了します。

アッテネーターはオフになり通常の感度に戻ります。

盗聴器発見機能サーチメモリーに書き込まれた周波数は消去され、盗聴器発見機能サーチを開始する直前の状態に戻ります。

VFO	盗聴波サーチ	
(5)		NFM
VFO	433.000	
(5)	HI	NFM
		4

サーチした周波数を表示

TAP	140.000	
1		NFM
VFO	433.000	
(5)	HI	NFM
		4

盗聴器発見機能サーチのメモリー番号

ATT1はATT1を表します

ATT1	140.000	
		NFM
VFO	433.000	
(5)	HI	NFM
		4



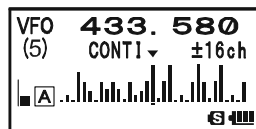
この機能は、盗聴器の発見を補助するための機能で、全ての盗聴器を探し出せるわけではありません。また本機能を使用して生じたトラブルについては、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

信号強度のグラフで信号を探す –スペクトラムスコープ機能–

モノバンド受信で、VFOモードまたはメモリーチューン時に、現在の周波数を中心「▼」に設定したチャンネルの使用状態(信号の強弱)をグラフで表示します。

1. **[GW]** を短く押した後に **[SP-ANA 8TUV]** を押します。

現在の周波数を中心に、上下各16チャンネルの使用状態を調べ、信号強度がグラフで表示されます。



2. **DIAL** ツマミをまわして信号のある位置に▼をあわせませう。

3. **[DW MT V/M]** を押します。

中心周波数の信号を受信することができます。再び **[DW MT V/M]** を押すとスキャンがスタートします。

4. **[GW]** を短く押した後に **[SP-ANA 8TUV]** を押します。

スペクトラムスコープ機能が終了します。

- **[AA]** または **[B▼]** を押すと±16チャンネル以外に、スペクトラムスコープチャンネルの設定を±5, ±9, ±16, ±24, ±50のチャンネルに替えることができます。
- スペクトラムスコープチャンネルが±5チャンネルの時は、信号強度をグラフの中に数字で表示します。
- スペクトラムスコープチャンネルの間隔は、VFOの周波数ステップと同じ間隔です。
- スペクトラムスコープがスキャン中にテンキー、**[BAND]**、**[HM/RV]** を押しても動作しません。
- 工場出荷時の設定は、一度スキャンを行なった後に、チャンネルの使用状況をグラフで表示し、中心周波数に信号があった場合は、その音声を出力します。DIAL ツマミをまわすと再度スキャンを開始します。
- セットモードの「84 SPEC-ANALYZER」により“連続”を選択すると、繰り返しスキャンをして、最新の使用状態を表示するように変更できます。なお、繰り返しスキャンを行っているときに、**[DW MT V/M]** を押すとスキャンを停止することができます。スキャンが停止しているときに **[GW]** を押しながら **[SP-ANA 8TUV]** を押すとスペアナを解除することができます。
- セットモードの「84 SPEC-ANALYZER」により“フルタイム”を選択すると、スペクトラムスコープを動作させながら同時に音声を出力することができます。ただし、580MHz～999MHzの周波数帯では音声を出力することはできません。

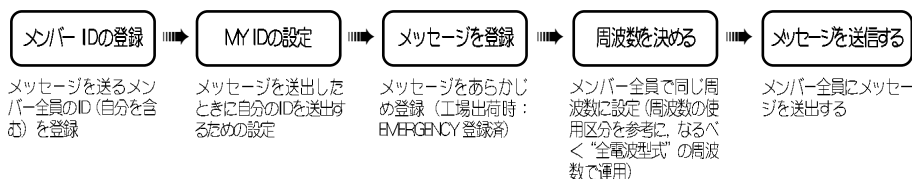
仲間にメッセージを送る ―メッセージ機能―

メッセージ機能を使用する場合は、あらかじめ使用するメンバーと同じ周波数を決めておいてください。メッセージは最大16文字まで送ることができます。

メッセージは20種類まで登録することができ、その中から希望のメッセージを選択して送信することができます。メッセージを受信すると、送られてきたメッセージ内容と送信者(最大20人登録可)をディスプレイに表示します。

- メッセージ機能は当社のVX-8G以外に、VX-8/D、VX-3、FTM-10/H/Sが動作します。対応機種については、カタログ等を参照してください。
まず始めに、あらかじめ決めておいたメンバーID、MY ID、周波数、メッセージ内容を設定し、同様にメンバー全員の無線機も同じ設定にしておきます。
- メッセージ機能を使用する場合は「周波数の使用区分」(p.191)を参照し、なるべく「全電波型式」の周波数で運用してください。
- レピータを介してメッセージを送ることはできません。

■ メッセージ機能の設定の流れ

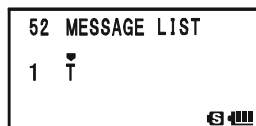
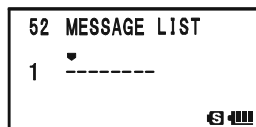
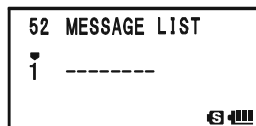


■ メンバーIDの登録

メッセージの送信者がわかるように、自分を含めて最大20人分のメンバーID(最大8文字)を登録することができます。メンバーIDは、あらかじめメンバー全員のIDを登録する必要があります。

なお、メンバーIDを登録しなくてもメッセージの送受信を行うことはできますが、この場合はメンバーIDではなく“MEMBER1”～“MEMBER20”の表示で送信者を知らせます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL** ツマミをまわして『52 MESSAGE LIST』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. **DIAL** ツマミをまわして登録したいメンバー番号を選択します。
5. SPS SQ TYP
[MODE] を短く押します。
ディスプレイのカーソルが移動します。
6. **DIAL** ツマミをまわして1桁目に希望の文字(126ページ参照)を選択します。
テンキーでも入力が可能です。
7. SPS SQ TYP
[MODE] を短く押して次の桁へカーソルを移動します。
SC-M BAND ON
[BAND] を短く押すと前の桁に戻り、修正したい場合は**DIAL** ツマミをまわして文字を選択します。
EMS R/H
(HW/RV)
メンバーIDを入力中に1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。



仲間にメッセージを送る ーメッセージ機能ー (つづき)

8. 上記の手順5.～7.を繰り返し、希望の文字を設定(最大8文字)します。

9. **[MENU]**を1秒以上押すと設定されセットモードを終了します。

上記の手順1からの操作を繰り返して、メンバー全員のメンバーIDを登録します。

52 MESSAGE LIST

1 T



52 MESSAGE LIST

1 TARO



■ MY ID の設定

メッセージを送る際、相手局に自分のIDを表示させるための設定を行います。

メンバーIDの登録の際に設定した、自分のIDを選択してください。

MY IDを設定しないと、相手のディスプレイに、自分のIDを表示させることができません。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『53 MESSAGE REGISTER』を選択します。

3. **[MENU]**を短く押します。

4. DIALツマミをまわして自分のIDが登録されたメンバー番号を選択します。

5. **[MENU]**を1秒以上押すとMY IDが設定され、セットモードを終了します。

53 MESSAGE REGISTER

54 MESSAGE SELECT

55 MIC GAIN

56 MONI/T-CALL



53 MESSAGE REGISTER

2 HANAKO



機種によっては表示できない文字があります。あらかじめメッセージを登録の際に機種を確認の上の文字入力をしてください。

仲間にメッセージを送る ―メッセージ機能― (つづき)

■ メッセージ登録

アルファベット, 数字, 記号を使用して, 希望のメッセージ(最大16文字)を最大20種類登録することができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL** ツマミをまわして『54 MESSAGE SELECT』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

4. **DIAL** ツマミをまわして登録したいメッセージ番号を選択します。

メッセージ番号1には, “EMERGENCY” のメッセージがあらかじめ登録されています(変更することができます)

5. **[MODE]** を短く押します。

ディスプレイのカーソルが移動します。

6. **DIAL** ツマミをまわして1桁目に希望の文字(下表参照)を選択します。

テンキーでも入力が可能です。

7. **[MODE]** を短く押して次の桁へカーソルを移動します。

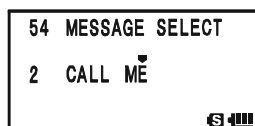
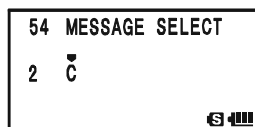
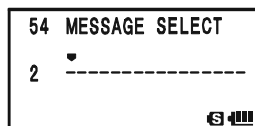
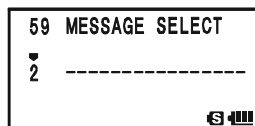
[MODE] を短く押すと前の桁に戻り, 修正したい場合は**DIAL** ツマミをまわして文字を選択します。

メッセージを入力中に **[MODE]** を1秒以上押すと, カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。

8. 上記の手順6.~7.を繰り返し, 希望の文字を設定(最大16文字)します。

9. **[MENU]** を1秒以上押すと設定されセットモードを終了します。

続けて他のメッセージを登録したい場合は, 上記の操作を繰り返して, メッセージを登録します。



文字一覧表																													
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U									
V	W	X	Y	Z	(スペース)	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u			
v	w	x	y	z	.	:	;	*	#	_	-	/	&	()	@	!	?	^		アイ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク			
ケ	コ	サ	シ	ク	セ	リ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ
リ	ル	ロ	ワ	ヲ	ン	`	°	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9												

仲間にメッセージを送る ―メッセージ機能― (つづき)

■ メッセージの送信

メンバーで決めた周波数を受信している他のメンバーに登録されたメッセージを送信することができます。

メッセージを送出する際は、自分のIDも同時に送付されますので、受信側は誰からのメッセージなのかを知ることができます。

自分のIDを相手に表示させるには、MY IDの設定が必要です(※p. 133)。

1. メンバーと同じ周波数に設定します。

2. **[W]** を短く押した後に **[MODE]** を押します。

セットモード『88 SQL TYPE』のショートカットキーです。セットモード『88 SQL TYPE』を呼び出して、メッセージ機能(MESSAGE)を選択することもできます。

3. DIALツマミをまわして「MESSAGE」を選択します。

4. **[MODE]** を短く押して設定を終了します。

5. **[W]** を短く押した後に **[CODE 2ABC]** を押します。

セットモード『54 MESSAGE SELECT』のショートカットキーです。セットモード『54 MESSAGE SELECT』を呼び出して、メッセージを選択することもできます。

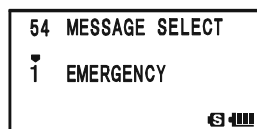
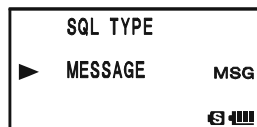
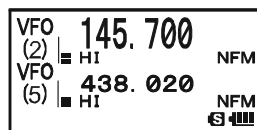
6. DIALツマミをまわして送りたいメッセージを選択します。

7. PTTスイッチを押して設定を終了します。

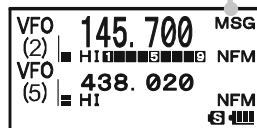
ディスプレイの右上に“MSG”が表示されます。

8. PTTスイッチを押すとメッセージが送付されます。

約5秒間メッセージの送信を行い、メッセージの送信が終わると、メッセージを送る前の状態に戻ります。



MSGが表示される



各種の便利な機能

■ メッセージの受信

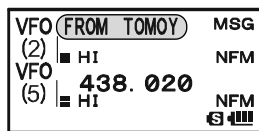
メッセージを受信するためには、メンバーが受信している同じ周波数にあわせませす。

メッセージを受信するとストロボが白く点滅すると共に着信音が鳴り、ディスプレイに下記の例のような順番で繰り返し表示されます。

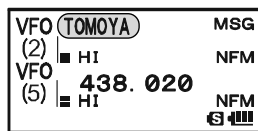
メッセージの受信例



メッセージ内容



FROM



送信者情報

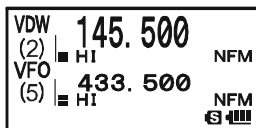
メッセージ内容、FROM、送信者情報がスクロール表示されます。

メッセージの表示を消して、メッセージを受信する前の状態に戻すには、いずれかのキーを短く押すか、DIAL ツマミを1クリックまわします。

デュアルレシーブ (DW) 機能

デュアルレシーブ機能には、ダイヤルデュアルレシーブ、メモリーデュアルレシーブ、HOMEチャンネルデュアルレシーブの三種類があります。約5秒間に一度、指定したメモリーチャンネル(プライオリティメモリーチャンネル)に信号があるかを確認し、信号がある場合は、指定したメモリーチャンネルの信号を受信します。

例: “145.500MHz”を受信しながら、プライオリティメモリーチャンネル“90”を確認する場合



受信している周波数

5秒毎にプライオリティメモリーチャンネル“90”を監視します

▶
プライオリティメモリーチャンネル “90” に信号があると

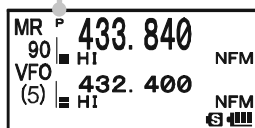


プライオリティメモリーチャンネル “90”を受信すると、デシマルポイントが点滅します。

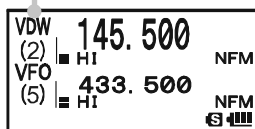
■ダイヤルデュアルレシーブ (VFOモード ⇄ プライオリティメモリーチャンネル)

1. メモリーモードにします。
2. **[DW]** を1秒以上押します。
書き込みモードになり、ディスプレイに“**[P]**”とチャンネル番号が点滅します。
3. 優先的に受信したいメモリーチャンネル(プライオリティメモリーチャンネル)をDIALをまわして選択し、**[SC-M BND DN (BAND)]** を短く押します
ディスプレイに“P”が表示されます。
4. VFOモードで常時受信する周波数を選択します。
5. **[DW MT (V/M)]** を1秒以上押すとダイヤルデュアルレシーブが始まり、“VDW”が表示されます。
6. ダイヤルデュアルレシーブを終了するときは **[DW MT (V/M)]** を短く押します。

“P”が表示



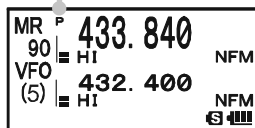
“VDW”が表示



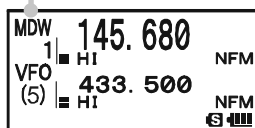
■メモリーデュアルレシーブ (メモリーチャンネル ⇄ プライオリティメモリーチャンネル)

1. メモリーモードにします。
2. **[DW]** を1秒以上押します。
書き込みモードになり、ディスプレイに“**[P]**”とチャンネル番号が点滅します。
3. 優先的に受信したいメモリーチャンネル(プライオリティメモリーチャンネル)をDIALをまわして選択し、**[SC-M BND DN (BAND)]** を短く押します
ディスプレイに“P”が表示されます。
4. 常時受信したいメモリーチャンネルにあわせます。
5. **[DW MT (V/M)]** を1秒以上押してメモリーデュアルレシーブが始まり、“MDW”が表示されます。
6. メモリーデュアルレシーブを終了するときは **[DW MT (V/M)]** を短く押します。

“P”が表示



“MDW”が表示



デュアルレシーブ (DW) 機能 (つづき)

■HOMEチャンネルデュアルレシーブ (HOMEチャンネル ⇄ プライオリティメモリーチャンネル)

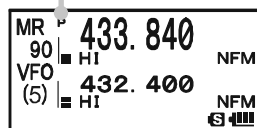
1. メモリーモードにします。

2. **[DW]** を1秒以上押します。書き込みモードになり、ディスプレイに“**[DW]**”とチャンネル番号が点滅します。3. 優先的に受信したいメモリーチャンネル (プライオリティメモリーチャンネル) をDIALをまわして選択し、**[BAND]** を短く押します。

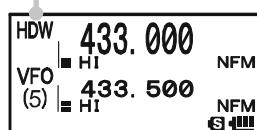
ディスプレイに“P”が表示されます。

4. **[EMG R/H (HM/RV)]** を押してHOMEチャンネルを呼び出します。5. **[DW MT (V/M)]** を1秒以上押すとHOMEチャンネルデュアルレシーブが始まり、“HDW”が表示されます。6. HOMEチャンネルデュアルレシーブを終了するときは **[DW MT (V/M)]** を押します。

“P”が表示



“HDW”が表示



- 工場出荷時には、メモリーチャンネル1にプライオリティメモリーチャンネルが設定されています。
- セットモードの『67 PRI TIME』により、プライオリティチャンネルの監視間隔時間を変更することができます。
- 常時受信する周波数とプライオリティメモリーチャンネルの周波数の周波数帯やモードの組み合わせに制限はありません。
- プライオリティメモリーチャンネルで信号を受信すると、その周波数を2秒間受信して再びデュアルレシーブが始まります。プライオリティメモリーチャンネルを受信しているときに、PTTスイッチを押すとその周波数で送信することができデュアルレシーブ機能を終了します。
- デュアルレシーブの再開条件は、セットモードの『77 SCAN RESUME』で変更することができます。
- “P”のアイコンは移動することはできませんが、消去することはできません。

プライオリティリバート

プライオリティ受信時にPTTスイッチを押すと、プライオリティメモリーチャンネルで優先的に送信することができます。また、プライオリティメモリーチャンネルで信号を受信すると、その周波数を5秒間受信して再びデュアルレシーブが始まります。プライオリティメモリーチャンネルを受信しているときに、PTTスイッチを押すとその周波数で送信することができ交信が終了すると再びデュアルレシーブ機能が動作します。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

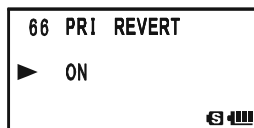
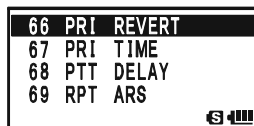
2. DIALツマミをまわして『66 PRI REVERT』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

4. DIALツマミをまわして「ON」に選択します。

5. **[MENU]** を1秒以上押します。

プライオリティリバートが設定され、もとの表示に戻ります。



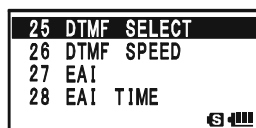
DTMF機能

DTMFとは“Dual Tone Multi Frequencies”の略語で、プッシュホーンの電話をかけたときに受話音から聞こえる音「ピッポツパツ」です。フーンパッチから公衆回線に接続するときに使う電話番号などを、最大16桁のDTMFコードで登録することができます(10チャンネル分)。

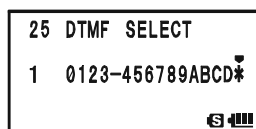
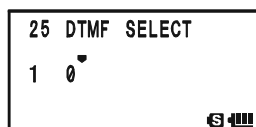
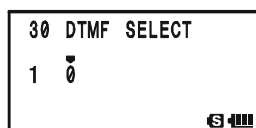
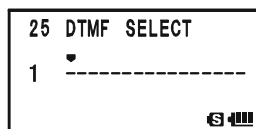
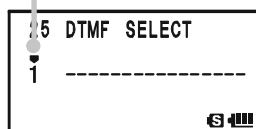
■DTMFコードを登録する

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL** ツマミをまわして『25 DTMF SELECT』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. **DIAL** ツマミをまわして登録したいチャンネルを選択します。
1ch～10chから選択することができます。
5. **[MODE]** を押します。
6. **DIAL** ツマミをまわしてDTMFコードを入力します。
テンキーでも入力が可能です。
7. **[SPS SQ TYP] [MODE]** を押してカーソルを移動します。
8. 手順6, 7を繰り返しDTMFコードを入力します(最大16桁)。
9. 最後の桁のDTMFコードにカーソルをあわせ、**[MENU]** を1秒以上押します。

DTMFコードが設定され、もとの表示に戻ります。



チャンネル表示



-
- 手順6でDTMFコードを修正したいときは、**[SPS SQ TYP] [MODE]** (左方向へ移動) または **[SC-M BND DN] [BAND]** (右方向へ移動) を押して修正したい桁にあわせ、**DIAL** ツマミをまわして入力します。
 - 手順6でDTMFコードを登録中に **[EMG R/H] [RM/RV]** を1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。
-

DTMF機能 (つづき)

入力したDTMFコードを音で確認する

1. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードにします。
2. DIALツマミをまわして『25 DTMF SELECT』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. DIALツマミをまわして登録してあるチャンネルを選択します。
5. **[QW]** を短く押すと、登録してあるDTMFコードをDTMF音で確認することができます。
6. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。

25	DTMF SELECT
26	DTMF SPEED
27	EAI
28	EAI TIME

25 DTMF SELECT
1 0123-456789ABCD*

DTMF機能 (つづき)

■登録したDTMFコードを送出する

- 1. **[DTMF] [3DEF]** を押した後に **[DTMF] [3DEF]** を押します。
セットモードの『24 DTMF MANUAL/AUTO』のショートカットキーです。
- 2. **DIAL** ツマミをまわして「オートダイアラ」を選択します。
ディスプレイの左下に「**[DTMF]**」が点灯します。
- 3. **[DTMF] [3DEF]** を押して設定を終了します。
- 4. **PTT** スイッチを押したままにします。
- 5. **[STEP 1] (1ch) ~ [SUB OP 0] (10ch)** のテンキーを押して送出したいDTMFメモリーのチャンネル選択します。
登録したDTMFコードが送出されます。また、スピーカーから送出するDTMF音が聞こえます。
- 6. **PTT** スイッチを離します。
PTTスイッチを離してもDTMF信号の送出が終了するまでは、送信を続けます。



■マニュアルでDTMFコードを送出する

マニュアルでDTMFコードを送出することもできます。

- 1. **[DTMF] [3DEF]** を押した後に **[DTMF] [3DEF]** を押します。
セットモードの『24 DTMF MANUAL/AUTO』のショートカットキーです。
- 2. **DIAL** ツマミをまわして「手動」を選択します。
- 3. **[DTMF] [3DEF]** を押して設定を終了します。
- 4. **PTT** スイッチを押したままにします。
- 5. テンキーを押して送出したいDTMFコードを選択します。
選択したDTMFコードが送出されます。また、スピーカーから送出するDTMF音が聞こえます。
- 6. **PTT** スイッチを離します。
PTTスイッチを離してもDTMF信号の送出が終了するまでは、送信を続けます。



○ DTMFコードは、2つの周波数の組み合わせから成っています。

	1209Hz	1336Hz	1477Hz	1633Hz
697Hz	1	2	3	A
770Hz	4	5	6	B
852Hz	7	8	9	C
941Hz	*	0	#	D

自分のコールサインを自動的に送出する —CW ID機能—

CW IDを設定すると、ARTS/EAI/エマージェンシー機能動作時に、自分のコールサインを自動的に送出することができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL**ツマミをまわして『16 CW ID』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

4. **DIAL**ツマミをまわして「ON」を選択します。

5. SPS SQ TYP
[MODE] を短く押します。

カーソルが一桁目に移動します。

6. **DIAL**ツマミをまわしてコールサインを入力します (文字は下表参照)。

テンキーでも入力が可能です。

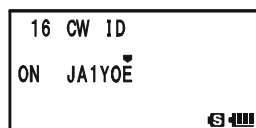
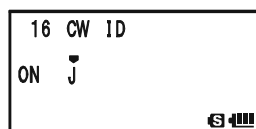
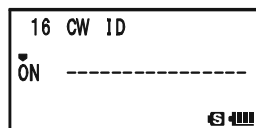
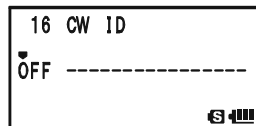
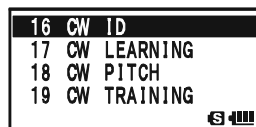
7. SPS SQ TYP
[MODE] を押してカーソルを移動します。

SC-M BND DN
[BAND] を押すとカーソルの位置を一桁前に戻すことができます。

8. 手順6., 7. を繰り返しコールサインを入力します (最大16文字)。

9. **[MENU]** を1秒以上押します。

CW IDが設定され、もとの表示に戻ります。



● CW IDを送出するためには、第三級アマチュア無線技士以上の資格とF2Aの電波型式の免許が必要です。

○ 文字一覧表は、下表を参照してください。

文字一覧表															
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
(スペース)	/	?	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			

○ コールサインを入力中に EMG R/H
[HM/RV] を1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。

○ コールサインを入力後、手順1〜手順3を行い **[QW]** を押すと、設定したCW IDをCW音とストロボで確認することができます。

○ CW IDを送出するときには、設定したCW IDの前後に“DE”と“K”が自動的に追加されます (DE CW ID (コールサイン) K と送出されます)。

○ CW ID送出時にはDCSコードを含みませんので、ARTS運用時には、当人同士はCW IDを聞くことはできません。

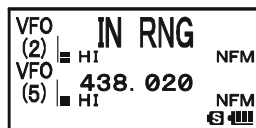
相手局と交信可能かチェックする —ARTS機能—

ARTS機能とは、相手局が交信可能範囲内にいるかどうかを調べることができる機能です。

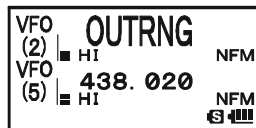
[W]を押した後に **ARTS (4GH)** を押します。

相手局が交信可能な範囲にいるときは“IN RNG”が表示されます。

ARTS機能を動作中に **ARTS (4GH)** を押すと、ARTS機能を使う直前の状態に戻ります。



- 相手局が交信範囲の外にいるときは、“OUT RNG”が表示されます。
- 相手局と同じDCSコードにセットしてください。ARTS機能に使用するDCSコードは、セットモードの『21 DCS CODE』で変更できます。
- DCSコードは工場出荷時の状態で“023”に設定されています。
- ARTS機能をオンにすると、周波数を変更できなくなります。
- ARTS機能は、ARTS機能のあるトランシーバーどうして利用できます。
- ARTS機能がオンの状態のままでPTTスイッチを押すことにより、相手局と交信できます。
- セットモードの『16 CW ID』の設定により、CW IDを設定するとARTS機能動作時に、自分のコールサインを自動的に、約10分間21回CWで送出します。
- セットモードの『3 ARTS BEEP』の設定により、相手局からのDCSコードの受信を知らせるビープ音の鳴るタイミングを変更できます。
- セットモードの『4 ARTS INTERVAL』の設定により、チェックの間隔（相手局が交信可能範囲内にいるかどうかを調べる間隔）を変更できます。工場出荷時には、チェック間隔は25秒に設定されています。



設定以上の信号を受信した場合のみ、音声を出力させる —Sメータースケルチ機能—

設定以上の信号を受信した場合のみ、音声を出力させる機能です。

Aバンド、Bバンド個別にSメータースケルチを設定することができます。

1. Sメータースケルチ機能を設定したいバンドを操作バンドにします。

Aバンドに設定したい場合は(A▲)を押します。

Bバンドに設定したい場合は(B▼)を押します。

2. [MENU] を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして『86 SQL S-METER』を選択します。

4. [MENU] を短く押します。

5. DIALツマミをまわして設定値を選択します(下表参照)。

6. [MENU] を1秒以上押します。

Sメータースケルチ機能が設定され、もとの表示に戻ります。



表 示	Sメーターの表示	動作状態
OFF	表示なし	Sメータースケルチ機能が“OFF”になります。(工場出荷時は“OFF”に設定)
レベル1		Sメーターが“1”以上の信号の音声を出力します。
レベル2		Sメーターが“2”以上の信号の音声を出力します。
レベル3		Sメーターが“3”以上の信号の音声を出力します。
レベル4		Sメーターが“4”以上の信号の音声を出力します。
レベル5		Sメーターが“5”以上の信号の音声を出力します。
レベル6		Sメーターが“6”以上の信号の音声を出力します。
レベル7		Sメーターが“7”以上の信号の音声を出力します。
レベル8		Sメーターが“8”以上の信号の音声を出力します。
レベル9		Sメーターが“9”以上の信号の音声を出力します。

特定の相手局との交信

トーンスケルチ機能/DCS機能

トーンスケルチを使うと、こちらで設定している周波数のトーンが含まれた信号を受信したときのみスケルチが開きます。また、デジタルコードスケルチ(DCS)を使うと、こちらで設定しているDCSコードが含まれた信号を受信したときのみスケルチが開きます。

これらの機能を使うと、長時間にわたって特定の局からの呼び出しを待ち受けているときに、他局の交信にわずらわされることがなくなります。

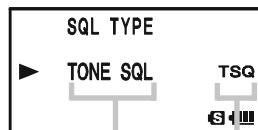
1. **[W]**を押した後に^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を押します。

セットモードの『88 SQL TYPE』のショートカットキーです。

2. **DIAL**ツマミをまわしてスケルチの種類を選択します(下表参照)。

3. ^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を押します。

スケルチの種類が設定され、もとの表示に戻ります。



スケルチタイプを表示する

ロゴを表示する

表 示	動作状態
OFF	トーン送出、トーンスケルチなど各機能をOFFにします。
TONE	トーン送出のみを行います(“TN”が表示)。
TONE SQL	トーンスケルチをONにします(“TSQ”が表示)。
DCS	デジタルコードスケルチをONにします(“DCS”が表示)。
REV TONE	リバーストーンをONにします(“RTN”が表示)。 通話がないときにトーン信号が含まれ、通話を始めるとトーン信号が消えるスケルチ制御方式の通信を受信するときに使用します。
JR FREQ (¹ Sp. 50)	JRの空線スケルチ機能をONにします(“JR”が表示)。 通話が行われていないときに聴こえる「ピー」という2280Hzの空線信号音を消すことができます。
PR FREQ (¹ Sp. 50)	JR以外の空線スケルチ機能をONにします(“PR”が表示)。 300Hz~3000Hzの空線信号音の周波数を100Hzステップで設定することができます。
PAGER (¹ Sp. 142)	新ページャ機能をONにします(“PAG”が表示)。 仲間同士で運用時、それぞれ個別コード(2つのトーンを使用したコード)を設定することにより、特定の局を呼び出すことができます。
MESSAGE (¹ Sp. 124)	メッセージ機能をONにします(“MSG”が表示)。 仲間同士で運用時、あらかじめ登録してあるメッセージを仲間のVX-8シリーズのLCDに表示することができます。
D CD*	送信時のみDCSコードを送出します(“DC”が表示)。
TONE-DCS*	送信時にトーン信号を送出し、受信時にDCSコードで待ち受けをします(“T-D”が表示)。
D CD-TONE SQL*	送信時にDCSコードを送出し、受信時にトーン信号で待ち受けをします(“D-T”が表示)。

※:セットモードの『94 SQL SPLIT』により、ONに設定するとセットモードの『88 SQL TYPE』にD CD、TONE-DCS、D CD TONE SQLの設定項目が追加されます。送信と受信で別々のスケルチタイプを設定することができます。

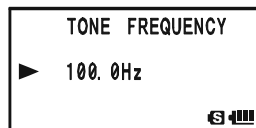
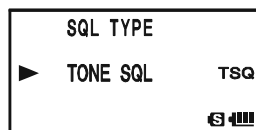
- トーンスケルチやDCSはスキャン時やスマートサーチにも有効です。トーンスケルチまたはDCSがオンの状態でスキャンすると、一致する周波数のトーンまたはDCSコードが含まれている信号を受信したときのみスキャンが停止します。
- モニタースイッチを押すと、トーンまたはDCSコードが含まれていない(または異なる)信号を聞くことができます。
- セットモードの『22 DCS INVERSION』により、位相を反転したDCSコードを受信することができます。
- セットモードの『87 SQL SPLIT』により、送受信で別々のスケルチタイプを設定することができます。
- セットモードの『88 SQL TYPE』からも、スケルチタイプを設定することができます。

トーンスケルチ機能/DCS機能 (つづき)

■トーンの周波数を設定する

トーンの周波数は、67.0Hz～254.1Hzの50種類から選択できます(トーン周波数表は181ページ参照)。

1. 運用する周波数を設定します。
2. **[W]**を押した後に^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を押します。
セットモードの『88 SQL TYPE』のショートカットキーです。
3. DIALツマミをまわして「TONE SQL」を選択します。
4. ^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を短く押します。
5. **[W]**を押した後に^{CODE}**[2ABC]**を押します。
セットモードの『91 TONE FREQUENCY』のショートカットキーです。
6. DIALツマミをまわして希望のトーン周波数を選択します。
7. ^{CODE}**[2ABC]**を短く押します。
トーン周波数が設定され、もとの表示に戻ります。

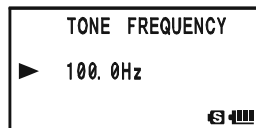
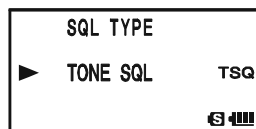


- 上記の操作で設定したトーンの周波数は、トーンの送出のみを行う場合にも有効です。
○ 工場出荷時の状態では88.5Hzに設定されています。

■相手局が使用しているトーンスケルチの周波数がわからないとき

下記の操作により、トーンスケルチの周波数を探して表示することができます。

1. **[W]**を押した後に^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を押します。
2. DIALツマミをまわしてトーンスケルチ『TONE SQL』を選択します。
3. **[W]**を押した後に^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を押すとトーンスケルチが設定されます。
4. **[W]**を押した後に^{CODE}**[2ABC]**を押します。
5. 相手局の信号を受信し、^{SC-M BND DN}**[BAND]**を約1秒以上押すと“TONE SEARCH”と表示され、離すとトーン周波数をサーチします。
一致したトーン周波数を探し出すと「ピポッ」とビーブ音が鳴りサーチを一時停止し、そのトーン周波数が点滅します。
6. サーチしたトーン周波数を設定したい場合は、^{SC-M BND DN}**[BAND]**を押し(「ピポッ」とビーブ音が鳴る)、^{CODE}**[2ABC]**を押すともとの表示に戻ります。



特定の相手局との交信

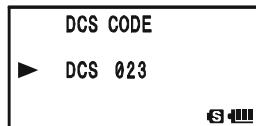
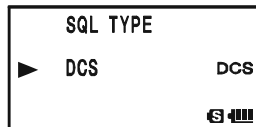
スキャンが停止したときの動作を設定することができます。57ページの“スキャンストップ時の受信方法を設定する”を参照してください。

トーンスケルチ機能/DCS機能（つづき）

■DCSコードを設定する

DCSコードは、023～754の104種類から選択できます（DCSコード表は170ページ参照）。

1. 運用する周波数を設定します。
2. **[W]**を押した後に **[MODE]**を押します。
セットモードの『88 SQL TYPE』のショートカットキーです。
3. DIALツマミをまわして「DCS」を選択します。
4. **[W]**を押した後に **[MODE]**を押します。
セットモードの『21 DCS CODE』のショートカットキーです。
5. **[W]**を押した後に **[CODE 2ABC]**を押します。
セットモードの『21 DCS CODE』のショートカットキーです。
6. DIALツマミをまわして希望のDCSコードを選択します。
7. **[CODE 2ABC]**を短く押します。
DCSコードが設定され、もとの表示に戻ります。

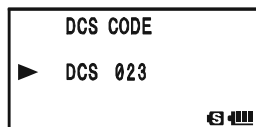
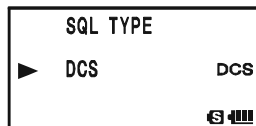


工場出荷時の状態では“023”に設定されています。

■相手局が使用しているDCSコードがわからないとき

下記の操作により、DCSコードを探して表示することができます。

1. **[W]**を押した後に **[MODE]**を押します。
2. DIALツマミをまわしてDCSコード「DCS」を選択します。
3. **[W]**を押した後に **[MODE]**を押すとDCSが設定されます。
4. **[W]**を押した後に **[CODE 2ABC]**を押します。
5. 相手局の信号を受信し、**[BAND]**を約1秒以上押すと“DCS SEARCH”と表示され、離すとDCSコードをサーチします。
一致したDCSコードを探し出すと「ピポッ」とビーブ音が鳴りサーチを一時停止し、そのDCSコードを点滅します。
6. サーチしたDCSコードを設定したい場合は、**[BAND]**を押し（「ピポッ」とビーブ音が鳴る）、**[CODE 2ABC]**を押すともとの表示に戻ります。



スキャンが停止したときの動作を設定することができます。57ページの“スキャンストップ時の受信方法を設定する”を参照してください。

相手からの呼び出しをバイブレーターで知らせる —バイブレーター機能—

相手局からの呼び出し(同じトーンまたはDCSを含む信号を受信したとき)をバイブレーターで知らせることができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL** ツマミをまわして『97 VIBRATOR』を選択します。

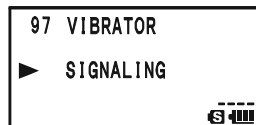
3. **[MENU]** を短く押します。

4. **DIAL** ツマミをまわして「**SIGNALING**」を選択します。

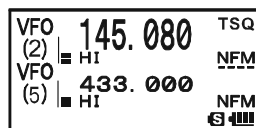
ディスプレイのモード表示の下部分に破線(---)が表示されます。

5. **[MENU]** を1秒以上押します。

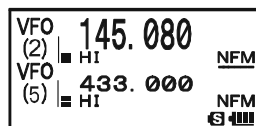
バイブレーター機能が設定され、もとの表示に戻ります。



バイブレーター機能を終了するには、手順4.の操作で「OFF」に選択します。



- バイブレーター機能はA(メインバンド)およびB(サブバンド)ともに、各周波数帯(BAND)において設定することができます。
- セットモード『97 VIBRATOR』を「BUSY」に設定すると、信号を受信しBUSY LEDが点灯するタイミングに合わせバイブレーター機能が動作します。モード表示の下部分に実線(—)が表示されます。
- バイブレーターを動作中(振動中)にキーやDIALツマミを操作すると、バイブレーターの動作が一時的に保留され破線(---)または実線(—)が点滅します。BUSYが連続で5秒以上無いとき、バイブレーターの保留状態が解除され、バイブレーターの動作が可能になります。
- バイブレーターの設定がONのとき、PTTスイッチの操作で送信から受信に移ると、5秒間バイブレーターの動作が保留され、破線(---)または実線(—)が点滅します。



■バイブレーターモードを設定する

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

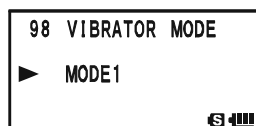
2. **DIAL** ツマミをまわして『98 VIBRATOR MODE』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

4. **DIAL** ツマミをまわしてベル音の鳴る回数を選択します。

MODE1, MODE2, MODE3を選択することができます。

工場出荷時:MODE1



MODE1	連続してバイブレーター機能が動作します。
MODE2	長い間隔でバイブレーター機能が動作します。
MODE3	短い間隔でバイブレーター機能が動作します。

5. **[MENU]** を1秒以上押します。

バイブレーター機能が設定され、もとの表示に戻ります。

相手からの呼び出しをベルで知らせる ―ベル機能―

相手局からの呼び出し(同じトーンまたはDCSを含む信号を受信したとき)を「ピポピポピポッ」と一回ベル音で知らせ、LCDに“✱”を点滅して知らせることができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『13 BELL SELECT』を選択します。

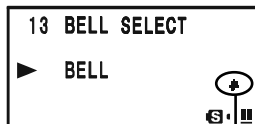
3. **[MENU]** を短く押します。

4. DIALツマミをまわして「BELL」を選択します。

BELL以外にUSER BP(ユーザー1～ユーザー3)を選択することができますが、セットモードの『12 BEEP MELODY』でビープ音の登録をしないと、選択表示することはできません。

5. **[MENU]** を1秒以上押します。

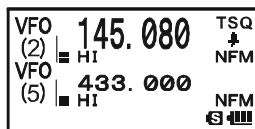
ベル機能が設定され、もとの表示に戻ります。



トーンスケルチまたはDCSが設定してであると“✱”が表示されます。

ベル機能を終了するには、手順4.の操作で「OFF」に選択します。

- ベル機能を使用するためには、トーンスケルチまたはDCSをオンにしてください。
- ベル機能はレピータでは使用できません。
- ベル機能がオンのときには“✱”が表示されます。また、相手局からの信号を受信したときには“✱”が点滅します。



■ベル音の回数を変更する

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『12 BELL RINGER』を選択します。

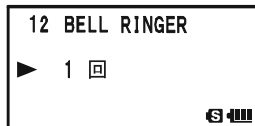
3. **[MENU]** を短く押します。

4. DIALツマミをまわしてベル音の鳴る回数を選択します。

1回～20回、連続 を選択することができます。
工場出荷時: 1回

5. **[MENU]** を1秒以上押します。

ベル音の鳴る回数が設定され、もとの表示に戻ります。



相手からの呼び出しをベルで知らせる ―ベル機能― (つづき)

■好みのベル音をつくる

自分で作曲したベル音を3曲登録することができます。1曲につき、64個の音階を入力することができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL** ツマミをまわして『10 BEEP MELODY』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

4. **DIAL** ツマミをまわして登録したいチャンネル「1～3」のいずれかを選択します。

5. **[MODE]** を短く押すとディスプレイに“▼”のカーソルが点灯します。

6. **DIAL** ツマミを1クリックまわします。

ディスプレイに“C2 500mS”と表示されます。

左側の“C2”は音階(下図参照)をあらわします。

また、右側の“500mS”は鳴動時間(音の長さ)をあらわします。

鳴動時間は10mS～2500mSまで設定できます。

[DW MT V/M] を短く押すごとに

“DELETE” (消去) → “INSERT” (追加) → “SELECT” (設定)

に切り替わり音階編集(桁数)をすることができます。

○ “DELETE” (消去) を選択した場合は、**[DW MT V/M]** を1秒以上押すと選択した桁を消去します。

○ “INSERT” (追加) を選択した場合は、**[DW MT V/M]** を1秒以上押すと選択している桁に1桁追加されます。

○ “DELETE” (消去) や “INSERT” (追加) 以外に、**[EMG R/H CHM/RN]** を1秒以上押すとカーソル以降の音階を消すことができます。

7. **DIAL** ツマミをまわして音階を選択します。

“C1”～“B3”, “POS” (無音) まで音階を選択することができます。

8. **[MODE]** を短く押して鳴動時間の設定にします。

[SC-M BMD DN BAND] を短く押すと前の音階設定に戻ります。

9. **DIAL** ツマミをまわして鳴動時間を選択します。

10. **[MODE]** を短く押して次の音階設定画面になります。

11. 上記の手順7～手順10. を繰り返し、64個まで音階を入力することができます。

12. **[MENU]** を1秒以上押すとセットモードを終了します。

10	BEEP	MELODY
11	BEEP	SELECT
12	BELL	RINGER
13	BELL	SELECT

10	BEEP	MELODY
▼		
1		---

10	BEEP	MELODY
		SELECT
1	1	---

[DW MT V/M] を短く押すごとに切り替わる
“DELETE” (消去) → “INSERT” (追加) → “SELECT” (設定)

10	BEEP	MELODY
		SELECT
1	1	C2 500mS

音階
音階の桁数
鳴動時間

特定の相手局との交信

○ 手順1. ～4. を行った後に **[DW]** を押すと、選択したベル音をモニターすることができます。

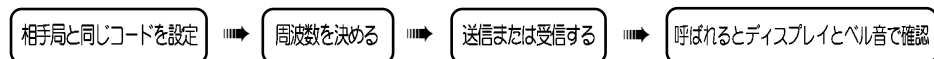
C1#	D1#		F1#	G1#	A1#		C2#	D2#		F2#	G2#	A2#		C3#	D3#		F3#	G3#	A3#	
C1	D1	E1	F1	G1	A1	B1	C2	D2	E2	F2	G2	A2	B2	C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3

特定の局だけを呼び出しすることができる —新ページャー機能—

仲間同士で運用時、それぞれ個別コード（2つのCTCSSトーンを使用したコード）を設定することにより、特定の局だけを呼び出しすることができます。なお、呼び出された局は、呼び出しがあったときに無線機から離れていたとしても、ディスプレイの表示などで、呼び出しがあったことを知ることができます。



■ ページャー機能の操作の流れ



■ 自局のコードを設定する

自分が呼び出されるときの「個別コード(自分のコード)」を設定します。

- 1. [MENU] を1秒以上押します。**
各種の設定を行なえるセットモードになります。
- 2. DIALツマミをまわして『62 PAGER CODE-RX』を選択します。**
- 3. [MENU] を短く押します。**
- 4. DIALツマミをまわして1つ目のコード(01～50から選択)をあわせます。**
- 5. SPS SQ TYP [MODE] を短く押した後(*が移動します), DIALツマミで2つ目のコード(01～50から選択)をあわせます。**
1つ目と同じコードに設定することはできません。
- 6. [MENU] を1秒以上押して設定します。**

62 PAGER CODE-RX
63 PAGER CODE-TX
64 PASSWORD
65 PR FREQUENCY

62 PAGER CODE-RX
▶ *05 47

62 PAGER CODE-RX
▶ *01 47

62 PAGER CODE-RX
▶ 01*47

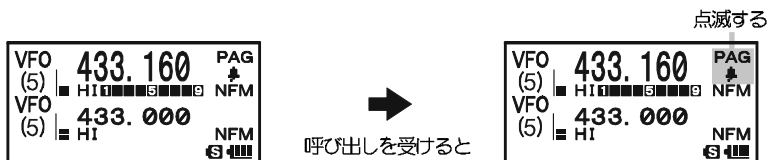
62 PAGER CODE-RX
▶ 01*02

- 工場出荷時は、“05 47”が設定されています。
- 2つのコードは、“05 47”と“47 05”のように、順番が違っていても同じコードとみなします。
- 仲間同士が全員同じコードを設定すると“グループコード”として、グループ全員を一斉に呼び出すことができます。

特定の局だけを呼び出しすることができる —新ページャー機能— (つづき)

■相手局から呼ばれる (待ち受け時の動作)

相手局と同じ周波数で、新ページャー機能を動作させると、呼ばれたときにディスプレイの“PAG”表示が“PIN”表示に変わり、呼び出されたことを確認することができます。また、140ページの「ベル機能」を設定すると、呼ばれたときに“PAG”と“♬”の点滅及びベル音で、呼び出されたことを確認することができ、更に、139ページの「バイブレーター機能」を設定すると、呼ばれたときにバイブレーターで知ることができます。



セットモード[61 PAGER ANS-BACK]の設定を“ON”にすると、呼び出しを受けた際、自動的に送信(約2.5秒間)状態になりますので、交信可能な状態かどうかを、相手に知らせることができます。

パスワード機能

4桁のパスワードを設定することにより、正しいパスワードを入力しないと、電源をオンにすることができませんので、第三者の無断使用などを防ぐことができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『64 PASSWORD』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

4. SPS SQ TYP **[MODE]** を押した後、DIALツマミでパスワードの1桁目を選びます (0~9, A~D, *, #から選択できます)。

5. SPS SQ TYP **[MODE]** を押して次の桁に移動します。

6. 手順4.~5.を繰り返しパスワードを4桁まで入力します。

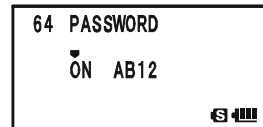
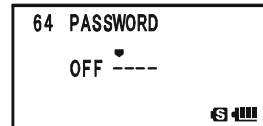
7. SPS SQ TYP **[MODE]** を押します。

8. DIALツマミをまわして「ON」を選択します。

パスワード機能が「ON」になります。

「OFF」の設定ではパスワードのみ入力することができます。パスワード機能を使用する場合は、必ず「ON」にしてください。

9. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。



- パスワード機能を解除するには、上記の操作を行い、手順1~3を行い、次にDIALツマミで“OFF”にあわせて、**[MENU]**を1秒以上押してください。
- パスワード機能は、誤入力防止のためテンキー入力はできません。
- オンタイマー機能が動作して電源がオンになるときは、パスワード機能は無効になります。

■パスワード機能動作時の電源の入れかた

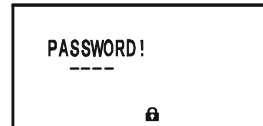
1. **[ON]** を1秒以上押して電源を入れます。

パスワード入力画面が表示されます。

2. キーでパスワードを4桁目まで入力します。

3. 正しい4桁のパスワードが入力されると、電源が“オン”になります。

間違ったパスワードを入力した場合は、自動的に電源が“オフ”になります。



注 意

パスワードを忘れた場合は、オールリセットを行うことにより、電源を入れることができます。ただし、オールリセットを行うと、メモリーされた内容や、各種の設定値など、全ての情報がリセット (初期化) されてしまいます。

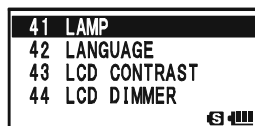
パスワードは忘れないように、紙などに控えておくようにしてください。

照明の点灯条件を変更する

ディスプレイとキーの照明が点灯する条件を、変更することができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIAL ツマミをまわして『41 LAMP』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. DIAL ツマミで、希望の点灯条件にあわせます(下表参照)。
5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。

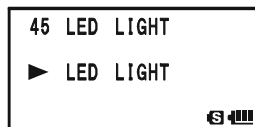
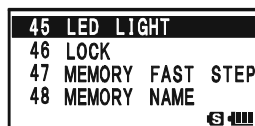
表示	点灯条件
キー2秒 ~ キー10秒	DIAL ツマミをまわすか、またはキーを押すと、設定した時間点灯します。
連続	点灯し続けます。
OFF	照明は点灯しなくなります。



ストロボをライトとして使用する

ストロボを白色に発光させ、簡易的なライトとして使用することができます。

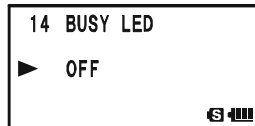
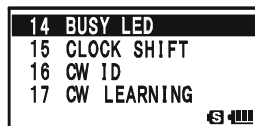
1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIAL ツマミをまわして『45 LED LIGHT』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押すと、ストロボが白色に点灯します。
4. **[MENU]** を短く押すと、ライトが消えます。
5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。



BUSYインジケータをOFFにする

ラジオを常時受信する場合や電池の残量が残り少なくなったときなどに、BUSYインジケータをOFFにして電池の消耗を減らすことができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIAL ツマミをまわして『14 BUSY LED』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. DIAL ツマミをまわして「OFF」を選択します。
BUSYインジケータの点灯がOFFになります。
5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。



操作音の音量を設定する

キーを押したときや、信号を受信してスキャンが停止したときなどに出るビーブ音の音量を設定することができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL** ツマミをまわして『9 BEEP LEVEL』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. **DIAL** ツマミをまわして、希望の音量を選びます。
レベル1～レベル9の音量を選択可能(工場出荷時:レベル5)
5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。

9 BEEP LEVEL
10 BEEP MELODY
11 BEEP SELECT
12 BELL RINGER

9 BEEP LEVEL
▶ レベル 5

操作音がならないようにする

キー操作等に発する、操作確認音(ビーブ音)をオフにすることができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL** ツマミをまわして『11 BEEP SELECT』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. **DIAL** ツマミをまわして「OFF」を選択します。

表 示	動作状態
OFF	ビーブ音をOFFにすることができます。
キー&スキャン	キー操作時やスキャン停止時にビーブ音を鳴らします。
キー	キー操作時にビーブ音を鳴らします。

11 BEEP SELECT
12 BELL RINGER
13 BELL SELECT
14 BUSY LED

11 BEEP SELECT
▶ OFF

工場出荷時:キー&スキャン

5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。

音量の設定方法を変更する

[VOL] を押した後**DIAL** ツマミをまわし、音量を調節後、約3秒間で自動的に調節する前の状態に戻るよう設定を変更することができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL** ツマミをまわして『99 VOLUME MODE』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. **DIAL** ツマミをまわして「AUTO BACK」を選択します。
工場出荷時: NORMAL
5. **[MENU]** を1秒以上押すと、セットモードを終了します。

99 VOLUME MODE
1 ANTENNA ATT
2 APO
3 ARTS BEEP

99 VOLUME MODE
▶ AUTO BACK

電池の電圧を測定する 一電源電圧測定機能一

電池の電圧を測定します。オプションのシガープラグ付き外部電源アダプター(E-DC-5B)を接続しているときは、アダプターの電源電圧を測定します。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『20 DC VOLTAGE』を選択します。

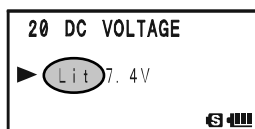
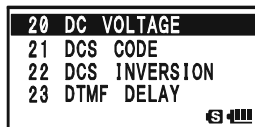
3. **[MENU]** を短く押します。

ディスプレイに電圧が表示されます。

電圧の表示を消したいときは、**[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。

- 電池パックを使用しているときは“Lit”，乾電池ケースを使用しているときは“Dry”，外部電源アダプターを使用しているときは“Ext”が表示されます。

- モノバンド受信時に常時電圧をディスプレイに表示することができます(※p. 153)。



温度を測定する 一温度測定機能一

VX-8G 内部の温度を測定することができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

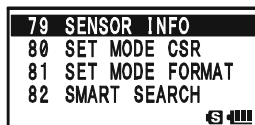
各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『79 SENSOR INFO』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押すと温度を表示します。

DW MT
[V/M] を押すごとに温度の表示単位(°C⇄°F)を変更することができます。

4. **[MENU]** を1秒以上押すとセットモードを終了し、表示させる前の状態に戻ります。



- 温度はVX-8G内部の温度を把握する機能です。
○ 温度表示は温度上昇のない状況(待ち受け受信時など)で、外気温の目安とすることができます。
○ モノバンド受信時に常時内部温度をディスプレイに表示することができます(※p. 153)。

指定した時間に電源をオンにする —オンタイマー機能—

指定した時間に電源をオンにすることができます。

17 ページの「時計をセットしよう」を参照に時計を設定してから使用してください。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『59 ON TIMER』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

4. DIALツマミをまわして、電源をONにしたい「時」を入力します。

1時間単位で入力が可能です。

5. SPS SQ TYP
[MODE] を押します。

6. DIALツマミをまわして、「分」を入力します。

1分単位で入力が可能です。

7. SPS SQ TYP
[MODE] を押します。

8. DIALツマミをまわして「ON」を選択します。

工場出荷時 OFF

9. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。

59	ON TIMER
60	OPENING MESSAGE
61	PAGER ANS-BACK
62	PAGER CODE-RX

59	ON TIMER
00:00	OFF

59	ON TIMER
08:30	ON

指定した時間に電源をオフにする —オフタイマー機能—

指定した時間に電源をオフにすることができます。

17 ページの「時計をセットしよう」を参照に時計を設定してから使用してください。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『58 OFF TIMER』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

4. DIALツマミをまわして、電源をOFFにしたい「時」を入力します。

1時間単位で入力が可能です。

5. SPS SQ TYP
[MODE] を押します。

6. DIALツマミをまわして、「分」を入力します。

1分単位で入力が可能です。

7. SPS SQ TYP
[MODE] を押します。

8. DIALツマミをまわして「ON」を選択します。

工場出荷時 OFF

9. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。

58	OFF TIMER
59	ON TIMER
60	OPENING MESSAGE
61	PAGER ANS-BACK

58	OFF TIMER
00:00	OFF

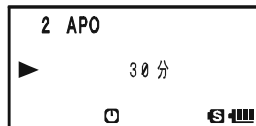
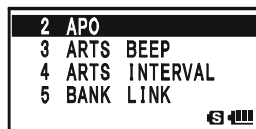
58	OFF TIMER
22:45	ON

必要に応じて使う機能

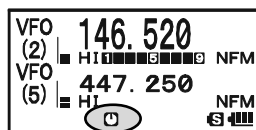
自動的に電源をオフする -APO機能-

指定した時間何の操作も行わずにいと、電源スイッチの切り忘れと判断して自動的に電源をオフにします(オートパワーオフ機能)。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL** ツマミをまわして『2 APO』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. **DIAL** ツマミをまわして時間を選択します。
OFF/30分～12時間 30分単位で選択することができます。
工場出荷時: OFF
5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。
オートパワーオフ機能が設定され、もとの表示に戻ります。
設定した時間何の操作もしないと、自動的に電源がオフになります。



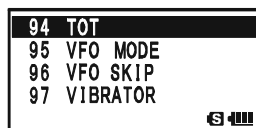
- オートパワーオフ機能がオンのときには“**O**”が表示されます。
- 工場出荷時は“OFF”に設定されています。
- 設定した時間は、手順4の操作で“OFF”を選択するまで、そのまま保持されます(次に電源をオンにしたときも、設定した時間何の操作もしないと、自動的に電源がオフになります)。



連続送信時間を制限する -TOT機能-

指定した時間連続送信を行なうと、自動的に受信状態に戻るようにすることができます。誤動作による不要電波の送出やバッテリーの消耗を防ぐことができます(タイムアウトタイマー機能)。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL** ツマミをまわして『94 TOT』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. **DIAL** ツマミをまわして時間を選択します。
OFF/30秒～10分 30秒単位で選択することができます。
工場出荷時: OFF
5. **[MENU]** を1秒以上押します。
タイムアウトタイマー機能が設定され、もとの表示に戻ります。

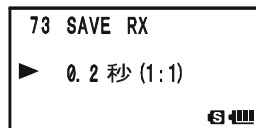
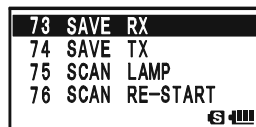


- タイムアウトタイマー機能がオンのときには、設定した時間に近づくと「ピポ ピポ、ピポ」とピープ音が鳴り、約10秒後に受信状態に戻ります。
- 工場出荷時は“OFF”に設定されています。
- 設定した時間は、手順4の操作で“OFF”を選択するまで、そのまま保持されます。

何も受信していないときに受信セーブをする -受信セーブ機能-

何も受信していないときに設定した時間の間、受信機をオフにして受信セーブ機能が動作します。受信セーブ機能がオンのときは、“S”が点滅します（信号受信中は点灯）。

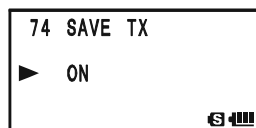
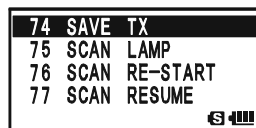
1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL**ツマミをまわして『73 SAVE RX』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. **DIAL**ツマミをまわして時間を選択します。
 0.2秒(1:1)～1.0秒(1:5) 0.1秒単位
 ～1.0秒(1:5)～10秒(1:50) 0.5秒単位
 ～10秒(1:50)～60秒(1:300) 5秒単位
 /OFF
 工場出荷時:0.2秒(1:1)
5. **[MENU]** を1秒以上押します。
受信セーブ機能が設定され、もとの表示に戻ります。



相手局の信号強度がフルスケールの場合は送信出力を下げる -送信セーブ機能-

送信セーブ機能をONにすると、相手局の信号強度がフルスケールの場合、送信出力がハイパワーのときにはLOWに下がります。

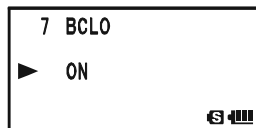
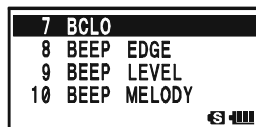
1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL**ツマミをまわして『74 SAVE TX』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. **DIAL**ツマミをまわして「ON」を選択します。
工場出荷時: OFF
5. **[MENU]** を1秒以上押します。
送信セーブ機能が設定され、もとの表示に戻ります。



受信中に誤って送信しないようにする —BCLO機能—

信号を受信中に誤って送信しないようにすることができます（ビジーチャンネルロックアウト機能）。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL** ツマミをまわして『7 BCLO』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. **DIAL** ツマミをまわして「ON」を選択します。
工場出荷時: OFF
5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。
ビジーチャンネルロックアウト機能が設定され、もとの表示に戻ります。

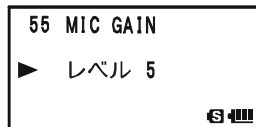


- 工場出荷時は“OFF”に設定されています。
- 設定した機能は、手順4.の操作で“OFF”を選択するまで、そのまま保持されます。

マイク感度を調節する —マイクゲイン—

内蔵マイクやオプションの外部マイクMH74A7Aのマイク入力レベルを調節することができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL** ツマミをまわして『55 MIC GAIN』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. **DIAL** ツマミで、希望のマイクゲインを選びます。
レベル 1(感度が下がる)～レベル 9(感度が上がる)から選択できます。
工場出荷時: レベル 5
5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。
マイクゲインが設定され、もとの表示に戻ります。



- マイクゲインを上げすぎると、音声が歪んだり周囲の音を拾い解度が悪くなることがあります。
- マイクを変えたときは、必ずマイクゲインの調節をしてください。

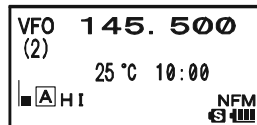
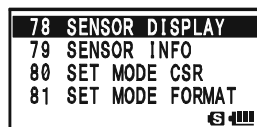
VX-8G内部の温度を表示する ー温度表示機能ー

モノバンド受信時に、VX-8G 内部の温度を表示させることができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL**ツマミをまわして『78 SENSOR DISPLAY』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. **DIAL**ツマミをまわして「温度」を選択します。
5. **[MENU]** を1秒以上押すと温度が設定され、セットモードを終了します。

ディスプレイに温度が表示されます。

温度表示を消したいときは、上記の操作を繰り返し、手順4.の項目で「OFF」を選択します。



- VX-8G内部の温度を把握する機能ですので、外気温より高く表示します。
- 温度上昇のない状況(待ち受け受信時など)では、外気温の目安とすることができます。
- セットモードの『79 SENSOR INFO』により、**[DW/MT/V/M]**を押すと温度表示の単位(C: 摂氏, F: 華氏)を変更することができます。

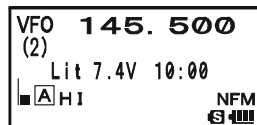
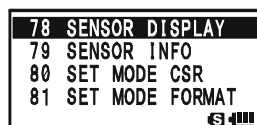
VX-8Gの電源電圧を表示する ー電源電圧表示機能ー

モノバンド受信時に、VX-8G の電源電圧を表示させることができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL**ツマミをまわして『78 SENSOR DISPLAY』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. **DIAL**ツマミをまわして「電圧」を選択します。
5. **[MENU]** を1秒以上押すと電圧表示が設定され、セットモードを終了します。

ディスプレイに電源電圧が表示されます。

電源電圧表示を消したいときは、上記の操作を繰り返し、手順4.の項目で「OFF」を選択します。



必要に応じて使う機能

電池パックを使用しているときは“Lit”，乾電池ケースを使用しているときは“Dry”，外部電源アダプターを使用しているときは“Ext”が表示されます。

受信感度を下げる —アッテネーター(ATT)機能—

信号が強すぎるときや、近くに強力な信号があり、目的の信号が聞きにくい場合、アッテネーター(ATT)を動作させると聞きやすくなる場合があります。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『1 ANTENNA ATT』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

4. DIALツマミをまわして「ON」を選択します。

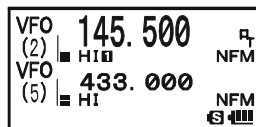
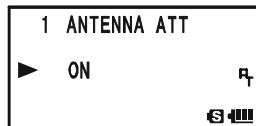
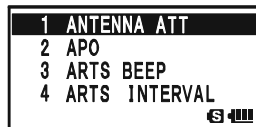
ONまたはOFFを選択できます。

工場出荷時: OFF

5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。

ディスプレイのモード表示が点滅します。

アッテネーターをオフにしたいときは、上記の操作を繰り返し、手順4.の項目で「OFF」を選択します。



○ アッテネーター(ATT)の減衰量は約10dBです。

電源を入れたときの表示を変える —オープニングメッセージ—

電源を“オン”にしたときに表示される“STANDARD”ロゴの下に、電源電圧表示/最大16桁のメッセージ表示/表示“オフ”のいずれかに変更することができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『60 OPENING MESSAGE』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

4. DIALツマミをまわして希望する表示を選択します。

NORMAL: 電源オン時、STANDARDロゴを表示します。

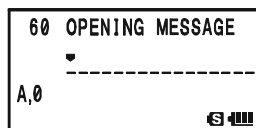
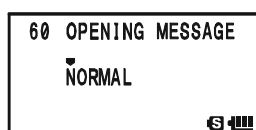
OFF: 電源オン時、オープニングメッセージは表示せず、すぐに受信周波数等を表示します。

DC: 電源オン時、電源電圧と時刻を表示します。

MESSAGE: 電源オン時、半角の場合最大16文字のメッセージを表示します。
SC-M END ON (BAND) を押すとメッセージの登録画面に切り替わりますので、42ページの「メモリーに名前をつける」と同じ要領で希望するメッセージを入力します。

工場出荷時: NORMAL

5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。



メッセージを入力中に (EMG R/H) (M/RV) を1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。

S/POメーターの表示を変更する

VX-8Gには4種類のS/POメーターがありますので、好みのメーターを選択することができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『83 S-METER SYMBOL』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

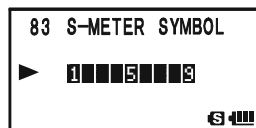
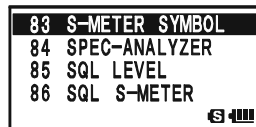
4. DIALツマミをまわして希望の表示パターンを選択します。



工場出荷時: 1■■■■5■■■■

5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。

S/POメーターが設定され、もとの表示に戻ります。



メモリーした周波数だけで運用する —メモリーオンリーモード機能—

メモリーチャンネルにメモリーした周波数だけで運用することができます。

[DW MT V/M] を押しながら **[ON]** を押して電源を“オン”にします。

「ピポパッ」とピープ音になりメモリーオンリーモードになります。

同じ操作を繰り返すと、メモリーオンリーモードを解除できます。

- **[BAND]** を0.5秒以上押すとメモリースキャンが動作します (p.58)。
- メモリーオンリーモードにすると、下記以外の機能は動作しなくなります。
 - ・メモリースキャン
 - ・インターネットキー
 - ・受信モードの切り替え
 - ・スケルチレベルの設定
 - ・一時/ハイパワー機能

自分がよく使用するバンドだけを表示する —マイバンド機能—

SC-M BND DN
[BAND] を押したときに、自分がよく使用するバンドだけを表示する“マイバンド機能”を使用することができます。例えば、SC-M BND DN
[BAND] を押すごとにアマチュアバンドだけを表示することができます。

■ 登録

1. VX-8GをVFOモードにします(メモリーモードのときは

DW MT
V/M
SC-M BND DN
[BAND]

を押して、よく使用するバンドに設定しておきます。

2. [MENU] を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして『96 VFO SKIP』を選択します。

4. [MENU] を短く押します。

5. DIALツマミをまわして、スキップさせる(必要としない)バンド番号を選択します(バンド番号は下表参照)。

6. SPS SQ TYP
[MODE] を押してからDIALツマミをまわして、「ON」を選択します。

“▼”のカーソルが移動し、OFFまたはONを選択することができます(工場出荷時:OFF)。

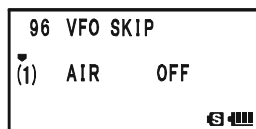
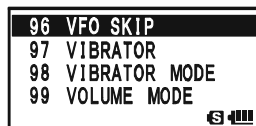
マイバンドを登録中に受信しているバンドは「ON」にすることはできません。

7. もう一度 SPS SQ TYP
[MODE] を押します。

“▼”のカーソルがバンド番号へ移動します。

8. 続いてバンドを登録する場合は、手順5.～手順7.の操作を繰り返し設定します。

9. [MENU] を1秒以上押すと、マイバンドが登録されセットモードを終了します。



バンド番号
バンド名

バンド番号	バンド名	周波数
1	AIR (航空無線帯)	108 ~ 137MHz
2	VHF HAM (144MHz帯)	137 ~ 174MHz
3	VHF BAND	174 ~ 222MHz
4	INFO 1 (情報無線 (1))	222 ~ 420MHz
5	UHF HAM (430MHz帯)	420 ~ 470MHz
6	UHF BAND	470 ~ 770MHz※1
7	INFO 2 (情報無線 (2))	770 ~ 999MHz※2

※1: Bバンドでは周波数範囲が470 ~ 580MHzになります。

※2: INFO 2の周波数帯をマイバンドに設定してあっても、Bバンド(サブバンド)では呼び出すことができません。

非表示しているバンドを表示するには、上記の手順6.の操作で「ON」にしたバンドを「OFF」にしてください。

■ 操作

SC-M BND DN
[BAND] を押たびに、自分がよく使用するバンドだけを表示します。



(インターネットキー)の動作をマイキーに変更する



を押したときに、よく使うセットモードをショートカットキーとして割り付けることができます。

マイキーに変更すると、セットモードの『20 DC VOLTAGE』がショートカットキーとして設定されています。

1. **MENU** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『38 INTERNET KEY』を選択します。

3. **MENU** を短く押します。

4. DIALツマミをまわして「セットモード」を選択します。

工場出荷時: インターネット

5. **MENU** を1秒以上押してセットモードを終了します。

38	INTERNET KEY
39	INTERNET MODE
30	INTERNET SELECT
31	LAMP



38	INTERNET KEY
▶	セットモード



マイキーの登録を変更する

マイキーで呼び出せるセットモードを変更することができます。

1. **MENU** を1秒以上押します。

2. DIALツマミをまわして『38 INTERNET KEY』を選択します。

3. **MENU** を短く押します。

4. DIALツマミをまわして「セットモード」を選択します。

5. **MENU** を短く押します。

6. DIALツマミをまわしてマイキーで呼び出したいセットモードを選択します。

7. **MENU** を1秒以上押すと、希望のセットモードが登録されます。

「ピーッ」とピーブ音がなります。

8. **MENU** を1秒以上押してセットモードを終了します。

38	INTERNET KEY
39	INTERNET MODE
30	INTERNET SELECT
31	LAMP



38	INTERNET KEY
▶	セットモード



45	LED LIGHT
46	LOCK
47	MEMORY FAST STEP
48	MEMORY NAME



CW学習機能

英文、数字、記号、和文のモールス符号を学習することができます。モールス符号をスピーカーで鳴らし、その音に合わせてストロボが点滅します。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『17 CW LEARNING』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. DIALツマミでモールス符号の送出条件(動作)を選択します(下表参照)。

・工場出荷時: 欧文

17 CW LEARNING
18 CW PITCH
19 CW TRAINING
20 DC VOLTAGE

17 CW LEARNING
▶ 動作 : 欧文
文字 : A
速度 : 60 字/分

表示	動作
欧文	アルファベットを数回(手順参照)文字を送出して、再び [Bw] が押されるまで一時停止します。
欧文連続	「文字数設定したアルファベットを送出」を繰り返します。
数字	文字数設定した数字を5文字送出处、再び [Bw] が押されるまで一時停止します。
数字連続	「文字数設定した数字を送出」を繰り返します。
記号	記号を5文字送出处、再び [Bw] が押されるまで一時停止します。
記号連続	「文字数設定した記号を送出」を繰り返します。
和文	カナ(和文)を5文字送出处、再び [Bw] が押されるまで一時停止します。
和文連続	「文字数設定したカナ(和文)を送出」を繰り返します。

5. **[Bv]** を押します。
“▶” のカーソルが「文字」に移動します。
6. DIALツマミで練習したい文字を選びます。
工場出荷時: A
7. **[Bv]** を押します。
“▶” のカーソルが「速度」に移動します。
8. DIALツマミで希望の送出スピード(モールス符号の速さ)を選びます。

17 CW LEARNING
▶ 動作 : 欧文
文字 : A
速度 : 60 字/分

17 CW LEARNING
動作 : 欧文
文字 : A
▶ 速度 : 60 字/分

工場出荷時: CPMの場合は60字/分

WPMの場合は12語/分

送出スピードは“20字/分(20CPM)~200字/分(200CPM)”まで変えることができます。また“CPM”から“WPM”に切り替えることができます。“WPM”に切り替えたときの速度は4語/分(4WPM)~40語/分(40WPM)”まで変えることができます。詳細は、手順15.、16.をご覧ください。

9. **[Bv]** を押します。
“▶” のカーソルが「回数」に移動します。
10. DIALツマミで練習したい文字の送出回数を選びます。
工場出荷時: 5回

17 CW LEARNING
文字 : A
速度 : 60 字/分
▶ 回数 : 1回

CW学習機能(つづき)

11. **[B▼]**を押します。

“▶”のカーソルが「PTCH」に移動します。

12. DIALツマミでPTCH(ピッチ周波数)を選びます。

工場出荷時：700Hz

13. **[B▼]**を押します。

“▶”のカーソルが「LED」に移動します。

14. DIALツマミでLED(ストロボ)の点滅方法を選びます。

CWに合わせて点滅または消灯を選択することができます。

工場出荷時：白色点滅

15. **[B▼]**を押します。

“▶”のカーソルが「形式」に移動します。

16. DIALツマミでCPM形式またはWPM形式を選びます。

工場出荷時：CPM

17 CW LEARNING

速度：60 字/分

回数：1回

▶ PTCH：700Hz



17 CW LEARNING

回数：1回

PTCH：700Hz

▶ LED：白色点滅



17 CW LEARNING

PTCH：700Hz

LED：白色点滅

▶ 形式：CPM



送出スピードは“20字/分(20CPM)～200字/分(200CPM)”または“4語/分(4WPM)～40語/分(40WPM)”から選択することができます。“CPM※1”“WPM※2”の説明は下記ようになります。

※1：CPM(Character Per Minutes)

1分間に送出できる文字数の目安で、例えば“60CPM”なら、1分間に約60字の文字を送るスピードになります。

17 CW LEARNING

動作：欧文

▶ 文字：A

速度：60 字/分



※2：WPM(Word Per Minutes)

1分間に送出する単語数の目安(ARRLで定めた“PARIS”式「1単語＝5文字」より算出)で、例えば“20WPM”なら、平均して1分間に20単語の文字を送るスピードになります。

17 CW LEARNING

動作：欧文

▶ 文字：A

速度：20 語/分

17. **[B▼]**を短く押すと、設定した条件でモールス符号が送出されます。

モールス符号が送出されている途中で**[B▼]**を短く押すと、モールス符号の送出を中止します。

CW学習機能を終了するには、**[MENU]**を1秒以上押します。

PIT スイッチを押してもCW学習機能を終了することができます。この場合は、CW学習機能を動作させる前の状態(VOモードやメモリーモードなど)に戻すことができます。

- 受信音に対し、モールス符号の音量が大きい(小さい)場合は、セットモード『9 BEEP LEVEL』で、モールス符号の音量を調節してください。
- 手順12と同様、セットモードの『18 CW PITCH』でCW学習機能やCWトレーニング機能で聴こえるモールス符号の音を好みの音(サイドトーン)に変えることができます。
- 待ち受け時にCWを学習できるよう、練習中でも本機は受信動作をおこなっています。

CWトレーニング機能

ランダムなモールス符号をスピーカーで鳴らし、その音に合わせてストロボが点滅します。さらに、そのモールス符号をディスプレイに表示します。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『19 CW TRAINING』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

4. モールス符号の送出条件(動作)を選択します(下表参照)。

・工場出荷時: 欧文

```

19 CW TRAINING
20 DC VOLTAGE
21 DCS CODE
22 DCS INVERSION
    
```

```

19 CW TRAINING
▶ 動作: 欧文
  文字:
  速度: 60 字/分
    
```

表示	動作
欧文	アルファベットを5文字送出して、再び [QW] が押されるまで一時停止します。
欧文連続	「アルファベットを5文字送出」を繰り返します。
数字	数字を5文字送出して、再び [QW] が押されるまで一時停止します。
数字連続	「数字を5文字送出」を繰り返します。
混合	アルファベットと数字を5文字送出して、再び [QW] が押されるまで一時停止します。
混合連続	「アルファベットと数字を5文字送出」を繰り返します。
和文	カナ(和文)を5文字送出して、再び [QW] が押されるまで一時停止します*。
和文連続	「カナ(和文)を5文字送出」を繰り返します*。

※: カナ(和文)は、ディスプレイにローマ字で表示されます(例: “ヤ” の場合は “YA” と表示されます)。

5. **[B▼]** を押します。

“▶” のカーソルが「速度」に移動します。

6. **[MENU]** を短く押してから、DIALツマミで希望の送出スピード(モールス符号の速さ)を選びます。

工場出荷時: CPMの場合は60字/分

WPMの場合は12語/分

送出スピードは“20字/分 (20CPM) ~200字/分 (200CPM)”まで変えることができます。また“CPM”から“WPM”に切り替えることができます。“WPM”に切り替えたときの速度は4語/分 (4WPM) ~40語/分 (40WPM)”まで変えることができます。詳細は、手順11.、12.をご覧ください。

7. **[B▼]** を押します。

“▶” のカーソルが「PTCH」に移動します。

8. DIALツマミでPTCH(ピッチ周波数)を選びます。

工場出荷時: 700Hz

9. **[B▼]** を押します。

“▶” のカーソルが「LED」に移動します。

10. DIALツマミでLED(ストロボ)の点滅方法を選びます。

CWに合わせて点滅または消灯を選択することができます。

工場出荷時: 白色点滅

```

19 CW TRAINING
  動作: 欧文
  文字:
  速度: 60 字/分
    
```

```

19 CW TRAINING
  文字:
  速度: 60 字/分
  ▶ PTCH: 700Hz
    
```

```

19 CW TRAINING
  速度: 60 字/分
  PTCH: 700Hz
  ▶ LED: 白色点滅
    
```

CWトレーニング機能(つづき)

11. **[B▼]**を押します。

“▶”のカーソルが「形式」に移動します。

12. DIALツマミでCPM形式またはWPM形式を選びます。

工場出荷時：CPM

19 CW TRAINING
PTCH: 700Hz
LED: 白色点滅
▶ 形式: CPM

送出スピードは“20字/分 (20CPM) ~ 200字/分 (200CPM)”または“4語/分 (4WPM) ~ 40語/分 (40WPM)”から選択することができます。“CPM※1”“WPM※2”の説明は下記ようになります。

※1：CPM(Character Per Minutes)

1分間に送出できる文字数の目安で、例えば“60CPM”なら、1分間に約60字の文字を送るスピードになります。

19 CW TRAINING
動作: 欧文
文字:
▶ 速度: 60 字/分

※2：WPM(Word Per Minutes)

1分間に送出する単語数の目安(ARRLで定めた“PARIS”式「1単語=5文字」より算出)で、例えば“20WPM”なら、平均して1分間に20単語の文字を送るスピードになります。

19 CW TRAINING
動作: 欧文
文字:
▶ 速度: 20 語/分

13. **[QW]**を短く押すと、設定した条件でモールス符号が送出されます。

モールス符号が送出されている途中で**[QW]**を短く押すと、モールス符号の送出を中止します。

19 CW TRAINING
動作: 欧文
文字: J I E D T
▶ 速度: 60 字/分

CWトレーニング機能を終了するには、**[MENU]**を1秒以上押します。

PTTスイッチを押してもCWトレーニング機能を終了することができます。この場合は、CWトレーニング機能を動作させる前の状態（VFOモードやメモリーモードなど）に戻すことができます。

- 受信音に対し、モールス符号の音量が大きい(小さい)場合は、セットモード『9 BEEP LEVEL』で、モールス符号の音量を調節してください。
- 待ち受け時にCWをトレーニングできるよう、練習中でも本機は受信動作をおこなっています。

セットモード番号順一覧表

セットモード (SET) とは、一度設定してしまえばその後変更する機会の少ない機能や動作などの設定を行なう状態をいい、99種類の設定を行なうことができます。

セットモード番号/項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
1 ANTENNA ATT	アンテナターンのON/OFF	OFF / ON
2 APO	APC動作時間の設定	OFF / 30分～12時間
3 ARTS BEEP	ARTS着信時のビープ音設定	インレンジ / 毎回 / OFF
4 ARTS INTERVAL	ARTS動作時のチェック間隔の設定	25秒 / 15秒
5 BANK LINK	メモリーバンクリンクの設定	BANK1 : OFF ~ BANK24 : OFF
6 BANK NAME	メモリーバンク名前を付ける	BANK1 ~ BANK24
7 BCLD	ビジーチャネルロックアウトの選択	OFF / ON
8 BEEP EDGE	バードエッジまたはCH1通過時の確認音	OFF / ON
9 BEEP LEVEL	ビープ音の音量設定	レベル1～レベル9
10 BEEP MELODY	ベル音の作成と登録	ユーザー1～ユーザー3
11 BEEP SELECT	ビープ音の出力設定	キー&スキャン / キー / OFF
12 BELL RINGER	ベル呼び出し音回数の設定	1回～20回 / 連続
13 BELL SELECT	ベル機能の出力設定	OFF / BELL / (ユーザー1～ユーザー3)
14 BUSY LED	BUSY LEDのON/OFF	ON / OFF
15 CLOCK SHIFT	クロックシフトの設定	OFF / ON
16 CW ID	CW ID送出的ON/OFFおよびID書き込みの設定	OFF / ON 16文字
17 CW LEARNING	CW学習機能	動作: 欧文 / 欧文連続 / 数字 / 数字連続 / 記号 / 記号連続 / 和文 / 和文連続 速度: 20～60～200字/分 回数: 1～5～9回 PTCH: 400～700～1000Hz LED: 白色点滅 / 白色消灯 形式: CPM / WPM
18 CW PITCH	CWピッチ周波数の設定	400Hz～700Hz～1000Hz
19 CW TRAINING	CWトレーニング機能	動作: 欧文 / 欧文連続 / 数字 / 数字連続 / 混合 / 混合連続 / 和文 / 和文連続 速度: 20～60～200字/分 PTCH: 400～700～1000Hz LED: 白色点滅 / 白色消灯 形式: CPM / WPM
20 DC VOLTAGE	電源電圧表示	—
21 DCS CODE	DCSコードの設定	DCS 023～DCS 754
22 DCS INVERSION	DCS反転コードの送受信組み合わせ設定	受信: 同相 / 反転位相 / 両相 送信: 同相 / 反転位相
23 DTMF DELAY	DTMF送出デレイ時間の設定	50ms / 250ms / 450ms / 750ms / 1000ms
24 DTMF MANUAL/AUTO	DTMFメモリーの送出設定	手動 / オートダイヤラ
25 DTMF SELECT	DTMFオートダイヤラのチャンネル、コード(16桁)の設定	1ch～10ch
26 DTMF SPEED	DTMF送出時間の設定	50ms / 100ms
27 EAI	EAI機能の“ON/OFF”	OFF / ON
28 EAI TIME	EAI機能の閑欠時間設定	1分間隔～5分間隔～50分間隔
29 EMERGENCY SELECT	エマージェンシーモードの設定	BEEP&STROBE / BEAM / BEEP&BEAM / CW / BEEP&CW / CWID TX / BEEP / STROBE
30 EXTENDED MENU	セットモードの非表示/表示	OFF / ON
31 FW KEY HOLD TIME	FWの長押し時間の設定	FW Q3秒 / 0.5秒 / 0.7秒 / 1.0秒 / 15秒
32 HALF DEVIATION	送信変調レベルの設定	OFF / ON
33 HOME VFO	ホームチャンネルでのVFO転送の許可 / 禁止	許可 / 禁止
34 HOME/REVERSE	ホームチャンネル(HM)キー/リバーズ(RV)キーの変更設定	HOME / REV
35 INT MANUAL/AUTO	WIFESのFRG方式によるDTMFメモリーの送出設定	手動 / 自動
36 INTERNET	WIFESのON/OFF	OFF / ON
37 INTERNET CODE	WIFESのSRG方式で使用するDTMFコードの設定	DTMF 0～DTMF 1～DTMF D/DTMF R/DTMF #
38 INTERNET KEY	(Ⓢ)の機能割り当て設定	インターネット / インターネットCH / セットモード
39 INTERNET MODE	WIFES方式の設定	FRG / SRG
40 INTERNET SELECT	WIFESのFRG方式で使用するコード設定	1ch～64ch
41 LAMP	バックライト、キーの照明制御設定	OFF / キー2秒～5秒～10秒 / 連続
42 LANGUAGE	セットモード、メニュー等の日本語 / 英語切り替え	JAPANESE : 日本語 / ENGLISH : 英語

セットモード番号順一覧表(つづき)

セットモード番号/項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
43 LCD CONTRAST	LCDコントラストの設定	レベル1～レベル7～レベル15
44 LCD DIMMER	LCDバックライト、デューキー照明の輝度設定	レベル1～レベル4
45 LED LIGHT	白色LEDによる簡易ライトのON/OFF	—
46 LOCK	ロックモードの設定	KEY&DIAL / PTT / KEY&PTT / DIAL&PTT / ALL / KEY / DIAL
47 MEMORY FAST STEP	メモリー呼び出し時のメモリーチャンネルステップ設定	10CH / 20CH / 50CH / 100CH
48 MEMORY NAME	メモリータグの書き込み	—
49 MEMORY PROTECT	メモリー書き込み許可/禁止	OFF / ON
50 MEMORY SKIP	スキップメモリー/特定メモリーの設定	OFF / SKIP / ONLY
51 MEMORY WRITE	メモリー書き込み時のオートインクリメント設定	NEXT / LOWER
52 MESSAGE LIST	メッセージ機能で使用するIDリストの設定	1～20
53 MESSAGE REGISTER	自局IDの選択	1～20
54 MESSAGE SELECT	メッセージの登録と選択	1 (EMERGENCY) ～ 20
55 MIC GAIN	マイク入力レベルを調整	レベル1～レベル5～レベル9
56 MONI/T-CALL	モニタースイッチ/T-CALL スイッチ変更設定	MONI / T-CALL
57 MUTE	操作パッド側に信号入力感時、非操作側の音声をMUTEするかの設定	OFF / MUTE 30% / MUTE 50% / MUTE 100%
58 OFF TIMER	電源オフタイマー機能の設定	00:00 ～ 23:59 ON / OFF
59 ON TIMER	電源オンタイマー機能の設定	00:00 ～ 23:59 ON / OFF
60 OPENING MESSAGE	オープニングメッセージの設定	NORMAL / OFF / DC / MESSAGE
61 PAGER ANS-BACK	ページャーアンサー/バック機能の“ON/OFF”	OFF / ON
62 PAGER CODE-RX	個別コード(受信用)の設定	01～05～50*01～47～50
63 PAGER CODE-TX	個別コード(送信用)の設定	01～05～50*01～47～50
64 PASSWORD	パスワード機能の“ON/OFF”	OFF / []
65 PR FREQUENCY	空線スケルチの設定	300Hz～1600Hz～3000Hz
66 PRI REVERT	プライオリティ・リバートの設定	OFF / ON
67 PRI TIME	プライオリティチャンネル監視間隔時間の設定	0.1秒～5.0秒～10.0秒
68 PTT DELAY	PTT デレイタイムの設定	OFF / 20ms / 50ms / 100ms / 200ms
69 RPT ARS	ARS機能のON/OFF	ON / OFF
70 RPT SHIFT	レピータント 方向の設定	SIMPLEX / RPT / +RPT(430MHz帯ARSがON時)
71 RPT SHIFT FREQ	レピータント 幅の設定	0.000MHz～150.000MHz(430MHz帯:5.000MHz)
72 RX MODE	受信モードの切り替え	AUTO / NFM / AM
73 SAVE RX	受信セーブ時間の設定	OFF / 0.2秒(1:1)～60.0秒(1300)
74 SAVE TX	送信セーブ設定	OFF / ON
75 SCAN LAMP	スキャンストップ時のランプ点灯	ON / OFF
76 SCAN RE-START	スキャン再開開始時間の設定	0.1秒～2.0秒～10.0秒
77 SCAN RESUME	スキャンストップモードの設定	2.0秒～5.0秒～10.0秒 / BUSY / HOLD
78 SENSOR DISPLAY	モノパッド運用時の表示機能選択	電圧 / 温度 / OFF
79 SENSOR INFO	温度表示機能	温度の表示
80 SET MODE CSR	セットモードカーソルのロゴ設定	9種類のカーソルロゴから選択可能
81 SET MODE FORMAT	セットモードの表示切り替え	リスト表示 / 項目表示
82 SMART SEARCH	スマートサーチの動作切り替え	1回 / 連続
83 S-METER SYMBOL	S/P.O.メーターのシンボル表示の選択	4種類
84 SPEC-ANALYZER	スペクトラムアナライザーの動作切り替え	1回 / 連続 / フルタイム
85 SQL LEVEL	スケルチの調整	レベル0～レベル1～レベル15
86 SQL S-METER	Sメータースケルチのレベル設定	OFF / レベル1～レベル9
87 SQL SPLIT	送受信で別々のスケルチタイプの設定	OFF / ON
88 SQL TYPE	スケルチタイプの設定	OFF / TONE / TONE SQL / DCS / REV TONE / JR FREQ / PR FREQ / PAGER / MESSAGE
89 STEP FREQUENCY	チャンネルステップの設定	AUTO / 5 kHz～100.0 kHz
90 TIME SET	VX-8Gに内蔵されている時計機能の設定	—
91 TONE FREQUENCY	トーン周波数の設定	67Hz～88.5Hz～254.1Hz
92 TONE-SRCH MUTE	トーンサーチ動作中の音声出力ミュートの設定	ON / OFF
93 TONE-SRCH SPEED	トーンサーチ動作スピードの設定	高速 / 低速
94 TOT	タイムアウトタイマーの設定	OFF / 30秒～10分00秒
95 VFO MODE	VFOモード時の周波数選択範囲の設定	ALL / BAND

必要に応じて使う機能

セットモード番号順一覧表(つづき)

セットモード番号/項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
96 VFO SKIP	必要としないVFOの非表示設定	(1) AIR ON / OFF ~ (7) INFO 2 ON / OFF
97 VIBRATOR	VIBRATOR機能の設定	OFF / BUSY / SIGNALING
98 VIBRATOR MODE	VIBRATOR MODEの設定	MODE1 / MODE2 / MODE3
99 VOLUME MODE	VOLキーの設定	NORMAL / AUTO BACK

必要に応じて使う機能

セットモード項目別一覧表

レピーターに関する設定項目

AFS機能のON/OFF
レピータント方向の設定
レピータント極の設定

スケルチ/トーンスケルチ/DCS/ページャーに関する設定項目

ベル音の作成と登録
ベル音の出し音回数の設定
ベル機能の出力設定

DCSコードの設定
DCS反転コードの送受信組み合わせ設定

ページャーアンサー/バック機能の“ON/OFF”
個別リポート(受信用)の設定
個別リポート(送信用)の設定
空線スケルチの設定
スケルチレベルの設定
送受信で別々のスケルチタイプの設定
スケルチタイプの設定

トーン/周波数の設定

ARTSに関する設定項目

ARTS着信時のビープ音設定
ARTS動作時のチャック間隔の設定
CWD送受のON/OFFおよびID書き込みの設定

メモリーに関する設定項目

メモリーバンクリンクの設定
メモリーバンクに名前を付ける
メモリー呼び出し時のメモリーチャンネルステップ設定
メモリーバンクの書き込み
メモリー書き込み許可/禁止
メモリー書き込み時のオートインクルメント設定

スキャンに関する設定項目

スキャンメモリー/特定メモリーの設定
プライオリティ・リバートの設定
プライオリティチャンネル監視間隔時間の設定
スキャンストップ時のランプ点灯
スキャンストップモードの設定
スキャン再開動作時間の設定
トーンサーチ動作中の音声出力ミュートの設定
トーンサーチ動作モードの設定

SAVEに関する設定項目

APO動作時間の設定
BUSY LEDのON/OFF
受信セーブ時間の設定

送信セーブ設定

メッセージに関する設定項目

メッセージ機能で使用するIDリストの設定
自局IDの選択
メッセージの登録と選択

VIBRATORに関する設定項目

VIBRATOR機能の設定
VIBRATORモードの設定

WIRESに関する設定項目

WIRESのFRG方式によるDTMFメモリーの送受設定
WIRESのON/OFF
WIRESのSRG方式で使用するDTMFコードの設定

(※)の機能割付設定

WIRES方式の設定
WIRESのFRG方式で使用するコード設定

EAIに関する設定項目

EAI機能のON/OFF
EAI機能の間欠送信時間設定
エマージェンシーモードの設定

セトモード

69[RPT_APS]
70[RPT_SHIFT]
71[RPT_SHIFT_FREQ]

セトモード

10[BEEP_MEL_ODY]
12[BELL_RINGER]
13[BELL_SELECT]

21[DCS_CODE]
22[DCS_INVERSION]

61[PAGER_ANSBACK]
62[PAGER_CODE_RX]
63[PAGER_CODE_TX]
65[PR_FREQUENCY]
85[SQL_LEVEL]
87[SQL_SPLIT]
88[SQL_TYPE]

91[TFREQUENCY]

セトモード

3[ARTS_BEEP]
4[ARTS_INTERVAL]
16[CWID]

セトモード

5[BANK_LINK]
6[BANK_NAME]
47[MEMORY_FAST_STEP]
48[MEMORY_NAME]
49[MEMORY_PROTECT]
51[MEMORY_WRITE]

セトモード

50[MEMORY_SKIP]
66[PR_REVERT]
67[PR_TIME]
75[SCAN_LAMP]
76[SCAN_RE-START]
77[SCAN_RESUME]
92[TFREQUENCY]
93[TFREQUENCY]

セトモード

2[APO]
14[BUSY_LED]
73[SAVE_RX]

74[SAVE_TX]

セトモード

52[MESSAGE_LIST]
53[MESSAGE_REGISTER]
54[MESSAGE_SELECT]

セトモード

97[VIBRATOR]
98[VIBRATOR_MODE]

セトモード

35[INT_MANUAL/AUTO]
36[INTERNET]
37[INTERNET_CODE]

38[INTERNET_KEY]
39[INTERNET_MODE]
40[INTERNET_SELECT]

セトモード

27[EAI]
28[EAI_TIME]
29[EMERGENCY_SELECT]

選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)

ON / OFF
SIMPLEX / RPT / +RPT
0.000 ~ **5.00 MHz** (430MHz帯) ~ 150.000 MHz

選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)

ユーザー 1 / ユーザー 2 / ユーザー 3
1回 - 20回 / 連続
OFF / BELL /
ユーザー 1 / ユーザー 2 / ユーザー 3
T04 種類 (023)
受信 - 同相 / 反転位相 / 両相
送信 - 同相 / 反転位相

ON / OFF
05 47
05 47
300Hz ~ **1600Hz** ~ 3000Hz
レベル0 ~ レベル1 ~ レベル15
ON / OFF
OFF / TONE / TONE SQL / DCS / REV TONE /
JRFREQ / PR FREQ / PAGER / MESSAGE
50 種類 (**88.5Hz**)

選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)

インジ / 毎回 / OFF
15秒 / 25秒
ON / OFF (16文字)

選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)

—
—
10CH / 20CH / 50CH / 100CH
ON / OFF
NEXT / LOWER

選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)

OFF / SKIP / ONLY
ON / OFF
0.1秒 ~ **5.0秒** ~ 10秒
ON / OFF
0.1秒 ~ **2.0秒** ~ 10秒
2秒 ~ **5秒** ~ 10秒 / BUSY / HOLD
ON / OFF
高速 / 低速

選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)

OFF / 30分 ~ 12時間
ON / OFF
OFF / **0.2秒** ~ 0.9S (0.1秒ステップ)
1.0秒 ~ 10.0秒 (0.5秒ステップ)
15.0秒 ~ 60.0秒 (5秒ステップ)
ON / OFF

選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)

—
—
EMERGENCY

選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)

OFF / BUSY / SIGNALING
MODE1 / MODE2 / MODE3

選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)

手動 / 自動
ON / OFF
DTMF 0 ~ **DTMF 1** ~ DTMF D /
DTMF * / DTMF #
インターネット / インターネット CH / セトモード
SRG / FRG
1ch ~ 64ch

選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)

ON / OFF
1分間隔 ~ **5分間隔** ~ 50分間隔
BEEP&STROBE / BEAM / BEEP&BEAM /
CW / BEEP&CW / CWD TX / BEEP /
STROBE

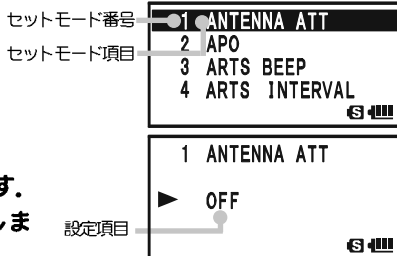
セットモード項目別一覧表 (つづき)

DTMFに関する設定項目		セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
DTMF 送出デレイ時間の設定	23 [DTMF DELAY]	23 [DTMF DELAY]	50ms / 250ms / 450ms / 750ms / 1000ms
DTMF メモリの送出設定	24 [DTMF MANUAL/AUTO]	24 [DTMF MANUAL/AUTO]	手動 / オートダイヤル
DTMF オートダイヤラのチャンネル、コード(16桁)の設定	25 [DTMF SELECT]	25 [DTMF SELECT]	
DTMF 送出時間の設定	26 [DTMF SPEED]	26 [DTMF SPEED]	50ms / 100ms
キー/スイッチに関する設定項目		セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
□□の長押し時間の設定	31 [FW KEY HOLD TIME]	31 [FW KEY HOLD TIME]	FW 0.3秒 / 0.5秒 / 0.7秒 / 1.0秒 / 1.5秒
ホームチャンネルでのVFO転送の許可/禁止	33 [HOME VFO]	33 [HOME VFO]	禁止 / 許可
ホームチャンネル(HV)のキー/リバーズ(RV)キーの変更設定	34 [HOME/REVERSE]	34 [HOME/REVERSE]	HOME / REV
バックライト、キーの照明時間設定	41 [LAMP]	41 [LAMP]	OFF / キー2秒 ~ キー5秒 ~ キー10秒 / 連続
ロックモードの設定	46 [LOCK]	46 [LOCK]	KEY&DIAL / PTT / KEY&PTT
モニタースイッチ/T-CALL スイッチ変更設定	56 [MON/T-CALL]	56 [MON/T-CALL]	DIAL&PTT / ALL / KEY / DIAL
PTT デレイタイムの設定	68 [PTT DELAY]	68 [PTT DELAY]	MONI / T-CALL
VOL キーの設定	99 [VOLUME MODE]	99 [VOLUME MODE]	OFF / 20ms / 50ms / 100ms / 200ms
ビープ音に関する設定項目		セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
バンドスイッチまたはCH1通過時の確認音	8 [BEEP EDGE]	8 [BEEP EDGE]	ON / OFF
ビープ音の音量設定	9 [BEEP LEVEL]	9 [BEEP LEVEL]	レベル1 ~ レベル5 ~ レベル9
ビープ音の出力設定	11 [BEEP SELECT]	11 [BEEP SELECT]	キー&スキャン / キー / OFF
LED/ライトに関する設定項目		セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
LED コントラストの設定	43 [LED CONTRAST]	43 [LED CONTRAST]	レベル1 ~ レベル7 ~ レベル15
LED バックライト、デキキー照明の輝度設定	44 [LED DIMMER]	44 [LED DIMMER]	レベル1 ~ レベル4
白色LEDによる簡易ライトのON/OFF	45 [LED LIGHT]	45 [LED LIGHT]	—
表示に関する設定項目		セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
電源電圧表示	20 [DC VOLTAGE]	20 [DC VOLTAGE]	NORMAL / OFF / DC / MESSAGE
オープニングメッセージの設定	60 [OPENING MESSAGE]	60 [OPENING MESSAGE]	電圧 / 温度 / OFF
モバイル運用時の表示機能の選択	78 [SENSOR DISPLAY]	78 [SENSOR DISPLAY]	
温度表示機能	79 [SENSOR INFO]	79 [SENSOR INFO]	4種類
S/P-O メーターのシンボル表示の選択	83 [SMETER SYMBOL]	83 [SMETER SYMBOL]	1回 / 連続 / フルタイム
スペクトラムアナライザーの動作切り替え	84 [SPEC ANALYZER]	84 [SPEC ANALYZER]	—
VX-8Gに内蔵されている時間機能の設定	90 [TIME SET]	90 [TIME SET]	
CW練習機能の設定項目		セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
CW学習機能	17 [CW LEARNING]	17 [CW LEARNING]	—
CWピッチ周波数の設定	18 [CW PITCH]	18 [CW PITCH]	400 Hz ~ 700 Hz ~ 1000 Hz
CWトレーニング機能	19 [CW TRAINING]	19 [CW TRAINING]	—
セットモードに関する設定項目		セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
セットモードの非表示/表示	30 [EXTENDED MENU]	30 [EXTENDED MENU]	ON / OFF
セットメニュー、メニュー等の日本語/英語切り替え	42 [LANGUAGE]	42 [LANGUAGE]	JAPANESE:日本語 / ENGLISH:英語
セットモード・チャンネルの口設定	80 [SET MODE CSR]	80 [SET MODE CSR]	9種類のカーソルから選択可能
セットモードの表示切り替え	81 [SET MODE FORMAT]	81 [SET MODE FORMAT]	リスト表示 / 項目表示
その他の設定項目		セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
アンテナターンのON/OFF	1 [ANTENNA ATT]	1 [ANTENNA ATT]	ON / OFF
ピーチチャンネルロックアウトの選択	7 [BOL]	7 [BOL]	ON / OFF
クロックシフトの設定	15 [CLOCK SHIFT]	15 [CLOCK SHIFT]	ON / OFF
送信変調レベルの設定	32 [HALF DEVIATION]	32 [HALF DEVIATION]	ON / OFF
マイク入力レベルを調整	55 [MCGAIN]	55 [MCGAIN]	レベル1 ~ レベル5 ~ レベル9
操作/ビト側に信号入時、非操作側の音声をMUTEするかの設定	57 [MUTE]	57 [MUTE]	OFF / MUTE 30% / MUTE 50% / MUTE 100%
電源オフタイマー機能の設定	58 [OFF TIMER]	58 [OFF TIMER]	OFF / 00:00 ~ 23:59 (1分ステップ)
電源オンタイマー機能の設定	59 [ON TIMER]	59 [ON TIMER]	OFF / 00:00 ~ 23:59 (1分ステップ)
ハスフット機能のON/OFF	64 [PASSWORD]	64 [PASSWORD]	ON / OFF
受信モードの切り替え	72 [RX MODE]	72 [RX MODE]	AUTO / FM / AM
スマートサーチの動作切り替え	82 [SMART SEARCH]	82 [SMART SEARCH]	1回 / 連続
スマートサーチ (H-スキャン) のレベル設定	86 [SQL S-METER]	86 [SQL S-METER]	OFF / レベル1 ~ レベル9
チャンネルステップの設定	89 [STEP FREQUENCY]	89 [STEP FREQUENCY]	AUTO / 5 / 8.33 / 9 / 10 / 12.5 / 15 / 20 / 25 / 50 / 100 kHz
タイムアウトタイマーの設定	94 [TOT]	94 [TOT]	OFF / 30秒 ~ 10分00秒 (30秒ステップ)
VFOモード時の周波数選択範囲の設定	95 [VFO MODE]	95 [VFO MODE]	ALL / BAND
必要としないVFOの非表示設定	96 [VFO SKIP]	96 [VFO SKIP]	(1) AIR ON / OFF ~ (7) INFO 2 ON / OFF

必要に応じて使う機能

セットモードの動作一覧表

- [MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
- DIAL** ツマミをまわして設定したいセットモードを選択します。
- [MENU]** を短く押します。
- DIAL** ツマミをまわして設定項目を選択します。
- [MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。



セットモードリセット

セットモード (APRS®/GPSセットモードを含む) の設定だけを、工場出荷時の状態に戻すことができます。ただし、次項目はオールリセット (p. 15) をしない限り、リセットされません。

セットモード	6 BANK NAME	15 CLOCK SHIFT	16 CQID	21 DCS CODE	22 DCS INVERSION
	25 DTMF SELECT	29 EMERGENCY SELECT	32 HALF DEVIATION	37 INTERNET CODE	
	45 INTERNET SELECT	52 MEMORY FAST STEP	53 MEMORY NAME	55 MEMORY SKIP	
	54 MESSAGE SELECT	62 PAGER CODE RX	63 PAGER CODE TX	70 RPT SHIFT	71 RPT SHIFT FREQ
	88 SQL TYPE	91 TONE FREQUENCY			
APRS®/GPSセットモード	5 APRS MSG TXT	13 BEACON STATUS TXT	16 DIGI PATH	21 MSG GROUP	22 MY CALLSIGN
	23 MY POSITION	24 MY SYMBOL			

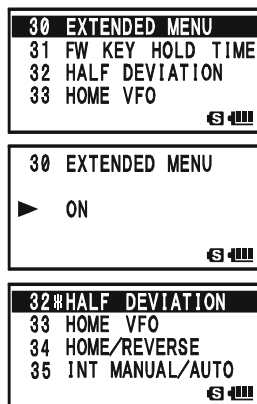
- [BAND]** **[V/M]** の2つのキーを押しながら **[ON]** を押して電源をオンにします。
「ピッポッパッ」とピープ音が鳴ると同時に、キーから指を放してください。
- “SET MODE RESET PUSH F KEY”が表示されたら、**[Gw]** を押します。
「ピッポッパッ」とピープ音が鳴ります。

[Gw] と数字キー以外のキーを押せば、リセットを中止することができます。

■セットモードの非表示設定

使用しないセットモードを非表示にすることができます。

- [MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
- DIAL** ツマミをまわして『35 EXTENDED MENU』を選択します。
- [MENU]** を短く押します。
- DIAL** ツマミをまわして「ON」に設定します。
- [MENU]** を短く押します。
- DIAL** ツマミをまわして非表示にしたいセットモードを選択します。
- [Gw]** を短く押して罫マークを付けます。
もう一度 **[Gw]** を押すと非表示の設定を解除されます。
例として『32 HALF DEVIATION』を非表示にした場合 (右図参照)。
- 複数セットモードを非表示にしたい場合は手順 6., 7. を繰り返します。
- [MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。



○ 非表示にしたセットモードを一時的に表示する場合は、上記を参考に、手順 4. を「OFF」にします、非表示に戻したい場合は、「ON」にします。

○ 非表示に設定後、完全表示に戻したい場合は、上記を参考に、手順 4. を「OFF」にして、手順 7. で非表示にしたセットモードを選択してから **DIAL** ツマミをまわして、「OFF」に設定すると非表示は解除されます。

セットモードの動作一覧表(つづき)

1 ANTENNA ATT

アッテネーターのON/OFF

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説:

アッテネーター(減衰量: 10dB)をON/OFFします。メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

2 APO

APO動作時間の設定

設定項目: OFF/30分～12時間(30分ステップ)

工場出荷時: OFF

解説: APO(一定時間操作しないと自動的に電源をOFFにする)時間を設定します。APO時間が設定されているときには「**Q**」が表示されます。

3 ARTS BEEP

ARTS着信時のビープ音設定

設定項目: インレンジ/毎回/OFF

工場出荷時: インレンジ

解説:

インレンジ: はじめて交信可能範囲内にいることが確認されたときおよび、はじめて交信可能範囲外になったときだけ、ビープ音を鳴らします。

毎回: はじめて交信可能範囲内にいることが確認されたときおよび、はじめて交信可能範囲外になったときに、ビープ音を鳴らします。さらに、ARTS信号を受信したときにも、ビープ音が鳴ります。

OFF: ARTSのビープ音をOFFにします。

4 ARTS INTERVAL

ARTS動作時のチェック間隔の設定

設定項目: 25秒/15秒

工場出荷時: 25秒

解説: ARTS動作時のチェック間隔を設定します。

5 BANK LINK

各メモリーバンクを接続

解説: 24種類のバンクからスキャンしたい複数のメモリーバンクを指定して、指定したバンクを一斉にスキャンすることができます。バンクリンクの設定方法は61ページを参照してください。

6 BANK NAME

メモリーバンクに名前を付ける

解説: メモリーバンクに半角の場合最大16桁の名前を付けることができます。名前の付けかたは、46ページを参照してください。

7 BCLO

ビジーチャンネルロックアウトの選択

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説: ビジーチャンネルロックアウト(BCLO: すでに使われている周波数での送信禁止)をON/OFFすることができます。

8 BEEP EDGE

バンドエッジまたはCH1通過時の確認音

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説: DIALツマミでの周波数選択時およびメモリースキャン時に、バンドエッジやメモリーチャンネル1を通過したときのピープ音をON/OFFすることができます。

9 BEEP LEVEL

ビープ音の音量設定

設定項目: レベル1～レベル9

工場出荷時: レベル5

解説: キー操作時などに鳴るピープ音の音量を設定します。

10 BEEP MELODY

ベル音の作成と登録

設定項目: ユーザー1～ユーザー3

工場出荷時: ユーザー1

解説: トーンスケルチ、DCS、新ページャ機能、APRSメッセージを使用して待ち受け時に好みのベル音で呼び出されたことを確認することができます。好みのベル音を作成して3種類登録することができます。作成したビープ音をセットモードの「11 BELL SELECT」で「ユーザー1～3」を選択すると、好みのベル音で鳴らすことができます。ベル音の作成方法は、141ページを参照してください。

11 BEEP SELECT

ビープ音の出力設定

設定項目: OFF/キー & スキャン / キー

工場出荷時: キー & スキャン

解説:

OFF: ビープ音をOFFにすることができます。
キー & スキャン: キー操作時やスキャン停止時にビープ音を鳴らします。
キー: キー操作時にビープ音を鳴らします。

12 BELL RINGER

ベル呼び出し音回数の設定

設定項目: 1回～20回/連続

工場出荷時: 1回

解説: ベル機能の呼び出し音の回数を設定します。


セットモードの動作一覧表(つづき)

13 BELL SELECT

ベル機能の出力設定

設定項目: OFF/BELL/ユーザー1~3

工場出荷時: OFF

解説: ベル機能の呼び出し音の出力を設定します。ベル機能が設定されているときには“”が表示されます。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

OFF: ベル機能をOFFにすることができます。

BELL: ベル機能をONにすることができます。

ユーザー1~3: 『10 BEEP MELODY』で作成して登録した好みのベル音を選択することができます。

14 BUSY LED

BUSY LEDのON/OFF

設定項目: ON / OFF

工場出荷時: ON

解説: 受信時に点灯するBUSYインジケーター(BUSY LED)をOFFにすることができます。

15 CLOCK SHIFT

クロックシフトの設定

設定項目: ON / OFF

工場出荷時: OFF

解説: マイコンのクロックを高調波による内部スプリアスとして受信された時は“ON”にします。通常は“OFF”で使用してください。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

16 CW ID

CW ID送出のON/OFFおよびID書き込みの設定

設定項目: ON / OFF

工場出荷時: OFF

解説: ARTS機能、エマーゼンシー機能、EAI機能を使用しているときに動作する、CWによるID送出を設定します。CWDIは最大16文字まで送出することができます。

CW IDの設定方法は133ページを参照してください。

CWでIDを送出するためには、第三級アマチュア無線技士以上の資格とF2Aの電波型式の免許が必要です。

17 CW LEARNING

CW学習機能

解説: CW学習機能の設定を行います。

モールス符号を一文ずつ5回繰り返しスピーカーで鳴らし、その音に合わせてTX/BUSYインジケーターが点滅しさらに、そのモールス符号をディスプレイに表示させることができます。モールス符号は英文や数字だけでなく和文も対応しています。CW学習機能については158ページを参照してください。

18 CW PITCH

CWピッチ周波数の設定

設定項目: 400Hz~1000Hz

工場出荷時: 700Hz

解説: CW学習機能やCWトレーニング機能で聴こえるモールス符号の音を好みの音(サイドトーン)に変えることができます。

19 CW TRAINING

CWトレーニング機能

解説: CWトレーニング機能の設定を行います。

ランダムなモールス符号をスピーカーで鳴らし、その音に合わせてTX/BUSYインジケーターが点滅しさらに、そのモールス符号をディスプレイに表示させることができます。モールス符号は英文や数字だけでなく和文も対応しています。

CWトレーニング機能については160ページを参照してください。

20 DC VOLTAGE

電源電圧表示

解説: ディスプレイに電源電圧を表示します。

21 DCS CODE

DCSコードの設定

設定項目: DCS 023~DCS 754 (104種類)

工場出荷時: DCS 023

解説: 104種類のコードから選択することができます。メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

選択できるDCSコード

023	054	125	165	245	274	356	445	506	627	732
025	065	131	172	246	306	364	446	516	631	734
026	071	132	174	251	311	365	452	523	632	743
031	072	134	205	252	315	371	454	526	654	754
032	073	143	212	255	325	411	455	532	662	-
036	074	145	223	261	331	412	462	546	664	-
043	114	152	225	263	332	413	464	565	703	-
047	115	155	226	265	343	423	465	606	712	-
051	116	156	243	266	346	431	466	612	723	-
053	122	162	244	271	351	432	503	624	731	-

セットモードの動作一覧表(つづき)

22 DCS INVERSION

DCS反転コードの送受信組み合わせ設定

設定項目: 受信-同相, 送信-同相 /
 受信-反転位相, 送信-同相 /
 受信-両相, 送信-同相 /
 受信-同相, 送信-反転位相 /
 受信-反転位相, 送信-反転位相 /
 受信-両相, 送信-反転位相

工場出荷時: 受信-同相, 送信-同相

解説: 位相の反転したDCSコードを受信したり送信することができます。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

受信-同相, 送信-同相:

位相反転したDCSコードは受信しません。

位相反転したDCSコードは送信しません。

受信-反転位相, 送信-同相:

位相反転したDCSコードのみ受信します。

位相反転したDCSコードは送信しません。

受信-両相, 送信-同相:

位相反転したDCSコードと位相反転して

いないDCSコードを受信します。

位相反転したDCSコードは送信しません。

受信-同相, 送信-反転位相:

位相反転したDCSコードは受信しません。

位相反転したDCSコードを送信します。

受信-反転位相, 送信-反転位相:

位相反転したDCSコードを受信します。

位相反転したDCSコードを送信します。

受信-両相, 送信-反転位相:

位相反転したDCSコードと位相反転して

いないDCSコードを受信します。

位相反転したDCSコードを送信します。

23 DTMF DELAY

DTMF送出ディレイ時間の設定

設定項目: 50ms/250ms/450ms/750ms/1000ms

工場出荷時: 450ms

解説: キーを押してから実際にDTMFを送出する時間(ディレイタイム)を設定することができます。

24 DTMF MANUAL/AUTO

DTMFメモリーの送出設定

設定項目: 手動/オートダイヤラ

工場出荷時: 手動

解説:

手動: マニュアルでDTMFを送出します。送出方法は132ページを参照してください。

オートダイヤラ: ディスプレイに“**Ⓓ**”が表示されます。セットモードの『25 DTMF SELECT』により、DTMFメモリー(10チャンネル)に登録しておき、オートでDTMFを送出します。送出方法は132ページを参照してください。

25 DTMF SELECT

DTMFオートダイヤラのチャンネル、コード(16桁)の設定

設定項目: CH1~CH10

工場出荷時: CH1

解説: DTMFコード(16桁以内)をDTMFメモリーCH1~CH10に登録します。

登録方法は130ページを参照してください。

26 DTMF SPEED

DTMF送出時間の設定

設定項目: 50ms/100ms

工場出荷時: 50ms

解説: DTMF信号を送出する時間(速度)を設定することができます。

27 EAI

EAI機能の“ON/OFF”

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説: EAI 機能をON/OFFすることができます。

28 EAI TIME

EAI機能の間欠送信時間設定

設定項目: 1分間隔~5分間隔~50分間隔

工場出荷時: 5分間隔

解説: EAI 機能の間欠送信時間を設定します。

セットモードの動作一覧表(つづき)

29 EMERGENCY SELECT

エマージェンシーモードの設定

設定項目: BEEP&STROBE / BEAM / BEEP&BEAM /
CW / BEEP&CW / CW+D TX /
BEEP / STROBE

工場出荷時: BEEP&STROBE

解説: エマージェンシー機能動作時の、ピープ音とストロボ動作の設定を替えることができます。

“CW” または “BP+CW” を選択すると「SOS」を点滅しますが、このCWのメッセージ内容を変更することができます。メッセージ内容の変更方法は下記を参照してください。

BEEP&STROBE: ピープを鳴らしながら、BUSY/TXインジケータが白色でストロボ発光します。

BEAM: BUSY/TXインジケータが白色で点灯します。

BEEP&BEAM: ピープを鳴らしながら、BUSY/TXインジケータが白色で点灯します。

CW: BUSY/TXインジケータが白色で「SOS」と点滅します。

BEEP&CW: ピープ音が「SOS」と鳴り、さらに音に合わせてBUSY/TXインジケータが白色で点滅します。

CW+D TX: 1分毎にCWIDを送信し、同時にBUSY/TXインジケータが白色で点滅します。

CWIDの登録方法は133ページを参照してください。

BEEP: ピープ音のみ鳴らします。

STROBE: BUSY/TXインジケータが白色でストロボ発光します。

CWメッセージ内容の変更方法

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
2. セットモードの『29 EMERGENCY SELECT』を選択します。
3. **[MENU]** を押します。
4. DIALツマミをまわして「CW」または「BEEP&CW」を選択します。
SPS 50.11P
5. **[MODE]** を押します。
6. DIALツマミをまわしてメッセージの文字を選択します。
 - ・ あらかじめ“SOS”が入力されています。
 - ・ デンキーからも入力が可能です。
SPS 50.11P
7. **[MODE]** を押してカーソルを移動します。
8. 手順5, 6を繰り返しメッセージを入力します(最大16文字)。
9. **[MENU]** を1秒以上押します。
メッセージ内容がメモリーされ、もとの表示に戻ります。

文字一覧表は、133ページの「CW ID機能」を参照してください。

30 EXTENDED MENU

セットモードの非表示/表示

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説

OFF: 全てのセットモードを表示します。

ON: 非表示にしたいセットモードを非表示にします。

セットモードの非表示設定方法

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
 2. セットモードの『30 EXTENDED MENU』を選択します。
 3. **[MENU]** を押します。
 4. DIALツマミをまわして「ON」に設定します。
 5. **[MENU]** を押します。
 6. DIALツマミをまわして非表示にしたいセットモードを選択します。
 7. **[FW]** を押します。
ディスプレイの左上に*アイコンが点灯します。
もう一度**[FW]**を押すと解除されます。
 8. 複数セットモードを非表示にしたい場合は、手順6, 7を繰り返し非表示にしたいセットモードを選択します。
 9. **[FW]** を1秒以上押します。
非表示にしたいセットモードが設定され、もとの表示に戻ります。
- 非表示にしたセットモードを一時的に表示する場合は、手順4を「OFF」にします。非表示に戻りたい場合は、「ON」にします。
- 非表示に設定後、全て表示に戻したい場合は、手順4を「OFF」にして、手順7で非表示にしたセットモードを選択してから**[FW]**を押すと、ディスプレイの左上の*アイコンが消灯され、非表示は解除されます。

31 FW-KEY HOLD TIME

[FW] の長押し時間の設定

選択できる項目: FW0.3秒/FW0.5秒/FW0.7秒/
FW1.0秒/FW1.5秒

初期値: FW0.5秒

解説: **[FW]** を長押しするスイッチの時間(押し続ける時間)を変更することができます。

メモリーに書き込むときに**[FW]**を約0.5秒間長く押しますが、この時間を0.5秒以外に0.3秒、0.7秒、1.0秒、1.5秒の中から好みの時間に変えることができます。

セットモードの動作一覧表(つづき)

32 HALF DEVIATION

送信変調レベルの設定

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説: 送信変調度が通常の約半分になります。通常は“OFF”のままで使用してください。メモリーチャンネルへ個別に登録することができません。

33 HOME VFO

ホームチャンネルのVFO転送の許可/禁止

設定項目: 許可 / 禁止

工場出荷時: 許可

解説:

許可: ホームチャンネルからDIALツマミをまわすとVFOに転送されます。

禁止: ホームチャンネルからDIALツマミをまわしてもVFO転送はされません。

34 HOME/REVERSE

EMG R/H
(HM/RV) ホームチャンネル(HM)キー/リバース(RV)キーの変更設定

設定項目: HOME / REV

工場出荷時: HOME

解説:

HOME: ホームチャンネルの呼び出しとして動作します。

REV: リバース設定として動作します。

35 INT MANUAL/AUTO

WiRESのFRG方式によるDTMFメモリーの送出設定

設定項目: 手動 / 自動

工場出荷時: 手動

解説:

手動: マニュアルでDTMFコードを送出します。送出方法は32ページを参照してください。

自動: セットモード『40 INTERNET SELECT』にて、よく使用するアクセスコードを1~10チャンネルのWiRES IDメモリーに登録しておく、直接テンキーを押すとオートでアクセスコードを送出することができます。

例として1チャンネルは(1)のキー、10チャンネルは(0)のキーを押します。

送出方法は34、35、36ページを参照してください。

36 INTERNET

WiRESのON/OFF

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説: ONにするとWiRESアクセス機能として動作します。セットモード『38 INTERNET KEY』の「INTNET」と同じ動作をします。『38 INTERNET KEY』で「INTNET」以外の機能を(TXPO)へ割り付けしたときに、このセットモードでWiRESアクセス機能をON/OFFすることができます。ONにするとディスプレイ右上に(8)アイコンが点灯します。

なお、メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

37 INTERNET CODE

インターネットモードで使用するDTMFコードの設定

設定項目: DTMF 0~DTMF 9, DTMF A~DTMF D
DTMF *, DTMF #

工場出荷時: DTMF 1

解説:

WiRESのSRG方式で使用するDTMFコードを指定します。インターネットモードの時にPTTを押すと、ここで指定したDTMFコードが送出されます。

38 INTERNET KEY

(TXPO) の機能割付設定

設定項目: インターネット/インターネットCH/
セットモード

工場出荷時: インターネット

解説: (8)へWiRESインターネット機能以外の機能を割り付けることができます。

インターネット: WiRESインターネット機能として動作します。FRG方式やSRG方式のWiRES局をアクセスするときにあらかじめONにしておきます。ONにするとディスプレイ右上に(8)アイコンが点灯します。(8)を押しながらDIALツマミをまわすとアクセスコードを送出します。

インターネットCH: 上記の「INTNET」と同様、WiRESインターネット機能として動作します。アクセスコードの送出方法は(8)を短く押してからDIALツマミをまわします。

セットモード: (8)を押したときに、よく使うセットモードをショートカットキーとして割り付けることができます。ショートカットの割り付け方は157ページを参照してください。

セットモードの動作一覧表(つづき)

39 INTERNET MODE

WiRES方式の設定

設定項目: SRG/FRG

工場出荷時: FRG

解説:

SRG: WiRESのSRG方式を使用するときに選択します。

FRG: WiRESのFRG方式を使用するときに選択します。

40 INTERNET SELECT

WiRESのFRG方式で使用するコード設定

設定項目: F 1ch~F 64ch

工場出荷時: F 1

解説 インターネットモード時、送信開始時に出力されるコード(最大8桁)を設定することができます。また、各コードに最大6文字の名前を付けることができます。

コードの設定や名前の付け方は33ページを参照してください。

41 LAMP

バックライト、キーの照明時間設定

設定項目: キー2秒~キー10秒/連続/OFF

工場出荷時: キー5秒

解説 ディスプレイのバックライトとキーパッドの照明時間を設定します。

キー2秒~キー10秒: ディスプレイのバックライトとキーパッドの照明時間を2秒~10秒の間で1秒間隔を選択することができます。

連続: ディスプレイのバックライトとキーパッドの照明を常時点灯します。

OFF: ディスプレイのバックライトとキーパッドの照明を消灯します。

42 LANGUAGE

セットモードメニュー等の日本語/英語切り替え

設定項目: JAPANESE: 日本語 / ENGLISH: 英語

工場出荷時: JAPANESE: 日本語

解説: セットモードでの表示言語を切り替えます。

43 LCD CONTRAST

ディスプレイ (LCD) のコントラスト調整

設定項目: レベル1~レベル15

工場出荷時: レベル7

解説: LCDのコントラストを調節します。

44 LCD DIMMER

ディスプレイ (LCD) のバックライト、テンキー照明の輝度調整

設定項目: レベル1~レベル4

工場出荷時: レベル4

解説: LCDのバックライト、テンキー照明輝度を調節します。

45 LED LIGHT

白色LEDによる簡易ライトのON/OFF

設定項目: -

工場出荷時: -

解説 『45 LED LIGHT』を選択するとストロボのLEDが白色に点灯し、簡易ライトとして動作します。

セットモード『36 INTERNET』を「OFF」に設定し、『50 LED LIGHT』をショートカットに割り付けておくと、簡単に簡易ライトを呼び出すことができます。

46 LOCK

ロックモードの設定

設定項目: KEY / DIAL / KEY&DIAL / PTT / KEY&PTT / DIAL&PTT / ALL

工場出荷時: KEY&DIAL

解説 ロックする対象を設定します。

KEY: 前面の各キーをロックします。

⑤を短く押して、ロックしたりロックを解除する操作は対象外です。

DIAL: DIALツマミをロックします。

KEY&DIAL: 前面の各キーとDIALツマミをロックします。⑤を短く押して、ロックしたり

ロックを解除する操作は対象外です。

PTT: PTTスイッチをロックします。

KEY&PTT: 前面の各キーとPTTスイッチをロックします。

DIAL&PTT: DIALツマミとPTTスイッチをロックします。

ALL: DIALツマミPTTスイッチ前面の各キー

をロックします。

47 MEMORY FAST STEP

メモリー呼び出し時のメモリーチャンネルステップ設定

設定項目: 10CH/20CH/50CH/100CH

工場出荷時: 10CH

解説: **[Fw]** (ファンクション) を短く押してDIALツマミをまわすと、指定したチャンネルステップ(工場出荷時には10CHステップ)でメモリーを呼び出すことができます。メモリー数が多いときに使用すると大変便利な機能です。

セットモードの動作一覧表(つづき)

48 MEMORY NAME

メモリータグの書き込み

解説:メモリーチャンネルに最大16桁の名前(メモリータグ)をつけることができます。

名前のつけかたは、42ページを参照してください。

49 MEMORY PROTECT

メモリー書き込み許可/禁止

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説:ONにするとメモリー書き込みを禁止します。誤操作でメモリー書き込みや、上書きを防止することができます。

50 MEMORY SKIP

スキップメモリー/指定メモリーの設定

設定項目: OFF/SKIP/ONLY

工場出荷時: OFF

解説:スキップメモリーまたは指定メモリーの設定を行います。メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

OFF: スキップメモリーまたは指定メモリーをOFFにします。

SKIP: メモリースキャン時にスキャンする必要のないメモリーチャンネルを指定します。

ONLY: 指定のメモリーチャンネルだけをスキャンしたいときに指定します。

51 MEMORY WRITE

メモリー書き込み時のオートインクリメント設定

設定項目: NEXT/ LOWER

工場出荷時: NEXT

解説:

NEXT: 以前書き込んだメモリー番号の次の番号を表示します。メモリーチャンネルを最小チャンネルから順番にメモリーしてないときや、メモリーバンクを利用してメモリーしてある場合に便利です。

LOWER: メモリーを最小チャンネルから順番に書き込んだとき、未書き込みの最小チャンネルを表示します。

52 MESSAGE LIST

メッセージ機能で使用するIDリストの設定

設定項目: 1ch~20ch

工場出荷時: 1ch

解説:あらかじめメッセージ機能を使用する場合は、メッセージ交換をするメンバーのIDを登録する必要があります。メンバーのIDは自分を含めて最大20人で最大8文字登録することができます。

53 MESSAGE REGISTER

時局IDの選択

設定項目: 1ch~20ch

工場出荷時: 1ch

解説:メッセージを送る際に、相手局に自分のIDを表示させるための設定を行います。

最初に、セットモードの『52 MESSAGE LIST』で自分を含めてメンバーIDを登録してから行ってください。

54 MESSAGE SELECT

メッセージの登録と選択

設定項目: 1ch~20ch

工場出荷時: 1ch

解説:メッセージの登録と、相手局に送るメッセージの選択をすることができます。メッセージは最大16文字で最大20種類の登録/選択をすることができます。

メッセージの登録方法は下記を参照してください。

メッセージの登録方法

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
2. セットモードの『54 MESSAGE SELECT』を選択します。
3. **[MENU]** を押します。
4. DIALツマミをまわして「1ch」~「20ch」のいずれかを選択します。
5. **SPS SQ TYP (MODE)** を押します。
6. DIALツマミをまわしてメッセージの文字を選択します。
 - ・テンキーからも入力が可能です。
7. **SPS SQ TYP (MODE)** を押してカーソルを移動します。
8. 手順6, 7を繰り返しメッセージを入力します(最大16文字)。
9. **[MENU]** を1秒以上押します。
 - ・メッセージ内容がメモリーされ、もとの表示に戻ります。

文字一覧表は、126ページを参照してください。

55 MIC GAIN

マイク入力レベルを調整

設定項目: レベル1~レベル9

工場出荷時: レベル5

解説:マイクの感度を設定することができます。数字が大きくなるほど、高感度になります。

セットモードの動作一覧表(つづき)

56 MONI/T-CALL

モニタースイッチ/T-CALLスイッチ変更設定

設定項目: MONI/T-CALL

工場出荷時: MONI

解説:

MONI: モニターとして動作します。
T-CALL: トーンコールとして動作します。

57 MUTE

操作バンド側に信号入感時、非操作側の音声を
MUTEするかを設定

設定項目: OFF / MUTE 30% / MUTE 50% /
MUTE 100%

工場出荷時: OFF

解説: 操作バンド側に信号が入感しているときに、
非操作側の音声をMUTEすることができます。
MUTEのレベルは5段階で%が大きくなるほど、非
操作側のMUTEが大きくなります。

58 OFF TIMER

電源オフタイマー機能の設定

設定項目: OFF/00:00~23:59 ON

工場出荷時: OFF

解説: 電源をオンした状態で、指定した時間に電源
を“オフ”にすることができます。

59 ON TIMER

電源オンタイマー機能の設定

設定項目: OFF/00:00~23:59 ON

工場出荷時: OFF

解説: 電源をオフにすると、指定した時間に電源を
“オン”にすることができます。

60 OPENING MESSAGE

オープニングメッセージの設定

設定項目: NORMAL / OFF / DC / MESSAGE

工場出荷時: NORMAL

解説: 電源を入れたときに約3秒間ディスプレイに
電源電圧やメッセージを表示します。

NORMAL: 「STANDARD」を表示します。

OFF: 電源電圧またはメッセージの表示を
OFFにします。

DC: 電源電圧を表示します。

MESSAGE: 半角の場合、最大16文字のメッセージ
を表示することができます。メッセー
ジの登録は下記の方法で行なっ
て下さい。工場出荷時は「STANDARD」を
表示します。

メッセージの登録方法

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
2. セットモードの『65 OPENING MESSAGE』を選
択します。
3. **[MENU]**を短く押します。
4. DIALツマミをまわして「MESSAGE」を選択しま
す。
5. SPS SQ TYP
[MODE]を押します。
6. DIALツマミをまわしてメッセージの文字を選
択します。
 - ・メッセージの文字は、大文字欧文、小文字欧
文、記号、カタカナ、数字、漢字です。
 - ・テンキーからも入力が可能です。
7. SPS SQ TYP
[MODE]を押してカーソルを移動します。
8. 手順6, 7を繰り返しメッセージを入力します
(最大16文字)。
9. **[MENU]**を1秒以上押します。
メッセージ内容が登録され、もとの表示に戻り
ます。

文字一覧表は、186ページを参照してください。

61 PAGER ANS-BACK

ページャーアンサーバック機能の“ON/OFF”

設定項目: OFF / ON

工場出荷時: OFF

解説: 新ページャー機能動作時、呼び出しを受けた
ときに、自動的に約2.5秒間送信することができま
す。

62 PAGER CODE-RX

個別コード(受信用)の設定

設定項目: 01~50

工場出荷時: 05 47

解説: 新ページャー機能やEA機能を使用する際の
個別コードを設定します。

セットモードの動作一覧表(つづき)

63 PAGER CODE-TX

個別コード(送信用)の設定

設定項目: 01~50

工場出荷時: 05 47

解説: 新ページャー機能やEA機能を使用する際、呼び出したい相手局の個別コードを設定します。

64 PASSWORD

パスワード機能の“ON/OFF”

設定項目: ON / OFF

工場出荷時: OFF

解説: 正しいパスワードを入力しないと、電源をオンにすることができない“パスワード機能”をON/OFFします。

詳細は、145ページを参照してください。

65 PR FREQUENCY

空線スケルチの設定

設定項目: 300Hz~3000Hz

工場出荷時: 1600Hz

解説: 空線信号の周波数を100Hzステップで300Hz~3000Hzまで設定することができます。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

周波数の設定方法は50ページを参照してください。

66 PRI REVERT

プライオリティ・リバートの設定

設定項目: OFF / ON

工場出荷時: OFF

解説:

OFF: プライオリティリバートの機能がOFFになります。

ON: デュアルレシーブ時にPTTスイッチを押すと、瞬時にプライオリティチャンネルに切り替わりプライオリティチャンネルで送信します。

67 PRI TIME

プライオリティチャンネル監視間隔時間の設定

設定項目: 0.1秒~10秒

工場出荷時: 5.0秒

解説: プライオリティチャンネルの監視間隔時間を設定することができます。

68 PTT DELAY

PTTディレイタイムの設定

設定項目: OFF / 20ms / 50ms / 100ms / 200ms

工場出荷時: OFF

解説: PTTスイッチを押してから、実際に電波が送信されるまでの時間を設定します。

69 RPT ARS

ARS機能のON/OFF

設定項目: ON / OFF

工場出荷時: ON

解説: ARS(レピータの周波数に合わせるだけで自動的にレピータを使える状態になる)機能の動作をON/OFFすることができます。

70 RPT SHIFT

レピータシフト方向の設定

設定項目: -RPT / +RPT / SIMPLEX

工場出荷時: -RPT

(439.000~439.980MHz: ARSがON時)

解説: レピータのシフト方向を設定します。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

-RPT: マイナス方向

+RPT: プラス方向

SIMPLEX: シフトなし

71 RPT SHIFT FREQ

レピータシフト幅の設定

設定項目: 0.000MHz~150.000MHz

工場出荷時: 5.000MHz (430MHz帯)

解説: レピータシフト幅を設定します。430MHz帯以外の周波数帯は0MHzに設定してあります。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

セットモードの動作一覧表(つづき)

72 RX MODE

受信モードの切り替え

設定項目: AUTO/NFM/AM

工場出荷時: AUTO

解説: モード(電波型式)を変更することができます。AUTOに設定しておくとも自動的に周波数帯に適したモードに切り替わります(下記参照)。メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

周波数帯は、下限を含み上限を含まず。

周波数帯	モード	周波数帯	モード
108~137MHz	AM	250.4~253MHz	NFM
137~142MHz	NFM	276~300MHz	NFM
142~148MHz	NFM	300~336MHz	AM
148~156MHz	NFM	336~420MHz	NFM
156~157.45MHz	NFM	420~430MHz	NFM
157.45~160.8MHz	NFM	430~440MHz	NFM
160.6~160.975MHz	NFM	440~459.5MHz	NFM
160.975~161.5MHz	NFM	459.5~464.8MHz	NFM
161.5~162.9MHz	NFM	464.8~470MHz	NFM
162.9~174MHz	NFM	470~770MHz	NFM
174~222MHz	NFM	770~915MHz	NFM
222~250.4MHz	AM	961~999MHz	NFM

73 SAVE RX

受信セーブ時間の設定

設定項目: 0.2秒(1:1)~60.0秒(1:50)/OFF

工場出荷時: 0.2秒(1:1)

解説: 受信セーブがオンのときは、“S”が点滅します(信号受信中は点灯)。

0.2秒(1:1): 0.2秒受信して0.2秒セーブ
~(0.1秒単位)

1.0秒(1:5): 0.2秒受信して1.0秒セーブ
~(0.5秒単位)

10.0秒(1:50): 0.2秒受信して10.0秒セーブ
~(5秒単位)

60.0秒(1:300): 0.2秒受信して60.0秒セーブ
OFF: 受信セーブしません(連続受信)。

74 SAVE TX

送信セーブ設定

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説: 送信セーブ機能をONにすると、相手局の信号強度がフルスケールの場合、送信出力がハイパワーのときにはLOWに下がります。

75 SCAN LAMP

スキャンストップ時のランプ点灯

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: ON

解説: スキャンストップ時の照明の点灯をON/OFFすることができます。

76 SCAN RE-START

スキャン再開開始時間の設定

設定項目: 0.1秒~1.0秒(0.1秒単位) /
1.0秒~10.0秒(0.5秒単位)

工場出荷時: 2.0秒

解説: スキャンがストップ中に信号が無くなってからスキャンを再度開始するときのスタート時間を設定します。

77 SCAN RESUME

スキャンストップモードの設定

設定項目: 2秒~10秒 / BUSY / HOLD

工場出荷時: 5.0秒

解説:

2秒~10秒:

設定した時間を受信した後に、スキャンを再開します。

例えば、5秒に設定した場合は、5秒受信した後、スキャンを再開します。

BUSY: 信号がなくなるまで受信し、信号がなくなるとスキャンを再開します。

HOLD: スキャンを中止して、その周波数を受信し続けます。

78 SENSOR DISPLAY

モノバンド運用時の表示機能選択

設定項目: 電圧/温度/OFF

工場出荷時: 電圧

解説:

電圧: モノバンド運用時にディスプレイへ電源の電圧を表示します。

温度: モノバンド運用時にディスプレイへVX-8Gの内部温度を示します。

OFF: 非表示にします。

79 SENSOR INFO

温度表示機能

解説: 温度を表示します。

$\frac{DW}{(V/M)}$ を押すと温度表示の単位(C: 摂氏, F: 華氏)を変更することができます。

セッモードの動作一覧表(つづき)

80 SET MODE CSR

カーソルの選択

設定項目: 



工場出荷時: 

解説:

9種類のカーソルから1つ選択することができます。

81 SET MODE FORMAT

セッモードの表示切り替え

設定項目: リスト表示 / 項目表示

工場出荷時: リスト表示

解説:

リスト表示: リスト形式で表示します。

項目表示: 1件ごとの項目形式で表示します。

82 SMART SEARCH

スマートサーチの動作切り替え

設定項目: 1回/連続

工場出荷時: 1回

解説:

1回: 1回だけサーチします。

連続: スマートメモリーがいっぱいになるまで、繰り返しサーチします。

83 S-METER SYMBOL

S/POメーターの表示パターンの選択

設定項目: 





工場出荷時: 

解説: S/POメーターの表示パターンを選択します。

84 SPEC-ANALYZER

スペアナの動作切り替え

設定項目: 1回 / 連続 / フルタイム

工場出荷時: 1回

解説:

1回: 1回スキャンして、その結果を表示します。一度スキャンを行った後、スキャンの使用状況をグラフで表します。中心周波数に信号があった場合は、その音声を出力します。DIALをまわすと再度スキャンを開始します。

連続: 繰り返しスキャンして、最新の結果を表示します。

フルタイム: 繰り返しスキャンして、最新の結果を表示しながら音声出力を出すことができます。

85 SQL LEVEL

スケルチレベル設定

設定項目: レベル 0~レベル 15

工場出荷時: レベル 1

解説: 受信しているモードのスケルチレベルを設定します。数字が大きくなるほどスケルチが深くなります。

86 SQL S-METER

Sメータースケルチ (RFスケルチ) のレベル設定


設定項目: OFF/レベル 1 ~レベル 9


工場出荷時: OFF


解説: 設定値以上の信号を受信した場合のみ、音声を出力することができます。


メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。


OFF: Sメータースケルチ機能が“OFF”になります。


レベル 1:  (Sメーター“1”が点滅)
Sメーターが“1”以上の信号の音声を出力します。


レベル 2:  (Sメーター“2”が点滅)
Sメーターが“2”以上の信号の音声を出力します。


レベル 3:  (Sメーター“3”が点滅)
Sメーターが“3”以上の信号の音声を出力します。


レベル 4:  (Sメーター“4”が点滅)
Sメーターが“4”以上の信号の音声を出力します。

レベル 5:  (Sメーター“5”が点滅)
Sメーターが“5”以上の信号の音声を出力します。

レベル 6:  (Sメーター“6”が点滅)
Sメーターが“6”以上の信号の音声を出力します。

レベル 7:  (Sメーター“7”が点滅)
Sメーターが“7”以上の信号の音声を出力します。

レベル 8:  (Sメーター“8”が点滅)
Sメーターが“8”以上の信号の音声を出力します。

レベル 9:  (Sメーター“9”が点滅)
Sメーターが“9”以上の信号の音声を出力します。

セットモードの動作一覧表(つづき)

87 SQL SPLIT

送受信で別々のスケルチタイプの設定

設定項目:OFF/ON

工場出荷時:OFF

解説:送信と受信で別々のスケルチタイプを設定することができます。ONに設定すると、セットモードの『88 SQL TYPE』にD CODE/T DCS/D TONEの設定項目が追加されます。

D CD: 送信時のみDCSコードを送出します (“DC” が点灯)。

TONE-DCS: 送信時にトーン信号を送出し、受信時にDCSコードで待ち受けをします (“T-D” が点灯)。

D CD-TONE SQL: 送信時にDCSコードを送出し、受信時にトーン信号で待ち受けをします (“D-T” が点灯)。

88 SQL TYPE

スケルチタイプの設定

設定項目:OFF/TONE/TONE SQL/DCS/

REV TONE/JR FREQ/PR FREQ/PAGER/MESSAGE

工場出荷時:OFF

解説:各スケルチタイプを設定します。

^{SUB OF}
[0]を押してラジオ放送を受信中に設定することはできません。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

OFF: トーン送出、スケルチともにOFFにします。

TONE: トーン送出のみを行います (“TN” が点灯)。

TONE SQL: トーンスケルチをONにします (“TSQ” が点灯)。こちらで設定している周波数のトーンが含まれた信号を受信したときのみスケルチが開きます。

DCS: デジタルコードスケルチをONにします (“DCS” が点灯)。こちらで設定しているDCSコードが含まれた信号を受信したときのみスケルチが開きます。

REV TONE: リバーストーン動作をONにします (“RTN” が点灯)。通話がないときにトーン信号が含まれ、通話を始めるとトーン信号が消えるスケルチ制御方式の通信を受信するときに使用します。

JR FREQ: 2280-Hzの空線信号を含んだJR鉄道無線を受信するときはONにします (“JR” が点灯)。

PR FREQ: 鉄道無線や空線信号の含んだ周波数を受信するときに設定します (“PR” が点灯)。空線信号の設定はセットモードの『65 PR FREQUENCY』で行ってください。

PAGER: ページャ機能を使用するときに選択します (“PAG” が点灯)。

MESSAGE: メッセージ機能を使用するときに選択します (“MSG” が点灯)。

セットモードの動作一覧表(つづき)

89 STEP FREQUENCY

チャンネルステップの設定

設定項目: AUTO/5.0k/(6.25k)/(8.3k)/
10.0k/12.5k/15.0k/20.0k/25.0k/
50.0k/100.0k-Hz

工場出荷時: AUTO

解説: ステップ幅 (DIAL ツマミで周波数選択時に1クリックで変化する周波数とVFOスキャン時の周波数変化量) を設定します。工場出荷時の状態では周波数帯ごとに最適値が設定されていますので、通常はそのままお使いいただけます。

“8.33kHz”のステップはAIRバンドのみ選択できます。

250MHz~300MHzと580MHz以上の周波数は、5kHz、6.25kHzと15kHzステップの設定をすることができません。なお、工場出荷時の各周波数帯によるAUTOで設定されているステップ幅は、下表のようになります。

周波数帯は、下限を含み上限を含まず。

周波数帯	ステップ幅	周波数帯	ステップ幅
108~137MHz	25kHz	250.4~253MHz	12.5kHz
137~142MHz	10kHz	276~300MHz	12.5kHz
142~148MHz	20kHz	300~336MHz	100kHz
148~156MHz	10kHz	336~420MHz	12.5kHz
156~157.45MHz	25kHz	420~430MHz	12.5kHz
157.45~160.6MHz	10kHz	430~440MHz	20kHz
160.6~160.975MHz	25kHz	440~459.5MHz	12.5kHz
160.975~161.5MHz	5kHz	459.5~464.8MHz	25kHz
161.5~162.9MHz	25kHz	464.8~470MHz	12.5kHz
162.9~174MHz	10kHz	470~770MHz	50kHz
174~222MHz	50kHz	770~915MHz	12.5kHz
222~250.4MHz	100kHz	961~999MHz	100kHz

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

90 TIME SET

VX-8Giに内蔵されている時計機能の設定

工場出荷時: 2000年0月0日、土曜日、00時00分、--

解説: 時計の時間や、時報の設定をすることができます。詳細は17ページを参照してください。

91 TONE FREQUENCY

トーン周波数の設定

設定項目: 67~254.1Hz (50トーン)

工場出荷時: 88.5Hz

解説: 50トーンのトーン周波数から選択することができます。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

選択できるトーン周波数(Hz)									
67.0	82.5	100.0	123.0	151.4	171.3	189.9	210.7	250.3	
69.3	85.4	103.5	127.3	156.7	173.8	192.8	218.1	254.1	
71.9	88.5	107.2	131.8	159.8	177.3	196.6	225.7	-	
74.4	91.5	110.9	136.5	162.2	179.9	199.5	229.1	-	
77.0	94.8	114.8	141.3	165.5	183.5	203.5	233.6	-	
79.7	97.4	118.8	146.2	167.9	186.2	206.5	241.8	-	

92 TONE-SRCH MUTE

トーンサーチ動作中の音声出力ミュートの設定

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: ON

解説:

ON: トーン周波数が一致したときだけ音声を出力させます。

OFF: トーンサーチ中は、トーン周波数に関係なく音声を出力させます。

93 TONE-SRCH SPEED

トーンサーチ動作スピードの設定

設定項目: 高速/低速

工場出荷時: 高速

解説: トーン周波数をサーチするスピードを切り替えることができます。

高速: トーン周波数のサーチ速度が速くなります。

低速: トーン周波数のサーチ速度が遅くなります。

94 TOT

タイムアウトタイマーの設定

設定項目: OFF/30秒~10分

工場出荷時: OFF

解説: タイムアウトタイマー (TOT: 連続送信時間の制限) の時間を設定します。

セットモードの動作一覧表(つづき)

95 VFO MODE

VFOモード時の周波数選択範囲の設定

設定項目: ALL/BAND

工場出荷時: ALL

解説: VFOモード時の周波数選択範囲を設定します。

ALL: バンドエッジに達すると、次のバンドに切り替わります。

BAND: バンドエッジに達すると、現在のバンドの他端に移ります。

96 VFO SKIP

必要としないバンドの非表示設定

設定項目: (1) AIR OFF/ON

(2) VHF HAM OFF/ON

(3) VHF BAND OFF/ON

(4) INFO 1 OFF/ON

(5) UHF HAM OFF/ON

(6) UHF BAND OFF/ON

(7) INFO 2 OFF/ON

工場出荷時: (1) AIR OFF

(2) VHF HAM OFF

(3) VHF BAND OFF

(4) INFO 1 OFF

(5) UHF HAM OFF

(6) UHF BAND OFF

(7) INFO 2 OFF

解説: SC-M BAND ON (BAND) を押したときに、必要としないバンドを非表示にすることができます。

設定方法は156ページを参照してください。

97 VIBRATOR

VIBRATOR機能の設定

設定項目: OFF / BUSY / SIGNALING

工場出荷時: OFF

解説: A(メイン)バンドおよびB(サブ)バンド、各周波数帯(BAND)においてパイプレーター機能を設定することができます。

OFF: パイプレーター機能の動作が“OFF”にします。

BUSY: 信号を受信しBUSY LEDが点灯するタイミングに合わせパイプレーター機能が動作します。

SIGNALING: SQL TYPEの設定されている条件で、音声出力される条件が一致したときにパイプレーター機能が動作します。

98 VIBRATOR MODE

VIBRATOR MODEの設定

設定項目: MODE1 / MODE2 / MODE3

工場出荷時: MODE1

解説:

MODE1: 連続してパイプレーター機能が動作します。

MODE2: 長い間隔でパイプレーター機能が動作します。

MODE3: 短い間隔でパイプレーター機能が動作します。

99 VOLUME MODE

VOLキーの設定

設定項目: NORMAL/AUTO BACK

工場出荷時: NORMAL

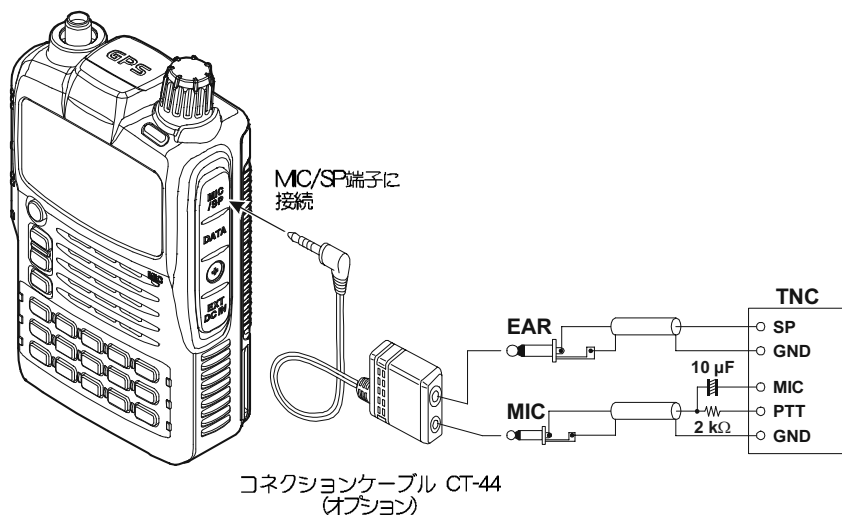
解説:

NORMAL: [VOL] を押しながらDIALツマミをまわすと、音量を調節することができます。

AUTO BACK: [VOL] を押した後DIALツマミをまわすと、音量を調節することができます。調節後、約3秒間で自動的にDIALツマミで周波数などを調整できるようになります。

パケット通信に使う

オプションの接続ケーブル(CT-44)を使用すると、お手持ちのTNC(ターミナルノードコントローラー)を接続してパケット通信を行うことができます。



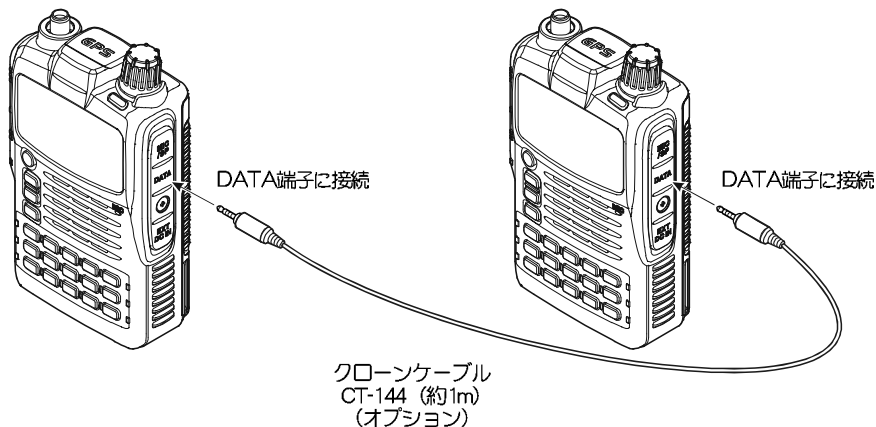
接続後、VX-8Gの音量を調節して、VX-8GからTNCへの出力レベルを設定してください。

また、TNC側の出力レベル調節用ボリュームでTNCからVX-8Gへの入力レベルを調節してください(VX-8G側では入力レベルは調節できません)。

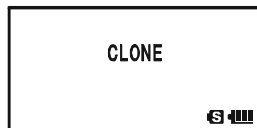
- 大量のデータを転送するときには送信時間が長くなり、本機の発熱が大きくなります。長時間送信し続けると、過熱防止回路が作動して送信出力が下がります。さらに送信を続けると、過熱による故障を防ぐために、送信が中止されて受信状態になります。過熱防止回路が作動して受信状態になったときには、電源をオフまたは受信状態のまま、温度が下がるまでお待ちください。
- パケット通信時には受信セーブ機能はオフに設定してください(セットモードの『73 SAVE RX』)。
- パーソナルコンピューターで発生する雑音によって、受信が妨害される場合があります。正常に受信できない場合は、パーソナルコンピューターをVX-8Gから離し、フォトカプラーやノイズフィルターを介して接続してください。
- TNCとパーソナルコンピューターの接続方法については、ご使用になるTNCの取扱説明書をご覧ください。

クローン操作

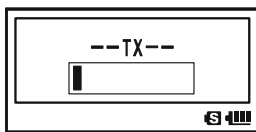
メモリーされているデータや各種の設定などをもう1台のVX-8Gにコピーできます。



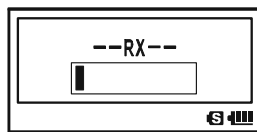
1. 2台のVX-8Gの電源をオフにし、オプションのクローンケーブル (CT-144) をMIC/SP端子に接続します。
2. 2台のVX-8Gを、**[QW]** を押しながら **[ON]** を押して電源をオンにします。
クローンモードになります。



3. 受け側のVX-8Gの **[SPS SQ TYP (MODE)]** を押し、続いて送り側のVX-8Gの **[SC-M BND DN (BAND)]** を押します。
データのコピーが始まると、受け側の表示が“--WAIT--”から“--RX--”に替わります。送り側がデータを送るとデータ送出量のインジケータが表示し、受け側もデータを受け取るとインジケータが表示されます。



(送り側)



(受け側)

コピーが終了すると、受け側のVX-8Gが通常のモードに戻ります (送り側のVX-8Gは“--TX--”から“CLONE”に戻ります)。

4. 2台のVX-8Gの電源をオフにし、クローンケーブルを外します。

- データの転送中に“ERROR” (エラー) が表示された場合は誤動作しています。クローンケーブルの接続を確認してもう一度やりなおしてください。
- 時計は専用回路で構成されているため、時刻のデータをコピーすることはできません。

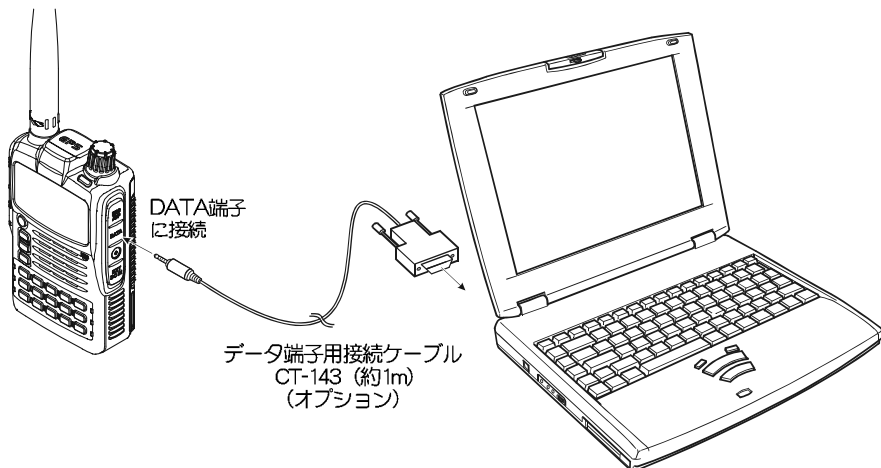
外部機器との接続

DATA端子は、COMポートとの間の通信速度や入出力の詳細設定を行うことにより、各種機能に対応させることができます。

詳細はAPRS/GPSセットモード『15 COM PORT SETTING』を参照してください。

VX-8Gのデータ端子を使用し、下記のデータを扱うことができます。

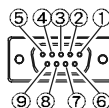
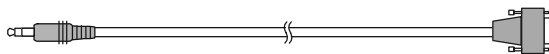
- ① 内蔵のGPSユニットから得られるGPSデータの出力
- ② 受信したAPRS PACKETから得られる他局BEACONの位置情報出力 (Waypointデータ出力)
- ③ 市販のGPSレシーバー等の外部GPS機器を接続し、自局の位置情報 (GPSデータ)の取得



データ端子用接続ケーブル CT-143 ピン配置図



- ① TXD (Serial data output [VX-8G → PC])
- ② RXD (Serial data input [VX-8G ← PC])
- ③ GND



- ① —
- ② TXD (Serial data output [VX-8G → PC])
- ③ RXD (Serial data input [VX-8G ← PC])
- ④ —
- ⑤ GND
- ⑥ —
- ⑦ 内部で⑧と接続
- ⑧ 内部で⑦と接続
- ⑨ —

必要に応じて使う機能

文字コード一覧表

約6000文字の漢字と記号等を文字コードでメモリーやメモリーバンクにタグを入力することができます(「メモリーに名前を付ける」は42ページ参照、「メモリーバンクに名前を付ける」は46ページを参照してください)。

漢字の網部分はテンキーを押したときに最初に出てくる漢字です。例として **STEP** **1** を押して“あ”を選択したときは“亜”、**CODE** **2ABC** を押して“か”を選択した場合は“下”が表示されます。

[illegible]

文字コード一覧表(つづき)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0600	♡	あ	い	う	え	お	か	き	く	0680	☞	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0610	ぐ	あ	い	う	え	お	か	き	く	0690	P	Q	R	S	T	U	V	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0620	次	治	爾	疔	磁	而	耳	薛	鹿	0690	叩	單	達	辰	旦	胃	翼	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0630	式	識	鳴	蠶	雲	叱	失	穉	漆	0690	丹	嘆	担	垣	探	脱	豎	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0640	疾	質	蓀	蓀	蓀	蓀	蓀	蓀	蓀	0690	胆	蛋	誕	垣	垣	彈	豎	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0650	斜	實	社	紗	者	蓀	蓀	蓀	蓀	0690	池	恥	智	池	雅	致	致	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0660	種	錫	酒	若	若	若	若	若	若	0690	逐	秩	空	茶	嬌	仲	仲	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0670	腫	首	首	首	首	首	首	首	首	0690	だ	ち	ち	ち	ち	ち	ち	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0680	ア	ゲ	コ	ユ	ウ	エ	オ	カ	キ	0690	ば	ひ	び	び	び	び	び	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0690	ケ	コ	ユ	ウ	エ	オ	カ	キ	キ	0690	帖	帳	帳	帳	帳	帳	帳	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
06A0	柴	製	雪	融	融	融	融	融	融	0690	聴	帳	帳	帳	帳	帳	帳	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
06B0	柔	洗	洗	洗	洗	洗	洗	洗	洗	0690	沈	珍	賃	鎮	陳	津	津	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
06C0	出	術	術	術	術	術	術	術	術	0690	楓	佃	漬	柘	停	樹	樹	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
06D0	準	厝	厝	厝	厝	厝	厝	厝	厝	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
06E0	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
06F0	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0700	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0710	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0720	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0730	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0740	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0750	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0760	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0770	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0780	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0790	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
07A0	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
07B0	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
07C0	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
07D0	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
07E0	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
07F0	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0800	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0810	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0820	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0830	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0840	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0850	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0860	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0870	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0880	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0890	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
08A0	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
08B0	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
08C0	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
08D0	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
08E0	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
08F0	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0900	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0910	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0920	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0930	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0940	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0950	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0960	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0970	書	書	書	書	書	書	書	書	書	0690	釣	鶴	亭	低	偵	偵	偵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

文字コード一覧表(つづき)

[illegible]

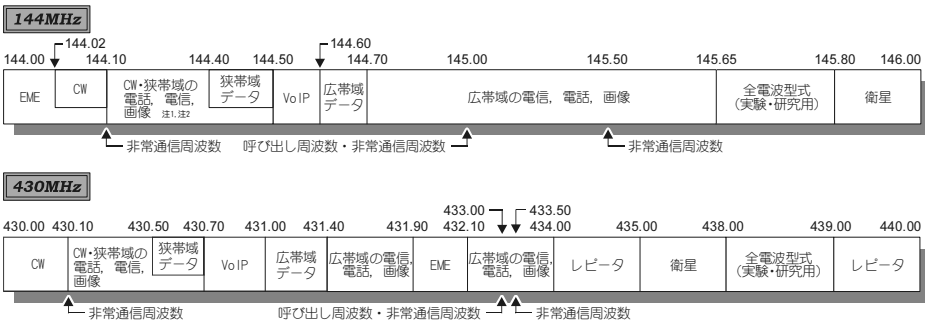
付録

189

[illegible]

周波数の使用区分

この使用区分は平成21年3月30日に総務省より施行されおります。電波を発射するときは、下記の使用区分にしたがって運用してください。なお、使用区分は改訂される場合がありますので、最新情報はJARLニュース等でご確認ください。



狭帯域: 占有周波数帯幅が3kHz以下のもの (A3Eを除く)。
広帯域: 占有周波数帯幅が3kHzを超えるもの。

- 注1 144.10MHzから144.20MHzまでの周波数は、外国のアマチュア局と月面反射通信にも使用できる。
この場合の電波の占有周波数帯幅の許容値は、3kHz以下のものに限る。
- 注2 144.30MHzから144.50MHzまでの周波数は、国際宇宙ステーションとの交信に限って、広帯域の電話、電信及び画像通信にも使用することができる。

アマチュア無線局免許申請書類の書きかた

「無線局事項書及び工事設計書の書きかた」

VX-8Giは技術基準適合機ですので、技術基準適合証明番号『002KN572』を記入することにより、下記記入例の「☐」部分は記入を省略できます。

総務省の「電子申請・届出システム Lite」で申請する場合は、技術基準適合証明番号欄の「区分」に「工事設計認証番号」を選択し、「記号部」002KN、「番号部」572 を入力してください。

11 無線設備の設置場所又は常置場所	〒100-0001 東京都千代田区千代田	12 移動範囲	<input type="checkbox"/> 移動する（陸上、海上及び上空） <input type="checkbox"/> 移動しない
13 電波の型式並びに希望する周波数及び空中線電力	<p>第三級アマチュア無線技士以上の方は、3VFに✓印をつけてください。 第四級アマチュア無線技士の方は、4VFに✓印をつけてください。</p> <p>空中線電力の10Wを記入してください。</p>		
14 変更する欄の番号	<p>14M, 430Mに✓印をつけてください。</p>		

■第三級アマチュア無線技士以上のかたが申請する場合

装置の区別	変換の種別	技術基準適合証明番号	発射可能な電波の型式及び周波数の範囲	変調方式	終段管 型式・定格	定格出力 (W)
第1 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	002KN572	F3E, F2D, F2A, F1D 144MHz帯, 430MHz帯	F3E リアクタンス変調	2SK3476 x 1	7.4
第2 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更					5
第3 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更					V

技術基準適合証明番号を記入した場合は、記入する必要はありません。

「技術証明」で免許申請を行う場合は、技術基準適合証明番号（002KN572）を記入してください。

■第四級アマチュア無線技士のかたが申請する場合

装置の区別	変換の種別	技術基準適合証明番号	発射可能な電波の型式及び周波数の範囲	変調方式	終段管 型式・定格	定格出力 (W)
第1 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	002KN572	F3E, F2D, F1D 144MHz帯, 430MHz帯	F3E リアクタンス変調	2SK3476 x 1	7.4
第2 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更					5
第3 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更					V

技術基準適合証明番号を記入した場合は、記入する必要はありません。

「技術証明」で免許申請を行う場合は、技術基準適合証明番号（002KN572）を記入してください。

付
録

第1 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	使用するアンテナの型式を記入してください。	✓印をつけてください。
第2 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更		
送信空中線の型式	屋外設置固定設置の有無		
添付図面	<input checked="" type="checkbox"/> 図第3章に規定する条件に合致する。		

○ VX-8Giの技術基準適合番号は、底面の技術基準適合証明シールに記載されています。

○ VX-8Gi固有の記載事項以外については、『アマチュア無線局（個人局）の開局申請書類の書き方』（社団法人日本アマチュア無線連盟発行）などを参考にして記入してください。

アマチュア無線局免許申請書類の書きかた(つづき)

「アマチュア局の無線設備の保証認定願」/「アマチュア局の無線設備等の変更の保証認定願」の書きかた(付属装置がある場合)

VX-8GにTNCなどの付属設備を接続する場合には「保証認定」で申請します。

《例:新規開局の場合》

TSS 株式会社 殿

アマチュア局の無線設備の保証願書

私は、アマチュア局の免許申請に係る無線設備の保証を受けたので、別紙の告知を添えて申し込みます。

出願のH	年	月	日
電話番号			
FAX番号			
Eメールアドレス			

住所
 社団の場合は
 事務所の所在地
 氏名
 社団の場合は
 代表者の氏名

送信機番号

送信機の名義等

接続するブースタの名義等

保証料の有無

第1送信機

第2送信機

第3送信機

第4送信機

第5送信機

第6送信機

第7送信機

第8送信機

第9送信機

第10送信機

その他の事項

電波法第3章に規定された条件に合致しています。

技術基準適合番号
『002KN572』を記入する

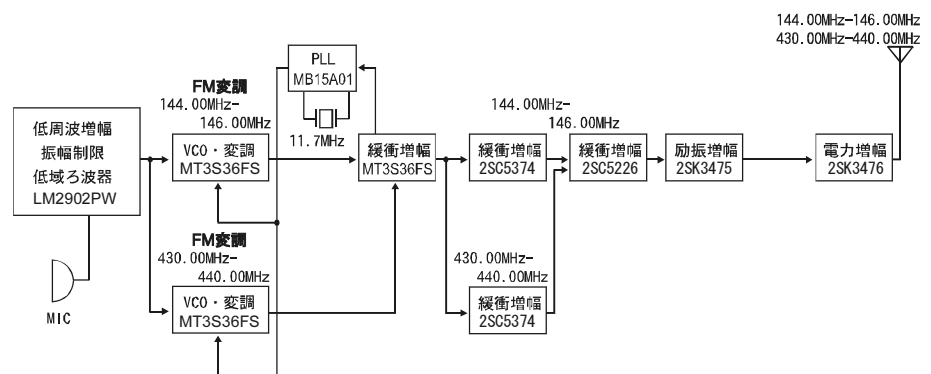
記入事項については、TSS保証事業部のホームページ「<http://www.tsscom.co.jp/>」または、免許申請書の「保証願書の記入例」をご覧ください。

保証料の払込みにかかる証明書の貼付欄

- ・専用の払込用紙で払い込まれたときは、受付証明書（払込用紙右端部）をお貼り下さい。
- ・汎用の払込用紙で払い込まれたときは、受領証の原本をお貼り下さい。
- ・銀行1席に払い込まれた際は、取扱票の原本をお貼り下さい。
- ・ATMで払い込まれたときは、取扱票の原本をお貼り下さい。
- ・インターネット利用で払い込まれたときは、確認画面のハードコピーを添付してください。

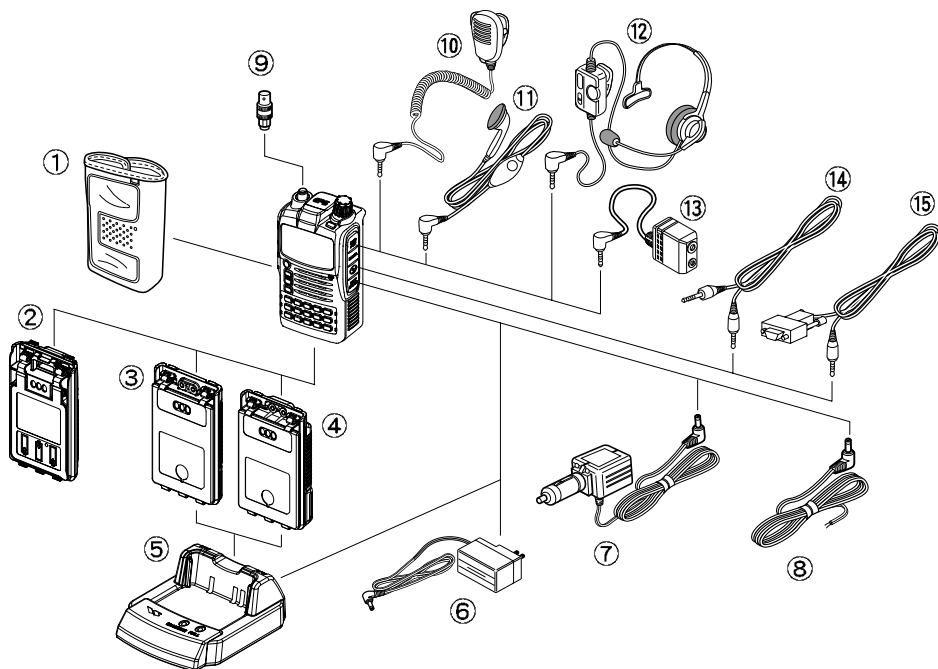
- 技術基準適合外の無線機と一緒に保証認定で申請（アマチュア局の無線設備の保証認定願/アマチュア局の無線設備等の変更の保証認定願）する場合であっても、VX-8Gに関しては技術基準適合機として申請できます。
- VX-8Gの技術基準適合番号は、底面の技術基準適合証明シールに記載されています。
- 『方式・規格』の記入事項については、お使いのTNCの取扱説明書を参照してください。

《送信機系統図》



付
録

オプション



- ① ソフトケース (CSC-95)
- ② 単三形アルカリ乾電池 (3本) ケース (FBA-39)
- ③ 電池/バック (FNB-101LJ) 付属品と同等
- ④ ロングライフ電池/バック (FNB-102LJ)
- ⑤ 急速充電用クレードル (CD-41)
- ⑥ CD-41用/バッテリーチャージャー (PA-48A)
- ⑦ シガープラグ付きDCアダプター (E-DC-5B)
- ⑧ 外部電源用ケーブル (E-DC-6)

- ⑨ BNC-SMA変換コネクタ (CN-3)
- ⑩ スピーカーマイク (MH-34B)
- ⑪ イヤピースマイク (MH-37A/B)
- ⑫ VOXヘッドセット (VC-25)
- ⑬ コネクションケーブル (CT-44)
- ⑭ クローンケーブル (CT-144)
- ⑮ パソコン接続ケーブル (CT-143)

※ 詳細はカタログをご覧ください。

故障かな？と思ったら 修理を依頼される前に、次の事項を確認してください。

■電源が入らない

- 電池/パックが消耗していませんか？
お買い上げ直後または長期間使用していないときは、電池/パックを充電してください。
- 電池/パックは正しくセットしてありますか？
“電池/パックを取り付ける”を参照し、確実に取り付けてください。
- 外部電源の接続は間違っていないですか？
外部電源を使用するときには、必ずシガープラグ付き外部電源アダプター“E-DC-5B”を使用してください。
- 電池/パックまたはE-DC-5Bの電圧は正常ですか？
電池/パックの場合は残量があること（過放電しないこと）、E-DC-5Bの出力電圧は約DC12Vであることを確認してください。

■音が出ない

- スケルチ（またはSメータースケルチ）のレベルや設定が大きくなっていませんか？
モニタースイッチを押して、ザーという音が出ることを確認してください。
弱い信号を受信するときには、スケルチ（またはSメータースケルチ）レベルを調整してください。
- 音量が下がっていませんか？
VOLを押しながらDIALツマミを右にまわして音量を大きくしてください。
- トーンスケルチまたはDCSがオンになっていませんか？
トーンスケルチまたはDCSがオンのときには、設定したトーン周波数またはDCSコードと同じ信号が含まれた信号を受信するまで音は出ません。

■電波が出ない

- PTTスイッチは確実に押していますか？
- PTTロックがオンになっていませんか？
- ビジー-TX禁止（BQLO機能）がオンになっていませんか？
ビジー-TX禁止（BQLO機能）がオンのときには、信号を受信しているときにPTTスイッチを押しても電波は出ません。信号がなくなるのを待ってからPTTスイッチを押してください。
- 送信周波数はアマチュアバンドになっていませんか？
Airバンド/情報無線帯等のアマチュアバンド以外での周波数は送信できません。
- 電池/パックまたは外部電源の電圧は正常ですか？
電池/パックの残量を確認してください。
また、送信時に電圧降下を起こすような電源では、VX-8Gの性能を十分に発揮することはできません。

■キーやDIALツマミを操作できない

- キーロックやDIALロックがオンになっていませんか？

■電池/パックが充電できない/充電してもすぐ使えなくなる

- 電池/パックを当社指定の充電器で充電していますか？
付属のバッテリーチャージャー（PA-48A）または急速充電クレードル（CD-41）で充電してください。また外部電源で充電する場合はシガープラグ付き外部電源アダプター（E-DC-5B）または外部電源ケーブル（E-DC-6）を使用してください。
- 消耗した電池/パックを使用していませんか？
充電中に“充電エラー”がディスプレイに出た場合は、電池/パックが過放電している場合があります。数回充電を繰り返して何度も表示が出る場合は、電池/パックの寿命または不良と考えられます。電池/パックは消耗品ですので、早期に新しい電池/パックと交換してください。電池/パックは約300回充電を繰り返して使用することができます。

同時受信時の組み合わせによって、内部発振器の高周波による内部ビート等の影響がありますが、故障ではありません（下記計算式参照：nは任意の整数）。また、同時受信時に周波数の組み合わせによっては、受信感度の変動がある場合があります。

- 受信周波数 = $9.8304\text{MHz} \times n$ 倍
- 受信周波数 = $4.9152\text{MHz} \times n$ 倍
- 受信周波数 = $16.369\text{MHz} \times n$ 倍
- 上段側（A/√n°）の周波数 = （下段側 B/√n°）の周波数 $\pm 46.35\text{MHz} \times n$ 倍
- 下段側（B/√n°）の周波数 = （上段側 A/√n°）の周波数 $\pm 47.25\text{MHz} \times n$ 倍 @上段側 A/√n° MODE=NFM
- 受信周波数 = $11.7\text{MHz} \times n$ 倍
- 受信周波数 = $6.144\text{MHz} \times n$ 倍

索引

記号	◎スイッチ	10
	Ⓐスイッチ	29
	*キー (DTMF)	32, 132
	#キー (DTMF)	32, 132
	☒キー	31
A	Aキー (DTMF)	32, 132
	Aバンド	11, 24
	APD 機能	150
	APRS®/GPS セットモード動作一覧表	105
	APRS®/GPS セットモード番号順一覧表	103
	APRS MESSAGE 画面とキー説明	94
	APRS®ビーコンを受信する	74
	APRS®ビーコンを送信する	88
	APRS®ビーコン画面とキー操作の説明	74
	APRS®バウリスト	114
	APRS®ボーレートの設定	71
	APRS®メッセージの画面とキー説明	94
	APRS®メッセージを送信する	99
	APRS®運用の初期設定の流れ	66
	APRS®の初期設定	66
	APRS®機能を使う	66
	ARTS キー	25, 134
	ARTS™ 機能	134
	ATT 機能	154
B	Bキー (DTMF)	33, 132
	Bバンド	11, 24
	BANDキー	12, 25
	BAND を選ぶ	12
	BCLO 機能	152
	BNC-SMA 変換コネクタ (CN-3)	194
	BND DN キー	12, 25
	BUSYインジケータを OFF にする	146
C	Cキー (DTMF)	33, 132
	CD-41	6, 194
	CD-41 用/バッテリーチャージャー (NC-86A)	6, 194
	CN-3	194
	CODE キー	25, 136
	CSC-95 ソフトケース	194
	CT-44	183, 194
	CT-143	185, 194
	CT-144	184, 194
	CW ID 機能	133
	CWトレーニング機能	160
	CW 学習機能	158
D	Dキー (DTMF)	33, 132
	DCSサーチ	138
	DCS 機能	136
	DIAL ツマミ	10, 13, 24
	DTMF 機能	130
	DWキー	25, 128
E	EAI 機能	116
	E-DC-5B	8, 194
	E-DC-6B	194
	EMG キー	25, 115
	EXT DC IN 端子	8, 9, 24
F	F/W (ファンクション) キー	24
	FBA-39	7, 194
	FNB-101LI	5, 6, 194
	FNB-102LI	5, 6, 194
	FRG	32
G	GPS とは?	63
	GPS の測位方法	64
	GPS 画面の説明と操作	65
	GPS 機能を使う	63

H	HMキー	25, 40
I	IPX5	20
J	JR 以外の空線信号音を消す	50
	JR の空線信号音を消す	50
	JR 鉄道無線を聴く	49
	JR 鉄道無線周波数一覧表	49
M	MENU キー	16, 24, 168
	MH-34B4B	194
	MH-37A4B	194
	MIC/SP 端子	24
	MODE キー	12, 25
	MONI スイッチ	24
	MT キー	25, 41
P	PA-48A	6, 194
	PTT スイッチ	14, 24
R	R/H キー	25, 30
	RAW パケットデータの表示	94
	RPT キー	25, 30
	RV キー	25, 30
S	SC-M キー	12, 24, 56, 137, 138
	SET キー	16, 168
	SK IP キー	25, 59
	SmartBeaconing™ を設定する	90
	SP BNK キー	25
	SPS キー	25
	SP-ANA キー	25, 123
	SO TYP キー	25
	SRG	37
	STEP キー	25, 28
	S メータースケール機能	135
T	TOT 機能	150
	TXPO キー	25, 27
V	V/M キー	25, 39
	VFO スキャン	56
	VOL スイッチ	10, 24
W	WIREs で交信する	31
	WIREs IDメモリー	33
あ	アッテネーター機能	154
	アマチュア無線局免許申請書類の書きかた	192
	安全上のご注意	18
	アンテナ端子 (SMA)	24
	アンテナを取り付ける	4
い	インターネットキー	25, 31
	インターネットキーの動作をマイキーに変更する	157
え	エマージェンシー機能	115
お	オフタイマー機能	149
	オプション	194
	オープニングメッセージ	154
	オールリセット	15
	オンタイマー機能	149
	音声をミュートする	27
	温度表示機能	153
	温度を測定	148
	音量の設定方法を変更する	147
	音量を調節する	10
か	外部機器との接続	185
	外部電源端子	8, 9
	外部電源用ケーブル (E-DC-6)	9, 194
	各部の名称と操作	24
	各部の名前と働き	24

索引(つづき)

かんたん操作	4	送信出力を切り替える	27
乾電池ケース「FBA-39」の使いかた(オプション)	7	ソフトケース(CSC-95)	194
き キー操作早見表	203	た タイマー機能(オンタイマー)	149
急速充電用クレードル(CD-41)	6, 194	タイマー機能(オフタイマー)	149
救急無線周波数表	55	多彩なメモリー機能	38
救急無線を聴く	54	単三形アルカリ乾電池(3本)ケース(FBA-39)	7, 194
く 空線スケルチ機能	50	て 定 格	199
クローン操作	184	定型メッセージの登録	101
クローンケーブル(CT-144)	184, 194	ディスプレイの説明	26
け 消したメモリーを復活する	41	デジピータールートの設定	93
こ 交信してみよう	10	鉄道無線を聴く	49
国際 VHF (マリノ) 無線周波数表	51	デュアルレシーブ(DW)機能	128
国際 VHF (マリノ) 無線を聴く	51	テンキーの説明	25
故障かな?と思ったら	195	電源ケーブル「E-DC-6」を接続する(オプション)	9
好みのベル音をつくる	141	電源電圧の測定	148, 158
コネクションケーブル(CT-44)	183, 194	電源を入れたときの表示を変える	154
さ サブバンドオペレーション機能	29	電池/バックを取り付ける	5
し シガープラグ付き DC アダプター(E-DC-5B)	8, 194	電池/バックを充電する	6
自局コールサインの設定	70	電池/バック(FNB-101L)	6, 194
自局シンボルの設定	72	電池/バック ロングライフ(FNB-102L)	194
指定した時間に電源をオフする	149	電波を発射する前に	21
指定した時間に電源をオンする	149	電源キー	10, 24
指定メモリー	59	電源を入れる	10
自動的に電源をオフする	150	電池/バックについて	6
市販のハンズストラップを取り付ける	5	と 盗聴器発見機能サーチ	122
周波数の使用区分	191	同梱品を確認する	23
“受信/送信”詳細画面とキー説明	94	特長	22
受信セーブ機能	151	特定小電力無線を聴く	52
受信感度を下げる	154	特定小電力無線周波数表	52
受信中に誤って送信しないようにする	152	時計の設定(APRS)	68
照明の点灯条件を変更する	146	時計をセットしよう	17
消防無線周波数表	55	トーンスケルチサーチ	137
消防無線を聴く	54	トーンスケルチ機能	136
状態が変わらないようにロックする	29	は バイブレーター機能	139
周波数帯を選ぶ	12	バッテリーアイコン表示	7, 26
周波数をあわせる	13	バッテリー使用時間	7
準備しよう	4	バレット通信に使う	183
使用時間の目安と残量表示	7	パスワード機能	145
車載用外部電源「E-DC-5B」を接続する(オプション)	8	ひ ビーコンを送信する	88
新ページャー機能	142	ビーコンを受信する	74
シンボルの直接入力	73	ビーコンの自動送信間隔設定	89
す スキップサーチメモリー	57	ビーコンの手動送信 / 自動送信の切り替え	88
スキップメモリー	59	ビーコン局をリストから削除する	85
スキャンストップ時の受信方法を設定する	57	必要に応じて使う機能	145
スキャンを使う	56	ふ ファンクションスイッチ	24
スケルチのレベルを調節する	28	プライオリティリポート	129
ステータステキストの入力	91	付 録	186
ストロボをライトとして使用する	146	プログラムメモリースキャン (PMS)	62
スプリットメモリー	39	へ ページャー機能	142
スベクトラムスコープ機能	123	ベル機能	140
スペシャルバンク	48	“編集”画面とキー説明	95
スマートサーチ	120	返信機能	100
せ セットモード	16	便利なスペシャルバンク	48
セットモード (APRS/GPS)	103	ほ ホームチャンネルを呼び出す	40
セットモードの動作一覧表	168	防水機能 (IPX5 相当)	20
セットモードの非表示設定	168	ポジションコメントの選択	92
セットモードリセット	168	ま マイキー	157
セットモード項目別一覧表	166	マイクゲイン	152
セットモード番号順一覧表	162	マイバンド機能	156
そ 操作音がならないようにする	147	マニュアルでステップを切り替える	28
操作音の音量を設定する	147	マニュアルでモードを切り替える	29
送信する	151	マニッシュでモードを切り替える	28
送信セーブ機能	151	マリンバンドを聴く	51

索引(つづき)

め	メッセージ機能	124
	メッセージの作成と送信 (APRS)	99
	メッセージの受信確認データ (ACK)	102
	メッセージを受信する (APRS)	96
	メッセージをリストから削除する (APRS)	98
	メモリーオンリーモード	155
	メモリー構成	38
	メモリスキャン	58
	メモリータグを使う	42
	メモリーチューン機能	41
	メモリーに名前をつける	42
	メモリーに書き込む	39
	メモリーバンクスキャン	60
	メモリーバンクに名前をつける	42
	メモリーバンクリンクスキャン	61
	メモリーバンクを使う	44
	メモリーを呼び出す	40

	メモリーを使う	38
	メモリーを消す	41
も	モニタースイッチ	24
	目次	2
	文字コード一覧表	186
り	リセット(オールリセット)	15
	リセット(セットモードリセット)	168
	リチウムイオン電池について	6
れ	レピーターで交信する	30
	連続送信時間を制限する	150
ろ	ロック (a)	29
わ	ワイヤレスマイクを聴く	53

キー操作早見表

キー & スイッチ	短く押す	約 1 秒以上押す	 を押した後各キーを押す
PTT	送信	—	一時/V/I/P 送信
	スケルチオフ	—	スケルチレベル設定
	—	音量調節 (押しは DIAL をあわす)	音量調節 (DIAL が音量専用)
	ファンクション	メモリー書き込み	—
	操作/バンド上段に移動 表示/バンドの倍角表示 オン/オフ	デュアル受信 オン/オフ	—
	操作/バンド下段に移動 表示/バンドの倍角表示 オン/オフ	デュアル受信 オン/オフ	—
	GPS→APRS→APRS/MESSAGE→周波数表示	セットモード	—
SC-M BAND DN 	バンド切り替え (アップ)	スキャンモード切り替え	バンド切り替え (ダウン)
EMG R/H HM/RV 	ホームチャンネル呼び出し	エマージェンシー オン/オフ	リバース オン/オフ
TX PO 	マイキー	—	送信出力切り替え
	キーロック オン/オフ	電源オン/オフ	—
STEP 1 	1を入力	—	ステップ幅変更
CODE 2ABC 	2を入力	—	トランスミット、DSSコード、ベイクコード、メタ変
DTMF 3DEF 	3を入力	—	DTMF メモリーの選択
ARTS 4GHI 	4を入力	—	ARTS 機能
SKIP 5JKL 	5を入力	—	スキップメモリーの設定
RPT 6MNO 	6を入力	—	レピーター 機能の選択
MUTE 7PO RS 	7を入力	—	ミュート オン/オフ
SP-ANA 8TUV 	8を入力	—	スベアナ オン/オフ
SP BNK 9WX YZ 	9を入力	—	特殊メモリー
SUB OP 0 	0を入力	—	サブバンドの操作
SPS SQ TYP MODE 	電波型式切り替え	スペシャリサーチモード呼び出し (押しは DIAL をあわす)	スケルチタイプ切り替え (DIAL をあわす)
DW MT V/M 	VFO モード/メモリーモード切り替え	デュアルレシーブ開始	メモリーチューンモードに移行 (メモリーモード時)

YAESU

The radio

本製品または他の当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社アマチュアカスタマーサポートにお願いいたします。

アマチュアカスタマーサポート

〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル 11F

電話：03-6711-4045

©2012 八重洲無線株式会社

無断転載・複写を禁ず

1207I-EY

八重洲無線株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル



E H 0 4 1 M 0 0 1